

取組 1 3 次代を担う子どもを安心して生み育てることのできる環境づくり



取組概要

核家族化，少子化の進行など子どもを取り巻く環境が大きく変化している中で，安心して子どもを生み育てることのできる地域社会と，すべての子どもがその個性を尊重され健やかに成長できる環境づくりを目指します。

平成 2 0 年度の主な取組

子どもを安心して生み育てることのできる職場環境づくりを促進するため，中小企業が行う従業員の子育て支援策を奨励し，助成金を交付しています。また，子育て支援策に積極的に取り組む中小企業を表彰しています。

保護者の疾病や災害等により緊急・一時的に保育が必要になった場合や，保護者が断続的な就労等により家庭で保育ができない場合に，保育所で子どもを預かっています。

心の問題を持つ子どもの治療やデイケア，親に対する専門的なケアをしています。また，不登校，ひきこもりなどの子どもやその家族の相談を受けたり，指導をしています。

児童虐待をはじめとする各種相談に応じ，児童や家庭に対する支援を行っています。また，緊急の虐待相談に対応するため，24時間の相談体制を敷いています。

子育てに関する相談や子育て関連の情報提供を行うとともに，子育てサークルの育成等，地域全体で子育てを支援するためのネットワークづくりをしています。

小児科医の不足を補完するとともに，小児の保護者の育児不安を解消するため，「こども夜間安心コール事業」や「小児救急医療研修事業」を実施しています。

【認知度】（県がこの取組を行っていたことについて、どのくらい知っているか）

< 概要 >

県全体

「知っている」「ある程度知っている」を合わせた『高認知群』は64.4%、
「あまり知らない」「知らない」を合わせた『低認知群』は35.6%である。

性別

男性の『高認知群』は60.9%で、県全体より3.5ポイント低い。

女性の『高認知群』は68.0%で、県全体より3.6ポイント高い。

年齢別

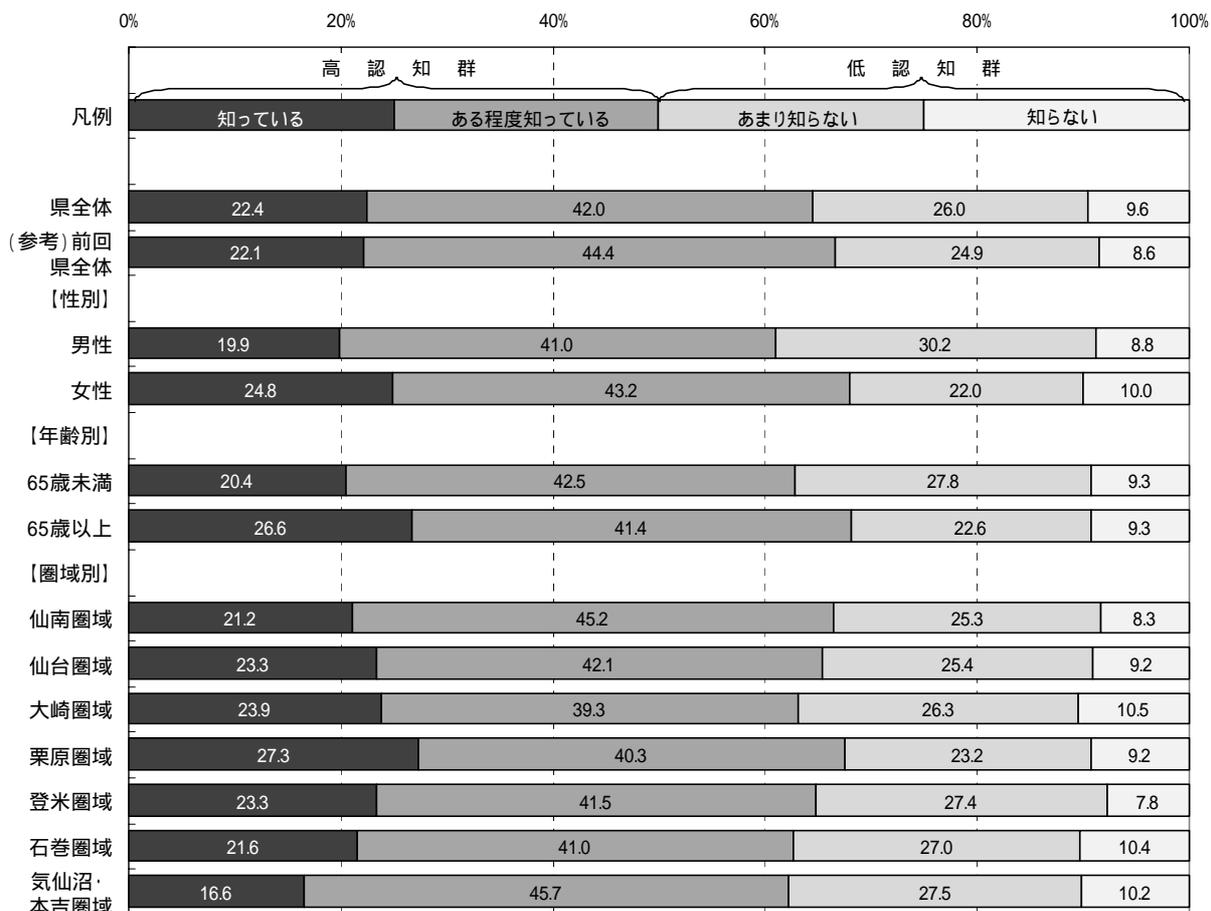
65歳未満の『高認知群』は62.9%で、県全体より1.5ポイント低い。

65歳以上の『高認知群』は68.0%で、県全体より3.6ポイント高い。

圏域別

各圏域の『高認知群』は、県全体との差が全て5.0ポイント以内に収まっている。

図2-2-13-1 取組13 認知度割合(属性別)



取組13「次代を担う子どもを安心して生み育てることのできる環境づくり」

表2-2-13-1 取組13 認知度集計(属性別)

		有 効					欠 損 値	合 計
		知っている	ある程度 知っている	あまり 知らない	知らない	合計		
県全体	度数	419	787	486	180	1,872	72	1,944
	パーセント	22.4	42.0	26.0	9.6	100.0		
(参考)前回 県全体	度数	390	783	438	151	1,762	80	1,842
	パーセント	22.1	44.4	24.9	8.6	100.0		
【性別】								
男性	度数	174	358	264	77	873	21	894
	パーセント	19.9	41.0	30.2	8.8	100.0		
女性	度数	237	412	210	95	954	37	991
	パーセント	24.8	43.2	22.0	10.0	100.0		
【年齢別】								
65歳未満	度数	244	507	332	111	1,194	20	1,214
	パーセント	20.4	42.5	27.8	9.3	100.0		
65歳以上	度数	166	258	141	58	623	41	664
	パーセント	26.6	41.4	22.6	9.3	100.0		
【圏域別】								
仙南圏域	度数	51	109	61	20	241	7	248
	パーセント	21.2	45.2	25.3	8.3	100.0		
仙台圏域	度数	56	101	61	22	240	9	249
	パーセント	23.3	42.1	25.4	9.2	100.0		
大崎圏域	度数	59	97	65	26	247	7	254
	パーセント	23.9	39.3	26.3	10.5	100.0		
栗原圏域	度数	80	118	68	27	293	12	305
	パーセント	27.3	40.3	23.2	9.2	100.0		
登米圏域	度数	63	112	74	21	270	9	279
	パーセント	23.3	41.5	27.4	7.8	100.0		
石巻圏域	度数	48	91	60	23	222	7	229
	パーセント	21.6	41.0	27.0	10.4	100.0		
気仙沼・本吉 圏域	度数	44	121	73	27	265	9	274
	パーセント	16.6	45.7	27.5	10.2	100.0		

【関心度】（県が行ってきたこの取組の内容について、どのくらい関心があるか）

< 概要 >

県全体

「関心がある」「ある程度関心がある」を合わせた『高関心群』は86.3%、
「あまり関心がない」「関心がない」を合わせた『低関心群』は13.8%である。

性別

男性の『高関心群』は85.2%で、県全体より1.1ポイント低い。

女性の『高関心群』は87.4%で、県全体より1.1ポイント高い。

年齢別

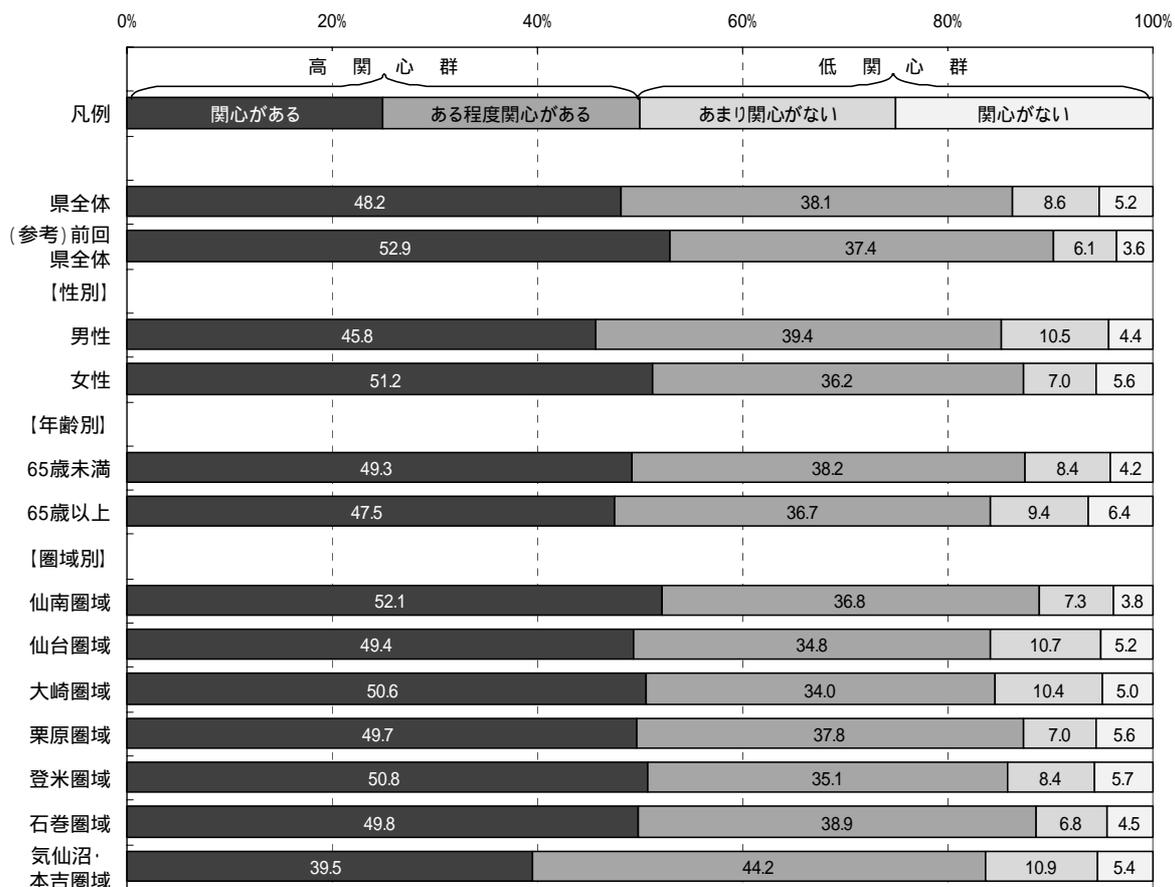
65歳未満の『高関心群』は87.5%で、県全体より1.2ポイント高い。

65歳以上の『高関心群』は84.2%で、県全体より2.1ポイント低い。

圏域別

各圏域の『高関心群』は、県全体との差が全て5.0ポイント以内に収まっている。

図2-2-13-2 取組13 関心度割合(属性別)



取組13「次代を担う子どもを安心して生み育てることのできる環境づくり」

表2-2-13-2 取組13 関心度集計(属性別)

		有 効					欠 損 値	合 計
		関心がある	ある程度 関心がある	あまり 関心がない	関心がない	合計		
県全体	度数	877	693	156	94	1,820	124	1,944
	パーセント	48.2	38.1	8.6	5.2	100.0		
(参考)前回 県全体	度数	913	645	105	62	1,725	117	1,842
	パーセント	52.9	37.4	6.1	3.6	100.0		
【性別】								
男性	度数	389	335	89	37	850	44	894
	パーセント	45.8	39.4	10.5	4.4	100.0		
女性	度数	475	336	65	52	928	63	991
	パーセント	51.2	36.2	7.0	5.6	100.0		
【年齢別】								
65歳未満	度数	578	448	98	49	1,173	41	1,214
	パーセント	49.3	38.2	8.4	4.2	100.0		
65歳以上	度数	283	219	56	38	596	68	664
	パーセント	47.5	36.7	9.4	6.4	100.0		
【圏域別】								
仙南圏域	度数	122	86	17	9	234	14	248
	パーセント	52.1	36.8	7.3	3.8	100.0		
仙台圏域	度数	115	81	25	12	233	16	249
	パーセント	49.4	34.8	10.7	5.2	100.0		
大崎圏域	度数	122	82	25	12	241	13	254
	パーセント	50.6	34.0	10.4	5.0	100.0		
栗原圏域	度数	142	108	20	16	286	19	305
	パーセント	49.7	37.8	7.0	5.6	100.0		
登米圏域	度数	133	92	22	15	262	17	279
	パーセント	50.8	35.1	8.4	5.7	100.0		
石巻圏域	度数	110	86	15	10	221	8	229
	パーセント	49.8	38.9	6.8	4.5	100.0		
気仙沼・本吉 圏域	度数	102	114	28	14	258	16	274
	パーセント	39.5	44.2	10.9	5.4	100.0		

【重視度】（県がこの取組を今後行っていくことが、どのくらい重要と考えるか）

< 概要 >

県全体

「重要」「やや重要」を合わせた『高重視群』は87.4%、「あまり重要ではない」「重要ではない」を合わせた『低重視群』は4.9%である。

なお、回答全体から「わからない」を除き集計した場合、『高重視群』が94.7%、『低重視群』は5.3%となる。

性別

男性の『高重視群』は87.8%で、県全体より0.4ポイント高い。

女性の『高重視群』は87.4%で、県全体と同率である。

年齢別

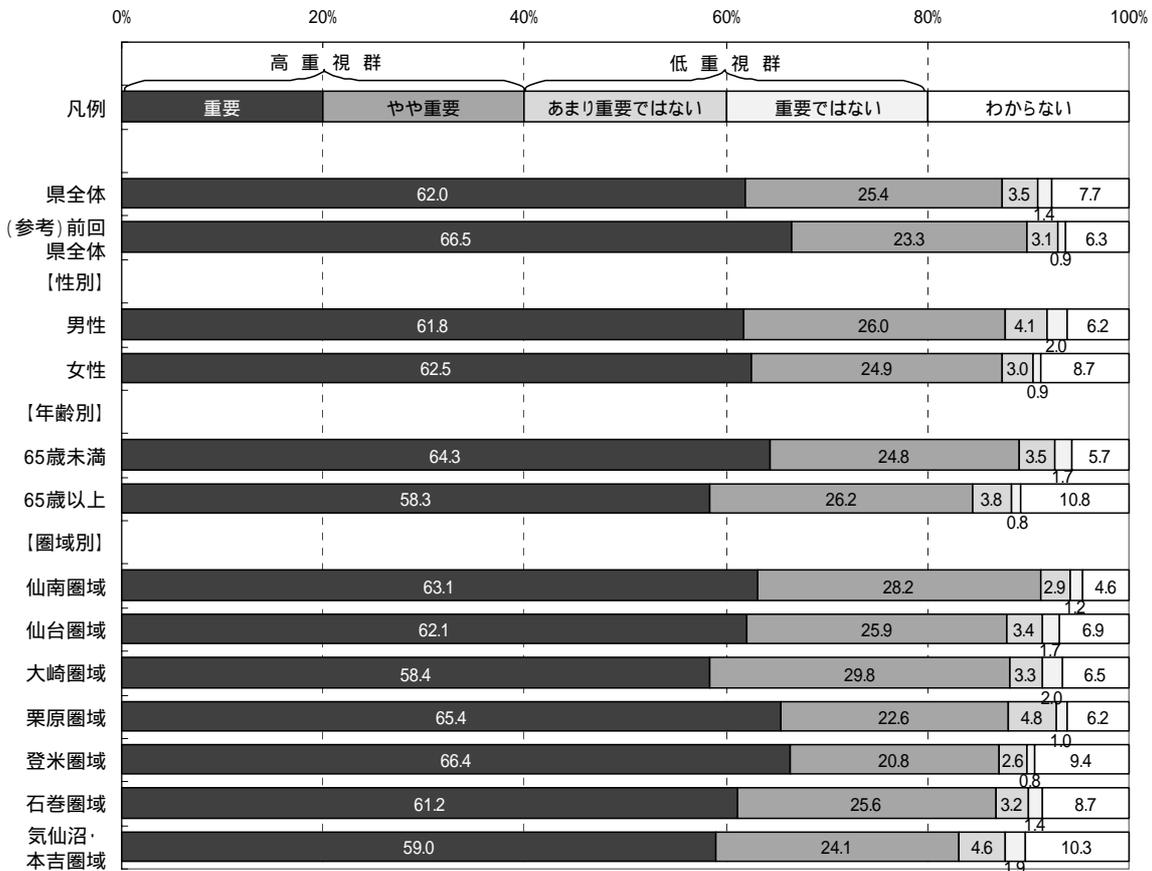
65歳未満の『高重視群』は89.1%で、県全体より1.7ポイント高い。

65歳以上の『高重視群』は84.5%で、県全体より2.9ポイント低い。

圏域別

各圏域の『高重視群』は、県全体との差が全て5.0ポイント以内に収まっている。

図2-2-13-3 取組13 重視度割合(属性別)



取組13「次代を担う子どもを安心して生み育てることのできる環境づくり」

表2-2-13-3 取組13 重視度集計(属性別)

		有 効					合計	欠 損 値	合 計
		重要	やや重要	あまり重要ではない	重要ではない	わからない			
県全体	度数	1,141	468	65	25	142	1,841	103	1,944
	パーセント	62.0	25.4	3.5	1.4	7.7	100.0		
	「わからない」を除くパーセント	67.2	27.5	3.8	1.5		100.0		
(参考) 前回 県全体	度数	1,159	406	54	15	109	1,743	99	1,842
	パーセント	66.5	23.3	3.1	0.9	6.3	100.0		
【性別】									
男性	度数	530	223	35	17	53	858	36	894
	パーセント	61.8	26.0	4.1	2.0	6.2	100.0		
女性	度数	587	234	28	8	82	939	52	991
	パーセント	62.5	24.9	3.0	0.9	8.7	100.0		
【年齢別】									
65歳未満	度数	763	294	41	20	68	1,186	28	1,214
	パーセント	64.3	24.8	3.5	1.7	5.7	100.0		
65歳以上	度数	351	158	23	5	65	602	62	664
	パーセント	58.3	26.2	3.8	0.8	10.8	100.0		
【圏域別】									
仙南圏域	度数	152	68	7	3	11	241	7	248
	パーセント	63.1	28.2	2.9	1.2	4.6	100.0		
仙台圏域	度数	144	60	8	4	16	232	17	249
	パーセント	62.1	25.9	3.4	1.7	6.9	100.0		
大崎圏域	度数	143	73	8	5	16	245	9	254
	パーセント	58.4	29.8	3.3	2.0	6.5	100.0		
栗原圏域	度数	191	66	14	3	18	292	13	305
	パーセント	65.4	22.6	4.8	1.0	6.2	100.0		
登米圏域	度数	176	55	7	2	25	265	14	279
	パーセント	66.4	20.8	2.6	0.8	9.4	100.0		
石巻圏域	度数	134	56	7	3	19	219	10	229
	パーセント	61.2	25.6	3.2	1.4	8.7	100.0		
気仙沼・本吉圏域	度数	154	63	12	5	27	261	13	274
	パーセント	59.0	24.1	4.6	1.9	10.3	100.0		

【満足度】（県が行ってきたこの取組について、どのくらい満足しているか）

< 概要 >

県全体

「満足」「やや満足」を合わせた『満足群』は41.5%、「やや不満」「不満」を合わせた『不満群』は39.2%である。

なお、回答全体から「わからない」を除き集計した場合、『満足群』が51.4%、『不満群』は48.6%となる。

性別

男性の『満足群』は39.5%で、県全体より2.0ポイント低い。

女性の『満足群』は43.0%で、県全体より1.5ポイント高い。

年齢別

65歳未満の『満足群』は37.4%で、県全体より4.1ポイント低い。

65歳以上の『満足群』は49.4%で、県全体より7.9ポイント高い。

圏域別

各圏域の『満足群』は、県全体との差が全て5.0ポイント以内に収まっている。

図2-2-13-4 取組13 満足度割合(属性別)

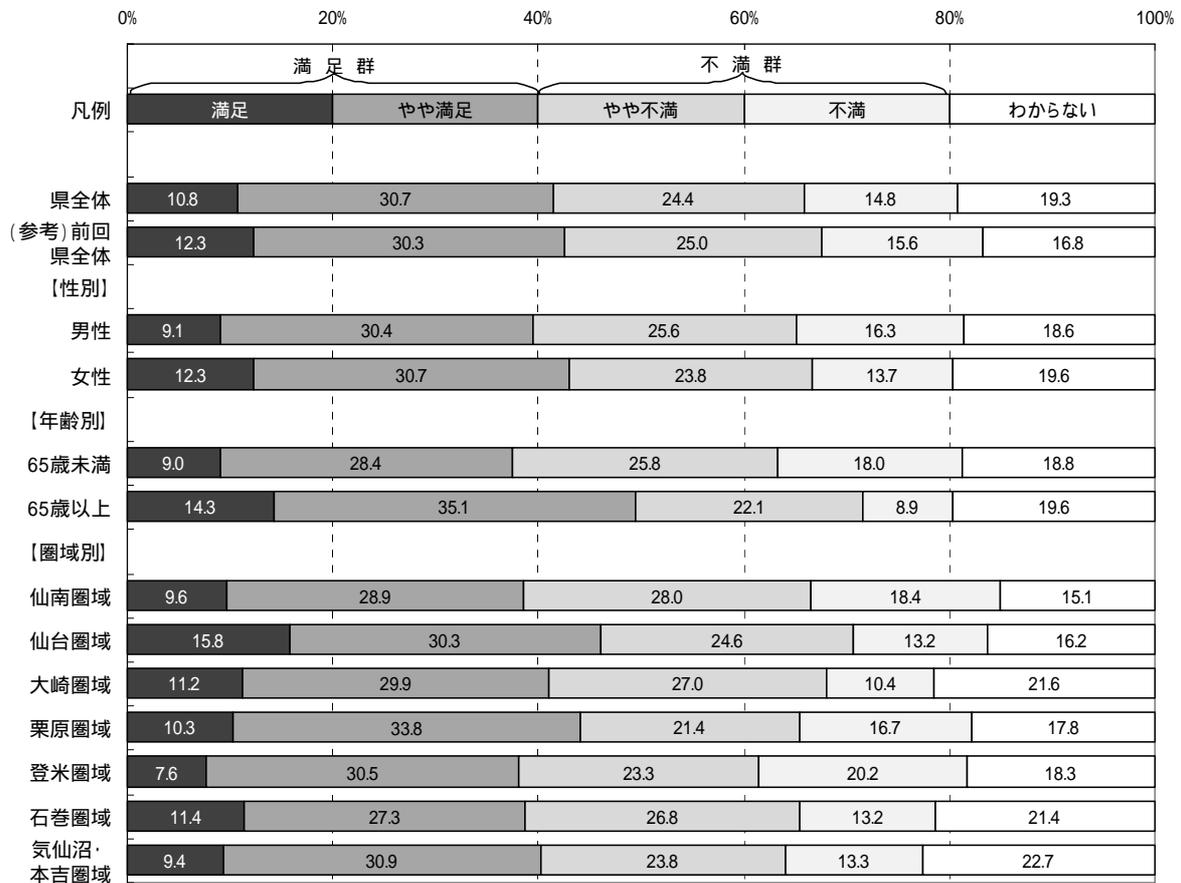


表2-2-13-4 取組13 満足度集計(属性別)

		有 効					合計	欠 損 値	合 計
		満足	やや満足	やや不満	不満	わからない			
県全体	度数	195	557	443	268	349	1,812	132	1,944
	パーセント	10.8	30.7	24.4	14.8	19.3	100.0		
	「わからない」を除くパーセント	13.3	38.1	30.3	18.3		100.0		
(参考) 前回 県全体	度数	211	519	429	268	288	1,715	127	1,842
	パーセント	12.3	30.3	25.0	15.6	16.8	100.0		
【性別】									
男性	度数	77	258	217	138	158	848	46	894
	パーセント	9.1	30.4	25.6	16.3	18.6	100.0		
女性	度数	113	283	219	126	181	922	69	991
	パーセント	12.3	30.7	23.8	13.7	19.6	100.0		
【年齢別】									
65歳未満	度数	106	333	303	211	220	1,173	41	1,214
	パーセント	9.0	28.4	25.8	18.0	18.8	100.0		
65歳以上	度数	84	206	130	52	115	587	77	664
	パーセント	14.3	35.1	22.1	8.9	19.6	100.0		
【圏域別】									
仙南圏域	度数	23	69	67	44	36	239	9	248
	パーセント	9.6	28.9	28.0	18.4	15.1	100.0		
仙台圏域	度数	36	69	56	30	37	228	21	249
	パーセント	15.8	30.3	24.6	13.2	16.2	100.0		
大崎圏域	度数	27	72	65	25	52	241	13	254
	パーセント	11.2	29.9	27.0	10.4	21.6	100.0		
栗原圏域	度数	29	95	60	47	50	281	24	305
	パーセント	10.3	33.8	21.4	16.7	17.8	100.0		
登米圏域	度数	20	80	61	53	48	262	17	279
	パーセント	7.6	30.5	23.3	20.2	18.3	100.0		
石巻圏域	度数	25	60	59	29	47	220	9	229
	パーセント	11.4	27.3	26.8	13.2	21.4	100.0		
気仙沼・本吉 圏域	度数	24	79	61	34	58	256	18	274
	パーセント	9.4	30.9	23.8	13.3	22.7	100.0		

【特に優先すべきと思う項目】

取組13に関し、目標とする宮城の姿を目指して、県が下記の項目の中で今後特に優先すべきと思う項目について調査した。(複数回答可)

- ア 市町村・企業・NPOなどと連携・協働して行う総合的な少子化対策
- イ 育児休業取得の促進や職場復帰しやすい環境づくりなど、職場における仕事と子育ての両立支援対策
- ウ ささまざまな需要に応じた保育サービスの充実
- エ 子育て中の親の交流の場を設けたり、放課後の児童の居場所を作るなど、それぞれの地域に合わせた子育て支援の充実
- オ 不登校や引きこもりなど悩みを抱える子どもや、子育てに不安・問題を抱える親や家族に対する相談・指導の充実
- カ 関係機関が連携した虐待防止体制づくりや、発生予防・早期発見・援助など、素早くて確かな対応
- キ 県立こども病院での高度で専門的な医療の提供や、周産期・小児医療体制づくりと小児救急医療体制の充実

(参考:目標とする宮城の姿)

出産や子育てへの不安が減り、少子化の状況が改善されています。
 仕事と生活の調和が図られ、夫婦がお互いに協力しながら子育てを行っています。
 子育て家庭のさまざまな求めに応じた保育サービスが生まれています。
 地域全体が連携・協力しながら子育てを行う環境が整っています。
 産科や小児科などの医療体制が充実し、身近な地域で安心して出産や子育てができるようになっています。

< 概要 >

県全体及び属性別(性別・年齢別・圏域別)の優先順位第1位から第3位までは以下のとおり。

	県全体	性別		年齢別	
		男性	女性	65歳未満	65歳以上
第1位:	イ(イ)	イ	イ	イ	イ
第2位:	キ(キ)	キ	キ	キ	キ
第3位:	エ(エ)	エ	エ	エ	オ

	圏域別						
	仙南	仙台	大崎	栗原	登米	石巻	気仙沼・本吉
第1位:	イ	イ	イ	イ	キ	イ	キ
第2位:	キ	キ	キ	キ	イ	キ	イ
第3位:	ウ	エ	エ	エ	エ	エ	オ

属性別の優先順位が県全体と異なる場合、項目記号を網掛けしている。
 ()内は、前回の優先順位

取組13「次代を担う子どもを安心して生み育てることのできる環境づくり」

図2-2-13-5 取組13 特に優先すべきと思う項目回答数(県全体)

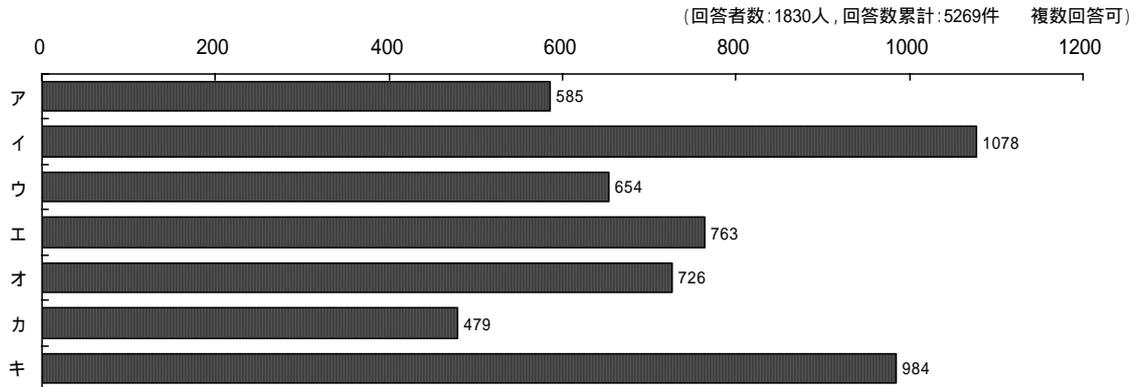
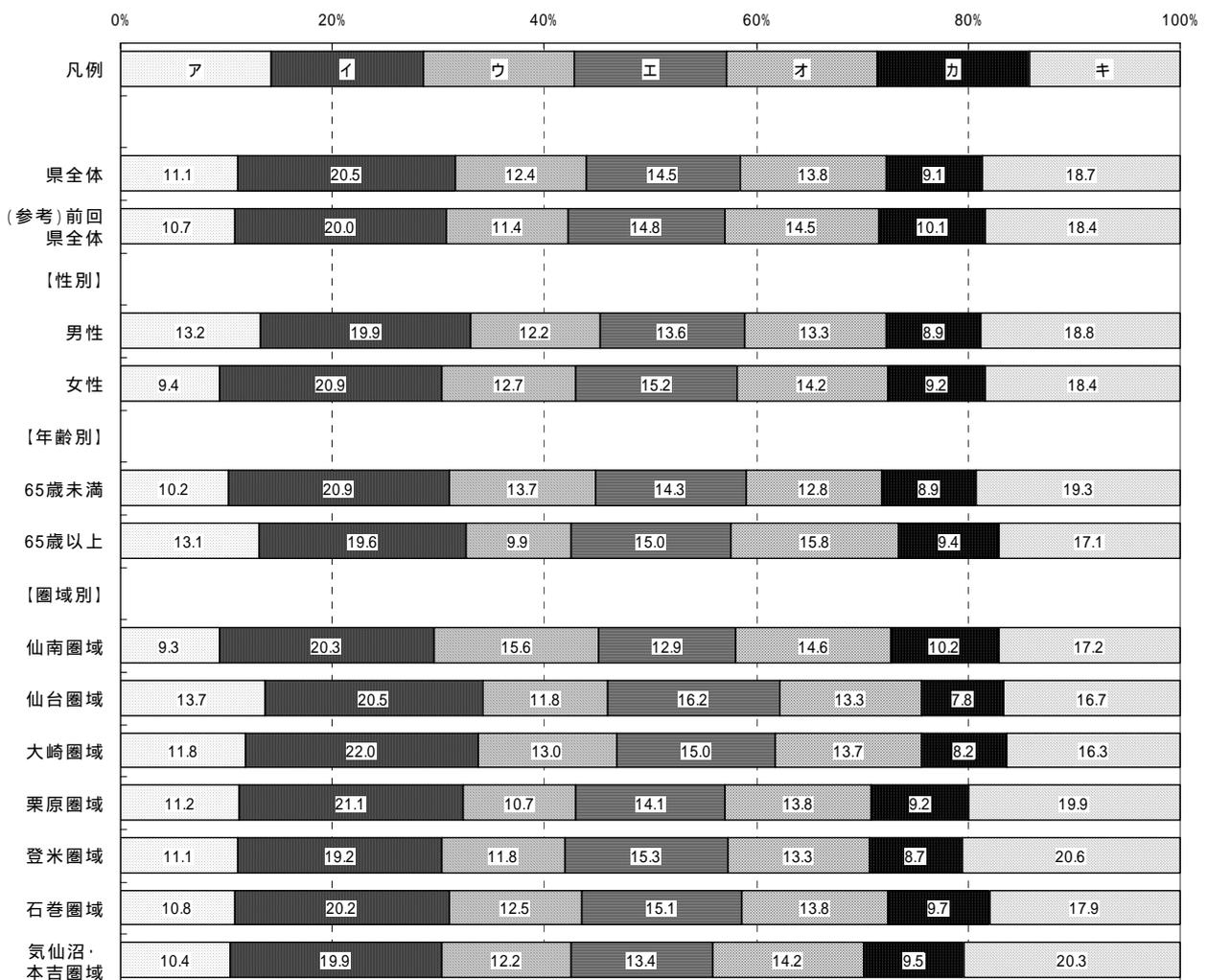


図2-2-13-6 取組13 特に優先すべきと思う項目割合(属性別)



本図は、回答数累計に占める各項目の回答数の割合を属性別に示したものです。

取組13「次代を担う子どもを安心して生み
育てることができる環境づくり」

取組 1 4 家庭・地域・学校の協働による子どもの健全な育成



取組概要

家庭，地域と学校の協働により，子どもの基本的な生活習慣の定着へ向けた運動を展開するとともに，教育に対する地域全体での支え合いを推進する組織体制の確立，子どもの多様な学習・体験機会の創出を目指します。

平成 2 0 年度の主な取組

「はやね・はやおき・あさごはん」といった子どもの基本的な生活習慣の定着に向けて，各学校・PTA，企業等と連携し，各種イベント等を通じ，広く県民や家庭に呼び掛けています。

子どもたちを地域全体で育むために，地域と学校をつなぐ仕組みをつくり，地域と学校が協働した教育活動を展開しています。

家庭教育への支援として，子育て電話相談や子育てサポーターの養成，父親の家庭教育参画への支援，家庭教育に関するさまざまな学習機会の提供を行っています。

【認知度】（県がこの取組を行っていたことについて、どのくらい知っているか）

< 概要 >

県全体

「知っている」「ある程度知っている」を合わせた『高認知群』は57.5%、
「あまり知らない」「知らない」を合わせた『低認知群』は42.5%である。

性別

男性の『高認知群』は50.8%で、県全体より6.7ポイント低い。

女性の『高認知群』は64.2%で、県全体より6.7ポイント高い。

年齢別

65歳未満の『高認知群』は55.9%で、県全体より1.6ポイント低い。

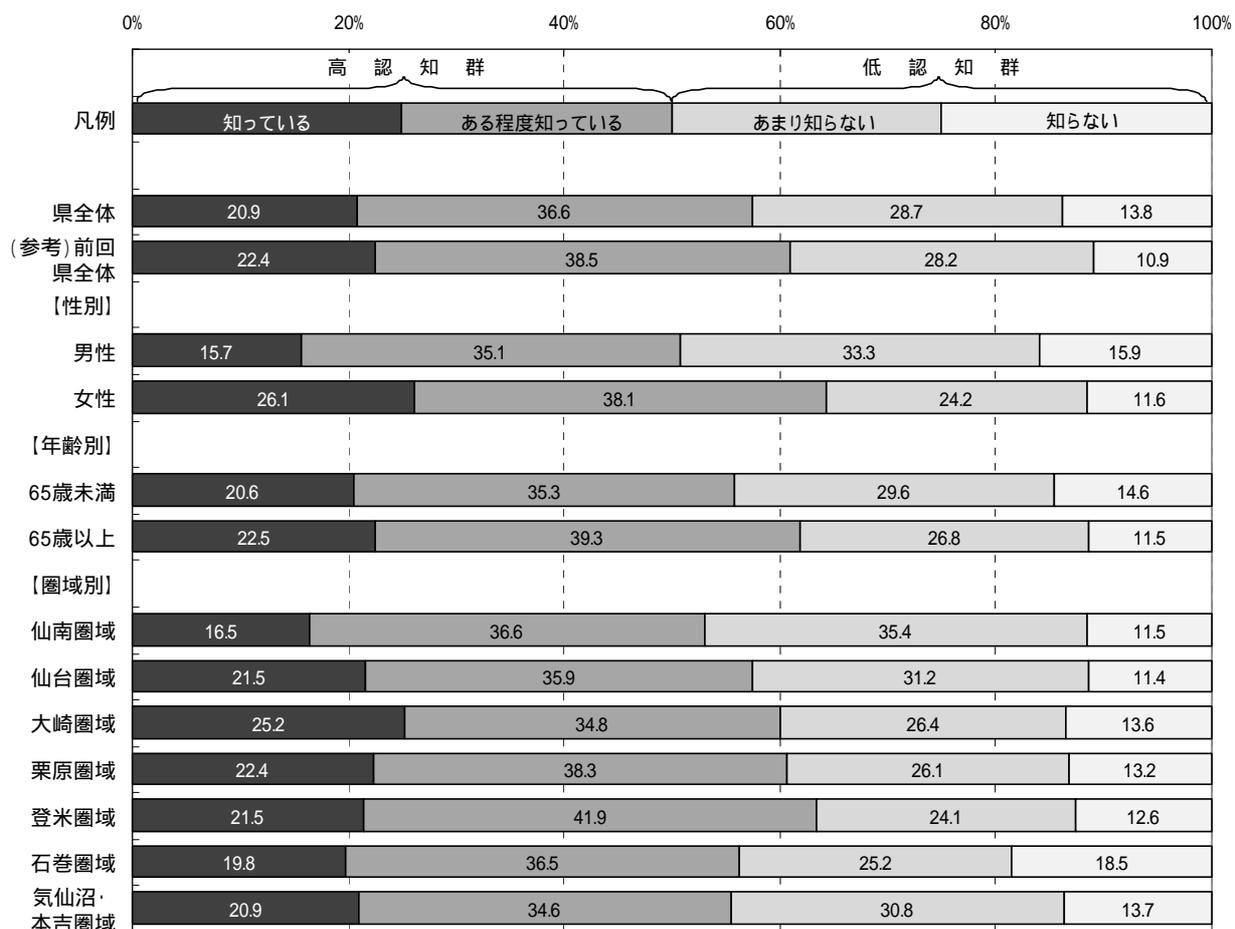
65歳以上の『高認知群』は61.8%で、県全体より4.3ポイント高い。

圏域別

登米圏域の『高認知群』は63.4%で、県全体より5.9ポイント高い。

その他の圏域の『高認知群』は、県全体との差が5.0ポイント以内に収まっている。

図2-2-14-1 取組14 認知度割合(属性別)



取組14「家庭・地域・学校の協働による
子どもの健全な育成」

表2-2-14-1 取組14 認知度集計(属性別)

		有 効					欠 損 値	合 計
		知っている	ある程度 知っている	あまり 知らない	知らない	合計		
県全体	度数	391	686	539	259	1,875	69	1,944
	パーセント	20.9	36.6	28.7	13.8	100.0		
(参考)前回 県全体	度数	397	681	498	193	1,769	73	1,842
	パーセント	22.4	38.5	28.2	10.9	100.0		
【性別】								
男性	度数	138	308	292	140	878	16	894
	パーセント	15.7	35.1	33.3	15.9	100.0		
女性	度数	248	362	230	110	950	41	991
	パーセント	26.1	38.1	24.2	11.6	100.0		
【年齢別】								
65歳未満	度数	245	420	352	174	1,191	23	1,214
	パーセント	20.6	35.3	29.6	14.6	100.0		
65歳以上	度数	141	247	168	72	628	36	664
	パーセント	22.5	39.3	26.8	11.5	100.0		
【圏域別】								
仙南圏域	度数	40	89	86	28	243	5	248
	パーセント	16.5	36.6	35.4	11.5	100.0		
仙台圏域	度数	51	85	74	27	237	12	249
	パーセント	21.5	35.9	31.2	11.4	100.0		
大崎圏域	度数	63	87	66	34	250	4	254
	パーセント	25.2	34.8	26.4	13.6	100.0		
栗原圏域	度数	66	113	77	39	295	10	305
	パーセント	22.4	38.3	26.1	13.2	100.0		
登米圏域	度数	58	113	65	34	270	9	279
	パーセント	21.5	41.9	24.1	12.6	100.0		
石巻圏域	度数	44	81	56	41	222	7	229
	パーセント	19.8	36.5	25.2	18.5	100.0		
気仙沼・本吉 圏域	度数	55	91	81	36	263	11	274
	パーセント	20.9	34.6	30.8	13.7	100.0		

【関心度】（県が行ってきたこの取組の内容について、どのくらい関心があるか）

< 概要 >

県全体

「関心がある」「ある程度関心がある」を合わせた『高関心群』は80.7%、
「あまり関心がない」「関心がない」を合わせた『低関心群』は19.3%である。
また、前回の『高関心群』は85.4%で、今回は前回より4.7ポイント低い。

性別

男性の『高関心群』は76.7%で、県全体より4.0ポイント低い。

女性の『高関心群』は84.3%で、県全体より3.6ポイント高い。

年齢別

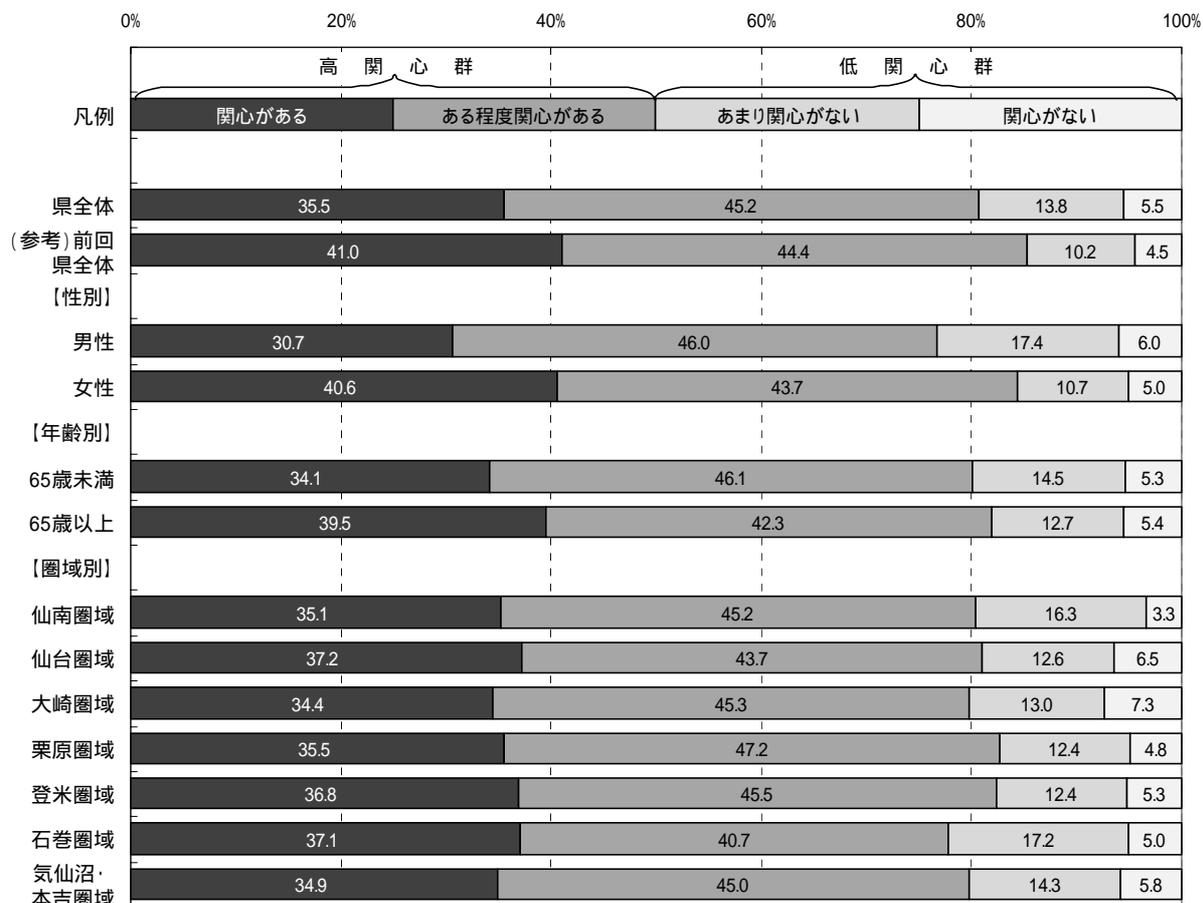
65歳未満の『高関心群』は80.2%で、県全体より0.5ポイント低い。

65歳以上の『高関心群』は81.8%で、県全体より1.1ポイント高い。

圏域別

各圏域の『高関心群』は、県全体との差が全て5.0ポイント以内に収まっている。

図2-2-14-2 取組14 関心度割合(属性別)



取組14「家庭・地域・学校の協働による
子どもの健全な育成」

表2-2-14-2 取組14 関心度集計(属性別)

		有 効					欠 損 値	合 計
		関心がある	ある程度 関心がある	あまり 関心がない	関心がない	合計		
県全体	度数	652	830	254	102	1,838	106	1,944
	パーセント	35.5	45.2	13.8	5.5	100.0		
(参考) 前回 県全体	度数	704	762	175	77	1,718	124	1,842
	パーセント	41.0	44.4	10.2	4.5	100.0		
【性別】								
男性	度数	263	394	149	51	857	37	894
	パーセント	30.7	46.0	17.4	6.0	100.0		
女性	度数	381	410	100	47	938	53	991
	パーセント	40.6	43.7	10.7	5.0	100.0		
【年齢別】								
65歳未満	度数	402	543	171	63	1,179	35	1,214
	パーセント	34.1	46.1	14.5	5.3	100.0		
65歳以上	度数	240	257	77	33	607	57	664
	パーセント	39.5	42.3	12.7	5.4	100.0		
【圏域別】								
仙南圏域	度数	84	108	39	8	239	9	248
	パーセント	35.1	45.2	16.3	3.3	100.0		
仙台圏域	度数	86	101	29	15	231	18	249
	パーセント	37.2	43.7	12.6	6.5	100.0		
大崎圏域	度数	85	112	32	18	247	7	254
	パーセント	34.4	45.3	13.0	7.3	100.0		
栗原圏域	度数	103	137	36	14	290	15	305
	パーセント	35.5	47.2	12.4	4.8	100.0		
登米圏域	度数	98	121	33	14	266	13	279
	パーセント	36.8	45.5	12.4	5.3	100.0		
石巻圏域	度数	82	90	38	11	221	8	229
	パーセント	37.1	40.7	17.2	5.0	100.0		
気仙沼・本吉 圏域	度数	90	116	37	15	258	16	274
	パーセント	34.9	45.0	14.3	5.8	100.0		

【重視度】（県がこの取組を今後行っていくことが、どのくらい重要と考えるか）

< 概要 >

県全体

「重要」「やや重要」を合わせた『高重視群』は81.7%、「あまり重要ではない」「重要ではない」を合わせた『低重視群』は9.2%である。

なお、回答全体から「わからない」を除き集計した場合、『高重視群』が89.9%、『低重視群』は10.1%となる。

性別

男性の『高重視群』は79.1%で、県全体より2.6ポイント低い。

女性の『高重視群』は84.2%で、県全体より2.5ポイント高い。

年齢別

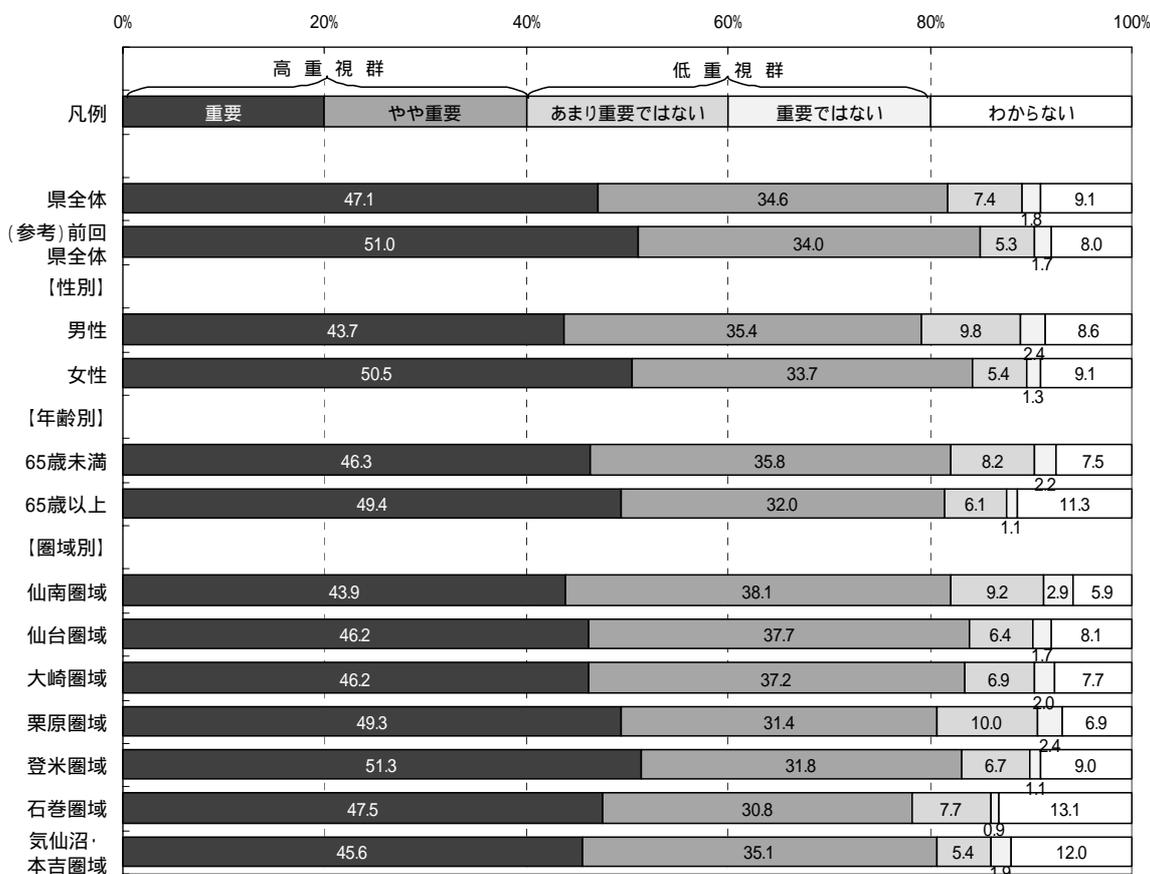
65歳未満の『高重視群』は82.1%で、県全体より0.4ポイント高い。

65歳以上の『高重視群』は81.4%で、県全体より0.3ポイント低い。

圏域別

各圏域の『高重視群』は、県全体との差が全て5.0ポイント以内に収まっている。

図2-2-14-3 取組14 重視度割合(属性別)



取組14「家庭・地域・学校の協働による
子どもの健全な育成」

表2-2-14-3 取組14 重視度集計(属性別)

		有 効					合計	欠 損 値	合 計
		重要	やや重要	あまり重要 ではない	重要では ない	わからない			
県全体	度数	869	639	136	34	168	1,846	98	1,944
	パーセント	47.1	34.6	7.4	1.8	9.1	100.0		
	「わからない」を 除くパーセント	51.8	38.1	8.1	2.0		100.0		
(参考) 前回 県全体	度数	882	587	92	29	138	1,728	114	1,842
	パーセント	51.0	34.0	5.3	1.7	8.0	100.0		
【性別】									
男性	度数	375	304	84	21	74	858	36	894
	パーセント	43.7	35.4	9.8	2.4	8.6	100.0		
女性	度数	477	318	51	12	86	944	47	991
	パーセント	50.5	33.7	5.4	1.3	9.1	100.0		
【年齢別】									
65歳未満	度数	548	423	97	26	89	1,183	31	1,214
	パーセント	46.3	35.8	8.2	2.2	7.5	100.0		
65歳以上	度数	301	195	37	7	69	609	55	664
	パーセント	49.4	32.0	6.1	1.1	11.3	100.0		
【圏域別】									
仙南圏域	度数	105	91	22	7	14	239	9	248
	パーセント	43.9	38.1	9.2	2.9	5.9	100.0		
仙台圏域	度数	109	89	15	4	19	236	13	249
	パーセント	46.2	37.7	6.4	1.7	8.1	100.0		
大崎圏域	度数	114	92	17	5	19	247	7	254
	パーセント	46.2	37.2	6.9	2.0	7.7	100.0		
栗原圏域	度数	143	91	29	7	20	290	15	305
	パーセント	49.3	31.4	10.0	2.4	6.9	100.0		
登米圏域	度数	137	85	18	3	24	267	12	279
	パーセント	51.3	31.8	6.7	1.1	9.0	100.0		
石巻圏域	度数	105	68	17	2	29	221	8	229
	パーセント	47.5	30.8	7.7	0.9	13.1	100.0		
気仙沼・本吉 圏域	度数	118	91	14	5	31	259	15	274
	パーセント	45.6	35.1	5.4	1.9	12.0	100.0		

【満足度】（県が行ってきたこの取組について、どのくらい満足しているか）

< 概要 >

県全体

「満足」「やや満足」を合わせた『満足群』は44.9%、「やや不満」「不満」を合わせた『不満群』は28.8%である。

なお、回答全体から「わからない」を除き集計した場合、『満足群』が60.9%、『不満群』は39.0%となる。

性別

男性の『満足群』は42.1%で、県全体より2.8ポイント低い。

女性の『満足群』は47.7%で、県全体より2.8ポイント高い。

年齢別

65歳未満の『満足群』は41.4%で、県全体より3.5ポイント低い。

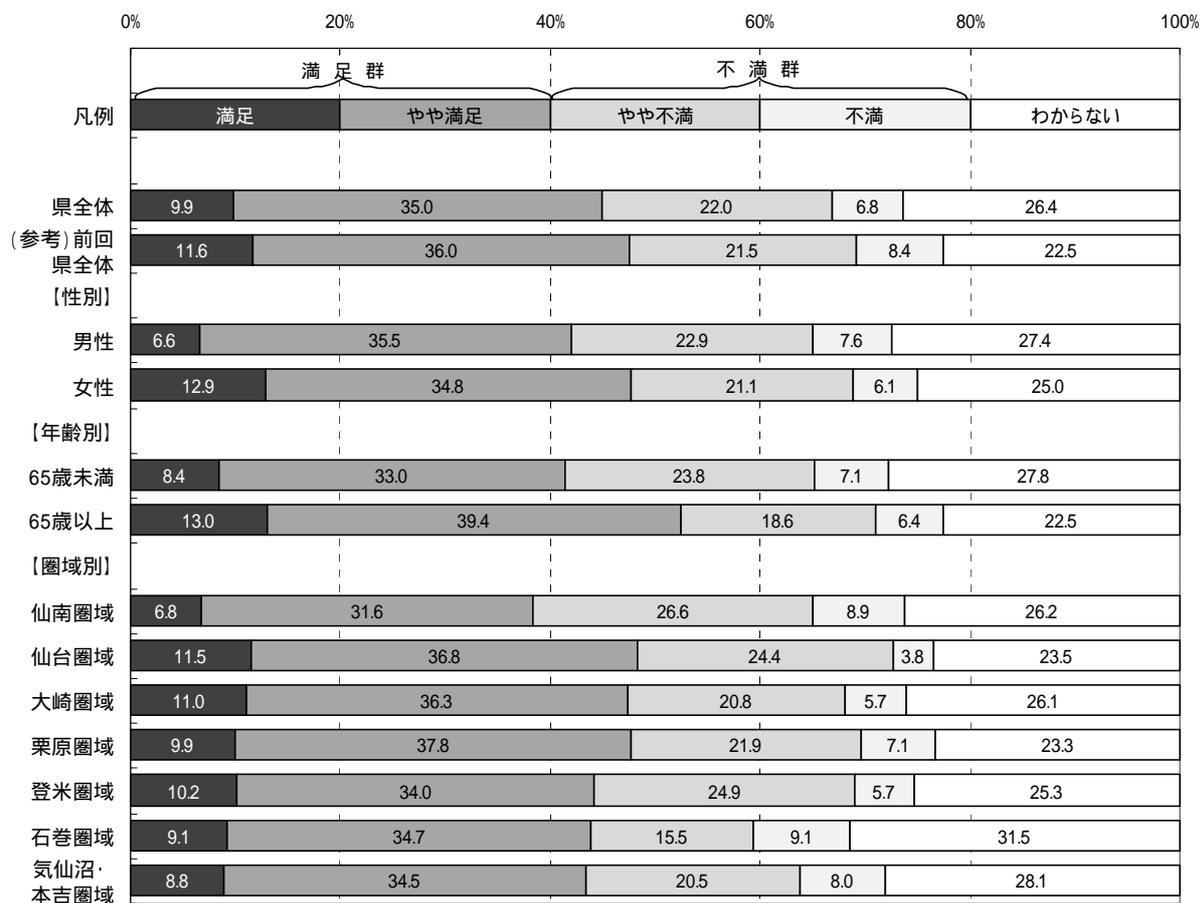
65歳以上の『満足群』は52.4%で、県全体より7.5ポイント高い。

圏域別

仙南圏域の『満足群』は38.4%で、県全体より6.5ポイント低い。

その他の圏域の『満足群』は、県全体との差が5.0ポイント以内に収まっている。

図2-2-14-4 取組14 満足度割合(属性別)



取組14「家庭・地域・学校の協働による
子どもの健全な育成」

表2-2-14-4 取組14 満足度集計(属性別)

		有 効					合計	欠 損 値	合 計
		満足	やや満足	やや不満	不満	わからない			
県全体	度数	179	634	398	123	478	1,812	132	1,944
	パーセント	9.9	35.0	22.0	6.8	26.4	100.0		
	「わからない」を 除くパーセント	13.4	47.5	29.8	9.2		100.0		
(参考) 前回 県全体	度数	198	615	368	143	385	1,709	133	1,842
	パーセント	11.6	36.0	21.5	8.4	22.5	100.0		
【性別】									
男性	度数	56	302	195	65	233	851	43	894
	パーセント	6.6	35.5	22.9	7.6	27.4	100.0		
女性	度数	119	320	194	56	230	919	72	991
	パーセント	12.9	34.8	21.1	6.1	25.0	100.0		
【年齢別】									
65歳未満	度数	98	386	278	83	325	1,170	44	1,214
	パーセント	8.4	33.0	23.8	7.1	27.8	100.0		
65歳以上	度数	77	233	110	38	133	591	73	664
	パーセント	13.0	39.4	18.6	6.4	22.5	100.0		
【圏域別】									
仙南圏域	度数	16	75	63	21	62	237	11	248
	パーセント	6.8	31.6	26.6	8.9	26.2	100.0		
仙台圏域	度数	27	86	57	9	55	234	15	249
	パーセント	11.5	36.8	24.4	3.8	23.5	100.0		
大崎圏域	度数	27	89	51	14	64	245	9	254
	パーセント	11.0	36.3	20.8	5.7	26.1	100.0		
栗原圏域	度数	28	107	62	20	66	283	22	305
	パーセント	9.9	37.8	21.9	7.1	23.3	100.0		
登米圏域	度数	27	90	66	15	67	265	14	279
	パーセント	10.2	34.0	24.9	5.7	25.3	100.0		
石巻圏域	度数	20	76	34	20	69	219	10	229
	パーセント	9.1	34.7	15.5	9.1	31.5	100.0		
気仙沼・本吉 圏域	度数	22	86	51	20	70	249	25	274
	パーセント	8.8	34.5	20.5	8.0	28.1	100.0		

【特に優先すべきと思う項目】

取組14に関し、目標とする宮城の姿を目指して、県が下記の項目の中で今後特に優先すべきと思う項目について調査した。(複数回答可)

- ア 家庭・地域・学校が協働して行う、子どもの基本的な生活習慣や学習習慣の定着に向けた運動
- イ 学校とNPOなどそれぞれの地域のさまざまな主体が協働して行う教育活動
- ウ 子どもの活動拠点作りや地域で子どもを教え育てる仕組みなど、家庭・地域・学校が協働して地域全体で子どもの教育を進めるための組織づくり
- エ 家庭・地域・学校が協働し、多くの住民が進んで参画しながら生み出す、子どものさまざまな学習・体験機会

(参考:目標とする宮城の姿)

家庭・地域・学校がそれぞれの役割をきちんと果たし協力することで、子どもたちが基本的な生活習慣や社会の中でたくましく生きる力を身につけています。
地域で活動するさまざまな団体が、学校活動、子育て、公民館事業などに関わり、横のつながりを生かした子どもにやさしい地域づくりが進められています。
家庭・地域・学校が協力して行う教育活動などが活発になり、社会性・人間性に富んだ子どもが育つ環境が整っています。

< 概要 >

県全体及び属性別(性別・年齢別・圏域別)の優先順位第1位から第3位までは以下のとおり。

	県全体	性別		年齢別	
		男性	女性	65歳未満	65歳以上
第1位:	ア(ア)	ア	ア	ア	ア
第2位:	ウ(ウ)	ウ	ウ	ウ	ウ
第3位:	エ(エ)	エ	エ	エ	エ

	圏域別						
	仙南	仙台	大崎	栗原	登米	石巻	気仙沼・本吉
第1位:	ア	ア	ア	ア	ア	ア	ア,ウ
第2位:	ウ	ウ	ウ	ウ	ウ	ウ	-
第3位:	エ	エ	エ	エ	エ	エ	エ

ア,ウ同率

属性別の優先順位が県全体と異なる場合、項目記号を網掛けしている。
()内は、前回の優先順位

取組14「家庭・地域・学校の協働による
子どもの健全な育成」

図2-2-14-5 取組14 特に優先すべきと思う項目回答数(県全体)

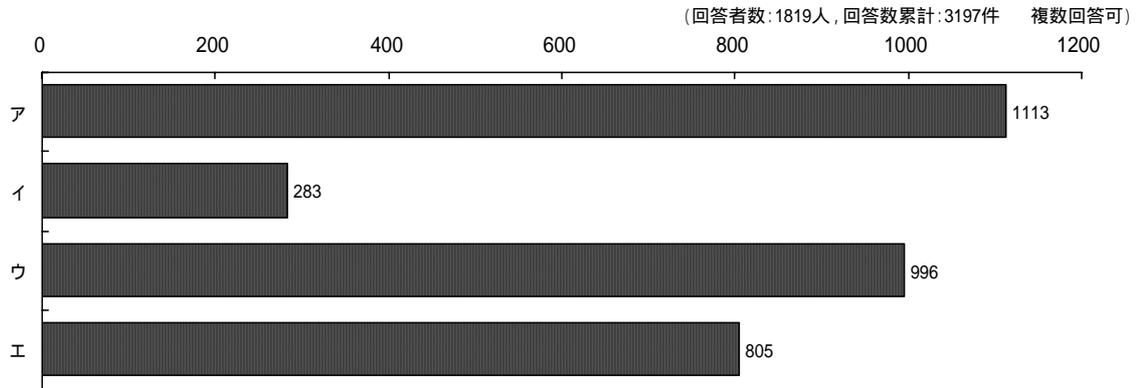
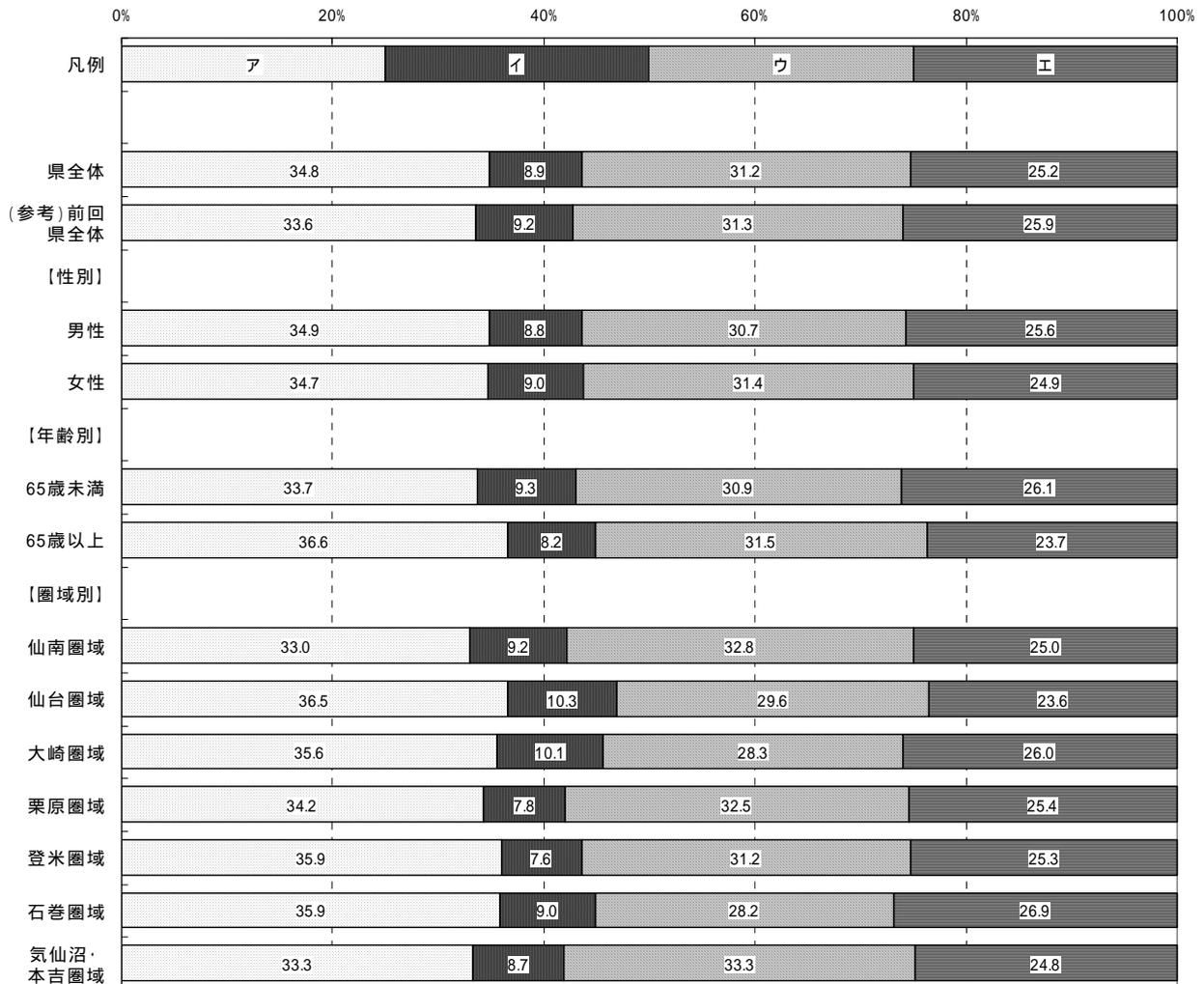


図2-2-14-6 取組14 特に優先すべきと思う項目割合(属性別)



本図は、回答数累計に占める各項目の回答数の割合を属性別に示したものです。

取組14「家庭・地域・学校の協働による
子どもの健全な育成」

取組 15 着実な学力向上と希望する進路の実現



取組概要

児童生徒の学習習慣と確かな学力の定着に向けた取組を推進し、児童生徒が希望する進路の実現と地域社会を支える人材の育成を目指します。

平成20年度の主な取組

小・中学生の学力向上のため、全国学力・学習状況調査結果の検証・分析を通して、教員の教科指導力を向上させ、家庭学習の習慣づくりを支援する取組を行っています。

高校生の学力向上のため、みやぎ学力状況調査による基礎学力の定着状況等の把握や、指導主事(学校教育等に関する専門職員)を派遣して教科の指導方法の改善に重点をおいた教員研修等を実施しています。

高校生の学力及び進学率向上のため、各地域に進学指導拠点校を指定し、指定校間の連携学習会、大学からの出前講座など高大連携を含む異校種間連携、生徒の学習記録簿の作成など、進学指導充実のための取組を支援しています。

就職を希望する高校3年生を対象に、就職ガイダンスやビジネスマナー講習、模擬面接指導など即効性のある支援を行っています。また、推進校を指定し、就職指導の系統的で組織的な方策の研究を支援しています。

【認知度】（県がこの取組を行っていたことについて、どのくらい知っているか）

< 概要 >

県全体

「知っている」「ある程度知っている」を合わせた『高認知群』は44.4%、
「あまり知らない」「知らない」を合わせた『低認知群』は55.7%である。

性別

男性の『高認知群』は43.1%で、県全体より1.3ポイント低い。

女性の『高認知群』は45.6%で、県全体より1.2ポイント高い。

年齢別

65歳未満の『高認知群』は43.9%で、県全体より0.5ポイント低い。

65歳以上の『高認知群』は45.7%で、県全体より1.3ポイント高い。

圏域別

石巻圏域の『高認知群』は50.9%で、県全体より6.5ポイント高い。

その他の圏域の『高認知群』は、県全体との差が5.0ポイント以内に収まっている。

図2-2-15-1 取組15 認知度割合(属性別)

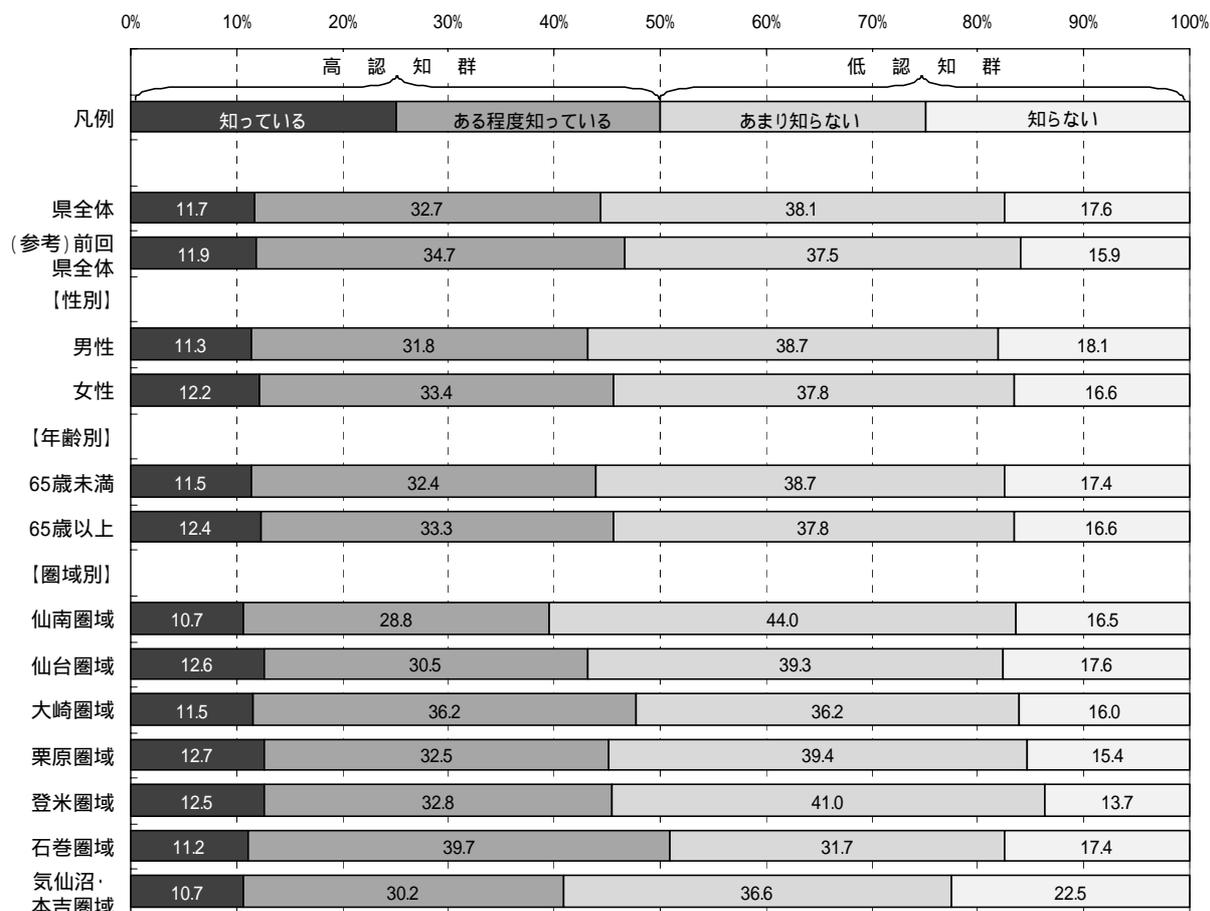


表2-2-15-1 取組15 認知度集計(属性別)

		有 効					欠 損 値	合 計
		知っている	ある程度 知っている	あまり 知らない	知らない	合計		
県全体	度数	218	609	709	327	1,863	81	1,944
	パーセント	11.7	32.7	38.1	17.6	100.0		
(参考)前回 県全体	度数	211	616	665	282	1,774	68	1,842
	パーセント	11.9	34.7	37.5	15.9	100.0		
【性別】								
男性	度数	99	278	338	158	873	21	894
	パーセント	11.3	31.8	38.7	18.1	100.0		
女性	度数	115	316	358	157	946	45	991
	パーセント	12.2	33.4	37.8	16.6	100.0		
【年齢別】								
65歳未満	度数	136	385	459	207	1,187	27	1,214
	パーセント	11.5	32.4	38.7	17.4	100.0		
65歳以上	度数	77	207	235	103	622	42	664
	パーセント	12.4	33.3	37.8	16.6	100.0		
【圏域別】								
仙南圏域	度数	26	70	107	40	243	5	248
	パーセント	10.7	28.8	44.0	16.5	100.0		
仙台圏域	度数	30	73	94	42	239	10	249
	パーセント	12.6	30.5	39.3	17.6	100.0		
大崎圏域	度数	28	88	88	39	243	11	254
	パーセント	11.5	36.2	36.2	16.0	100.0		
栗原圏域	度数	37	95	115	45	292	13	305
	パーセント	12.7	32.5	39.4	15.4	100.0		
登米圏域	度数	34	89	111	37	271	8	279
	パーセント	12.5	32.8	41.0	13.7	100.0		
石巻圏域	度数	25	89	71	39	224	5	229
	パーセント	11.2	39.7	31.7	17.4	100.0		
気仙沼・本吉 圏域	度数	28	79	96	59	262	12	274
	パーセント	10.7	30.2	36.6	22.5	100.0		

【関心度】（県が行ってきたこの取組の内容について、どのくらい関心があるか）

< 概要 >

県全体

「関心がある」「ある程度関心がある」を合わせた『高関心群』は71.9%、
「あまり関心がない」「関心がない」を合わせた『低関心群』は28.1%である。
また、前回の『高関心群』は78.0%で、今回は前回より6.1ポイント低い。

性別

男性の『高関心群』は71.0%で、県全体より0.9ポイント低い。

女性の『高関心群』は73.1%で、県全体より1.2ポイント高い。

年齢別

65歳未満の『高関心群』は73.2%で、県全体より1.3ポイント高い。

65歳以上の『高関心群』は70.3%で、県全体より1.6ポイント低い。

圏域別

各圏域の『高関心群』は、県全体との差が全て5.0ポイント以内に収まっている。

図2-2-15-2 取組15 関心度割合(属性別)

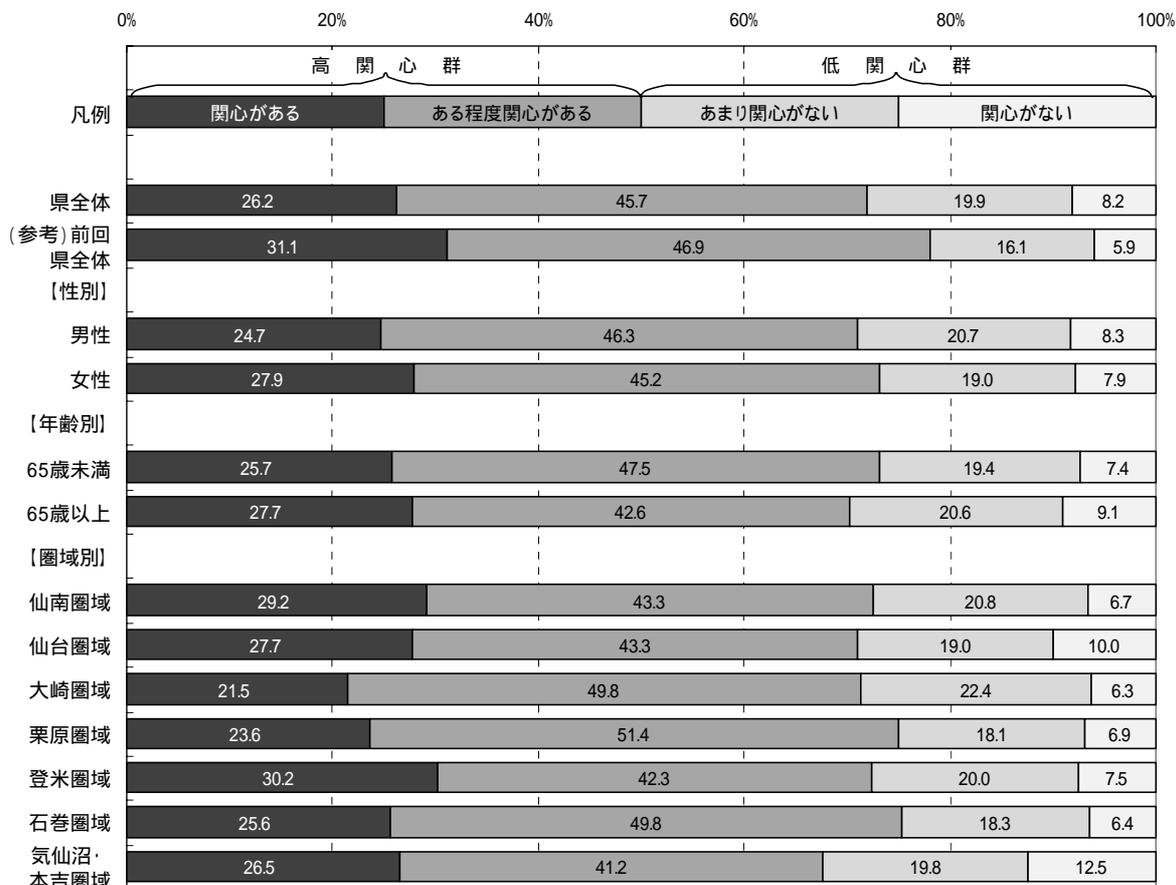


表2-2-15-2 取組15 関心度集計(属性別)

		有 効				合計	欠 損 値	合 計
		関心がある	ある程度 関心がある	あまり 関心がない	関心がない			
県全体	度数	478	833	363	149	1,823	121	1,944
	パーセント	26.2	45.7	19.9	8.2	100.0		
(参考) 前回 県全体	度数	537	809	277	102	1,725	117	1,842
	パーセント	31.1	46.9	16.1	5.9	100.0		
【性別】								
男性	度数	211	396	177	71	855	39	894
	パーセント	24.7	46.3	20.7	8.3	100.0		
女性	度数	258	419	176	73	926	65	991
	パーセント	27.9	45.2	19.0	7.9	100.0		
【年齢別】								
65歳未満	度数	302	558	228	87	1,175	39	1,214
	パーセント	25.7	47.5	19.4	7.4	100.0		
65歳以上	度数	165	254	123	54	596	68	664
	パーセント	27.7	42.6	20.6	9.1	100.0		
【圏域別】								
仙南圏域	度数	70	104	50	16	240	8	248
	パーセント	29.2	43.3	20.8	6.7	100.0		
仙台圏域	度数	64	100	44	23	231	18	249
	パーセント	27.7	43.3	19.0	10.0	100.0		
大崎圏域	度数	51	118	53	15	237	17	254
	パーセント	21.5	49.8	22.4	6.3	100.0		
栗原圏域	度数	68	148	52	20	288	17	305
	パーセント	23.6	51.4	18.1	6.9	100.0		
登米圏域	度数	80	112	53	20	265	14	279
	パーセント	30.2	42.3	20.0	7.5	100.0		
石巻圏域	度数	56	109	40	14	219	10	229
	パーセント	25.6	49.8	18.3	6.4	100.0		
気仙沼・本吉 圏域	度数	68	106	51	32	257	17	274
	パーセント	26.5	41.2	19.8	12.5	100.0		

【重視度】（県がこの取組を今後行っていくことが、どのくらい重要と考えるか）

< 概要 >

県全体

「重要」「やや重要」を合わせた『高重視群』は75.0%、「あまり重要ではない」「重要ではない」を合わせた『低重視群』は10.4%である。

なお、回答全体から「わからない」を除き集計した場合、『高重視群』が87.8%、『低重視群』は12.2%となる。

また、前回の『高重視群』は83.9%で、今回は前回より8.9ポイント低い。

性別

男性の『高重視群』は76.2%で、県全体より1.2ポイント高い。

女性の『高重視群』は74.6%で、県全体より0.4ポイント低い。

年齢別

65歳未満の『高重視群』は77.3%で、県全体より2.3ポイント高い。

65歳以上の『高重視群』は72.0%で、県全体より3.0ポイント低い。

圏域別

各圏域の『高重視群』は、県全体との差が全て5.0ポイント以内に収まっている。

図2-2-15-3 取組15 重視度割合(属性別)

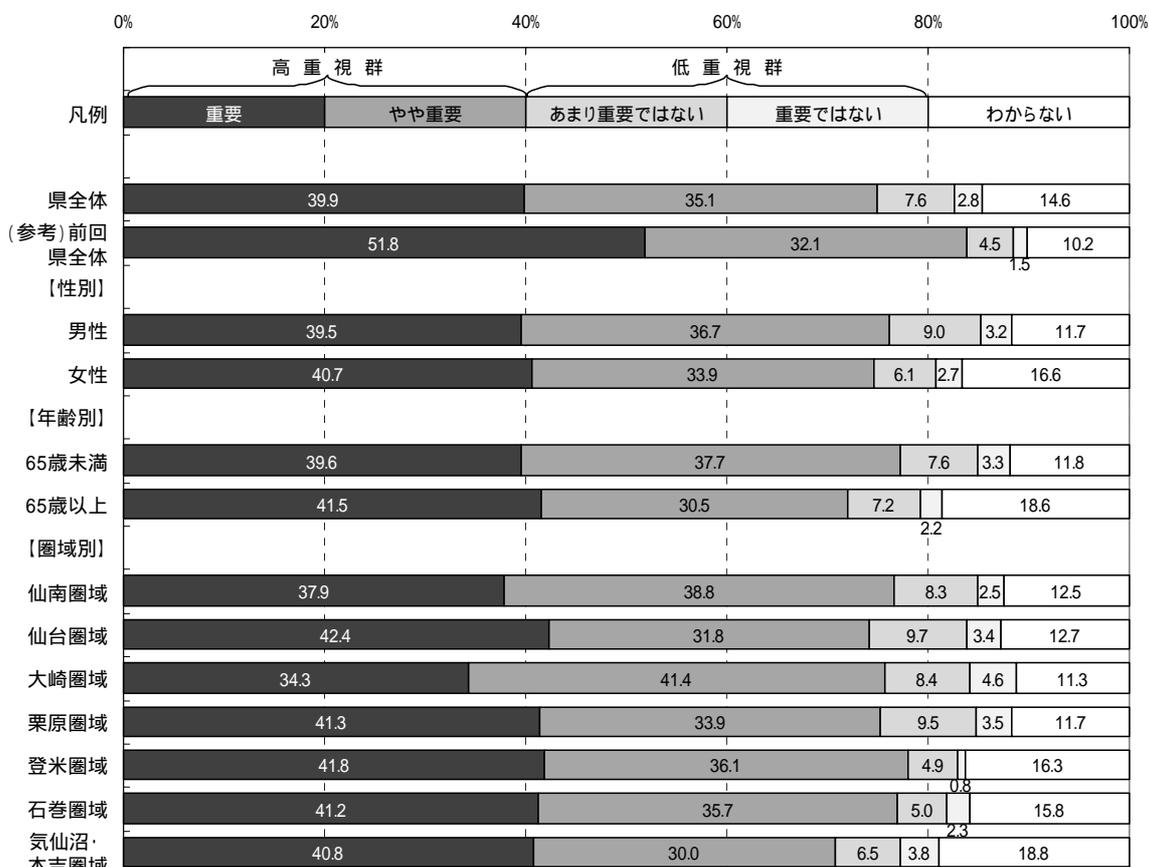


表2-2-15-3 取組15 重視度集計(属性別)

		有 効					合計	欠 損 値	合 計
		重要	やや重要	あまり重要 ではない	重要では ない	わからない			
県全体	度数	729	641	139	52	267	1,828	116	1,944
	パーセント	39.9	35.1	7.6	2.8	14.6	100.0		
	「わからない」を 除くパーセント	46.7	41.1	8.9	3.3		100.0		
(参考) 前回 県全体	度数	893	553	78	25	175	1,724	118	1,842
	パーセント	51.8	32.1	4.5	1.5	10.2	100.0		
【性別】									
男性	度数	338	314	77	27	100	856	38	894
	パーセント	39.5	36.7	9.0	3.2	11.7	100.0		
女性	度数	378	315	57	25	154	929	62	991
	パーセント	40.7	33.9	6.1	2.7	16.6	100.0		
【年齢別】									
65歳未満	度数	466	444	90	39	139	1,178	36	1,214
	パーセント	39.6	37.7	7.6	3.3	11.8	100.0		
65歳以上	度数	248	182	43	13	111	597	67	664
	パーセント	41.5	30.5	7.2	2.2	18.6	100.0		
【圏域別】									
仙南圏域	度数	91	93	20	6	30	240	8	248
	パーセント	37.9	38.8	8.3	2.5	12.5	100.0		
仙台圏域	度数	100	75	23	8	30	236	13	249
	パーセント	42.4	31.8	9.7	3.4	12.7	100.0		
大崎圏域	度数	82	99	20	11	27	239	15	254
	パーセント	34.3	41.4	8.4	4.6	11.3	100.0		
栗原圏域	度数	117	96	27	10	33	283	22	305
	パーセント	41.3	33.9	9.5	3.5	11.7	100.0		
登米圏域	度数	110	95	13	2	43	263	16	279
	パーセント	41.8	36.1	4.9	0.8	16.3	100.0		
石巻圏域	度数	91	79	11	5	35	221	8	229
	パーセント	41.2	35.7	5.0	2.3	15.8	100.0		
気仙沼・本吉 圏域	度数	106	78	17	10	49	260	14	274
	パーセント	40.8	30.0	6.5	3.8	18.8	100.0		

【満足度】（県が行ってきたこの取組について、どのくらい満足しているか）

< 概要 >

県全体

「満足」「やや満足」を合わせた『満足群』は36.8%、「やや不満」「不満」を合わせた『不満群』は31.0%である。

なお、回答全体から「わからない」を除き集計した場合、『満足群』が54.3%、『不満群』は45.7%となる。

性別

男性の『満足群』は36.4%で、県全体より0.4ポイント低い。

女性の『満足群』は37.5%で、県全体より0.7ポイント高い。

年齢別

65歳未満の『満足群』は32.9%で、県全体より3.9ポイント低い。

65歳以上の『満足群』は45.8%で、県全体より9.0ポイント高い。

圏域別

仙南圏域の『満足群』は31.1%で、県全体より5.7ポイント低い。

その他の圏域の『満足群』は、県全体との差が5.0ポイント以内に収まっている。

図2-2-15-4 取組15 満足度割合(属性別)

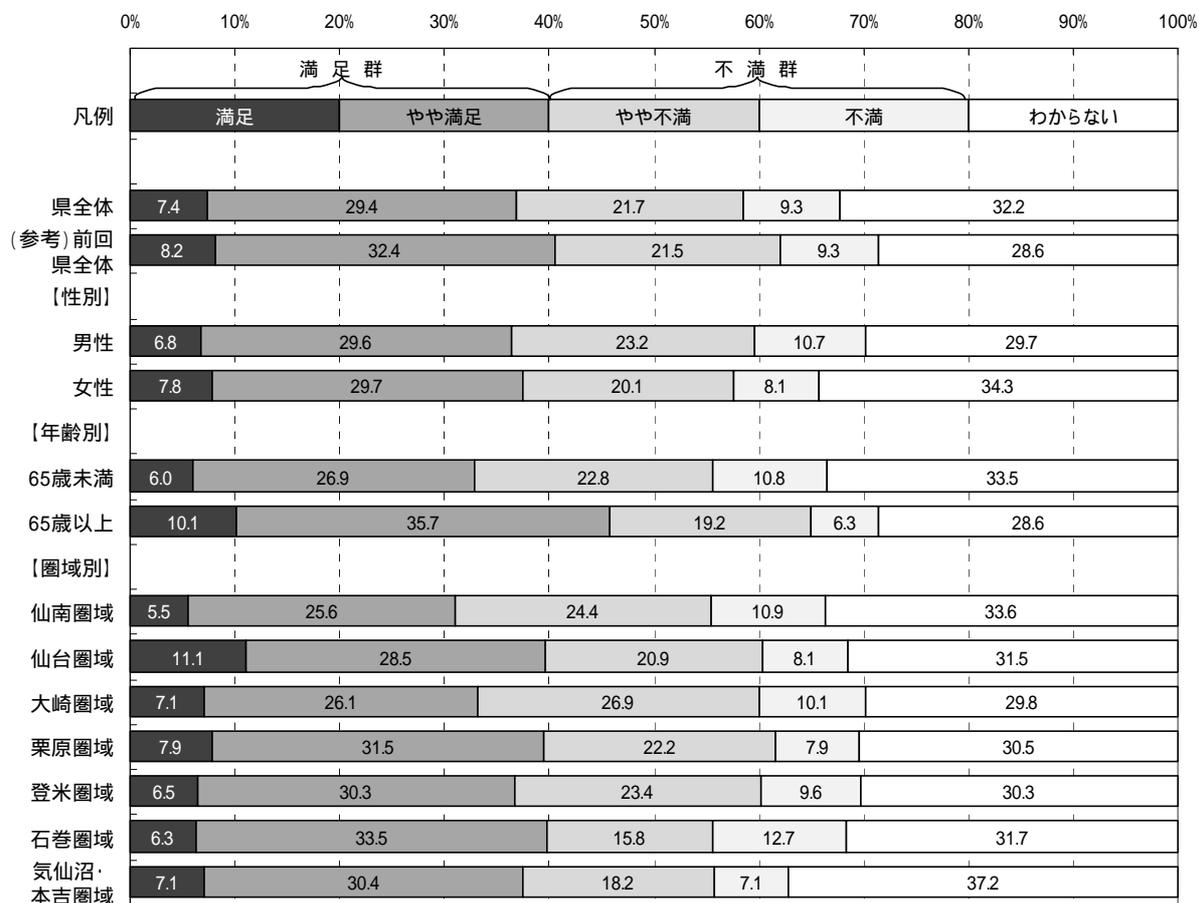


表2-2-15-4 取組15 満足度集計(属性別)

		有 効						欠 損 値	合 計
		満足	やや満足	やや不満	不満	わからない	合計		
県全体	度数	133	531	391	168	581	1,804	140	1,944
	パーセント	7.4	29.4	21.7	9.3	32.2	100.0		
	「わからない」を除くパーセント	10.9	43.4	32.0	13.7		100.0		
(参考) 前回 県全体	度数	140	552	366	159	487	1,704	138	1,842
	パーセント	8.2	32.4	21.5	9.3	28.6	100.0		
【性別】									
男性	度数	57	250	196	90	251	844	50	894
	パーセント	6.8	29.6	23.2	10.7	29.7	100.0		
女性	度数	72	274	185	75	316	922	69	991
	パーセント	7.8	29.7	20.1	8.1	34.3	100.0		
【年齢別】									
65歳未満	度数	70	315	267	127	393	1,172	42	1,214
	パーセント	6.0	26.9	22.8	10.8	33.5	100.0		
65歳以上	度数	59	208	112	37	167	583	81	664
	パーセント	10.1	35.7	19.2	6.3	28.6	100.0		
【圏域別】									
仙南圏域	度数	13	61	58	26	80	238	10	248
	パーセント	5.5	25.6	24.4	10.9	33.6	100.0		
仙台圏域	度数	26	67	49	19	74	235	14	249
	パーセント	11.1	28.5	20.9	8.1	31.5	100.0		
大崎圏域	度数	17	62	64	24	71	238	16	254
	パーセント	7.1	26.1	26.9	10.1	29.8	100.0		
栗原圏域	度数	22	88	62	22	85	279	26	305
	パーセント	7.9	31.5	22.2	7.9	30.5	100.0		
登米圏域	度数	17	79	61	25	79	261	18	279
	パーセント	6.5	30.3	23.4	9.6	30.3	100.0		
石巻圏域	度数	14	74	35	28	70	221	8	229
	パーセント	6.3	33.5	15.8	12.7	31.7	100.0		
気仙沼・本吉 圏域	度数	18	77	46	18	94	253	21	274
	パーセント	7.1	30.4	18.2	7.1	37.2	100.0		

【特に優先すべきと思う項目】

取組15に関し、目標とする宮城の姿を目指して、県が下記の項目の中で今後特に優先すべきと思う項目について調査した。(複数回答可)

- ア 家庭学習に関する啓発や自習環境の整備など、児童生徒の学習習慣づけの取組
- イ 子どもたちの理解が進むような授業ができるよう、教員の教科指導力を上げたり、小学校・中学校・高等学校が連携を強化する取組
- ウ 学習状況調査などによる子どもたちの学力定着状況の把握・分析・公開
- エ 子どもたちの進路選択能力を育てるための指導体制の充実と、教員が進路指導するための能力・技能の向上
- オ 地域の進学指導等の拠点となる高等学校での取組の充実とその成果の普及
- カ 産業界などと連携して行う、子どもたちの発達段階に応じた、一人一人の勤労観・職業観を育てる教育の充実
- キ 社会の変化に対応した教育
(情報通信技術を活用した教育・国際化に対応した教育・環境教育など)

(参考:目標とする宮城の姿)

子どもたちが自学自習の習慣を身につけ、意欲的に学習しています。また、授業がわかる子どもたちが増え、全国でも上位の学力が定着しています。
子どもたちが目的意識を持って学校生活や家庭生活を送り、進学や就職に必要な能力や勤労観・職業観を身につけています。
高校生の大学などへの現役進学達成率や就職決定率が全国平均を上回っています。
国際化や情報化など、社会状況の変化に対応した教育によって、地域社会を支える人材が生まれ出され、多方面で活躍しています。

< 概要 >

県全体及び属性別(性別・年齢別・圏域別)の優先順位第1位から第3位までは以下のとおり。

	県全体	性別		年齢別	
		男性	女性	65歳未満	65歳以上
第1位:	イ(イ)	イ	イ	イ	イ
第2位:	エ(エ)	エ	エ	エ	エ
第3位:	カ(カ)	カ	カ	カ	ア

	圏域別						
	仙南	仙台	大崎	栗原	登米	石巻	気仙沼・本吉
第1位:	イ	イ	イ	イ	イ	イ	イ
第2位:	エ	エ	カ	エ	エ	エ	エ
第3位:	キ	ア	エ	カ	カ	キ	キ

属性別の優先順位が県全体と異なる場合、項目記号を網掛けしている。
()内は、前回の優先順位

図2-2-15-5 取組15 特に優先すべきと思う項目回答数(県全体)

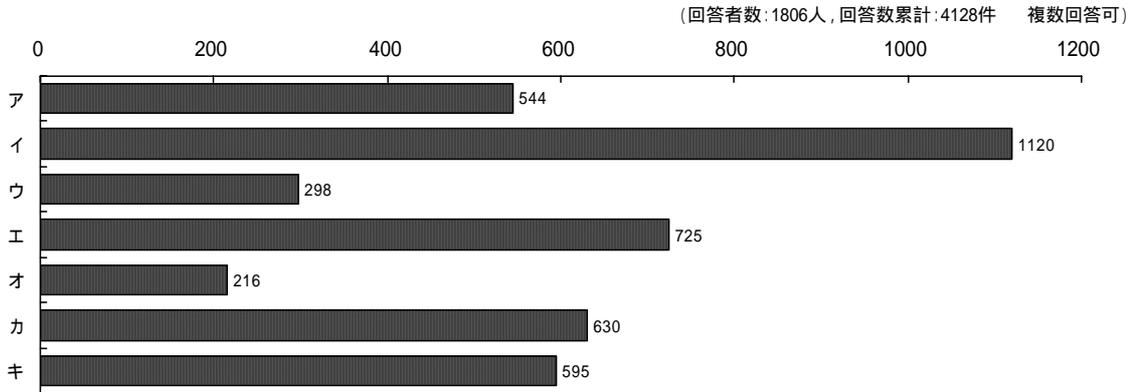
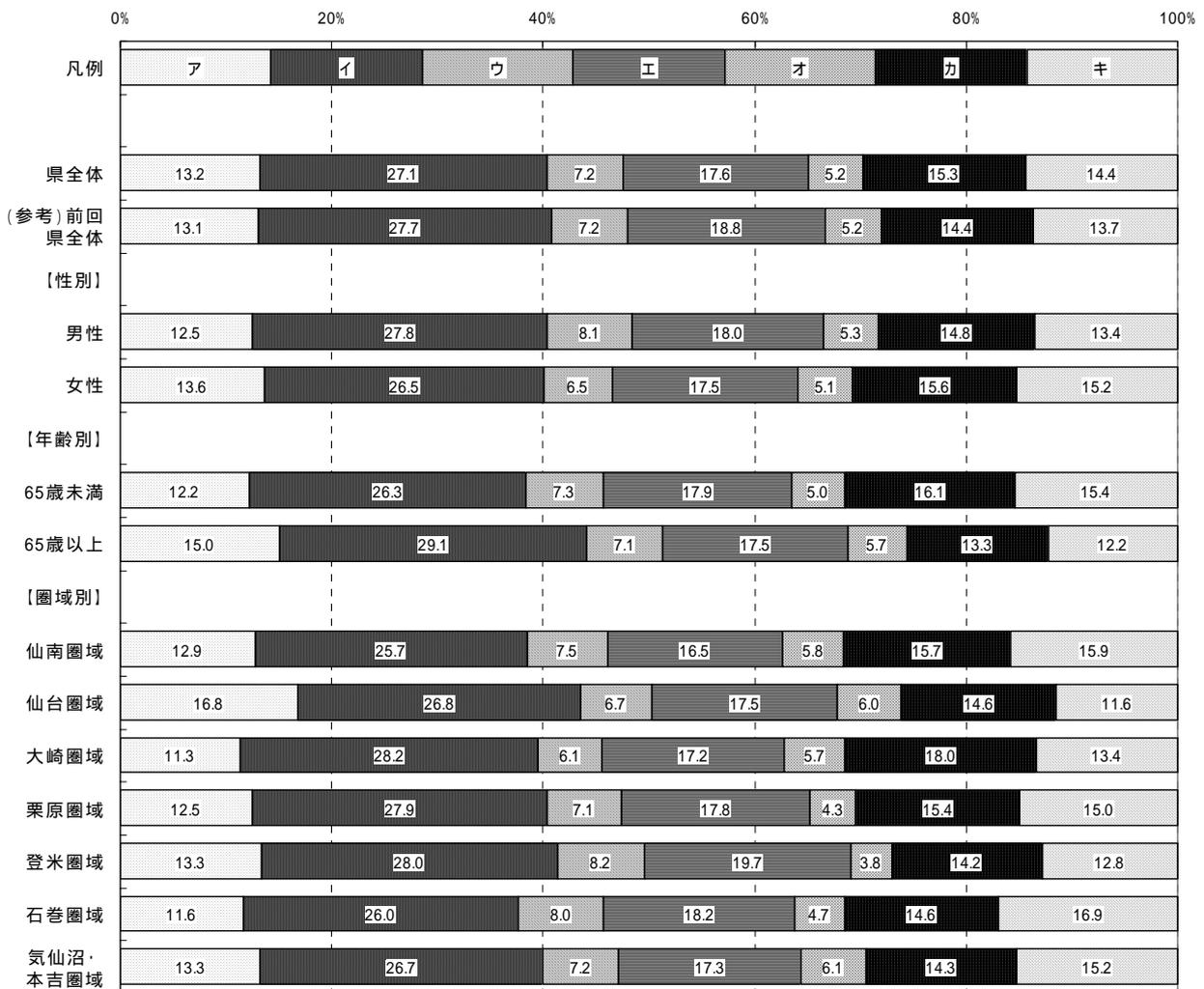


図2-2-15-6 取組15 特に優先すべきと思う項目割合(属性別)



本図は、回答数累計に占める各項目の回答数の割合を属性別に示したものです。

取組15「着実な学力向上と希望する進路の実現」

取組 16 豊かな心と健やかな体の育成



取組概要

いじめや不登校の未然防止，早期発見，早期解消を進め，児童生徒の豊かな人間性をはぐくむための心の教育の充実，子どもの体力・運動能力向上を目指します。

平成 20 年度の主な取組

各学校では心の教育の充実により，児童生徒の思いやりや命を大切にする心など豊かな人間性の育成を目指す一方，多様な相談・支援体制の整備拡充を行うことで，児童生徒のいじめ・不登校等の未然防止及び早期解決を図っています。

県内公立中学校の全1年生を対象に，思いやりの心や公共心，勤労観，自己達成感等の育成や，将来にわたり社会の中で生きていく力を育むため，奉仕体験や福祉体験，援農をはじめとする産業現場での支援，地域づくり活動への参加等に取り組んでいます。

他人を信頼し，思いやる心を育てる体験学習法であるアドベンチャープログラムを，学校教育の中で展開するための指導者の育成や研修，事例研究等を進めています。

児童生徒の問題行動（不登校，いじめ等）未然防止及び早期解決のため，全公立中学校と全県立高等学校にスクールカウンセラーを配置し，児童・生徒，保護者，教職員等の相談に応じ，悩み等の解消を図っています。

県教育研修センターで，臨床心理士・精神科医等が児童生徒や保護者が抱えるいじめ，不登校，非行等のさまざまな問題について，電話や面接による教育相談を行っています。

【認知度】 (県がこの取組を行っていたことについて、どのくらい知っているか)

< 概要 >

県全体

「知っている」「ある程度知っている」を合わせた『高認知群』は49.0%、
「あまり知らない」「知らない」を合わせた『低認知群』は50.9%である。

性別

男性の『高認知群』は46.2%で、県全体より2.8ポイント低い。

女性の『高認知群』は52.1%で、県全体より3.1ポイント高い。

年齢別

65歳未満の『高認知群』は47.4%で、県全体より1.6ポイント低い。

65歳以上の『高認知群』は53.5%で、県全体より4.5ポイント高い。

圏域別

各圏域の『高認知群』は、県全体との差が全て5.0ポイント以内に収まっている。

図2-2-16-1 取組16 認知度割合(属性別)

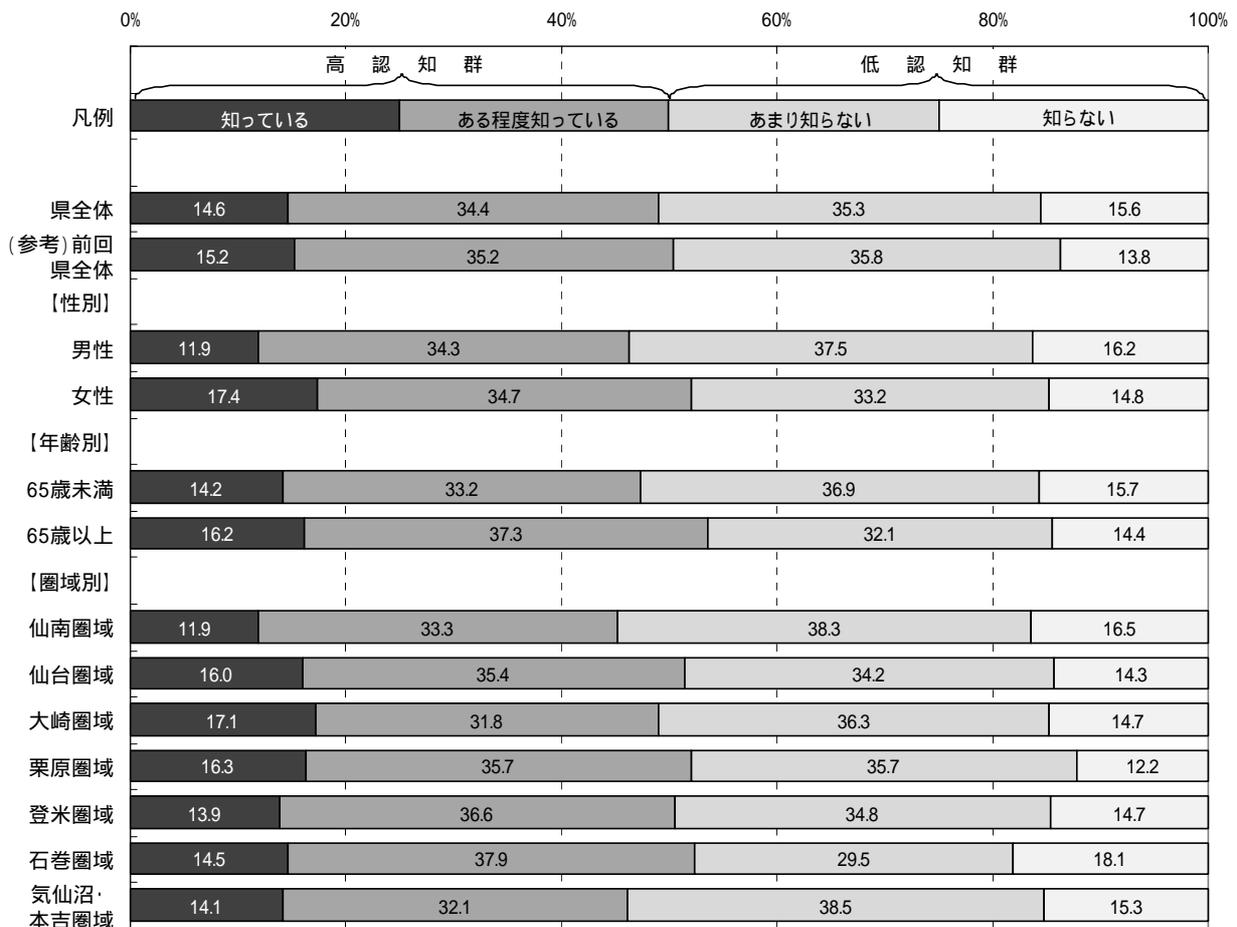


表2-2-16-1 取組16 認知度集計(属性別)

		有 効				合計	欠 損 値	合 計
		知っている	ある程度 知っている	あまり 知らない	知らない			
県全体	度数	274	645	662	292	1,873	71	1,944
	パーセント	14.6	34.4	35.3	15.6	100.0		
(参考) 前回 県全体	度数	268	620	630	242	1,760	82	1,842
	パーセント	15.2	35.2	35.8	13.8	100.0		
【性別】								
男性	度数	104	300	328	142	874	20	894
	パーセント	11.9	34.3	37.5	16.2	100.0		
女性	度数	166	331	317	141	955	36	991
	パーセント	17.4	34.7	33.2	14.8	100.0		
【年齢別】								
65歳未満	度数	169	397	440	188	1,194	20	1,214
	パーセント	14.2	33.2	36.9	15.7	100.0		
65歳以上	度数	101	233	200	90	624	40	664
	パーセント	16.2	37.3	32.1	14.4	100.0		
【圏域別】								
仙南圏域	度数	29	81	93	40	243	5	248
	パーセント	11.9	33.3	38.3	16.5	100.0		
仙台圏域	度数	38	84	81	34	237	12	249
	パーセント	16.0	35.4	34.2	14.3	100.0		
大崎圏域	度数	42	78	89	36	245	9	254
	パーセント	17.1	31.8	36.3	14.7	100.0		
栗原圏域	度数	48	105	105	36	294	11	305
	パーセント	16.3	35.7	35.7	12.2	100.0		
登米圏域	度数	38	100	95	40	273	6	279
	パーセント	13.9	36.6	34.8	14.7	100.0		
石巻圏域	度数	33	86	67	41	227	2	229
	パーセント	14.5	37.9	29.5	18.1	100.0		
気仙沼・本吉 圏域	度数	37	84	101	40	262	12	274
	パーセント	14.1	32.1	38.5	15.3	100.0		

【関心度】 (県が行ってきたこの取組の内容について、どのくらい関心があるか)

< 概要 >

県全体

「関心がある」「ある程度関心がある」を合わせた『高関心群』は81.8%、
「あまり関心がない」「関心がない」を合わせた『低関心群』は18.3%である。

性別

男性の『高関心群』は79.8%で、県全体より2.0ポイント低い。

女性の『高関心群』は83.6%で、県全体より1.8ポイント高い。

年齢別

65歳未満の『高関心群』は82.3%で、県全体より0.5ポイント高い。

65歳以上の『高関心群』は81.0%で、県全体より0.8ポイント低い。

圏域別

気仙沼・本吉圏域の『高関心群』は75.7%で、県全体より6.1ポイント低い。

その他の圏域の『高関心群』は、県全体との差が5.0ポイント以内に収まっている。

図2-2-16-2 取組16 関心度割合(属性別)

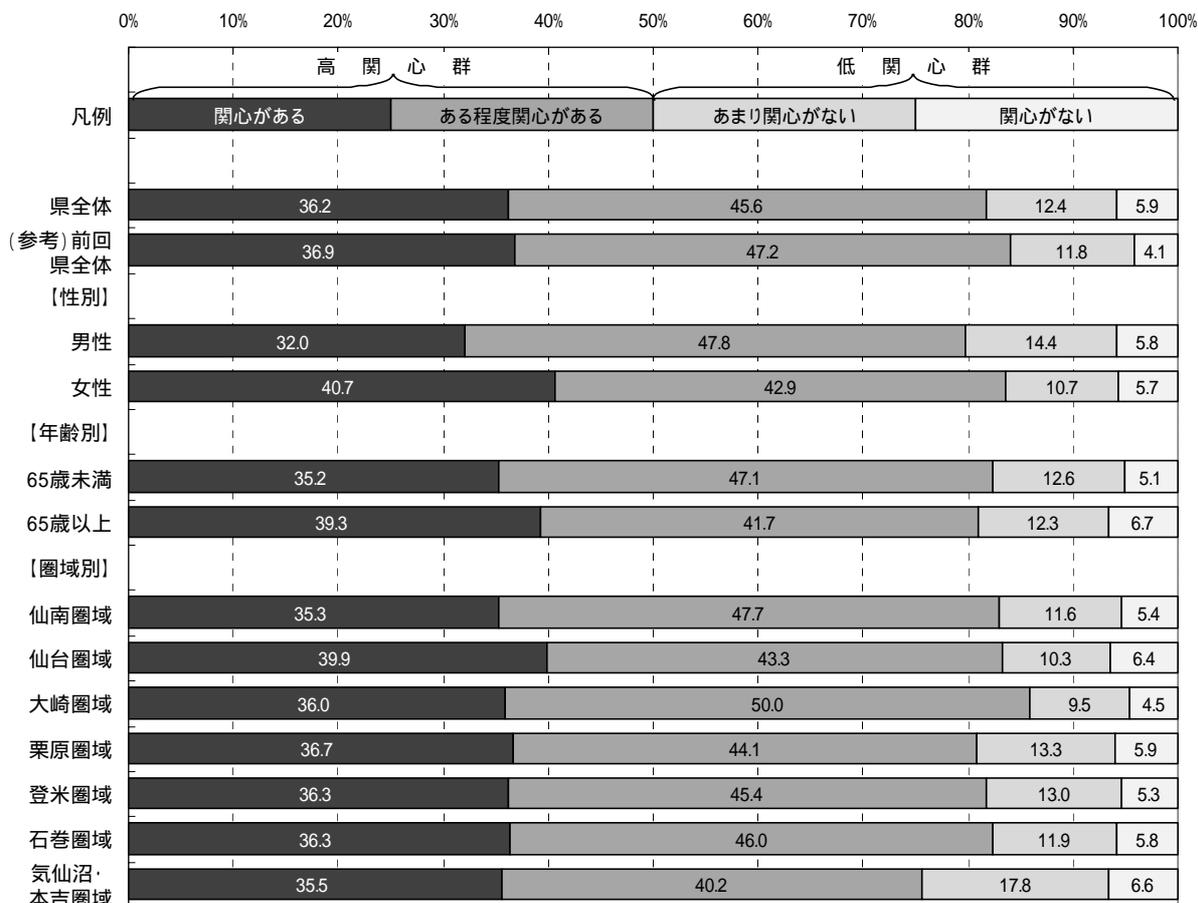


表2-2-16-2 取組16 関心度集計(属性別)

		有 効				合計	欠 損 値	合 計
		関心がある	ある程度 関心がある	あまり 関心がない	関心がない			
県全体	度数	663	835	227	108	1,833	111	1,944
	パーセント	36.2	45.6	12.4	5.9	100.0		
(参考) 前回 県全体	度数	633	811	203	70	1,717	125	1,842
	パーセント	36.9	47.2	11.8	4.1	100.0		
【性別】								
男性	度数	274	409	123	50	856	38	894
	パーセント	32.0	47.8	14.4	5.8	100.0		
女性	度数	380	401	100	53	934	57	991
	パーセント	40.7	42.9	10.7	5.7	100.0		
【年齢別】								
65歳未満	度数	417	557	149	60	1,183	31	1,214
	パーセント	35.2	47.1	12.6	5.1	100.0		
65歳以上	度数	236	250	74	40	600	64	664
	パーセント	39.3	41.7	12.3	6.7	100.0		
【圏域別】								
仙南圏域	度数	85	115	28	13	241	7	248
	パーセント	35.3	47.7	11.6	5.4	100.0		
仙台圏域	度数	93	101	24	15	233	16	249
	パーセント	39.9	43.3	10.3	6.4	100.0		
大崎圏域	度数	87	121	23	11	242	12	254
	パーセント	36.0	50.0	9.5	4.5	100.0		
栗原圏域	度数	105	126	38	17	286	19	305
	パーセント	36.7	44.1	13.3	5.9	100.0		
登米圏域	度数	95	119	34	14	262	17	279
	パーセント	36.3	45.4	13.0	5.3	100.0		
石巻圏域	度数	82	104	27	13	226	3	229
	パーセント	36.3	46.0	11.9	5.8	100.0		
気仙沼・本吉 圏域	度数	92	104	46	17	259	15	274
	パーセント	35.5	40.2	17.8	6.6	100.0		

【重視度】（県がこの取組を今後行っていくことが、どのくらい重要と考えるか）

< 概要 >

県全体

「重要」「やや重要」を合わせた『高重視群』は81.6%、「あまり重要ではない」「重要ではない」を合わせた『低重視群』は7.3%である。

なお、回答全体から「わからない」を除き集計した場合、『高重視群』が91.8%、『低重視群』は8.3%となる。

性別

男性の『高重視群』は81.4%で、県全体より0.2ポイント低い。

女性の『高重視群』は82.1%で、県全体より0.5ポイント高い。

年齢別

65歳未満の『高重視群』は83.1%で、県全体より1.5ポイント高い。

65歳以上の『高重視群』は79.3%で、県全体より2.3ポイント低い。

圏域別

気仙沼・本吉圏域の『高重視群』は、72.0%で、県全体より9.6ポイント低い。

その他の圏域の『高重視群』は、県全体との差が5.0ポイント以内に収まっている。

図2-2-16-3 取組16 重視度割合(属性別)

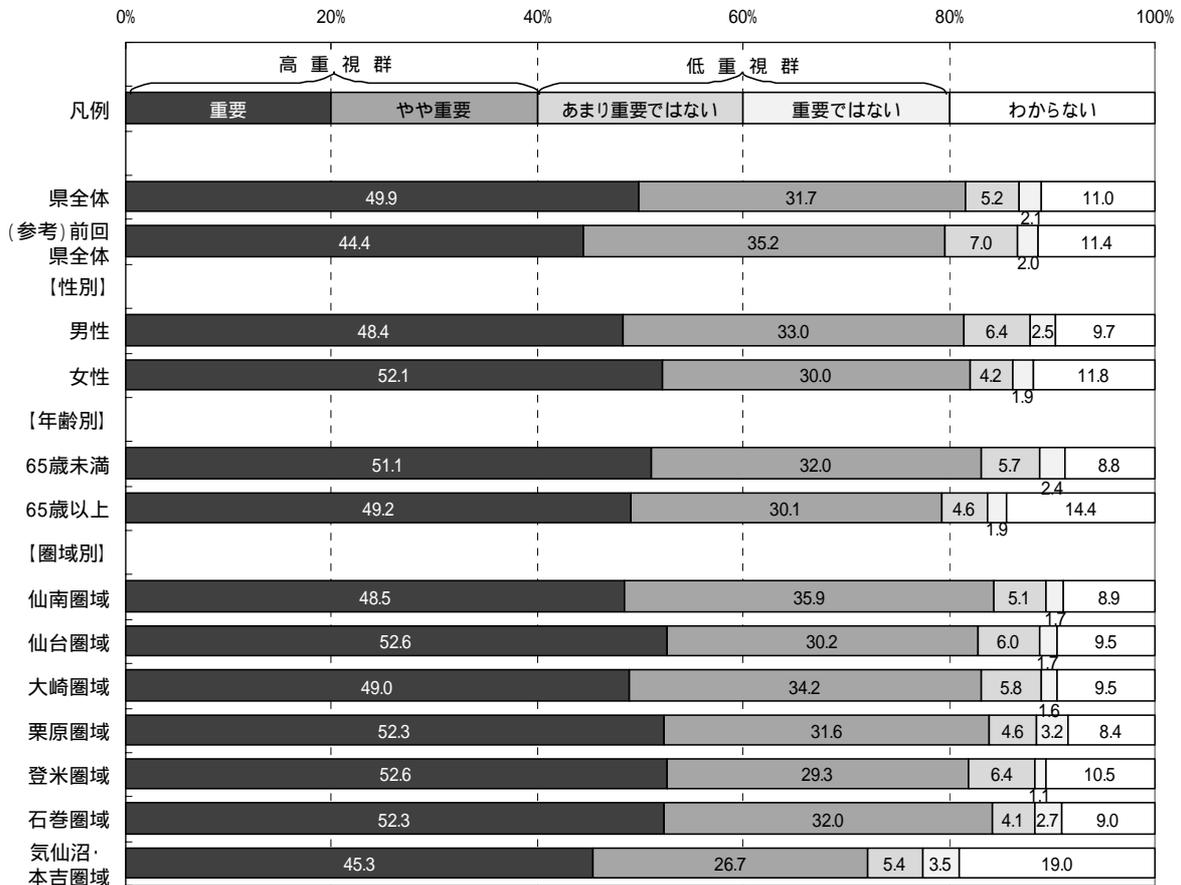


表2-2-16-3 取組16 重視度集計(属性別)

		有 効					合計	欠 損 値	合 計
		重要	やや重要	あまり重要 ではない	重要では ない	わからない			
県全体	度数	910	579	95	39	201	1,824	120	1,944
	パーセント	49.9	31.7	5.2	2.1	11.0	100.0		
	「わからない」を 除くパーセント	56.1	35.7	5.9	2.4		100.0		
(参考) 前回 県全体	度数	768	608	121	34	197	1,728	114	1,842
	パーセント	44.4	35.2	7.0	2.0	11.4	100.0		
【性別】									
男性	度数	413	282	55	21	83	854	40	894
	パーセント	48.4	33.0	6.4	2.5	9.7	100.0		
女性	度数	485	279	39	18	110	931	60	991
	パーセント	52.1	30.0	4.2	1.9	11.8	100.0		
【年齢別】									
65歳未満	度数	605	379	68	28	104	1,184	30	1,214
	パーセント	51.1	32.0	5.7	2.4	8.8	100.0		
65歳以上	度数	291	178	27	11	85	592	72	664
	パーセント	49.2	30.1	4.6	1.9	14.4	100.0		
【圏域別】									
仙南圏域	度数	115	85	12	4	21	237	11	248
	パーセント	48.5	35.9	5.1	1.7	8.9	100.0		
仙台圏域	度数	122	70	14	4	22	232	17	249
	パーセント	52.6	30.2	6.0	1.7	9.5	100.0		
大崎圏域	度数	119	83	14	4	23	243	11	254
	パーセント	49.0	34.2	5.8	1.6	9.5	100.0		
栗原圏域	度数	149	90	13	9	24	285	20	305
	パーセント	52.3	31.6	4.6	3.2	8.4	100.0		
登米圏域	度数	140	78	17	3	28	266	13	279
	パーセント	52.6	29.3	6.4	1.1	10.5	100.0		
石巻圏域	度数	116	71	9	6	20	222	7	229
	パーセント	52.3	32.0	4.1	2.7	9.0	100.0		
気仙沼・本吉 圏域	度数	117	69	14	9	49	258	16	274
	パーセント	45.3	26.7	5.4	3.5	19.0	100.0		

【満足度】（県が行ってきたこの取組について、どのくらい満足しているか）

< 概要 >

県全体

「満足」「やや満足」を合わせた『満足群』は39.5%、「やや不満」「不満」を合わせた『不満群』は31.1%である。

なお、回答全体から「わからない」を除き集計した場合、『満足群』が56.0%、『不満群』は44.0%となる。

性別

男性の『満足群』は38.1%で、県全体より1.4ポイント低い。

女性の『満足群』は41.1%で、県全体より1.6ポイント高い。

年齢別

65歳未満の『満足群』は36.1%で、県全体より3.4ポイント低い。

65歳以上の『満足群』は47.3%で、県全体より7.8ポイント高い。

圏域別

仙南圏域の『満足群』は34.1%で、県全体より5.4ポイント低い。

仙台圏域の『満足群』は47.0%で、県全体より7.5ポイント高い。

その他の圏域の『満足群』は、県全体との差が5.0ポイント以内に収まっている。

図2-2-16-4 取組16 満足度割合(属性別)

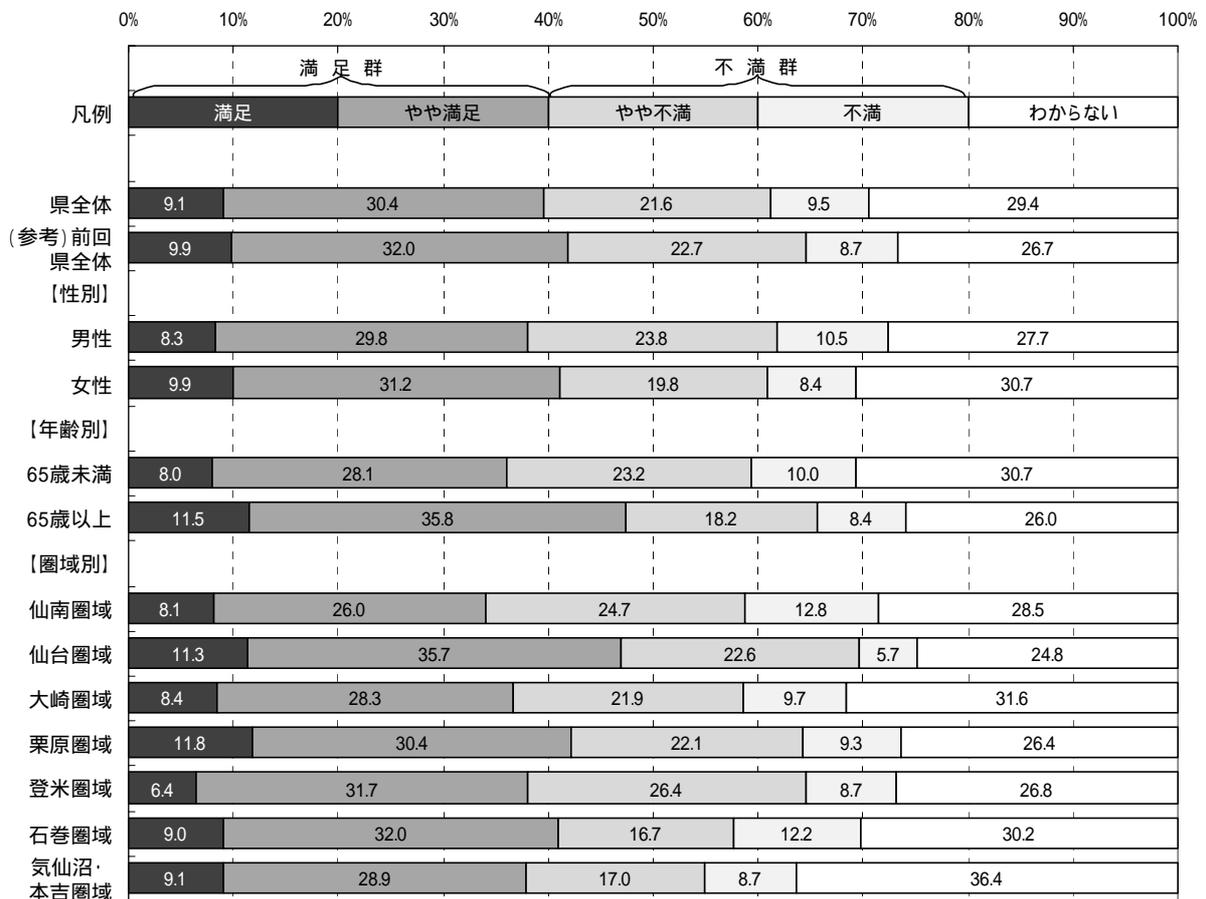


表2-2-16-4 取組16 満足度集計(属性別)

		有 効						欠 損 値	合 計
		満足	やや満足	やや不満	不満	わからない	合計		
県全体	度数	164	548	389	171	529	1,801	143	1,944
	パーセント	9.1	30.4	21.6	9.5	29.4	100.0		
	「わからない」を除くパーセント	12.9	43.1	30.6	13.4		100.0		
(参考) 前回 県全体	度数	168	544	386	148	453	1,699	143	1,842
	パーセント	9.9	32.0	22.7	8.7	26.7	100.0		
【性別】									
男性	度数	70	252	201	89	234	846	48	894
	パーセント	8.3	29.8	23.8	10.5	27.7	100.0		
女性	度数	91	286	182	77	282	918	73	991
	パーセント	9.9	31.2	19.8	8.4	30.7	100.0		
【年齢別】									
65歳未満	度数	94	329	272	117	360	1,172	42	1,214
	パーセント	8.0	28.1	23.2	10.0	30.7	100.0		
65歳以上	度数	67	208	106	49	151	581	83	664
	パーセント	11.5	35.8	18.2	8.4	26.0	100.0		
【圏域別】									
仙南圏域	度数	19	61	58	30	67	235	13	248
	パーセント	8.1	26.0	24.7	12.8	28.5	100.0		
仙台圏域	度数	26	82	52	13	57	230	19	249
	パーセント	11.3	35.7	22.6	5.7	24.8	100.0		
大崎圏域	度数	20	67	52	23	75	237	17	254
	パーセント	8.4	28.3	21.9	9.7	31.6	100.0		
栗原圏域	度数	33	85	62	26	74	280	25	305
	パーセント	11.8	30.4	22.1	9.3	26.4	100.0		
登米圏域	度数	17	84	70	23	71	265	14	279
	パーセント	6.4	31.7	26.4	8.7	26.8	100.0		
石巻圏域	度数	20	71	37	27	67	222	7	229
	パーセント	9.0	32.0	16.7	12.2	30.2	100.0		
気仙沼・本吉 圏域	度数	23	73	43	22	92	253	21	274
	パーセント	9.1	28.9	17.0	8.7	36.4	100.0		

【特に優先すべきと思う項目】

取組16に関し、目標とする宮城の姿を目指して、県が下記の項目の中で今後特に優先すべきと思う項目について調査した。(複数回答可)

ア	さまざまな社会体験や自然体験など、体験活動の充実や学校教育活動全般を通じた心の教育に関する取組
イ	家庭・地域とが連携して行う、基本的な生活習慣を身につけることの大切さの普及啓発
ウ	みやぎアドベンチャープログラムの活用など、子どもたちの豊かな人間関係づくりのための取組
エ	スクールカウンセラー・相談員などの学校への配置、専門家・関係機関とが連携して行う教育相談体制の充実と不登校児童生徒への支援
オ	小学校・中学校・高等学校までの体力・運動能力調査の継続的な実施など、子どもの体力・運動能力向上のための取組

(参考:目標とする宮城の姿)

学校生活などを通じて、子どもたちに道徳的な心情や生命を大切に作る心、他を思いやる心が育っています。また、将来の自立の基礎となる基本的な生活習慣や規律意識などが身につく、社会の一員としての自覚を持てるようになっていきます。

心の教育に関する活動や、きめ細かな教育相談ができる環境づくりが進み、いじめや不登校などが大幅に減少しています。

子どもたちが進んで運動・スポーツに親しんでいます。また、体格とともに体力・運動能力も上がり、全国平均を上回っています。

< 概要 >

県全体及び属性別(性別・年齢別・圏域別)の優先順位第1位から第3位までは以下のとおり。

	県全体	性別		年齢別	
		男性	女性	65歳未満	65歳以上
第1位:	ア(ア)	ア	ア	ア	イ
第2位:	イ(イ)	イ	イ	イ	ア
第3位:	オ(オ)	オ	オ	オ	オ

	圏域別						
	仙南	仙台	大崎	栗原	登米	石巻	気仙沼・本吉
第1位:	ア	ア	ア	イ	ア	ア	ア
第2位:	オ	イ	イ	ア	イ	オ	イ
第3位:	イ	エ	オ	オ	オ	イ	オ

属性別の優先順位が県全体と異なる場合、項目記号を網掛けしている。
()内は、前回の優先順位

図2-2-16-5 取組16 特に優先すべきと思う項目回答数(県全体)

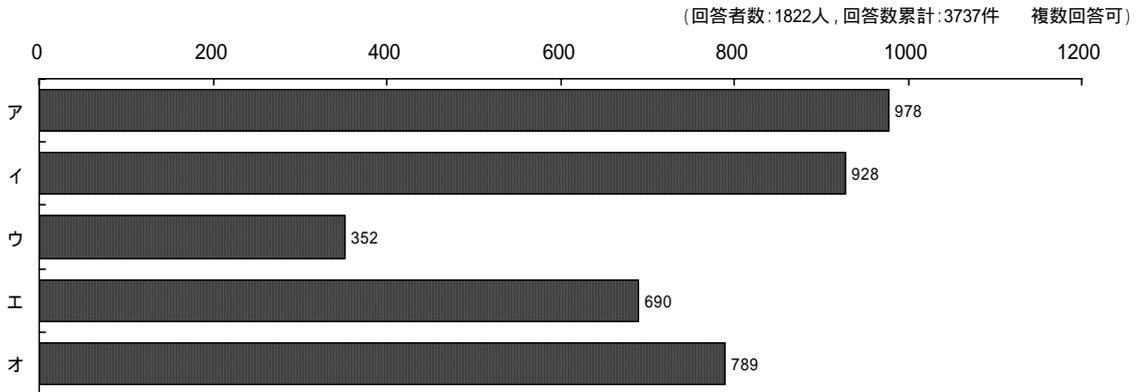
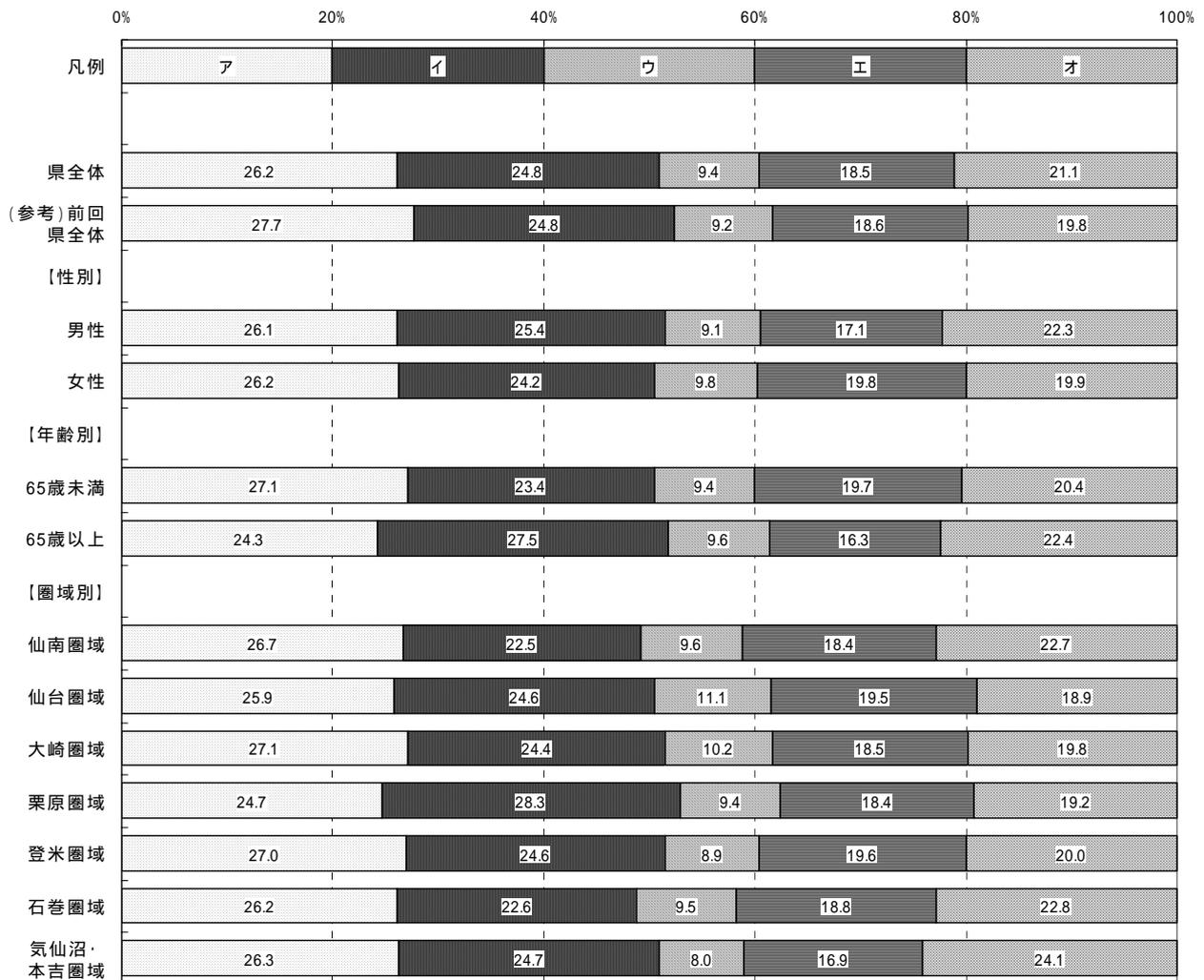


図2-2-16-6 取組16 特に優先すべきと思う項目割合(属性別)



本図は、回答数累計に占める各項目の回答数の割合を属性別に示したものです。

取組16「豊かな心と健やかな体の育成」

取組 17 児童生徒や地域のニーズに応じた特色ある教育環境づくり



取組概要

児童生徒や保護者などの多様なニーズに応じた魅力ある学校づくり，地域から信頼される学校づくり，特別支援教育の充実，教員の資質向上，学校の耐震化など児童生徒が安心して学校生活を送れる教育環境づくりを目指します。

平成20年度の主な取組

生徒の興味・関心や進路意識等の多様化，今後の生徒数減少に対応するため，県立高校の再編統合や特色ある学科の設置，男女共学化を進めています。

学校評価の結果を公表したり，授業公開日を設けるなど，信頼される学校づくりに取り組んでいます。

障害のある子どもも障害のない子どもも，共に学ぶことができるような教育を進めるため，モデル的な取組や特別支援学校の子どもたちが地域の学校で学習する取組を行っています。

教育現場に専門的知識・技能を持つ優れた社会人を積極的に迎え入れ，学校教育の多様化に対応するとともに，教育活動の活性化を図っています。

【認知度】 (県がこの取組を行っていたことについて、どのくらい知っているか)

< 概要 >

県全体

「知っている」「ある程度知っている」を合わせた『高認知群』は55.0%、
「あまり知らない」「知らない」を合わせた『低認知群』は45.0%である。

性別

男性の『高認知群』は55.7%で、県全体より0.7ポイント高い。

女性の『高認知群』は54.5%で、県全体より0.5ポイント低い。

年齢別

65歳未満の『高認知群』は53.8%で、県全体より1.2ポイント低い。

65歳以上の『高認知群』は58.0%で、県全体より3.0ポイント高い。

圏域別

石巻圏域の『高認知群』は61.6%で、県全体より6.6ポイント高い。

その他の圏域の『高認知群』は、県全体との差が5.0ポイント以内に収まっている。

図2-2-17-1 取組17 認知度割合(属性別)

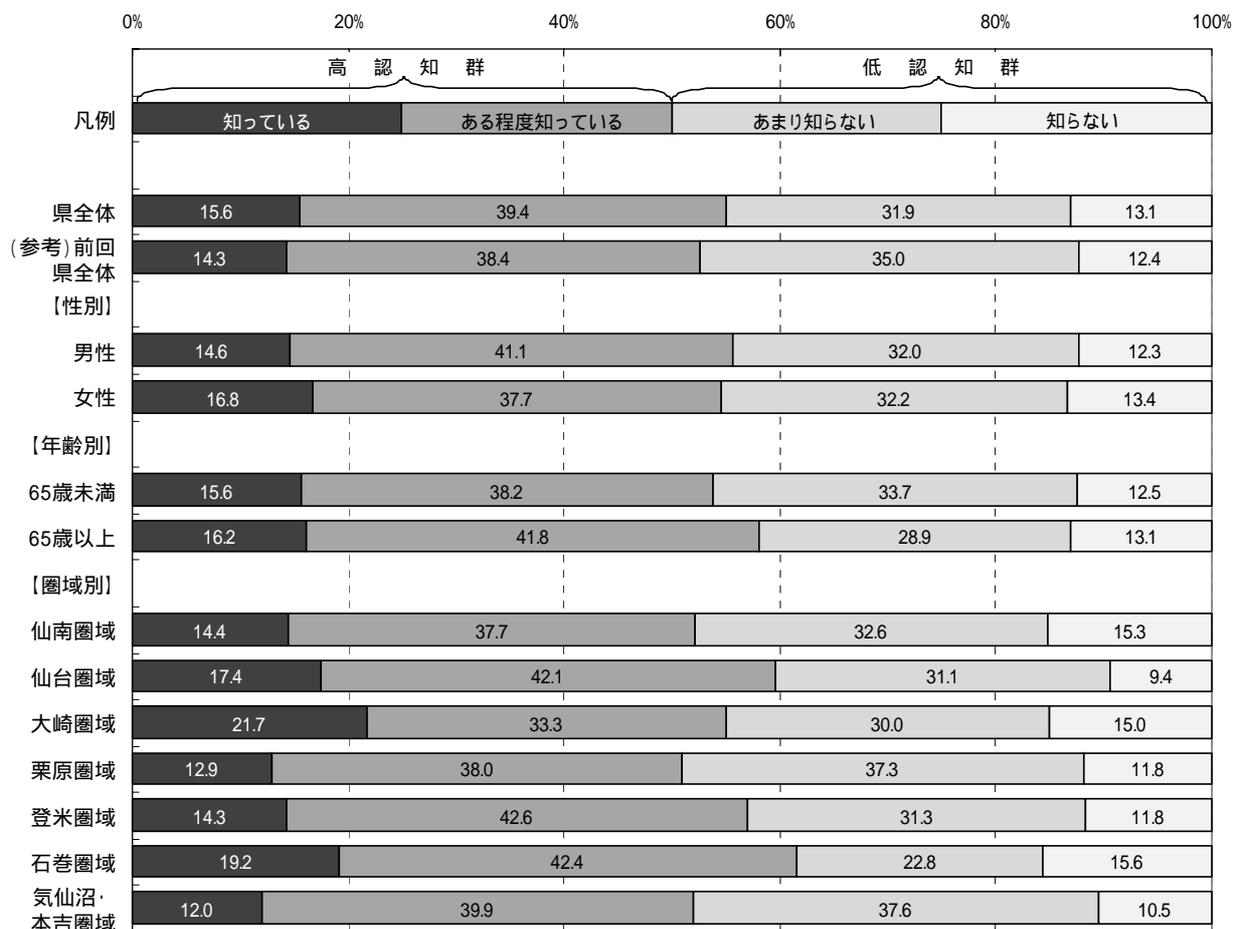


表2-2-17-1 取組17 認知度集計(属性別)

		有 効					欠 損 値	合 計
		知っている	ある程度 知っている	あまり 知らない	知らない	合計		
県全体	度数	286	725	587	240	1,838	106	1,944
	パーセント	15.6	39.4	31.9	13.1	100.0		
(参考) 前回 県全体	度数	248	668	609	215	1,740	102	1,842
	パーセント	14.3	38.4	35.0	12.4	100.0		
【性別】								
男性	度数	125	353	275	106	859	35	894
	パーセント	14.6	41.1	32.0	12.3	100.0		
女性	度数	157	353	301	125	936	55	991
	パーセント	16.8	37.7	32.2	13.4	100.0		
【年齢別】								
65歳未満	度数	183	448	396	147	1,174	40	1,214
	パーセント	15.6	38.2	33.7	12.5	100.0		
65歳以上	度数	99	256	177	80	612	52	664
	パーセント	16.2	41.8	28.9	13.1	100.0		
【圏域別】								
仙南圏域	度数	34	89	77	36	236	12	248
	パーセント	14.4	37.7	32.6	15.3	100.0		
仙台圏域	度数	41	99	73	22	235	14	249
	パーセント	17.4	42.1	31.1	9.4	100.0		
大崎圏域	度数	52	80	72	36	240	14	254
	パーセント	21.7	33.3	30.0	15.0	100.0		
栗原圏域	度数	37	109	107	34	287	18	305
	パーセント	12.9	38.0	37.3	11.8	100.0		
登米圏域	度数	39	116	85	32	272	7	279
	パーセント	14.3	42.6	31.3	11.8	100.0		
石巻圏域	度数	43	95	51	35	224	5	229
	パーセント	19.2	42.4	22.8	15.6	100.0		
気仙沼・本吉 圏域	度数	31	103	97	27	258	16	274
	パーセント	12.0	39.9	37.6	10.5	100.0		

【関心度】（県が行ってきたこの取組の内容について、どのくらい関心があるか）

< 概要 >

県全体

「関心がある」「ある程度関心がある」を合わせた『高関心群』は76.1%、
「あまり関心がない」「関心がない」を合わせた『低関心群』は23.9%である。

性別

男性の『高関心群』は75.5%で、県全体より0.6ポイント低い。

女性の『高関心群』は77.1%で、県全体より1.0ポイント高い。

年齢別

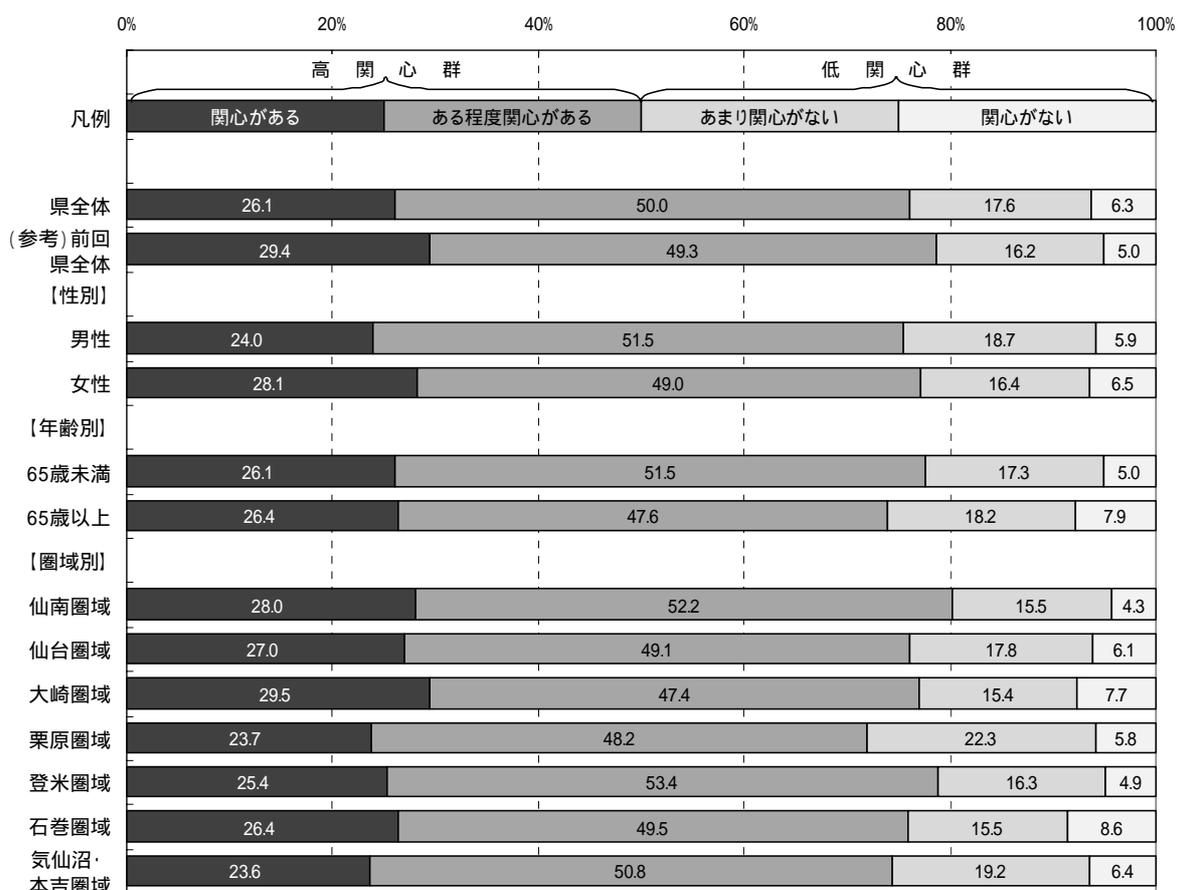
65歳未満の『高関心群』は77.6%で、県全体より1.5ポイント高い。

65歳以上の『高関心群』は74.0%で、県全体より2.1ポイント低い。

圏域別

各圏域の『高関心群』は、県全体との差が全て5.0ポイント以内に収まっている。

図2-2-17-2 取組17 関心度割合(属性別)



取組17「児童生徒や地域のニーズに応じた
特色ある教育環境づくり」

表2-2-17-2 取組17 関心度集計(属性別)

		有 効				合計	欠 損 値	合 計
		関心がある	ある程度 関心がある	あまり 関心がない	関心がない			
県全体	度数	467	894	314	113	1,788	156	1,944
	パーセント	26.1	50.0	17.6	6.3	100.0		
(参考) 前回 県全体	度数	502	841	277	86	1,706	136	1,842
	パーセント	29.4	49.3	16.2	5.0	100.0		
【性別】								
男性	度数	200	430	156	49	835	59	894
	パーセント	24.0	51.5	18.7	5.9	100.0		
女性	度数	257	447	150	59	913	78	991
	パーセント	28.1	49.0	16.4	6.5	100.0		
【年齢別】								
65歳未満	度数	302	595	200	58	1,155	59	1,214
	パーセント	26.1	51.5	17.3	5.0	100.0		
65歳以上	度数	154	278	106	46	584	80	664
	パーセント	26.4	47.6	18.2	7.9	100.0		
【圏域別】								
仙南圏域	度数	65	121	36	10	232	16	248
	パーセント	28.0	52.2	15.5	4.3	100.0		
仙台圏域	度数	62	113	41	14	230	19	249
	パーセント	27.0	49.1	17.8	6.1	100.0		
大崎圏域	度数	69	111	36	18	234	20	254
	パーセント	29.5	47.4	15.4	7.7	100.0		
栗原圏域	度数	66	134	62	16	278	27	305
	パーセント	23.7	48.2	22.3	5.8	100.0		
登米圏域	度数	67	141	43	13	264	15	279
	パーセント	25.4	53.4	16.3	4.9	100.0		
石巻圏域	度数	58	109	34	19	220	9	229
	パーセント	26.4	49.5	15.5	8.6	100.0		
気仙沼・本吉 圏域	度数	59	127	48	16	250	24	274
	パーセント	23.6	50.8	19.2	6.4	100.0		

【重視度】（県がこの取組を今後行っていくことが、どのくらい重要と考えるか）

< 概要 >

県全体

「重要」「やや重要」を合わせた『高重視群』は73.8%、「あまり重要ではない」「重要ではない」を合わせた『低重視群』は13.3%である。

なお、回答全体から「わからない」を除き集計した場合、『高重視群』が84.7%、『低重視群』は15.3%となる。

性別

男性の『高重視群』は72.6%で、県全体より1.2ポイント低い。

女性の『高重視群』は75.4%で、県全体より1.6ポイント高い。

年齢別

65歳未満の『高重視群』は75.2%で、県全体より1.4ポイント高い。

65歳以上の『高重視群』は72.3%で、県全体より1.5ポイント低い。

圏域別

気仙沼・本吉圏域の『高重視群』は67.8%で、県全体より6.0ポイント低い。

その他の圏域の『高重視群』は、県全体との差が5.0ポイント以内に収まっている。

図2-2-17-3 取組17 重視度割合(属性別)

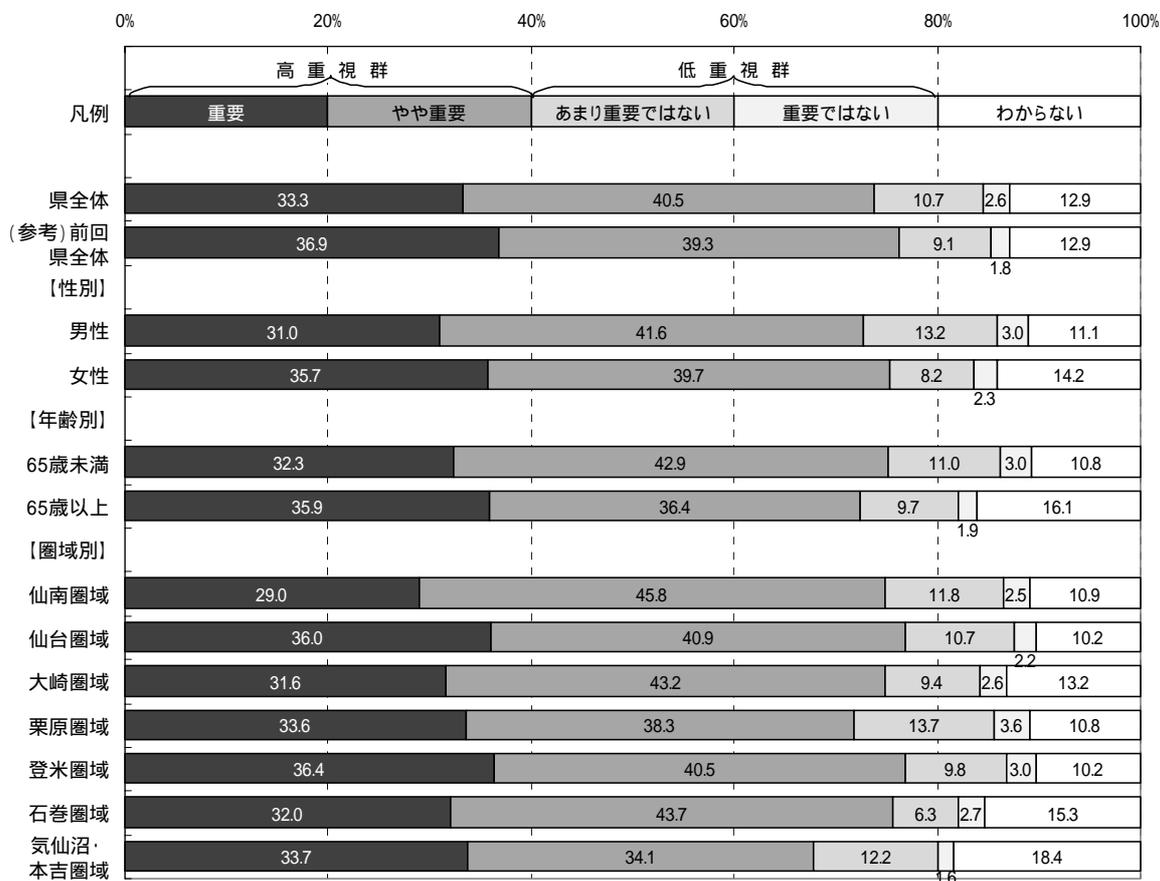


表2-2-17-3 取組17 重視度集計(属性別)

		有 効					合計	欠 損 値	合 計
		重要	やや重要	あまり重要 ではない	重要では ない	わからない			
県全体	度数	598	727	192	47	232	1,796	148	1,944
	パーセント	33.3	40.5	10.7	2.6	12.9	100.0		
	「わからない」を 除くパーセント	38.2	46.5	12.3	3.0		100.0		
(参考) 前回 県全体	度数	626	668	154	31	219	1,698	144	1,842
	パーセント	36.9	39.3	9.1	1.8	12.9	100.0		
【性別】									
男性	度数	260	349	111	25	93	838	56	894
	パーセント	31.0	41.6	13.2	3.0	11.1	100.0		
女性	度数	327	364	75	21	130	917	74	991
	パーセント	35.7	39.7	8.2	2.3	14.2	100.0		
【年齢別】									
65歳未満	度数	374	497	127	35	125	1,158	56	1,214
	パーセント	32.3	42.9	11.0	3.0	10.8	100.0		
65歳以上	度数	212	215	57	11	95	590	74	664
	パーセント	35.9	36.4	9.7	1.9	16.1	100.0		
【圏域別】									
仙南圏域	度数	69	109	28	6	26	238	10	248
	パーセント	29.0	45.8	11.8	2.5	10.9	100.0		
仙台圏域	度数	81	92	24	5	23	225	24	249
	パーセント	36.0	40.9	10.7	2.2	10.2	100.0		
大崎圏域	度数	74	101	22	6	31	234	20	254
	パーセント	31.6	43.2	9.4	2.6	13.2	100.0		
栗原圏域	度数	93	106	38	10	30	277	28	305
	パーセント	33.6	38.3	13.7	3.6	10.8	100.0		
登米圏域	度数	96	107	26	8	27	264	15	279
	パーセント	36.4	40.5	9.8	3.0	10.2	100.0		
石巻圏域	度数	71	97	14	6	34	222	7	229
	パーセント	32.0	43.7	6.3	2.7	15.3	100.0		
気仙沼・本吉 圏域	度数	86	87	31	4	47	255	19	274
	パーセント	33.7	34.1	12.2	1.6	18.4	100.0		

【満足度】（県が行ってきたこの取組について、どのくらい満足しているか）

< 概要 >

県全体

「満足」「やや満足」を合わせた『満足群』は38.7%、「やや不満」「不満」を合わせた『不満群』は30.0%である。

なお、回答全体から「わからない」を除き集計した場合、『満足群』が56.3%、『不満群』は43.7%となる。

性別

男性の『満足群』は37.1%で、県全体より1.6ポイント低い。

女性の『満足群』は40.3%で、県全体より1.6ポイント高い。

年齢別

65歳未満の『満足群』は34.5%で、県全体より4.2ポイント低い。

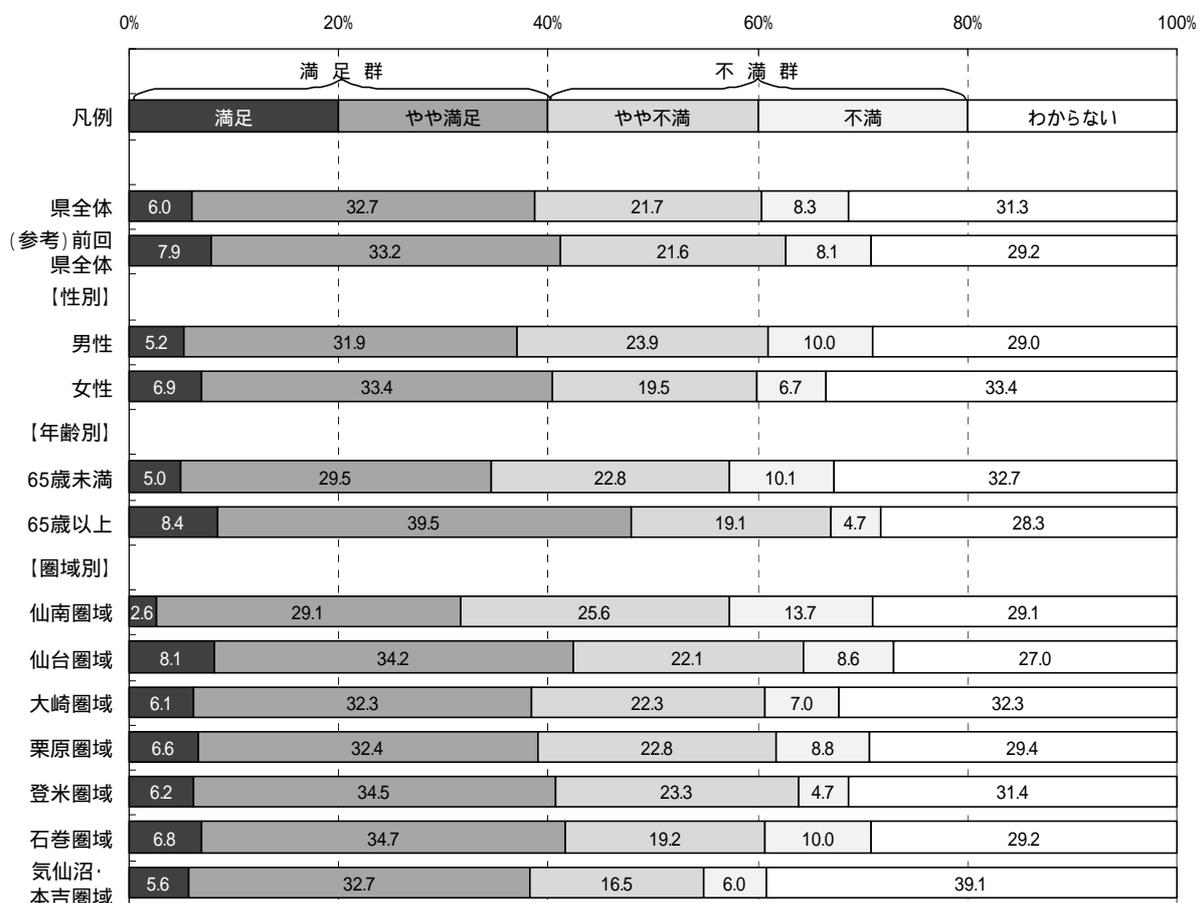
65歳以上の『満足群』は47.9%で、県全体より9.2ポイント高い。

圏域別

仙南圏域の『満足群』は31.7%で、県全体より7.0ポイント低い。

その他の圏域の『満足群』は、県全体との差が5.0ポイント以内に収まっている。

図2-2-17-4 取組17 満足度割合(属性別)



取組17「児童生徒や地域のニーズに応じた
特色ある教育環境づくり」

表2-2-17-4 取組17 満足度集計(属性別)

		有 効						欠 損 値	合 計
		満足	やや満足	やや不満	不満	わからない	合計		
県全体	度数	106	575	382	147	551	1,761	183	1,944
	パーセント	6.0	32.7	21.7	8.3	31.3	100.0		
	「わからない」を除くパーセント	8.8	47.5	31.6	12.1		100.0		
(参考) 前回 県全体	度数	133	560	364	137	492	1,686	156	1,842
	パーセント	7.9	33.2	21.6	8.1	29.2	100.0		
【性別】									
男性	度数	43	264	198	83	240	828	66	894
	パーセント	5.2	31.9	23.9	10.0	29.0	100.0		
女性	度数	62	299	174	60	299	894	97	991
	パーセント	6.9	33.4	19.5	6.7	33.4	100.0		
【年齢別】									
65歳未満	度数	57	337	260	115	373	1,142	72	1,214
	パーセント	5.0	29.5	22.8	10.1	32.7	100.0		
65歳以上	度数	48	226	109	27	162	572	92	664
	パーセント	8.4	39.5	19.1	4.7	28.3	100.0		
【圏域別】									
仙南圏域	度数	6	68	60	32	68	234	14	248
	パーセント	2.6	29.1	25.6	13.7	29.1	100.0		
仙台圏域	度数	18	76	49	19	60	222	27	249
	パーセント	8.1	34.2	22.1	8.6	27.0	100.0		
大崎圏域	度数	14	74	51	16	74	229	25	254
	パーセント	6.1	32.3	22.3	7.0	32.3	100.0		
栗原圏域	度数	18	88	62	24	80	272	33	305
	パーセント	6.6	32.4	22.8	8.8	29.4	100.0		
登米圏域	度数	16	89	60	12	81	258	21	279
	パーセント	6.2	34.5	23.3	4.7	31.4	100.0		
石巻圏域	度数	15	76	42	22	64	219	10	229
	パーセント	6.8	34.7	19.2	10.0	29.2	100.0		
気仙沼・本吉 圏域	度数	14	81	41	15	97	248	26	274
	パーセント	5.6	32.7	16.5	6.0	39.1	100.0		

【特に優先すべきと思う項目】

取組 17 に関し、目標とする宮城の姿を目指して、県が下記の項目の中で今後特に優先すべきと思う項目について調査した。(複数回答可)

- ア 少人数学級や少人数指導など、子どもたちの実情に応じたきめ細かな教育活動の充実
- イ 学校の再・改編や入学者選抜制度改善などによる、時代の要求や教育環境の変化、生徒の多様化・個性化などに応じた魅力ある高校づくり
- ウ 学校の自主性・主体性を生かした学校運営への支援や学校評価の充実などによる地域から信頼される学校づくり
- エ 障害のある子どもも障害のない子どもも、地域の小・中学校で共に学ぶことのできる学習環境づくり
- オ 優秀な教員確保、教員の資質向上・学校活性化のための適切な教員評価や教育研修の充実
- カ 学校の耐震化など、安全で快適な教育施設づくり

(参考:目標とする宮城の姿)

子どもたちのさまざまな学習意欲に応える教育が行われています。
それぞれの学校が保護者や地域住民から理解や協力を得ながら、地域の特性に応じた教育を進めています。
障害のある子どもも障害のない子どもも共に学ぶことができ、一人一人の教育的ニーズに応じた適切な指導や必要な支援を行う教育が行われています。
意欲と能力ある教員が、さまざまな教育課題に対応しながら質の高い教育を行い、魅力ある学校づくりを積極的に進めています。
子どもたちが、安全で快適な学習環境で学校生活を送っています。

< 概要 >

県全体及び属性別(性別・年齢別・圏域別)の優先順位第1位から第3位までは以下のとおり。

	県全体	性別		年齢別	
		男性	女性	65歳未満	65歳以上
第1位:	ア(ア)	オ	ア	ア	オ
第2位:	オ(オ)	ア	エ	エ	ア
第3位:	エ(エ)	エ	オ	オ	エ

	圏域別						
	仙南	仙台	大崎	栗原	登米	石巻	気仙沼・本吉
第1位:	ア	ア	ア	ア	オ	オ	ア
第2位:	オ	オ	エ	オ	ア	ア	カ
第3位:	エ	エ	オ	エ	エ	エ	オ

属性別の優先順位が県全体と異なる場合、項目記号を網掛けしている。
()内は、前回の優先順位

取組17「児童生徒や地域のニーズに応じた
特色ある教育環境づくり」

図2-2-17-5 取組17 特に優先すべきと思う項目回答数(県全体)

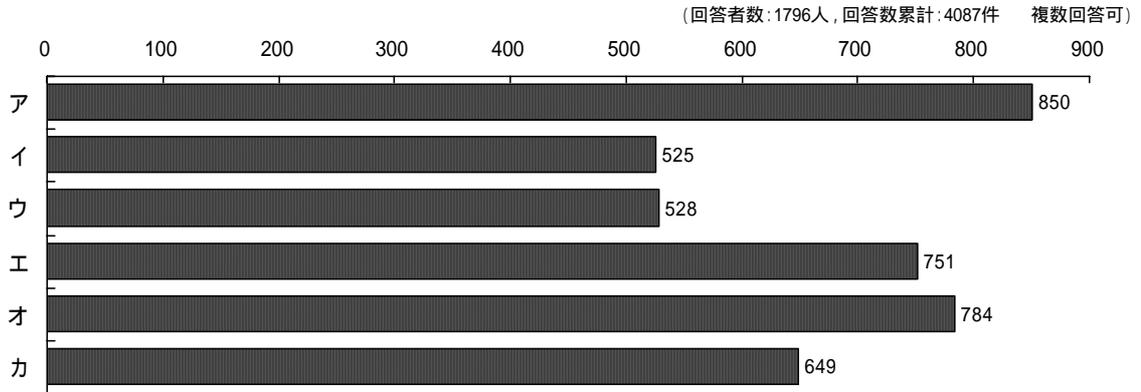
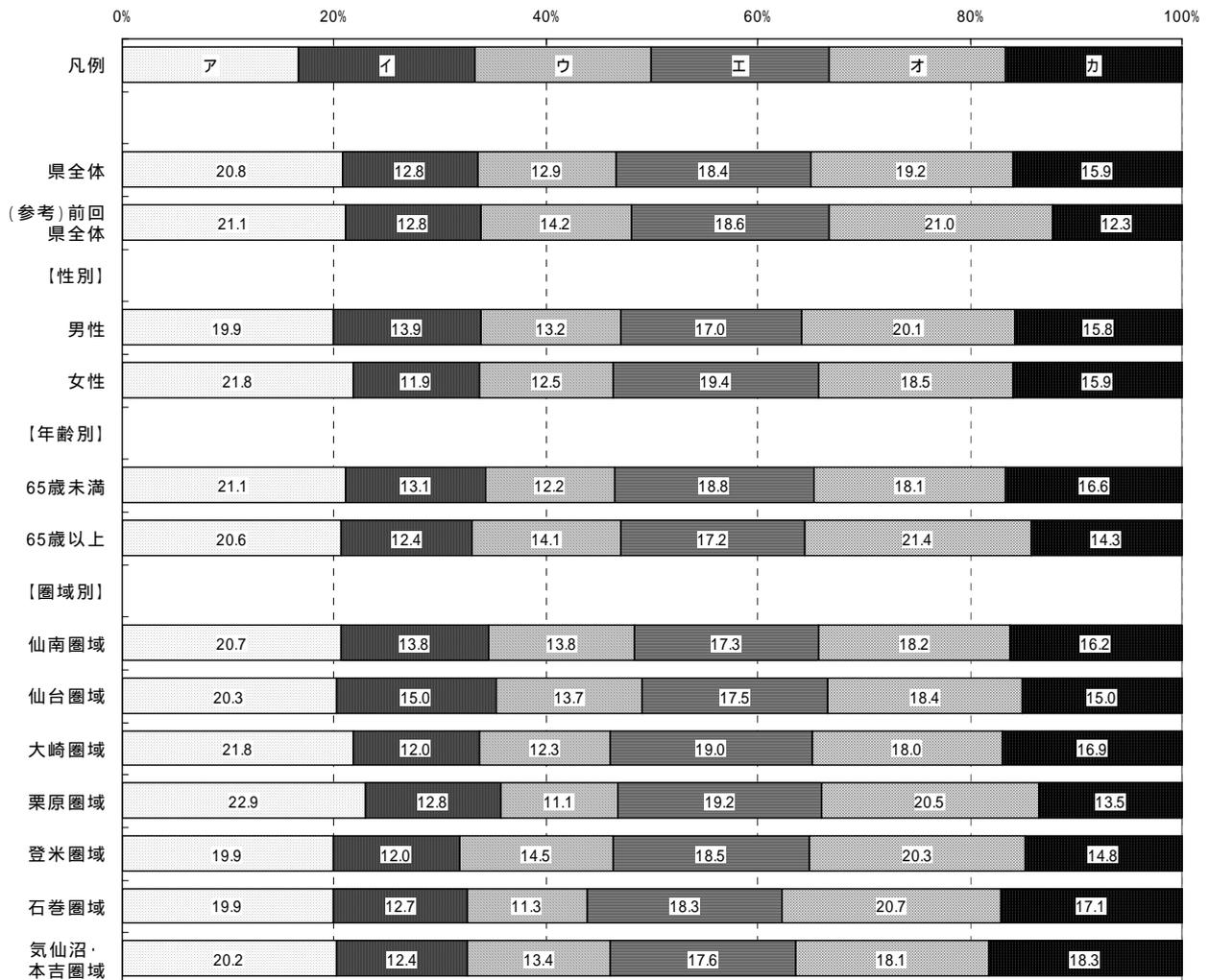


図2-2-17-6 取組17 特に優先すべきと思う項目割合(属性別)



本図は、回答数累計に占める各項目の回答数の割合を属性別に示したものです。

取組 17 「児童生徒や地域のニーズに応じた
特色ある教育環境づくり」

取組 18 多様な就業機会や就業環境の創出



取組概要

働く意欲のある人が、いきいきと働くことができる就業の場の確保と就業しやすい環境整備に取り組むとともに、障害者等の就業に向けた相談・支援体制等の充実を目指します。

平成20年度の主な取組

IT(情報技術)を活用した障害者の就労等を支援するために、総合的なサービス提供の拠点として、みやぎITサポートセンターを設置・運営しています。

県内の障害者の雇用を促進するため、県庁内において、古紙回収リサイクル業務と職員の事務作業の補助などの雇用の場を創出しています。

若年求職者、フリーター等を対象に、地域の企業、学校等との幅広い連携・協力の下、職業相談や、職業訓練から職業紹介まで、若年者の就職を支援しています。

女性の積極的な登用のための措置を行っている企業を、「女性のチカラを生かす企業」として認証し、県の入札参加登録審査を行う場合に加点の対象とするなど、男女共同参画社会実現のための取組を行っています。

【認知度】 (県がこの取組を行っていたことについて、どのくらい知っているか)

< 概要 >

県全体

「知っている」「ある程度知っている」を合わせた『高認知群』は33.4%、
「あまり知らない」「知らない」を合わせた『低認知群』は66.6%である。

性別

男性の『高認知群』は35.5%で、県全体より2.1ポイント高い。

女性の『高認知群』は31.9%で、県全体より1.5ポイント低い。

年齢別

65歳未満の『高認知群』は32.7%で、県全体より0.7ポイント低い。

65歳以上の『高認知群』は35.9%で、県全体より2.5ポイント高い。

圏域別

気仙沼・本吉圏域の『高認知群』は26.7%で、県全体より6.7ポイント低い。

その他の圏域の『高認知群』は、県全体との差が5.0ポイント以内に収まっている。

図2-2-18-1 取組18 認知度割合(属性別)

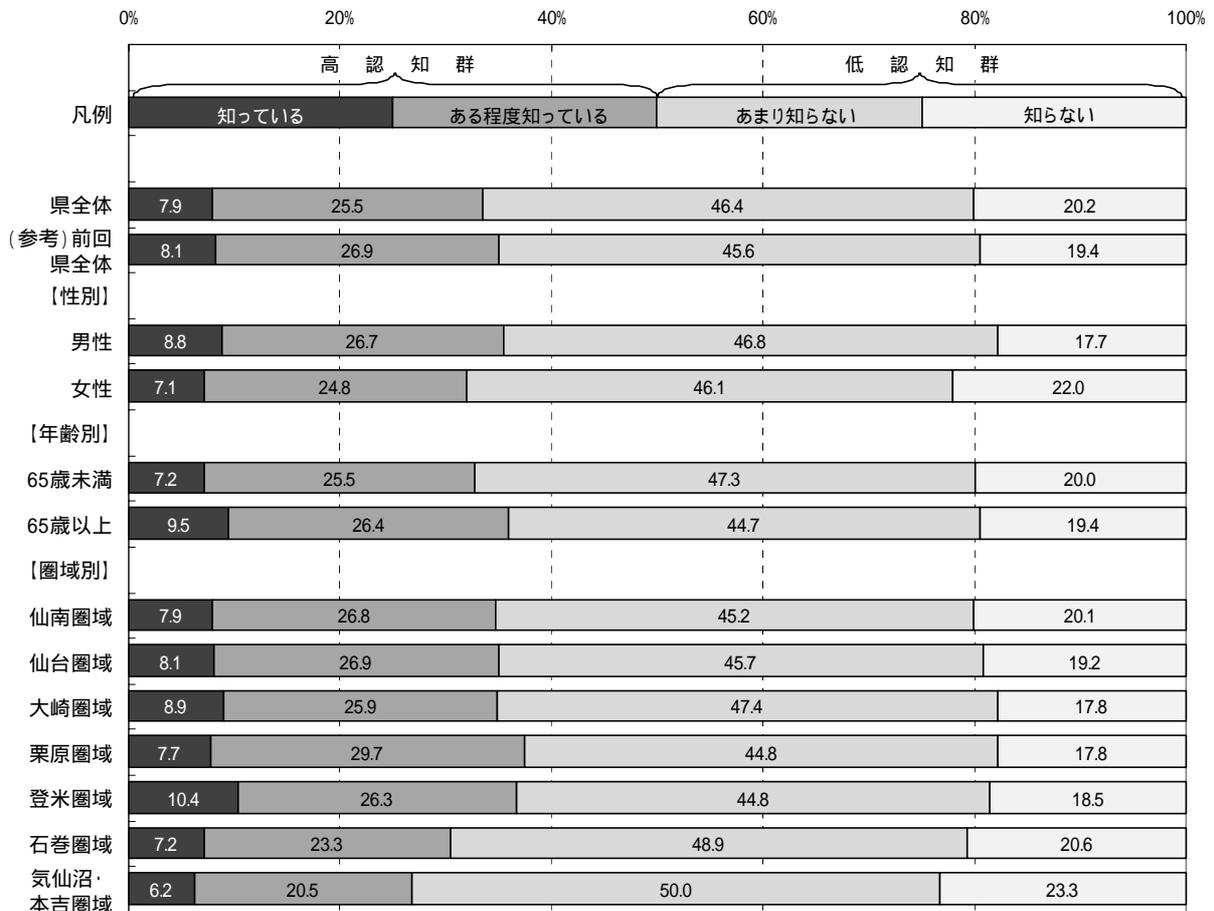


表2-2-18-1 取組18 認知度集計(属性別)

		有 効				合計	欠 損 値	合 計
		知っている	ある程度 知っている	あまり 知らない	知らない			
県全体	度数	146	471	857	372	1,846	98	1,944
	パーセント	7.9	25.5	46.4	20.2	100.0		
(参考) 前回 県全体	度数	142	468	794	339	1,743	99	1,842
	パーセント	8.1	26.9	45.6	19.4	100.0		
【性別】								
男性	度数	76	230	403	153	862	32	894
	パーセント	8.8	26.7	46.8	17.7	100.0		
女性	度数	67	233	433	207	940	51	991
	パーセント	7.1	24.8	46.1	22.0	100.0		
【年齢別】								
65歳未満	度数	85	301	558	236	1,180	34	1,214
	パーセント	7.2	25.5	47.3	20.0	100.0		
65歳以上	度数	58	162	274	119	613	51	664
	パーセント	9.5	26.4	44.7	19.4	100.0		
【圏域別】								
仙南圏域	度数	19	64	108	48	239	9	248
	パーセント	7.9	26.8	45.2	20.1	100.0		
仙台圏域	度数	19	63	107	45	234	15	249
	パーセント	8.1	26.9	45.7	19.2	100.0		
大崎圏域	度数	22	64	117	44	247	7	254
	パーセント	8.9	25.9	47.4	17.8	100.0		
栗原圏域	度数	22	85	128	51	286	19	305
	パーセント	7.7	29.7	44.8	17.8	100.0		
登米圏域	度数	28	71	121	50	270	9	279
	パーセント	10.4	26.3	44.8	18.5	100.0		
石巻圏域	度数	16	52	109	46	223	6	229
	パーセント	7.2	23.3	48.9	20.6	100.0		
気仙沼・本吉 圏域	度数	16	53	129	60	258	16	274
	パーセント	6.2	20.5	50.0	23.3	100.0		

【関心度】（県が行ってきたこの取組の内容について、どのくらい関心があるか）

< 概要 >

県全体

「関心がある」「ある程度関心がある」を合わせた『高関心群』は71.5%、
「あまり関心がない」「関心がない」を合わせた『低関心群』は28.5%である。

性別

男性の『高関心群』は72.3%で、県全体より0.8ポイント高い。

女性の『高関心群』は71.2%で、県全体より0.3ポイント低い。

年齢別

65歳未満の『高関心群』は73.6%で、県全体より2.1ポイント高い。

65歳以上の『高関心群』は68.5%で、県全体より3.0ポイント低い。

圏域別

仙南圏域の『高関心群』は76.9%で、県全体より5.4ポイント高い。

大崎圏域の『高関心群』は78.1%で、県全体より6.6ポイント高い。

石巻圏域の『高関心群』は66.2%で、県全体より5.3ポイント低い。

その他の圏域の『高関心群』は、県全体との差が5.0ポイント以内に収まっている。

図2-2-18-2 取組18 関心度割合(属性別)

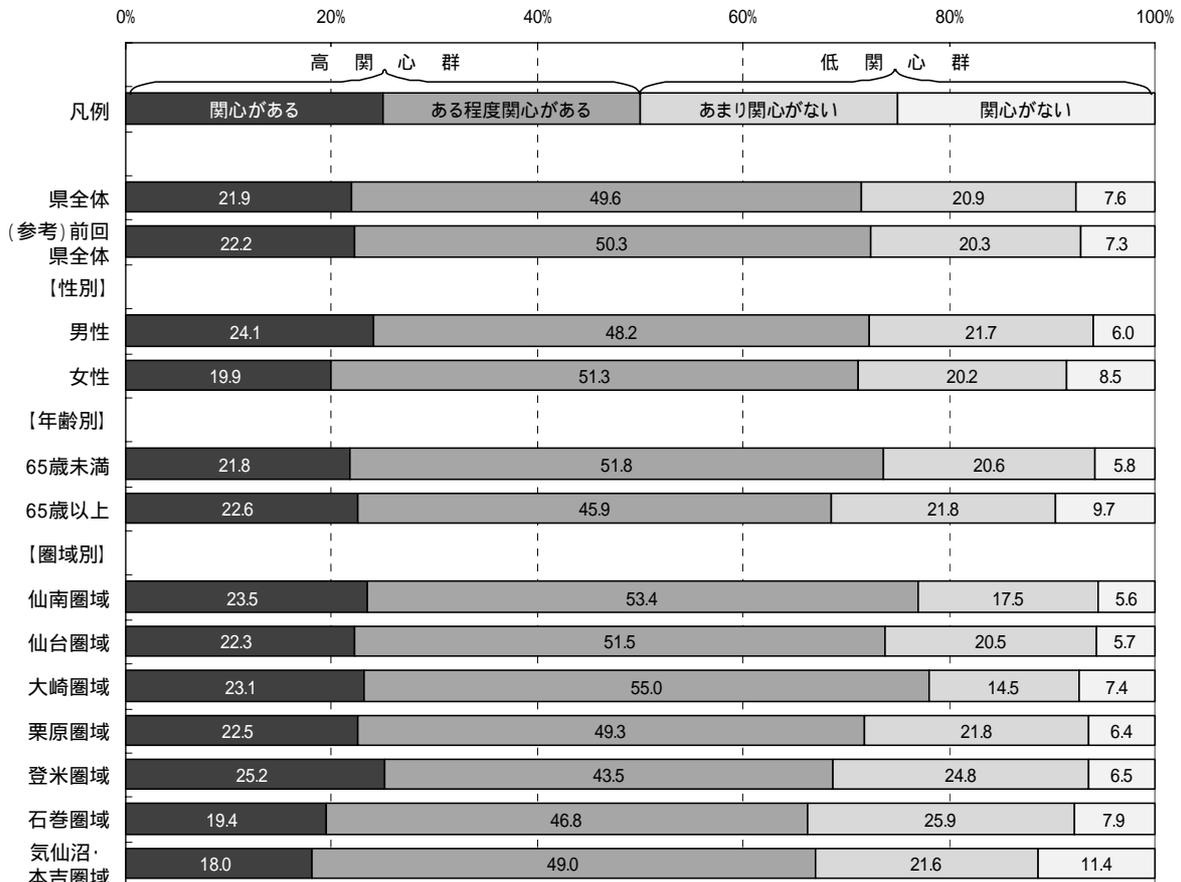


表2-2-18-2 取組18 関心度集計(属性別)

		有 効				合計	欠 損 値	合 計
		関心がある	ある程度 関心がある	あまり 関心がない	関心がない			
県全体	度数	394	894	377	137	1,802	142	1,944
	パーセント	21.9	49.6	20.9	7.6	100.0		
(参考) 前回 県全体	度数	379	858	346	124	1,707	135	1,842
	パーセント	22.2	50.3	20.3	7.3	100.0		
【性別】								
男性	度数	204	408	184	51	847	47	894
	パーセント	24.1	48.2	21.7	6.0	100.0		
女性	度数	182	469	185	78	914	77	991
	パーセント	19.9	51.3	20.2	8.5	100.0		
【年齢別】								
65歳未満	度数	253	603	239	68	1,163	51	1,214
	パーセント	21.8	51.8	20.6	5.8	100.0		
65歳以上	度数	133	270	128	57	588	76	664
	パーセント	22.6	45.9	21.8	9.7	100.0		
【圏域別】								
仙南圏域	度数	55	125	41	13	234	14	248
	パーセント	23.5	53.4	17.5	5.6	100.0		
仙台圏域	度数	51	118	47	13	229	20	249
	パーセント	22.3	51.5	20.5	5.7	100.0		
大崎圏域	度数	56	133	35	18	242	12	254
	パーセント	23.1	55.0	14.5	7.4	100.0		
栗原圏域	度数	63	138	61	18	280	25	305
	パーセント	22.5	49.3	21.8	6.4	100.0		
登米圏域	度数	66	114	65	17	262	17	279
	パーセント	25.2	43.5	24.8	6.5	100.0		
石巻圏域	度数	42	101	56	17	216	13	229
	パーセント	19.4	46.8	25.9	7.9	100.0		
気仙沼・本吉 圏域	度数	46	125	55	29	255	19	274
	パーセント	18.0	49.0	21.6	11.4	100.0		

【重視度】（県がこの取組を今後行っていくことが、どのくらい重要と考えるか）

< 概要 >

県全体

「重要」「やや重要」を合わせた『高重視群』は70.9%、「あまり重要ではない」「重要ではない」を合わせた『低重視群』は11.6%である。

なお、回答全体から「わからない」を除き集計した場合、『高重視群』が85.9%、『低重視群』は14.0%となる。

性別

男性の『高重視群』は73.6%で、県全体より2.7ポイント高い。

女性の『高重視群』は69.3%で、県全体より1.6ポイント低い。

年齢別

65歳未満の『高重視群』は73.7%で、県全体より2.8ポイント高い。

65歳以上の『高重視群』は66.9%で、県全体より4.0ポイント低い。

圏域別

仙南圏域の『高重視群』は76.8%で、県全体より5.9ポイント高い。

石巻圏域の『高重視群』は65.6%で、県全体より5.3ポイント低い。

気仙沼・本吉圏域の『高重視群』は64.4%で、県全体より6.5ポイント低い。

その他の圏域の『高重視群』は、県全体との差が5.0ポイント以内に収まっている。

図2-2-18-3 取組18 重視度割合(属性別)

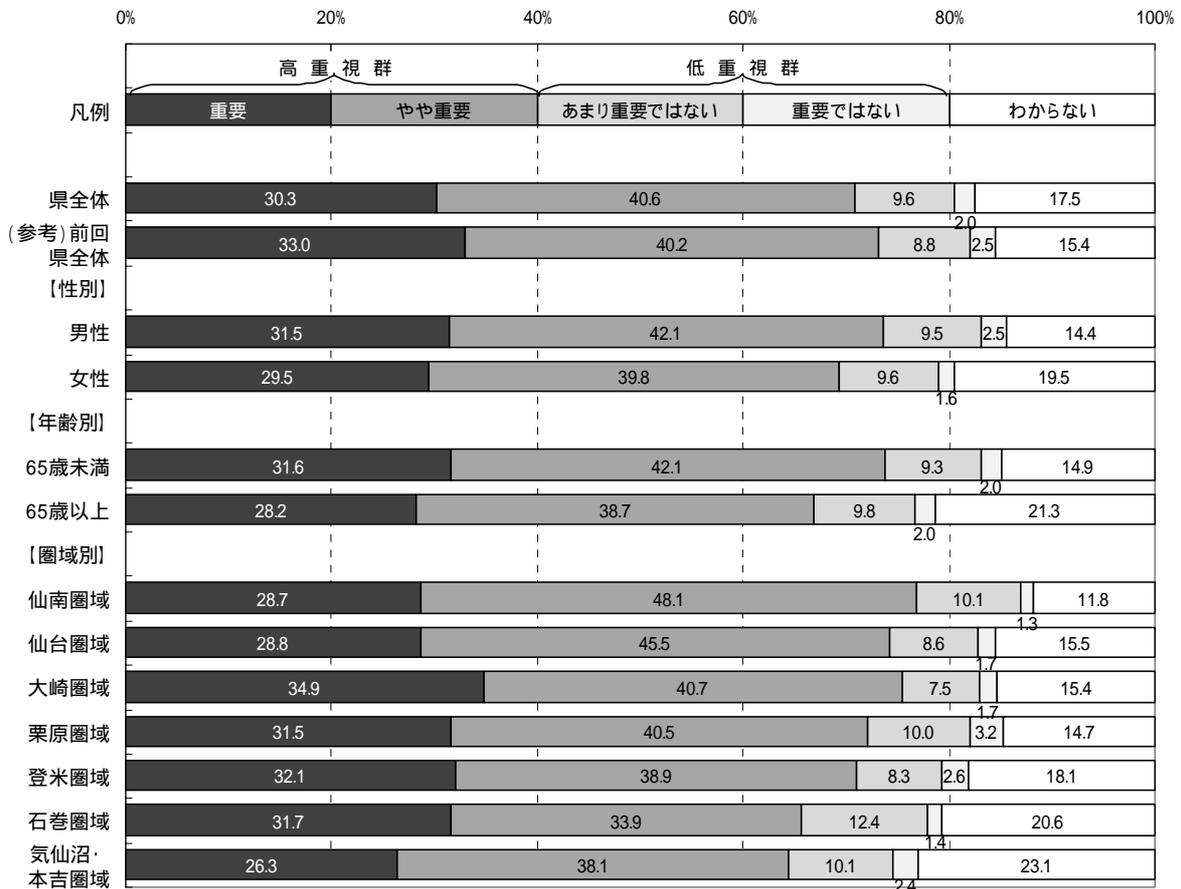


表2-2-18-3 取組18 重視度集計(属性別)

		有 効						欠 損 値	合 計
		重要	やや重要	あまり重要 ではない	重要では ない	わからない	合計		
県全体	度数	545	731	173	36	315	1,800	144	1,944
	パーセント	30.3	40.6	9.6	2.0	17.5	100.0		
	「わからない」を 除くパーセント	36.7	49.2	11.6	2.4		100.0		
(参考) 前回 県全体	度数	565	687	151	43	264	1,710	132	1,842
	パーセント	33.0	40.2	8.8	2.5	15.4	100.0		
【性別】									
男性	度数	262	350	79	21	120	832	62	894
	パーセント	31.5	42.1	9.5	2.5	14.4	100.0		
女性	度数	273	368	89	15	180	925	66	991
	パーセント	29.5	39.8	9.6	1.6	19.5	100.0		
【年齢別】									
65歳未満	度数	366	488	108	23	173	1,158	56	1,214
	パーセント	31.6	42.1	9.3	2.0	14.9	100.0		
65歳以上	度数	167	229	58	12	126	592	72	664
	パーセント	28.2	38.7	9.8	2.0	21.3	100.0		
【圏域別】									
仙南圏域	度数	68	114	24	3	28	237	11	248
	パーセント	28.7	48.1	10.1	1.3	11.8	100.0		
仙台圏域	度数	67	106	20	4	36	233	16	249
	パーセント	28.8	45.5	8.6	1.7	15.5	100.0		
大崎圏域	度数	84	98	18	4	37	241	13	254
	パーセント	34.9	40.7	7.5	1.7	15.4	100.0		
栗原圏域	度数	88	113	28	9	41	279	26	305
	パーセント	31.5	40.5	10.0	3.2	14.7	100.0		
登米圏域	度数	85	103	22	7	48	265	14	279
	パーセント	32.1	38.9	8.3	2.6	18.1	100.0		
石巻圏域	度数	69	74	27	3	45	218	11	229
	パーセント	31.7	33.9	12.4	1.4	20.6	100.0		
気仙沼・本吉 圏域	度数	65	94	25	6	57	247	27	274
	パーセント	26.3	38.1	10.1	2.4	23.1	100.0		

【満足度】（県が行ってきたこの取組について、どのくらい満足しているか）

< 概要 >

県全体

「満足」「やや満足」を合わせた『満足群』は31.7%、「やや不満」「不満」を合わせた『不満群』は32.2%である。

なお、回答全体から「わからない」を除き集計した場合、『満足群』が49.5%、『不満群』は50.5%となる。

性別

男性の『満足群』は32.9%で、県全体より1.2ポイント高い。

女性の『満足群』は31.2%で、県全体より0.5ポイント低い。

年齢別

65歳未満の『満足群』は27.9%で、県全体より3.8ポイント低い。

65歳以上の『満足群』は40.6%で、県全体より8.9ポイント高い。

圏域別

仙台圏域の『満足群』は37.4%で、県全体より5.7ポイント高い。

その他の圏域の『満足群』は、県全体との差が5.0ポイント以内に収まっている。

図2-2-18-4 取組18 満足度割合(属性別)

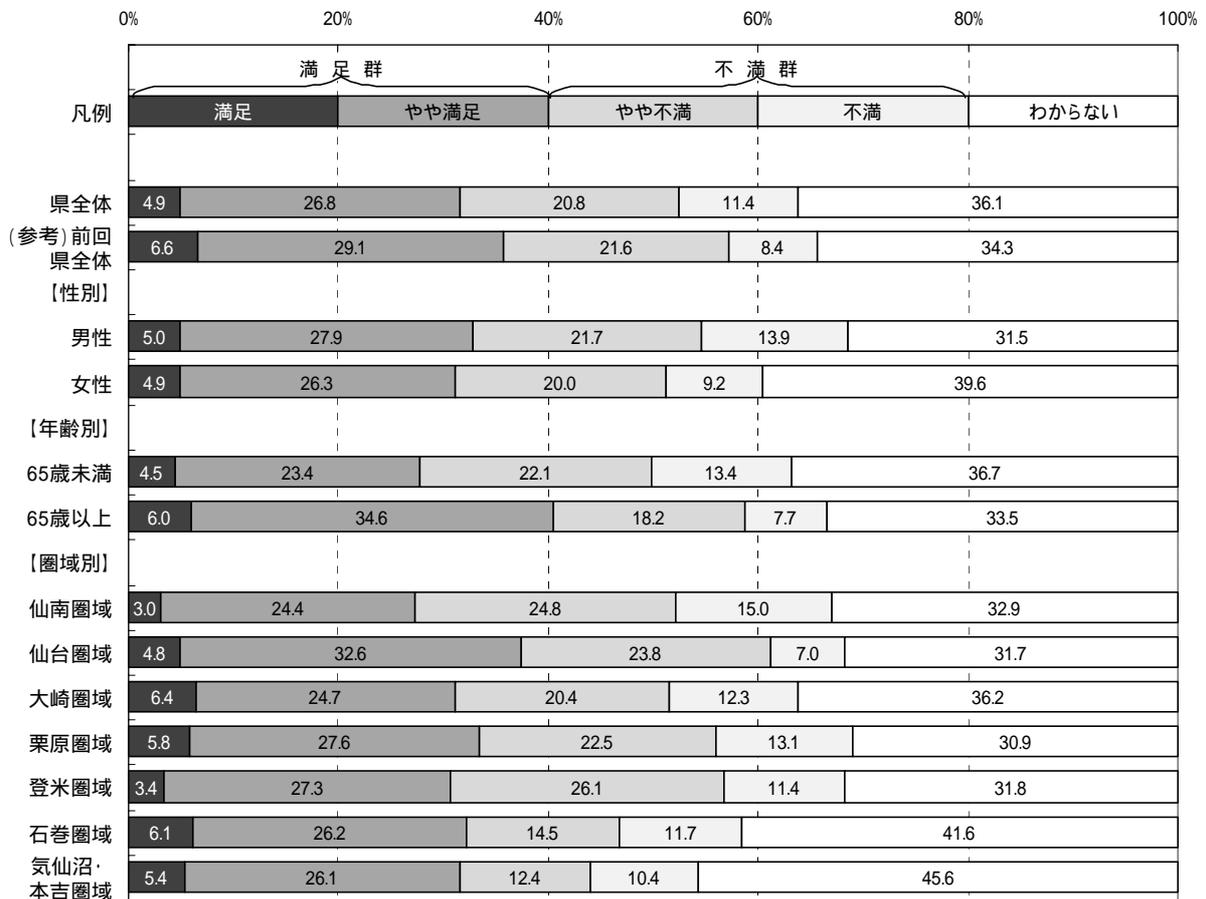


表2-2-18-4 取組18 満足度集計(属性別)

		有 効						欠 損 値	合 計
		満足	やや満足	やや不満	不満	わからない	合計		
県全体	度数	86	472	367	201	637	1,763	181	1,944
	パーセント	4.9	26.8	20.8	11.4	36.1	100.0		
	「わからない」を除くパーセント	7.6	41.9	32.6	17.9		100.0		
(参考) 前回 県全体	度数	112	491	365	142	580	1,690	152	1,842
	パーセント	6.6	29.1	21.6	8.4	34.3	100.0		
【性別】									
男性	度数	41	230	179	115	260	825	69	894
	パーセント	5.0	27.9	21.7	13.9	31.5	100.0		
女性	度数	44	236	180	83	356	899	92	991
	パーセント	4.9	26.3	20.0	9.2	39.6	100.0		
【年齢別】									
65歳未満	度数	51	268	253	153	421	1,146	68	1,214
	パーセント	4.5	23.4	22.1	13.4	36.7	100.0		
65歳以上	度数	34	197	104	44	191	570	94	664
	パーセント	6.0	34.6	18.2	7.7	33.5	100.0		
【圏域別】									
仙南圏域	度数	7	57	58	35	77	234	14	248
	パーセント	3.0	24.4	24.8	15.0	32.9	100.0		
仙台圏域	度数	11	74	54	16	72	227	22	249
	パーセント	4.8	32.6	23.8	7.0	31.7	100.0		
大崎圏域	度数	15	58	48	29	85	235	19	254
	パーセント	6.4	24.7	20.4	12.3	36.2	100.0		
栗原圏域	度数	16	76	62	36	85	275	30	305
	パーセント	5.8	27.6	22.5	13.1	30.9	100.0		
登米圏域	度数	9	72	69	30	84	264	15	279
	パーセント	3.4	27.3	26.1	11.4	31.8	100.0		
石巻圏域	度数	13	56	31	25	89	214	15	229
	パーセント	6.1	26.2	14.5	11.7	41.6	100.0		
気仙沼・本吉 圏域	度数	13	63	30	25	110	241	33	274
	パーセント	5.4	26.1	12.4	10.4	45.6	100.0		

【特に優先すべきと思う項目】

取組18に関し、目標とする宮城の姿を目指して、県が下記の項目の中で今後特に優先すべきと思う項目について調査した。(複数回答可)

- ア 就業形態の変化に応じた、産学官の各種機関が行うさまざまな就業能力開発の機会の提供
- イ 関係機関と連携して行う、非自発的離職者の再挑戦に向けた就業支援
- ウ 働く意欲のある女性や高齢者の各々の経験や能力に応じた就業・雇用環境づくりや能力開発
- エ 相談体制の充実や職業選択機会の提供など、若年者に対する総合的な就業環境づくり
- オ 働く意欲のある障害者等の就職活動を支える能力開発の場の確保や相談・指導体制の充実
- カ 障害者雇用率制度など、障害者も含めたさまざまな就業環境づくりのための事業者への啓発
- キ 外国人の雇用機会の確保に必要となる指導・助言

(参考:目標とする宮城の姿)

働く意欲のある人が、それぞれの経験や能力に応じていきいきと働ける場づくりが進んでいます。
 女性や高齢者の働き場所が増え、地域産業の担い手として活躍しています。
 若年者が進路や就職を自分で選び、自立した個人として社会参加できる環境が整っています。
 また、ニート、フリーター率が全国平均を下回っています。
 企業などで、障害者の安定的な雇用が進むなど、働く意欲と能力のある障害者の働き場所が増えています。

< 概要 >

県全体及び属性別(性別・年齢別・圏域別)の優先順位第1位から第3位までは以下のとおり。

	県全体	性別		年齢別	
		男性	女性	65歳未満	65歳以上
第1位:	ウ(ウ)	ウ	ウ	ウ	ウ
第2位:	オ(オ)	オ	オ	オ	オ
第3位:	エ(エ)	イ	エ	エ	カ

	圏域別						
	仙南	仙台	大崎	栗原	登米	石巻	気仙沼・本吉
第1位:	ウ	ウ	ウ	ウ	ウ	ウ	ウ
第2位:	オ	オ	オ	オ	オ	オ	オ
第3位:	エ	イ	エ	カ	エ	イ	エ

属性別の優先順位が県全体と異なる場合、項目記号を網掛けしている。
 ()内は、前回の優先順位

図2-2-18-5 取組18 特に優先すべきと思う項目回答数(県全体)

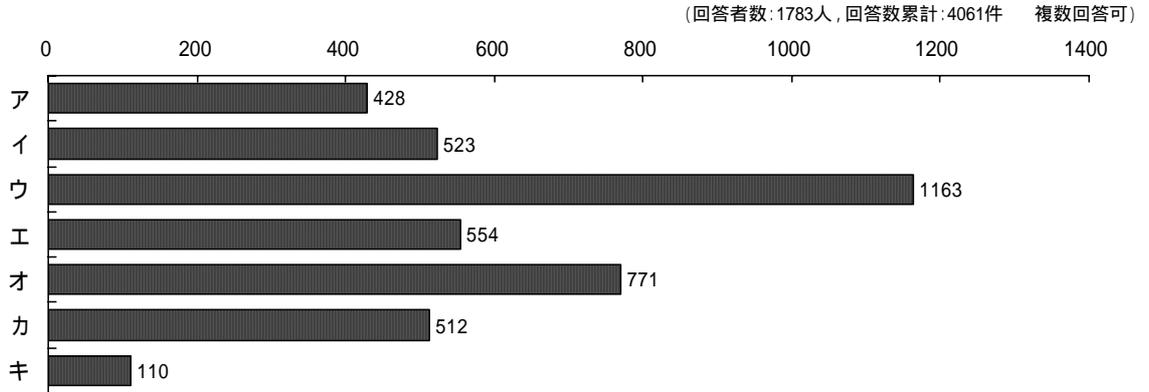
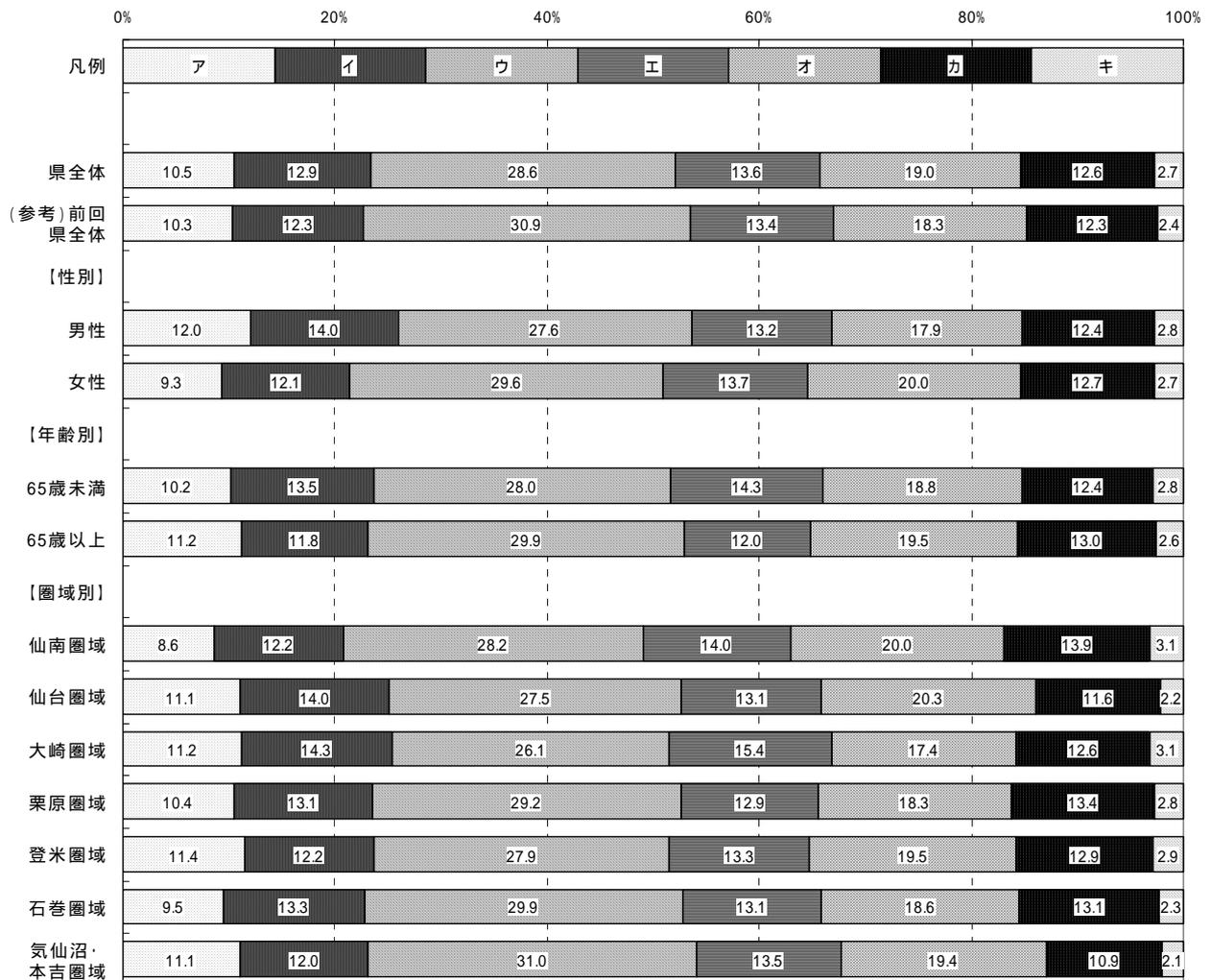


図2-2-18-6 取組18 特に優先すべきと思う項目割合(属性別)



本図は、回答数累計に占める各項目の回答数の割合を属性別に示したものです。

取組 18 「多様な就業機会や就業環境の創出」

取組 19 安心できる地域医療の充実



取組概要

県内の各地域で生涯を通じて必要な医療を受けることができるよう、医療機能の集約化、拠点化、地域間の役割分担等を進め、医師確保や医師の地域的偏在の解消等を目指します。

平成20年度の主な取組

自治体病院等の医師確保のため、全国から希望する医師を募集し、医師不足の自治体病院等に派遣・配置しています。また、将来、地域医療へ従事する意志を持った大学生等を対象に修学資金を貸し付けています。

県内の救急医療体制を充実させるため、内科医等の救急医療担当以外の医師等を対象に、心肺蘇生法や外傷救急などの研修会を実施しています。

東北大学高度救命救急センターの機能・人的資源・ノウハウを最大限活用し、救急科専門医の養成など、高度かつ専門的な救急医療に関する取組を実施しています。

リハビリテーション支援センターや保健福祉事務所が、高齢者及び障害者への個別支援、市町村の保健福祉事業への支援等を行っています。また、理学療法士等の専門職を確保するため、合同就職説明会を開催しています。

がん医療向上のため、がん診療連携拠点病院の機能強化を図るとともに、がん医療従事者の育成、がん患者、家族等への支援体制の充実及びがん登録(がんの実態把握・罹患・生存率の計測等)の従事者育成を実施しています。

【認知度】（県がこの取組を行っていたことについて、どのくらい知っているか）

< 概要 >

県全体

「知っている」「ある程度知っている」を合わせた『高認知群』は49.5%、
「あまり知らない」「知らない」を合わせた『低認知群』は50.6%である。
また前回の『高認知群』は53.6%で、今回は前回より4.1ポイント低い。

性別

男性の『高認知群』は51.9%で、県全体より2.4ポイント高い。

女性の『高認知群』は47.4%で、県全体より2.1ポイント低い。

年齢別

65歳未満の『高認知群』は43.7%で、県全体より5.8ポイント低い。

65歳以上の『高認知群』は61.2%で、県全体より11.7ポイント高い。

圏域別

仙南圏域の『高認知群』は38.4%で、県全体より11.1ポイント低い。

登米圏域の『高認知群』は58.9%で、県全体より9.4ポイント高い。

石巻圏域の『高認知群』は41.5%で、県全体より8.0ポイント低い。

その他の圏域の『高認知群』は、県全体との差が5.0ポイント以内に収まっている。

図2-2-19-1 取組19 認知度割合(属性別)

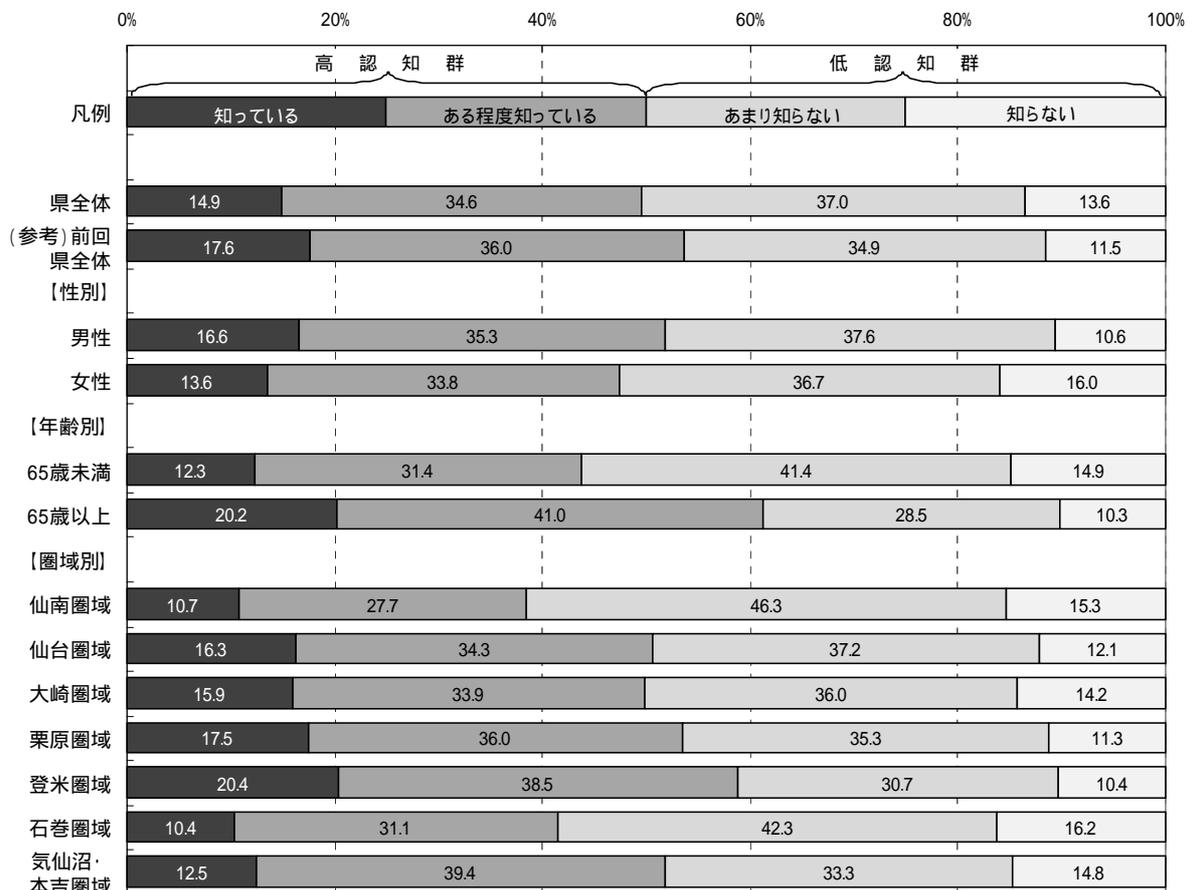


表2-2-19-1 取組19 認知度集計(属性別)

		有 効				合計	欠 損 値	合 計
		知っている	ある程度知っている	あまり知らない	知らない			
県全体	度数	277	643	687	252	1,859	85	1,944
	パーセント	14.9	34.6	37.0	13.6	100.0		
(参考) 前回 県全体	度数	310	633	614	202	1,759	83	1,842
	パーセント	17.6	36.0	34.9	11.5	100.0		
【性別】								
男性	度数	144	306	326	92	868	26	894
	パーセント	16.6	35.3	37.6	10.6	100.0		
女性	度数	128	319	346	151	944	47	991
	パーセント	13.6	33.8	36.7	16.0	100.0		
【年齢別】								
65歳未満	度数	145	371	488	176	1,180	34	1,214
	パーセント	12.3	31.4	41.4	14.9	100.0		
65歳以上	度数	126	256	178	64	624	40	664
	パーセント	20.2	41.0	28.5	10.3	100.0		
【圏域別】								
仙南圏域	度数	26	67	112	37	242	6	248
	パーセント	10.7	27.7	46.3	15.3	100.0		
仙台圏域	度数	39	82	89	29	239	10	249
	パーセント	16.3	34.3	37.2	12.1	100.0		
大崎圏域	度数	38	81	86	34	239	15	254
	パーセント	15.9	33.9	36.0	14.2	100.0		
栗原圏域	度数	51	105	103	33	292	13	305
	パーセント	17.5	36.0	35.3	11.3	100.0		
登米圏域	度数	55	104	83	28	270	9	279
	パーセント	20.4	38.5	30.7	10.4	100.0		
石巻圏域	度数	23	69	94	36	222	7	229
	パーセント	10.4	31.1	42.3	16.2	100.0		
気仙沼・本吉 圏域	度数	33	104	88	39	264	10	274
	パーセント	12.5	39.4	33.3	14.8	100.0		

【関心度】（県が行ってきたこの取組の内容について、どのくらい関心があるか）

< 概要 >

県全体

「関心がある」「ある程度関心がある」を合わせた『高関心群』は89.7%、
「あまり関心がない」「関心がない」を合わせた『低関心群』は10.4%である。

性別

男性の『高関心群』は88.8%で、県全体より0.9ポイント低い。

女性の『高関心群』は90.4%で、県全体より0.7ポイント高い。

年齢別

65歳未満の『高関心群』は89.8%で、県全体より0.1ポイント高い。

65歳以上の『高関心群』は90.0%で、県全体より0.3ポイント高い。

圏域別

各圏域の『高関心群』は、県全体との差が全て5.0ポイント以内に収まっている。

図2-2-19-2 取組19 関心度割合(属性別)

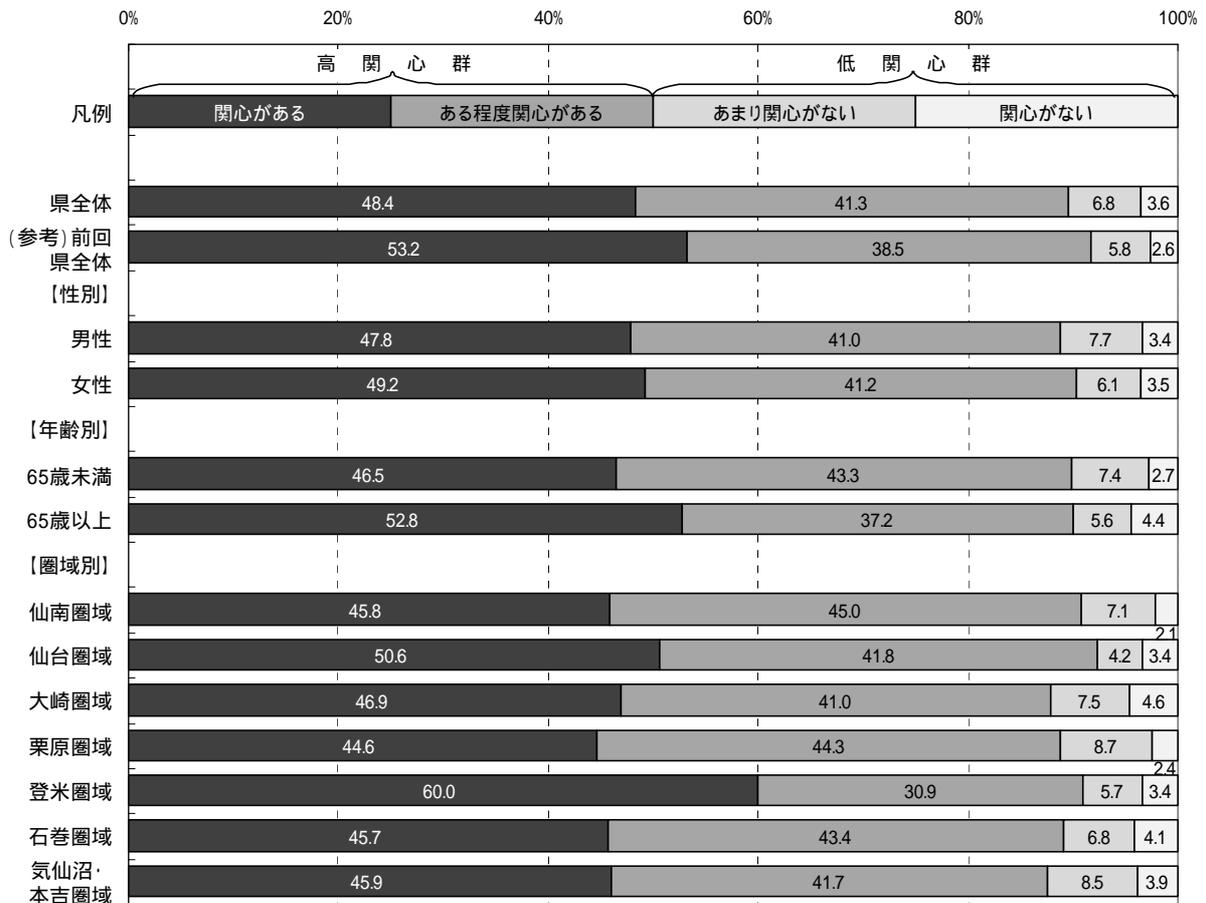


表2-2-19-2 取組19 関心度集計(属性別)

		有 効				合計	欠 損 値	合 計
		関心がある	ある程度 関心がある	あまり 関心がない	関心がない			
県全体	度数	887	757	124	66	1,834	110	1,944
	パーセント	48.4	41.3	6.8	3.6	100.0		
(参考) 前回 県全体	度数	917	663	100	44	1,724	118	1,842
	パーセント	53.2	38.5	5.8	2.6	100.0		
【性別】								
男性	度数	408	350	66	29	853	41	894
	パーセント	47.8	41.0	7.7	3.4	100.0		
女性	度数	461	386	57	33	937	54	991
	パーセント	49.2	41.2	6.1	3.5	100.0		
【年齢別】								
65歳未満	度数	545	507	87	32	1,171	43	1,214
	パーセント	46.5	43.3	7.4	2.7	100.0		
65歳以上	度数	322	227	34	27	610	54	664
	パーセント	52.8	37.2	5.6	4.4	100.0		
【圏域別】								
仙南圏域	度数	109	107	17	5	238	10	248
	パーセント	45.8	45.0	7.1	2.1	100.0		
仙台圏域	度数	120	99	10	8	237	12	249
	パーセント	50.6	41.8	4.2	3.4	100.0		
大崎圏域	度数	112	98	18	11	239	15	254
	パーセント	46.9	41.0	7.5	4.6	100.0		
栗原圏域	度数	128	127	25	7	287	18	305
	パーセント	44.6	44.3	8.7	2.4	100.0		
登米圏域	度数	159	82	15	9	265	14	279
	パーセント	60.0	30.9	5.7	3.4	100.0		
石巻圏域	度数	101	96	15	9	221	8	229
	パーセント	45.7	43.4	6.8	4.1	100.0		
気仙沼・本吉 圏域	度数	119	108	22	10	259	15	274
	パーセント	45.9	41.7	8.5	3.9	100.0		

【重視度】（県がこの取組を今後行っていくことが、どのくらい重要と考えるか）

< 概要 >

県全体

「重要」「やや重要」を合わせた『高重視群』は89.1%、「あまり重要ではない」「重要ではない」を合わせた『低重視群』は2.8%である。

なお、回答全体から「わからない」を除き集計した場合、『高重視群』が96.9%、『低重視群』は3.1%となる。

性別

男性の『高重視群』は90.2%で、県全体より1.1ポイント高い。

女性の『高重視群』は88.4%で、県全体より0.7ポイント低い。

年齢別

65歳未満の『高重視群』は90.6%で、県全体より1.5ポイント高い。

65歳以上の『高重視群』は87.2%で、県全体より1.9ポイント低い。

圏域別

各圏域の『高重視群』は、県全体との差が全て5.0ポイント以内に収まっている。

図2-2-19-3 取組19 重視度割合(属性別)

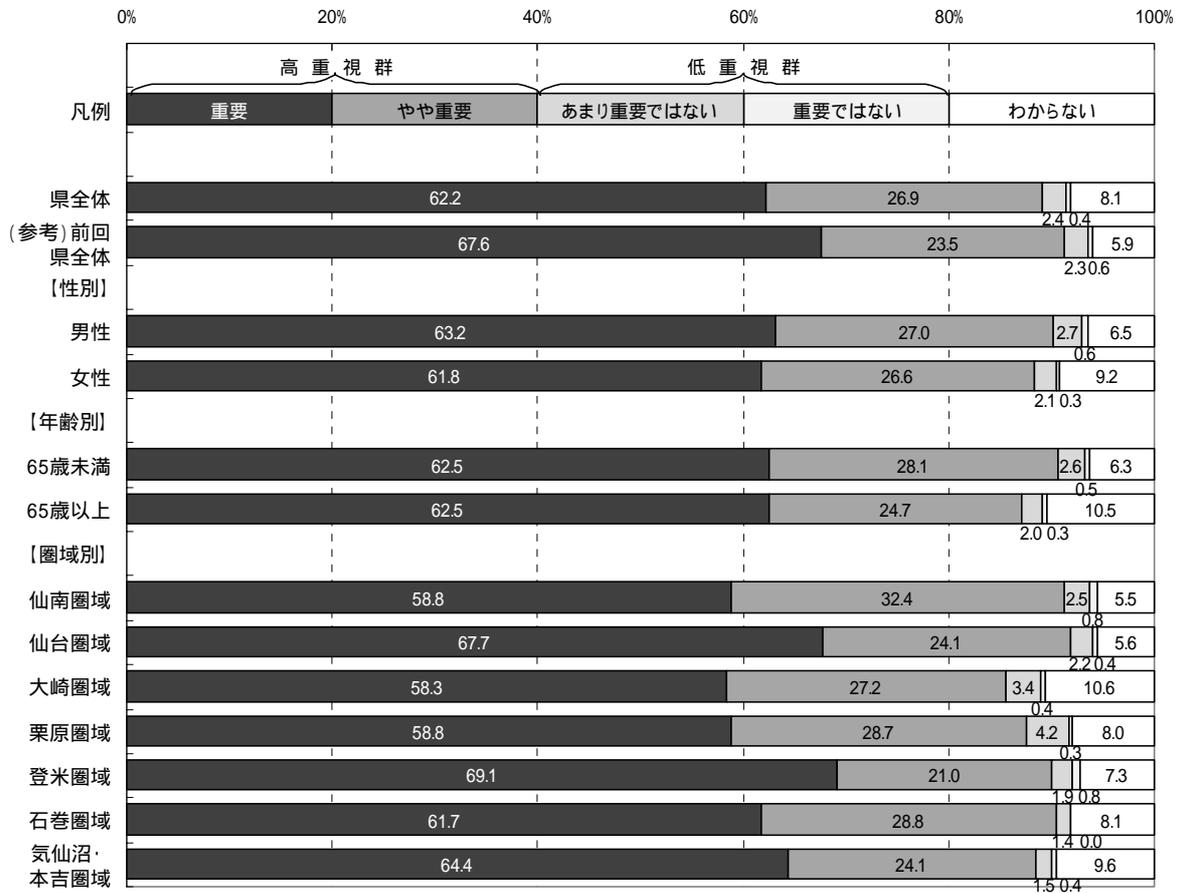


表2-2-19-3 取組19 重視度集計(属性別)

		有 効					合計	欠 損 値	合 計
		重要	やや重要	あまり重要 ではない	重要では ない	わからない			
県全体	度数	1,135	490	43	8	148	1,824	120	1,944
	パーセント	62.2	26.9	2.4	0.4	8.1	100.0		
	「わからない」を 除くパーセント	67.7	29.2	2.6	0.5		100.0		
(参考) 前回 県全体	度数	1,172	408	40	10	103	1,733	109	1,842
	パーセント	67.6	23.5	2.3	0.6	5.9	100.0		
【性別】									
男性	度数	535	229	23	5	55	847	47	894
	パーセント	63.2	27.0	2.7	0.6	6.5	100.0		
女性	度数	577	248	20	3	86	934	57	991
	パーセント	61.8	26.6	2.1	0.3	9.2	100.0		
【年齢別】									
65歳未満	度数	733	329	30	6	74	1,172	42	1,214
	パーセント	62.5	28.1	2.6	0.5	6.3	100.0		
65歳以上	度数	375	148	12	2	63	600	64	664
	パーセント	62.5	24.7	2.0	0.3	10.5	100.0		
【圏域別】									
仙南圏域	度数	140	77	6	2	13	238	10	248
	パーセント	58.8	32.4	2.5	0.8	5.5	100.0		
仙台圏域	度数	157	56	5	1	13	232	17	249
	パーセント	67.7	24.1	2.2	0.4	5.6	100.0		
大崎圏域	度数	137	64	8	1	25	235	19	254
	パーセント	58.3	27.2	3.4	0.4	10.6	100.0		
栗原圏域	度数	170	83	12	1	23	289	16	305
	パーセント	58.8	28.7	4.2	0.3	8.0	100.0		
登米圏域	度数	181	55	5	2	19	262	17	279
	パーセント	69.1	21.0	1.9	0.8	7.3	100.0		
石巻圏域	度数	137	64	3	0	18	222	7	229
	パーセント	61.7	28.8	1.4	0.0	8.1	100.0		
気仙沼・本吉 圏域	度数	168	63	4	1	25	261	13	274
	パーセント	64.4	24.1	1.5	0.4	9.6	100.0		

【満足度】（県が行ってきたこの取組について、どのくらい満足しているか）

< 概要 >

県全体

「満足」「やや満足」を合わせた『満足群』は35.7%、「やや不満」「不満」を合わせた『不満群』は42.4%である。

なお、回答全体から「わからない」を除き集計した場合、『満足群』が45.7%、『不満群』は54.3%となる。

性別

男性の『満足群』は35.3%で、県全体より0.4ポイント低い。

女性の『満足群』は36.3%で、県全体より0.6ポイント高い。

年齢別

65歳未満の『満足群』は31.0%で、県全体より4.7ポイント低い。

65歳以上の『満足群』は45.7%で、県全体より10.0ポイント高い。

圏域別

各圏域の『満足群』は、県全体との差が全て5.0ポイント以内に収まっている。

図2-2-19-4 取組19 満足度割合(属性別)

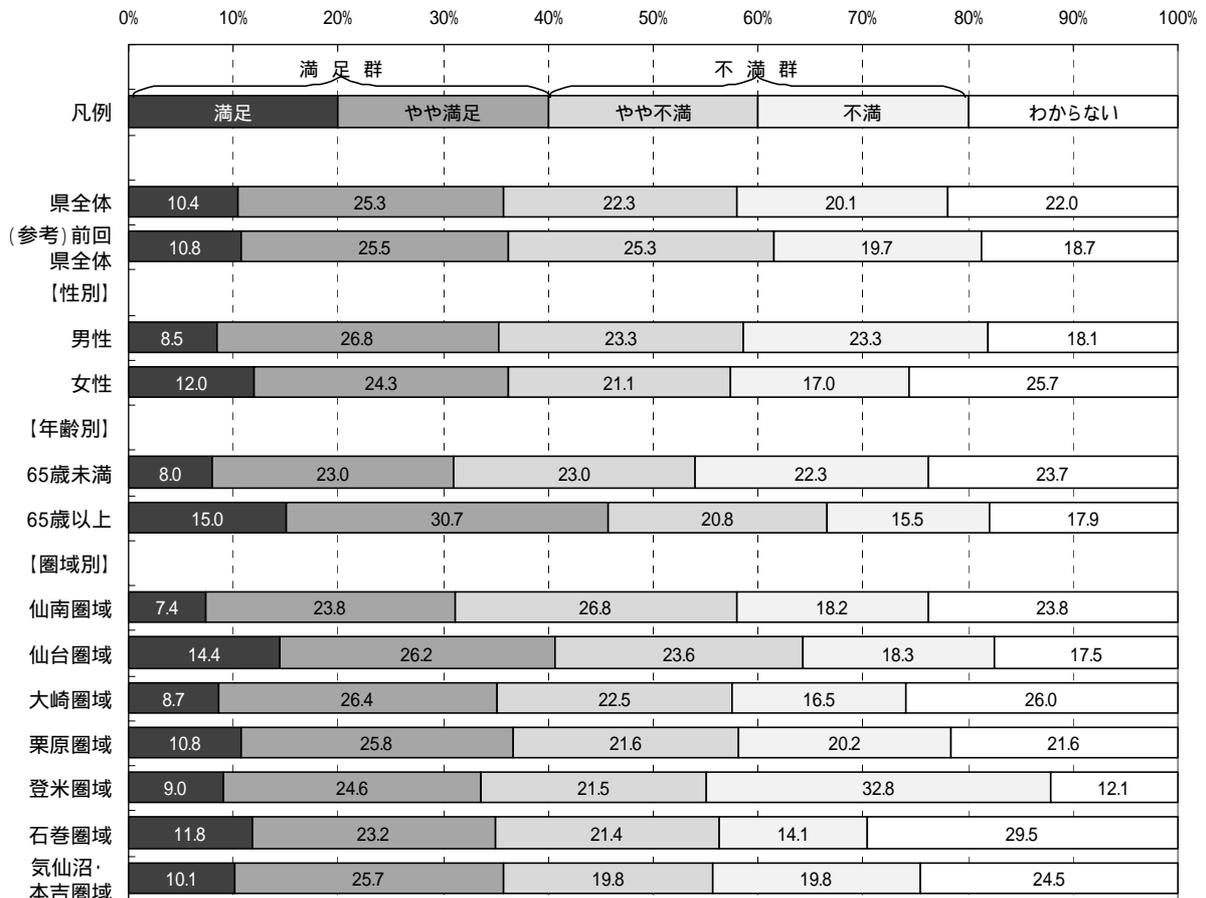


表2-2-19-4 取組19 満足度集計(属性別)

		有 効						欠 損 値	合 計
		満足	やや満足	やや不満	不満	わからない	合計		
県全体	度数	186	454	400	360	394	1,794	150	1,944
	パーセント	10.4	25.3	22.3	20.1	22.0	100.0		
	「わからない」を除くパーセント	13.3	32.4	28.6	25.7		100.0		
(参考) 前回 県全体	度数	184	436	433	337	320	1,710	132	1,842
	パーセント	10.8	25.5	25.3	19.7	18.7	100.0		
【性別】									
男性	度数	71	224	195	195	151	836	58	894
	パーセント	8.5	26.8	23.3	23.3	18.1	100.0		
女性	度数	110	223	194	156	236	919	72	991
	パーセント	12.0	24.3	21.1	17.0	25.7	100.0		
【年齢別】									
65歳未満	度数	93	266	266	259	275	1,159	55	1,214
	パーセント	8.0	23.0	23.0	22.3	23.7	100.0		
65歳以上	度数	88	180	122	91	105	586	78	664
	パーセント	15.0	30.7	20.8	15.5	17.9	100.0		
【圏域別】									
仙南圏域	度数	17	55	62	42	55	231	17	248
	パーセント	7.4	23.8	26.8	18.2	23.8	100.0		
仙台圏域	度数	33	60	54	42	40	229	20	249
	パーセント	14.4	26.2	23.6	18.3	17.5	100.0		
大崎圏域	度数	20	61	52	38	60	231	23	254
	パーセント	8.7	26.4	22.5	16.5	26.0	100.0		
栗原圏域	度数	31	74	62	58	62	287	18	305
	パーセント	10.8	25.8	21.6	20.2	21.6	100.0		
登米圏域	度数	23	63	55	84	31	256	23	279
	パーセント	9.0	24.6	21.5	32.8	12.1	100.0		
石巻圏域	度数	26	51	47	31	65	220	9	229
	パーセント	11.8	23.2	21.4	14.1	29.5	100.0		
気仙沼・本吉 圏域	度数	26	66	51	51	63	257	17	274
	パーセント	10.1	25.7	19.8	19.8	24.5	100.0		

【特に優先すべきと思う項目】

取組19に関し、目標とする宮城の姿を目指して、県が下記の項目の中で今後特に優先すべきと思う項目について調査した。(複数回答可)

- ア 全国から県内の自治体病院での勤務を希望する医師を募集・配置するなど、地域医療を充実させるための医師確保
- イ 県内の各地域ごとの拠点となる病院の整備への支援と、各地域の病院、診療所間の連携・機能分担の促進
- ウ 救急医療を担う人材の育成・確保と、救急医療情報システムの活用により各地域内で救急医療を完結できる体制づくり
- エ 総合的なりハビリテーションが提供できる体制づくりと、県リハビリテーション支援センターの充実
- オ より高度で専門的ながん医療提供のため、県立がんセンターなどがん診療の拠点となる病院の機能強化や在宅緩和ケアの体制づくりなど、総合的ながん対策
- カ 看護職員の確実な確保とその資質向上のために必要となる養成施設などへの支援

(参考:目標とする宮城の姿)

各地域の拠点となる病院などで必要な医師数が確保され、医師の不足や地域による偏りが改善されています。
 より身近な地域で患者の立場に立った医療サービスが行われています。
 救急患者への素早い対応や、大規模災害に備えた救急医療体制づくりが進んでいます。
 保健・医療・福祉分野が連携してリハビリテーションサービスが行われており、高齢者や障害者が住み慣れた地域で自立した生活を送っています。
 がん診療の拠点となる病院を中心に、より高度ながん医療が行われています。また、がん患者の生活の質の向上が図られています。

< 概要 >

県全体及び属性別(性別・年齢別・圏域別)の優先順位第1位から第3位までは以下のとおり。

	県全体	性別		年齢別	
		男性	女性	65歳未満	65歳以上
第1位:	ア(ア)	ア	ア	ア	ア
第2位:	ウ(ウ)	ウ	ウ	ウ	ウ
第3位:	イ(イ)	イ	イ	イ	イ

	圏域別						
	仙南	仙台	大崎	栗原	登米	石巻	気仙沼・本吉
第1位:	ウ	ア	ア	ア	ア	ア	ア
第2位:	ア	ウ	ウ	ウ	ウ	ウ	イ
第3位:	イ	イ	イ	イ	イ	カ	ウ

属性別の優先順位が県全体と異なる場合、項目記号を網掛けしている。
 ()内は、前回の優先順位

図2-2-19-5 取組19 特に優先すべきと思う項目回答数(県全体)

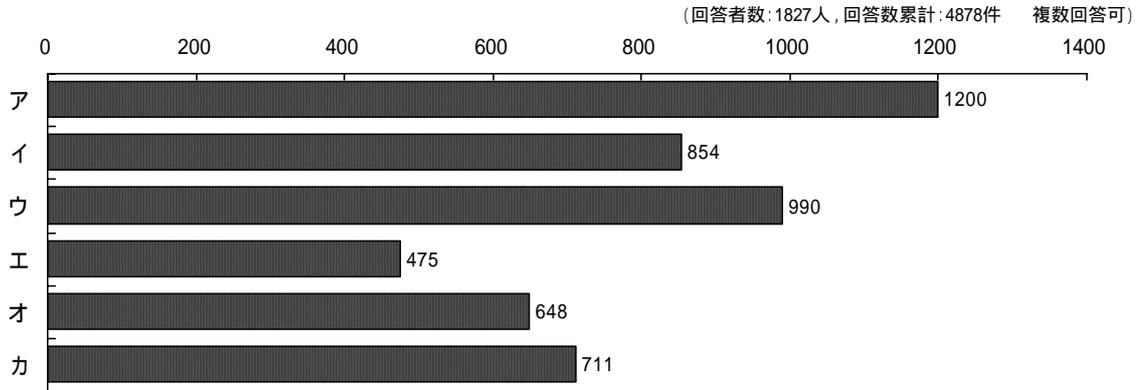
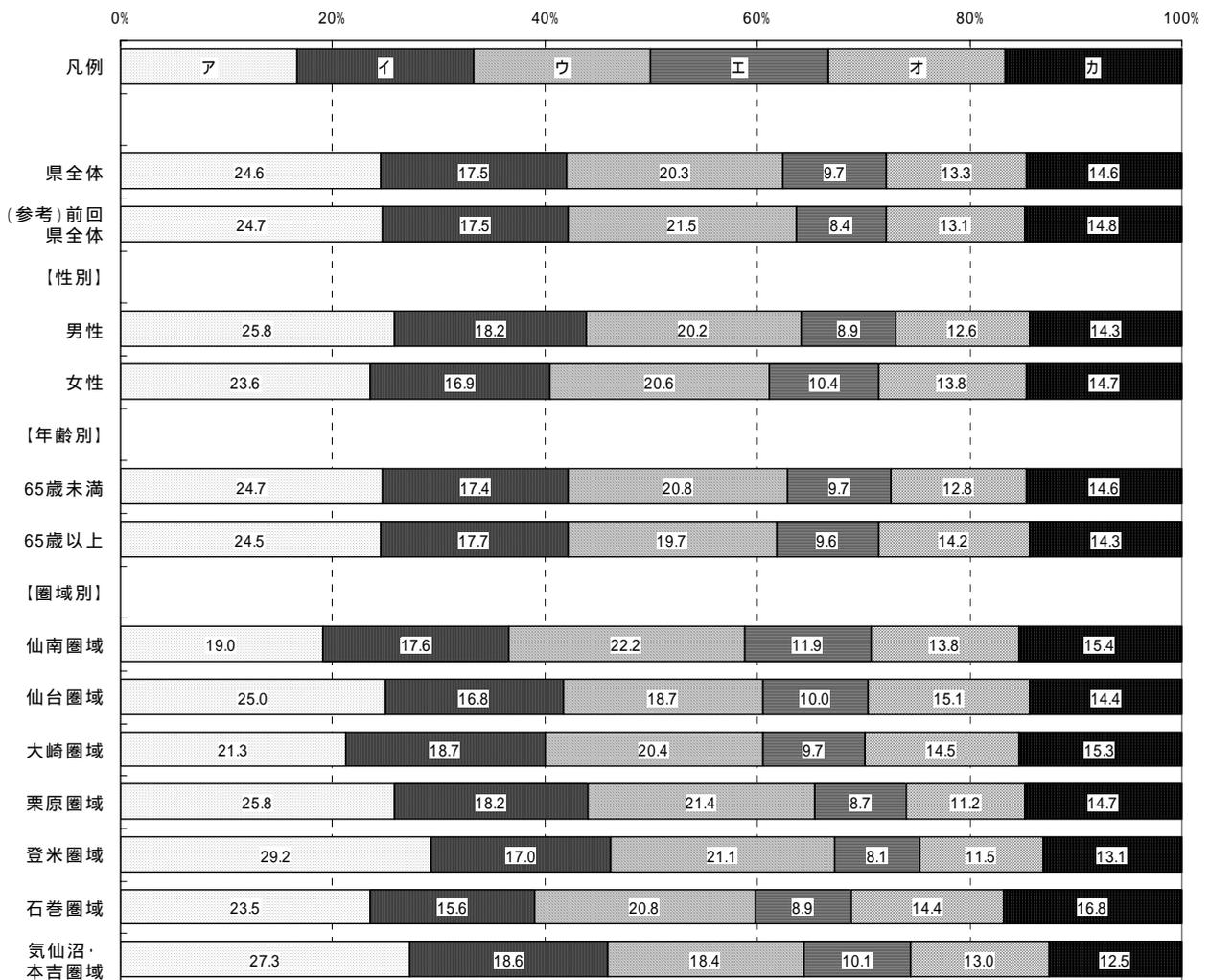


図2-2-19-6 取組19 特に優先すべきと思う項目割合(属性別)



本図は、回答数累計に占める各項目の回答数の割合を属性別に示したものです。

取組 2 0 生涯を豊かに暮らすための健康づくり



取組概要

県民一人一人が生涯現役でいきいきと暮らしていけるよう、若い世代からの予防を重視した健康づくりを進めるとともに、新たな感染症などの流行に備えた感染症危機管理体制の構築を目指します。

平成 2 0 年度の主な取組

健康づくりの総合的な指針である「みやぎ21健康プラン」の着実な推進に向け、望ましい食生活や運動の普及、たばこ対策等といった県民の健康づくりのための普及啓発等を行っています。

メタボリックシンドロームの予防・改善のため、職場での健康づくりの取組への支援、予防1日体験セミナー等の普及啓発、保健指導従事者への研修等を行っています。

県民の食育に対する意識を高めるため、食育推進県民大会やあさごはんコンテストを実施しています。また、地域の取組を支援するため、「みやぎ食育コーディネーター養成講座」を開催しています。

心の健康問題に対する正しい理解を促進するための普及啓発を行うとともに、地域におけるうつ病対策や自殺対策として、各保健福祉事務所等に相談窓口を設置しています。

新型インフルエンザに備え、発生時を想定した訓練や研修会を行うとともに、感染症対策の支援協定を東北大学・東北大学病院と締結するなど、対策の充実強化を図っています。

【認知度】 (県がこの取組を行っていたことについて、どのくらい知っているか)

< 概要 >

県全体

「知っている」「ある程度知っている」を合わせた『高認知群』は53.9%、
「あまり知らない」「知らない」を合わせた『低認知群』は46.0%である。

性別

男性の『高認知群』は49.7%で、県全体より4.2ポイント低い。

女性の『高認知群』は57.9%で、県全体より4.0ポイント高い。

年齢別

65歳未満の『高認知群』は50.5%で、県全体より3.4ポイント低い。

65歳以上の『高認知群』は61.0%で、県全体より7.1ポイント高い。

圏域別

各圏域の『高認知群』は、県全体との差が全て5.0ポイント以内に収まっている。

図2-2-20-1 取組20 認知度割合(属性別)

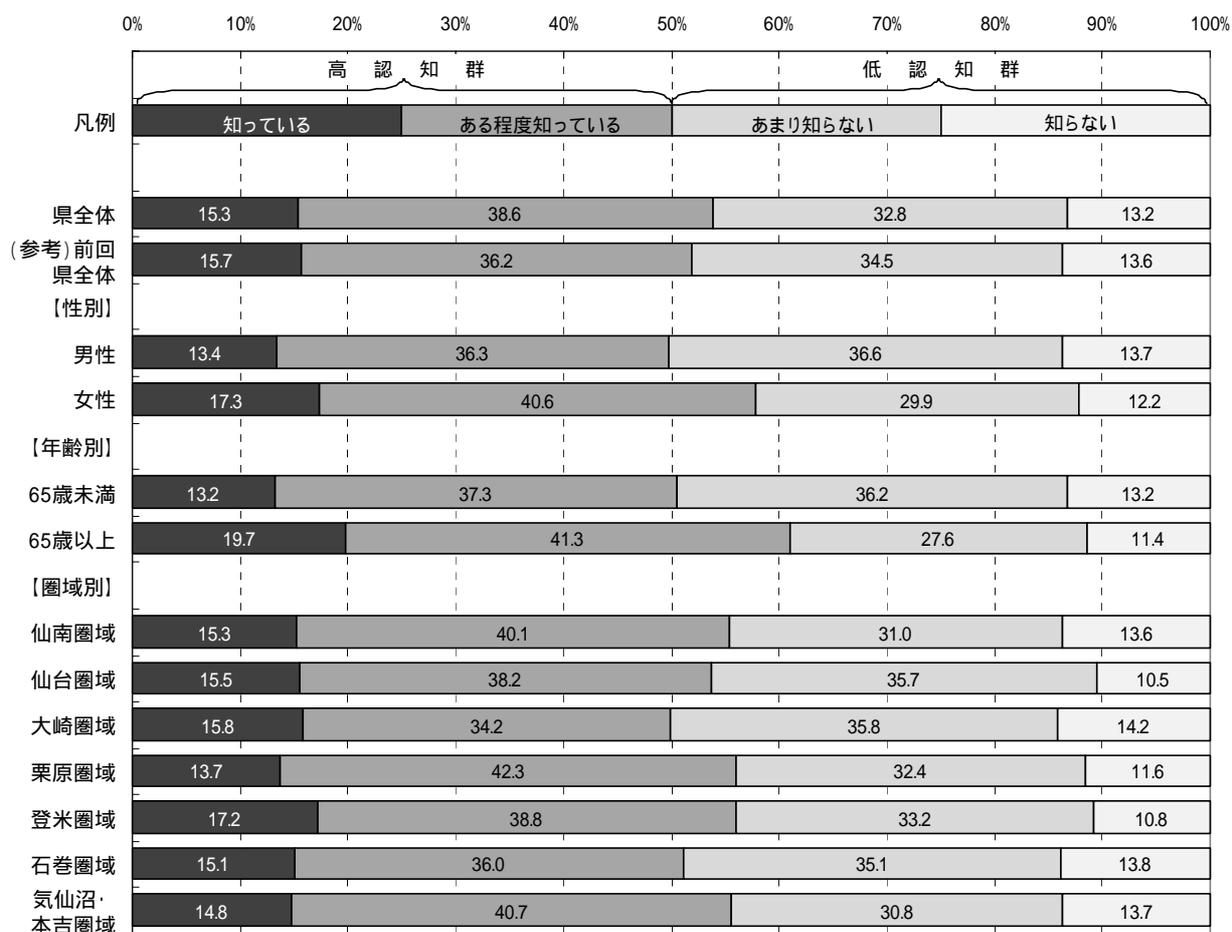


表2-2-20-1 取組20 認知度集計(属性別)

		有 効				合計	欠 損 値	合 計
		知っている	ある程度 知っている	あまり 知らない	知らない			
県全体	度数	285	716	610	246	1,857	87	1,944
	パーセント	15.3	38.6	32.8	13.2	100.0		
(参考)前回 県全体	度数	277	641	610	241	1,769	73	1,842
	パーセント	15.7	36.2	34.5	13.6	100.0		
【性別】								
男性	度数	117	316	318	119	870	24	894
	パーセント	13.4	36.3	36.6	13.7	100.0		
女性	度数	163	383	282	115	943	48	991
	パーセント	17.3	40.6	29.9	12.2	100.0		
【年齢別】								
65歳未満	度数	156	439	427	156	1,178	36	1,214
	パーセント	13.2	37.3	36.2	13.2	100.0		
65歳以上	度数	123	258	172	71	624	40	664
	パーセント	19.7	41.3	27.6	11.4	100.0		
【圏域別】								
仙南圏域	度数	37	97	75	33	242	6	248
	パーセント	15.3	40.1	31.0	13.6	100.0		
仙台圏域	度数	37	91	85	25	238	11	249
	パーセント	15.5	38.2	35.7	10.5	100.0		
大崎圏域	度数	38	82	86	34	240	14	254
	パーセント	15.8	34.2	35.8	14.2	100.0		
栗原圏域	度数	40	124	95	34	293	12	305
	パーセント	13.7	42.3	32.4	11.6	100.0		
登米圏域	度数	46	104	89	29	268	11	279
	パーセント	17.2	38.8	33.2	10.8	100.0		
石巻圏域	度数	34	81	79	31	225	4	229
	パーセント	15.1	36.0	35.1	13.8	100.0		
気仙沼・本吉 圏域	度数	39	107	81	36	263	11	274
	パーセント	14.8	40.7	30.8	13.7	100.0		

【関心度】 (県が行ってきたこの取組の内容について、どのくらい関心があるか)

< 概要 >

県全体

「関心がある」「ある程度関心がある」を合わせた『高関心群』は82.6%、
「あまり関心がない」「関心がない」を合わせた『低関心群』は17.4%である。

性別

男性の『高関心群』は80.2%で、県全体より2.4ポイント低い。

女性の『高関心群』は85.5%で、県全体より2.9ポイント高い。

年齢別

65歳未満の『高関心群』は83.2%で、県全体より0.6ポイント高い。

65歳以上の『高関心群』は82.7%で、県全体より0.1ポイント高い。

圏域別

気仙沼・本吉圏域の『高関心群』は76.9%で、県全体より5.7ポイント低い。

その他の圏域の『高関心群』は、県全体との差が5.0ポイント以内に収まっている。

図2-2-20-2 取組20 関心度割合(属性別)

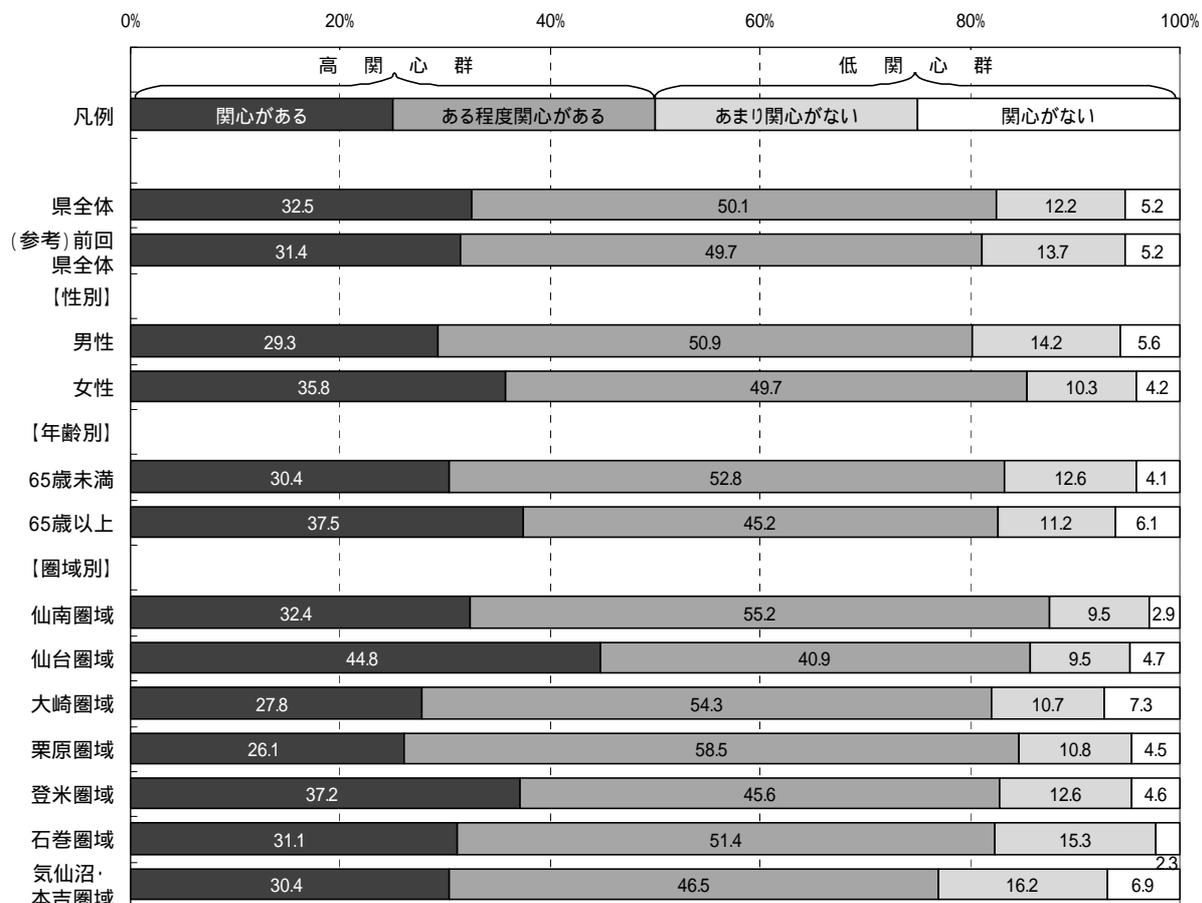


表2-2-20-2 取組20 関心度集計(属性別)

		有 効					欠 損 値	合 計
		関心がある	ある程度 関心がある	あまり 関心がない	関心がない	合計		
県全体	度数	592	914	223	95	1,824	120	1,944
	パーセント	32.5	50.1	12.2	5.2	100.0		
(参考)前回 県全体	度数	542	857	237	89	1,725	117	1,842
	パーセント	31.4	49.7	13.7	5.2	100.0		
【性別】								
男性	度数	250	434	121	48	853	41	894
	パーセント	29.3	50.9	14.2	5.6	100.0		
女性	度数	332	461	96	39	928	63	991
	パーセント	35.8	49.7	10.3	4.2	100.0		
【年齢別】								
65歳未満	度数	354	614	147	48	1,163	51	1,214
	パーセント	30.4	52.8	12.6	4.1	100.0		
65歳以上	度数	228	275	68	37	608	56	664
	パーセント	37.5	45.2	11.2	6.1	100.0		
【圏域別】								
仙南圏域	度数	78	133	23	7	241	7	248
	パーセント	32.4	55.2	9.5	2.9	100.0		
仙台圏域	度数	104	95	22	11	232	17	249
	パーセント	44.8	40.9	9.5	4.7	100.0		
大崎圏域	度数	65	127	25	17	234	20	254
	パーセント	27.8	54.3	10.7	7.3	100.0		
栗原圏域	度数	75	168	31	13	287	18	305
	パーセント	26.1	58.5	10.8	4.5	100.0		
登米圏域	度数	97	119	33	12	261	18	279
	パーセント	37.2	45.6	12.6	4.6	100.0		
石巻圏域	度数	69	114	34	5	222	7	229
	パーセント	31.1	51.4	15.3	2.3	100.0		
気仙沼・本吉 圏域	度数	79	121	42	18	260	14	274
	パーセント	30.4	46.5	16.2	6.9	100.0		

【重視度】（県がこの取組を今後行っていくことが、どのくらい重要と考えるか）

< 概要 >

県全体

「重要」「やや重要」を合わせた『高重視群』は80.6%、「あまり重要ではない」「重要ではない」を合わせた『低重視群』は9.4%である。

なお、回答全体から「わからない」を除き集計した場合、『高重視群』が89.6%、『低重視群』は10.4%となる。

性別

男性の『高重視群』は79.0%で、県全体より1.6ポイント低い。

女性の『高重視群』は83.2%で、県全体より2.6ポイント高い。

年齢別

65歳未満の『高重視群』は81.1%で、県全体より0.5ポイント高い。

65歳以上の『高重視群』は81.4%で、県全体より0.8ポイント高い。

圏域別

仙台圏域の『高重視群』は87.8%で、県全体より7.2ポイント高い

その他の圏域の『高重視群』は、県全体との差が5.0ポイント以内に収まっている。

図2-2-20-3 取組20 重視度割合(属性別)

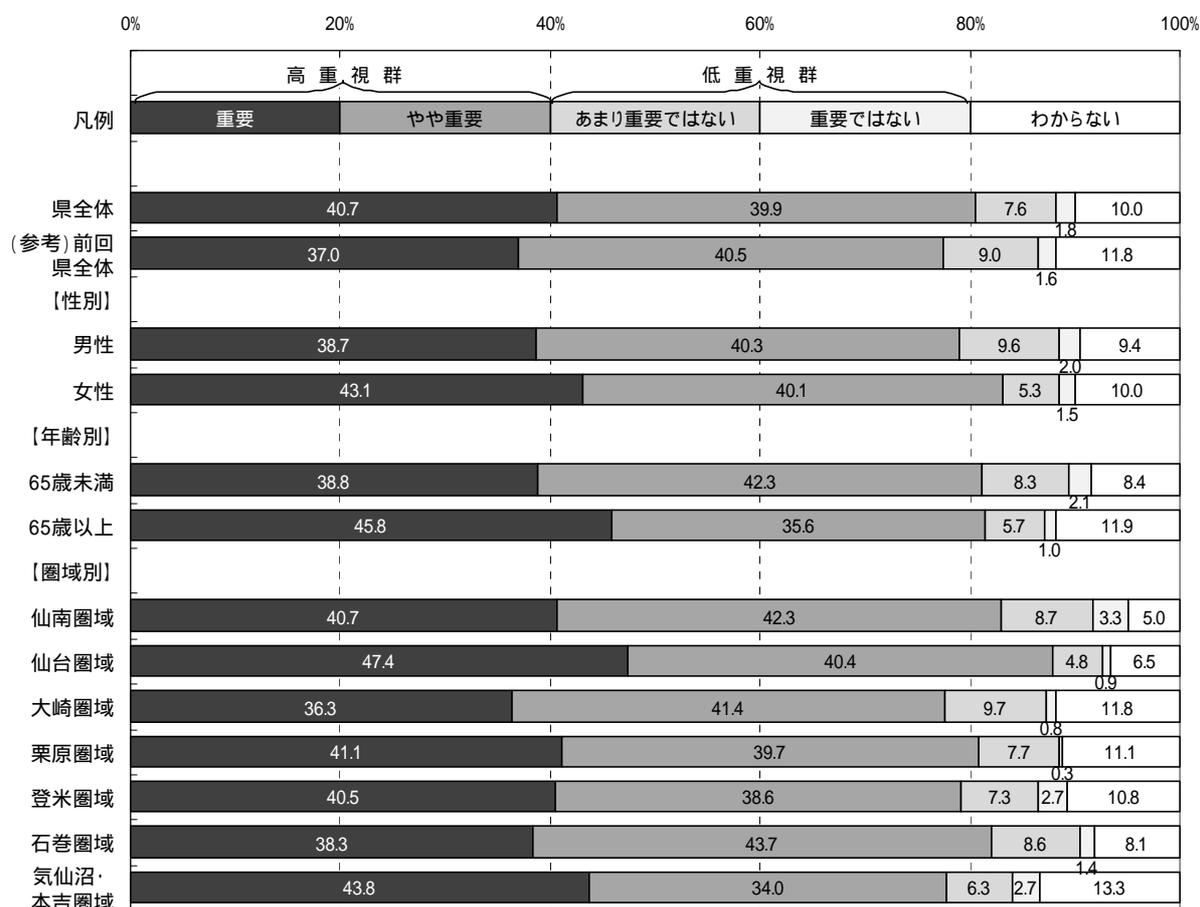


表2-2-20-3 取組20 重視度集計(属性別)

		有 効					合計	欠 損 値	合 計
		重要	やや重要	あまり重要 ではない	重要では ない	わからない			
県全体	度数	737	724	137	33	182	1,813	131	1,944
	パーセント	40.7	39.9	7.6	1.8	10.0	100.0		
	「わからない」を 除くパーセント	45.2	44.4	8.4	2.0		100.0		
(参考) 前回 県全体	度数	641	701	156	28	205	1,731	111	1,842
	パーセント	37.0	40.5	9.0	1.6	11.8	100.0		
【性別】									
男性	度数	328	341	81	17	80	847	47	894
	パーセント	38.7	40.3	9.6	2.0	9.4	100.0		
女性	度数	397	370	49	14	92	922	69	991
	パーセント	43.1	40.1	5.3	1.5	10.0	100.0		
【年齢別】									
65歳未満	度数	451	492	97	25	98	1,163	51	1,214
	パーセント	38.8	42.3	8.3	2.1	8.4	100.0		
65歳以上	度数	274	213	34	6	71	598	66	664
	パーセント	45.8	35.6	5.7	1.0	11.9	100.0		
【圏域別】									
仙南圏域	度数	98	102	21	8	12	241	7	248
	パーセント	40.7	42.3	8.7	3.3	5.0	100.0		
仙台圏域	度数	109	93	11	2	15	230	19	249
	パーセント	47.4	40.4	4.8	0.9	6.5	100.0		
大崎圏域	度数	86	98	23	2	28	237	17	254
	パーセント	36.3	41.4	9.7	0.8	11.8	100.0		
栗原圏域	度数	118	114	22	1	32	287	18	305
	パーセント	41.1	39.7	7.7	0.3	11.1	100.0		
登米圏域	度数	105	100	19	7	28	259	20	279
	パーセント	40.5	38.6	7.3	2.7	10.8	100.0		
石巻圏域	度数	85	97	19	3	18	222	7	229
	パーセント	38.3	43.7	8.6	1.4	8.1	100.0		
気仙沼・本吉 圏域	度数	112	87	16	7	34	256	18	274
	パーセント	43.8	34.0	6.3	2.7	13.3	100.0		

【満足度】 (県が行ってきたこの取組について、どのくらい満足しているか)

< 概要 >

県全体

「満足」「やや満足」を合わせた『満足群』は44.4%、「やや不満」「不満」を合わせた『不満群』は28.2%である。

なお、回答全体から「わからない」を除き集計した場合、『満足群』が61.2%、『不満群』は38.9%となる。

性別

男性の『満足群』は43.3%で、県全体より1.1ポイント低い。

女性の『満足群』は46.4%で、県全体より2.0ポイント高い。

年齢別

65歳未満の『満足群』は41.1%で、県全体より3.3ポイント低い。

65歳以上の『満足群』は52.9%で、県全体より8.5ポイント高い。

圏域別

仙南圏域の『満足群』は38.3%で、県全体より6.1ポイント低い。

仙台圏域の『満足群』は50.7%で、県全体より6.3ポイント高い。

その他の圏域の『満足群』は、県全体との差が5.0ポイント以内に収まっている。

図2-2-20-4 取組20 満足度割合(属性別)

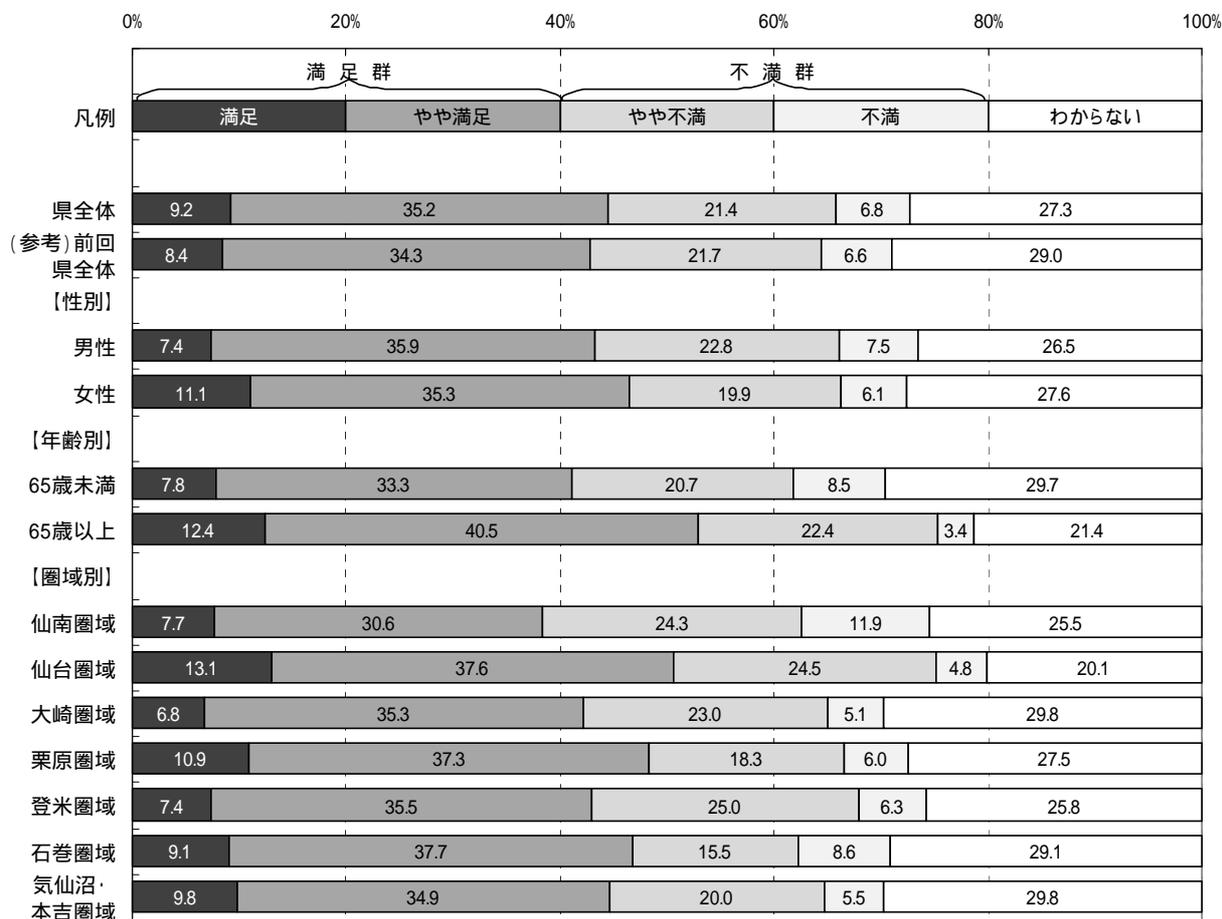


表2-2-20-4 取組20 満足度集計(属性別)

		有 効						欠 損 値	合 計
		満足	やや満足	やや不満	不満	わからない	合計		
県全体	度数	165	631	384	122	490	1,792	152	1,944
	パーセント	9.2	35.2	21.4	6.8	27.3	100.0		
	「わからない」を除くパーセント	12.7	48.5	29.5	9.4		100.0		
(参考) 前回 県全体	度数	144	586	370	112	494	1,706	136	1,842
	パーセント	8.4	34.3	21.7	6.6	29.0	100.0		
【性別】									
男性	度数	62	302	192	63	223	842	52	894
	パーセント	7.4	35.9	22.8	7.5	26.5	100.0		
女性	度数	101	322	181	56	251	911	80	991
	パーセント	11.1	35.3	19.9	6.1	27.6	100.0		
【年齢別】									
65歳未満	度数	90	384	239	98	342	1,153	61	1,214
	パーセント	7.8	33.3	20.7	8.5	29.7	100.0		
65歳以上	度数	73	239	132	20	126	590	74	664
	パーセント	12.4	40.5	22.4	3.4	21.4	100.0		
【圏域別】									
仙南圏域	度数	18	72	57	28	60	235	13	248
	パーセント	7.7	30.6	24.3	11.9	25.5	100.0		
仙台圏域	度数	30	86	56	11	46	229	20	249
	パーセント	13.1	37.6	24.5	4.8	20.1	100.0		
大崎圏域	度数	16	83	54	12	70	235	19	254
	パーセント	6.8	35.3	23.0	5.1	29.8	100.0		
栗原圏域	度数	31	106	52	17	78	284	21	305
	パーセント	10.9	37.3	18.3	6.0	27.5	100.0		
登米圏域	度数	19	91	64	16	66	256	23	279
	パーセント	7.4	35.5	25.0	6.3	25.8	100.0		
石巻圏域	度数	20	83	34	19	64	220	9	229
	パーセント	9.1	37.7	15.5	8.6	29.1	100.0		
気仙沼・本吉 圏域	度数	25	89	51	14	76	255	19	274
	パーセント	9.8	34.9	20.0	5.5	29.8	100.0		

【特に優先すべきと思う項目】

取組20に関し、目標とする宮城の姿を目指して、県が下記の項目の中で今後特に優先すべきと思う項目について調査した。(複数回答可)

- ア 「みやぎ21健康プラン」に基づく、バランスの取れた食生活・食習慣の実現や運動習慣の普及・定着など、県民の健康づくり
- イ がん予防のための普及啓発、マンモグラフィ検診など効果的で質の高いがん検診の普及
- ウ 地域や学校、家庭、職場などが連携・協力して行う、宮城の特性を生かした総合的な食育
- エ 保健所や衛生研究所、医療機関などが連携した防疫、医療提供、情報提供などの体制づくりと、感染症集団発生に備えた隣県等を含めた広域的な連携体制づくり
- オ 乳幼児期から高齢期まで、一人一人の人生の段階に応じた心の健康づくりのための相談、指導体制づくり
- カ 乳幼児に対するフッ化物の活用の推進、各々の年代や地域の実情に応じた歯科保健体制づくり

(参考:目標とする宮城の姿)

生活習慣の見直しや健康づくりに取り組む県民が増え、メタボリックシンドローム該当者や生活習慣病の有病者が減少しています。
生活習慣を改善したり、がん検診を進んで受ける県民が増え、がんによる死亡率が減少しています。
「食育」の取組により食に対する理解や関心が高まり、バランスの取れた食生活を送る県民が増えています。
新型インフルエンザなど、新たな感染症の流行に備えた危機管理体制が整っています。

< 概要 >

県全体及び属性別(性別・年齢別・圏域別)の優先順位第1位から第3位までは以下のとおり。

	県全体	性別		年齢別	
		男性	女性	65歳未満	65歳以上
第1位:	イ(イ)	イ	イ	イ	イ
第2位:	ア(ア)	ア	ア	エ	ア
第3位:	エ(エ)	エ	エ	ア	エ

	圏域別						
	仙南	仙台	大崎	栗原	登米	石巻	気仙沼・本吉
第1位:	イ	イ	イ	イ	イ	イ	イ
第2位:	エ	ア	ア	ア	ア	ア	ア
第3位:	ア	エ	オ	エ	エ	エ	エ

属性別の優先順位が県全体と異なる場合、項目記号を網掛けしている。
()内は、前回の優先順位

図2-2-20-5 取組20 特に優先すべきと思う項目回答数(県全体)

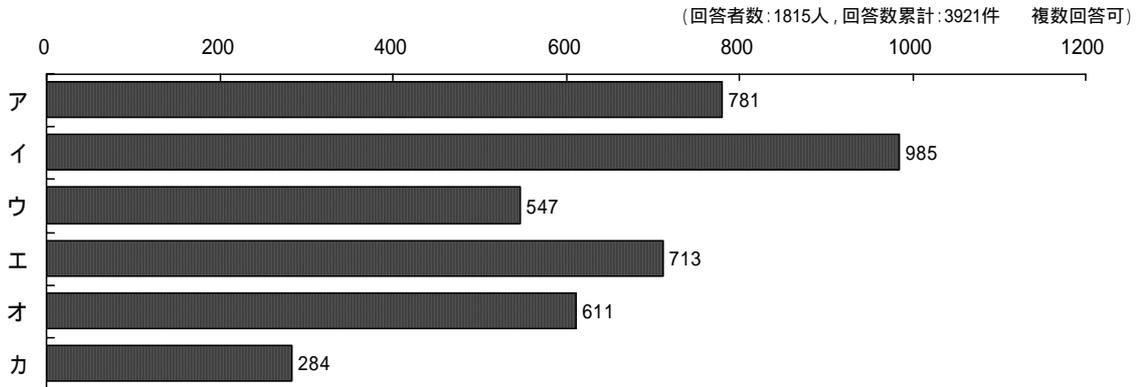
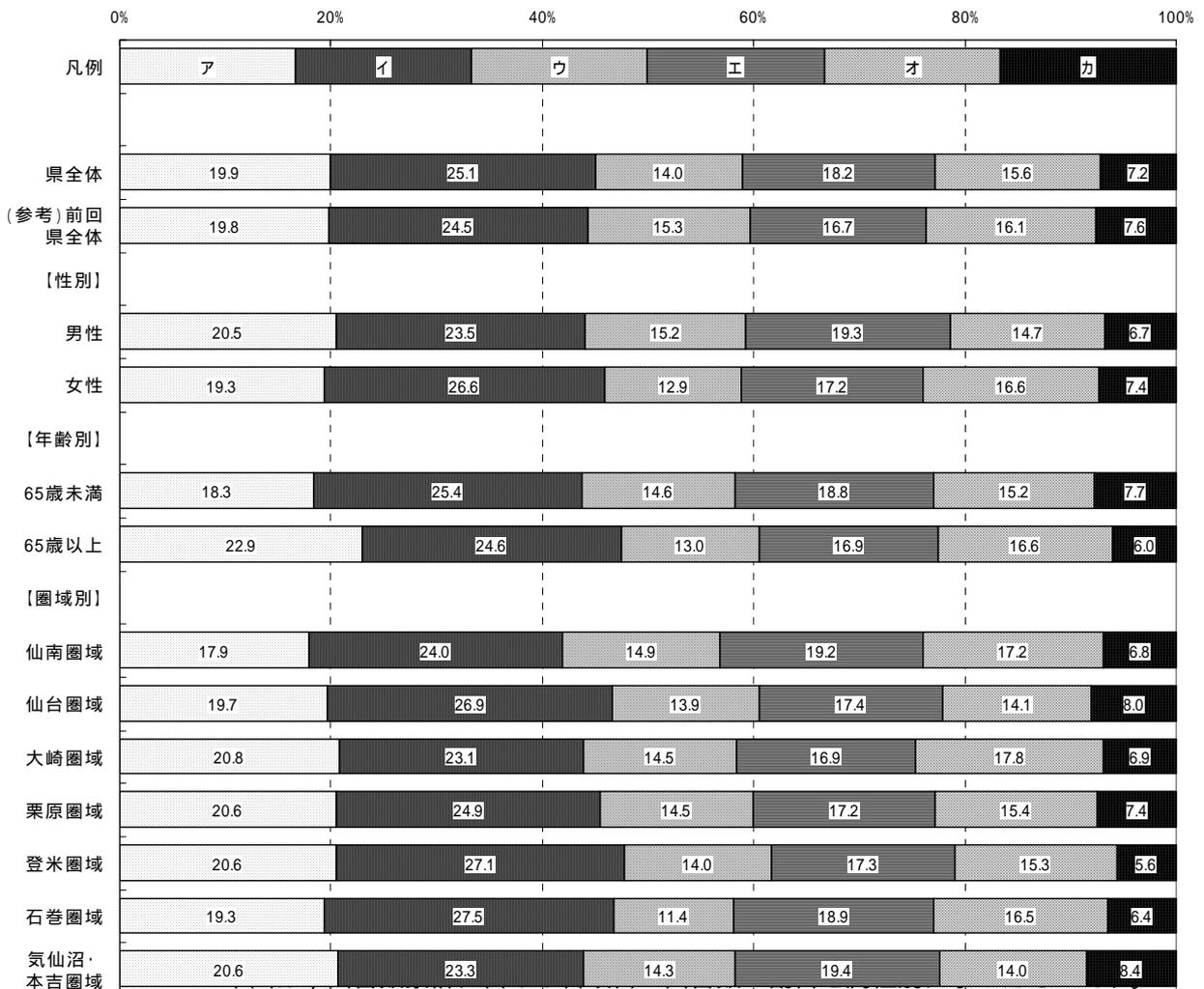


図2-2-20-6 取組20 特に優先すべきと思う項目割合(属性別)



本図は、回答数累計に占める各項目の回答数の割合を属性別に示したものです。

取組20「生涯を豊かに暮らすための健康づくり」

取組 2 1 高齢者が元気に安心して暮らせる環境づくり



取組概要

高齢者がその能力や経験を生かしながら、社会の一員として積極的に社会活動に参加できるような地域社会づくりや、高齢者ができる限り住み慣れた地域で自立した生活を送るための仕組みづくりを推進して、「高齢者が地域で自分らしい生活を安心して送れる社会」の実現を目指します。

平成 2 0 年度の主な取組

高齢者の生きがいや健康づくりを支援するため、情報誌「いきいきライフみやぎ」の発行、シニア美術展の開催、ねんりんピック(全国健康福祉祭)への選手派遣等に取り組む県社会福祉協議会へ補助を行っています。

要介護高齢者の介護などの日常生活上のお世話、機能訓練、健康管理及び療養上のサービスを行う特別養護老人ホームの建設に対して補助を行っています。

要介護高齢者がサービスを適切に利用できるように支援する介護支援専門員(ケアマネジャー)の養成や、介護支援専門員がより質の高い支援ができるよう研修を行っています。

地域の高齢者の生活を支える中核機関である地域包括支援センターの職員に対し、総合相談支援等の包括的支援事業や介護予防支援業務が円滑に実施されるよう、研修を行っています。

高齢者虐待防止に向けた研修会や講演会を開催しています。また、虐待相談窓口である市町村や地域包括支援センターの機能強化を支援するため、相談窓口を設置しています。

認知症を早期発見し、適切な治療や介護につなげるため、高齢者などが日頃受診する主治医(かかり付け医)に対して、認知症医療の現状や支援体制についての研修を行っています。

【認知度】（県がこの取組を行っていたことについて、どのくらい知っているか）

< 概要 >

県全体

「知っている」「ある程度知っている」を合わせた『高認知群』は50.0%，
「あまり知らない」「知らない」を合わせた『低認知群』は50.0%である。

性別

男性の『高認知群』は48.6%で、県全体より1.4ポイント低い。

女性の『高認知群』は51.0%で、県全体より1.0ポイント高い。

年齢別

65歳未満の『高認知群』は41.0%で、県全体より9.0ポイント低い。

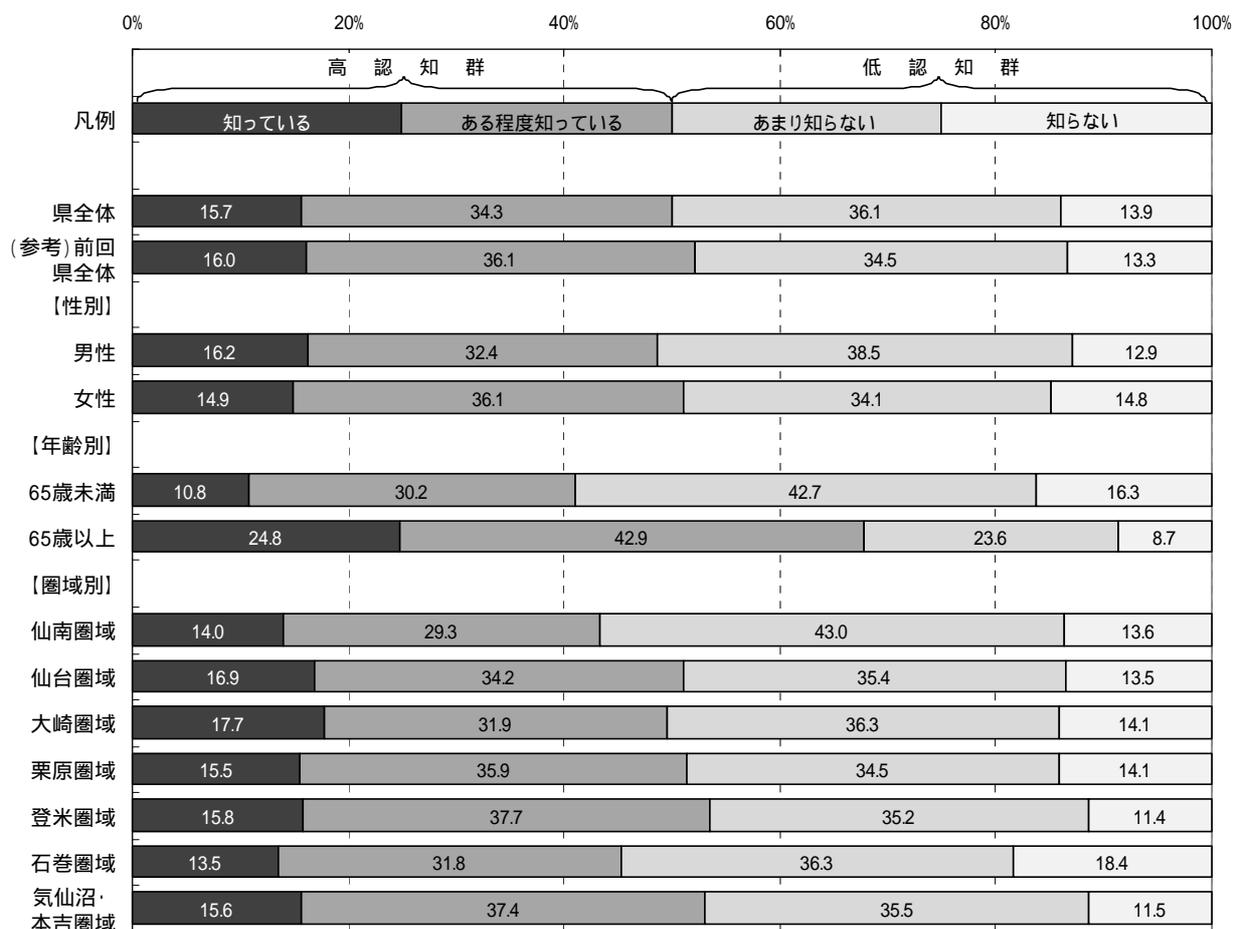
65歳以上の『高認知群』は67.7%で、県全体より17.7ポイント高い。

圏域別

仙南圏域の『高認知群』は43.3%で、県全体より6.7ポイント低い。

その他の圏域の『高認知群』は、県全体との差が5.0ポイント以内に収まっている。

図2-2-21-1 取組21 認知度割合(属性別)



取組 2 1 「高齢者が元気に安心して暮らせる
環境づくり」

表 2 - 2 - 2 1 - 1 取組 2 1 認知度集計(属性別)

		有 効				合計	欠 損 値	合 計
		知っている	ある程度 知っている	あまり 知らない	知らない			
県全体	度数	292	639	673	260	1,864	80	1,944
	パーセント	15.7	34.3	36.1	13.9	100.0		
(参考) 前回 県全体	度数	285	642	612	237	1,776	66	1,842
	パーセント	16.0	36.1	34.5	13.3	100.0		
【性別】								
男性	度数	141	281	334	112	868	26	894
	パーセント	16.2	32.4	38.5	12.9	100.0		
女性	度数	142	343	324	141	950	41	991
	パーセント	14.9	36.1	34.1	14.8	100.0		
【年齢別】								
65歳未満	度数	128	358	506	193	1,185	29	1,214
	パーセント	10.8	30.2	42.7	16.3	100.0		
65歳以上	度数	155	268	147	54	624	40	664
	パーセント	24.8	42.9	23.6	8.7	100.0		
【圏域別】								
仙南圏域	度数	34	71	104	33	242	6	248
	パーセント	14.0	29.3	43.0	13.6	100.0		
仙台圏域	度数	40	81	84	32	237	12	249
	パーセント	16.9	34.2	35.4	13.5	100.0		
大崎圏域	度数	44	79	90	35	248	6	254
	パーセント	17.7	31.9	36.3	14.1	100.0		
栗原圏域	度数	45	104	100	41	290	15	305
	パーセント	15.5	35.9	34.5	14.1	100.0		
登米圏域	度数	43	103	96	31	273	6	279
	パーセント	15.8	37.7	35.2	11.4	100.0		
石巻圏域	度数	30	71	81	41	223	6	229
	パーセント	13.5	31.8	36.3	18.4	100.0		
気仙沼・本吉 圏域	度数	41	98	93	30	262	12	274
	パーセント	15.6	37.4	35.5	11.5	100.0		

【関心度】（県が行ってきたこの取組の内容について、どのくらい関心があるか）

< 概要 >

県全体

「関心がある」「ある程度関心がある」を合わせた『高関心群』は82.6%、
「あまり関心がない」「関心がない」を合わせた『低関心群』は17.4%である。

性別

男性の『高関心群』は82.1%で、県全体より0.5ポイント低い。

女性の『高関心群』は83.3%で、県全体より0.7ポイント高い。

年齢別

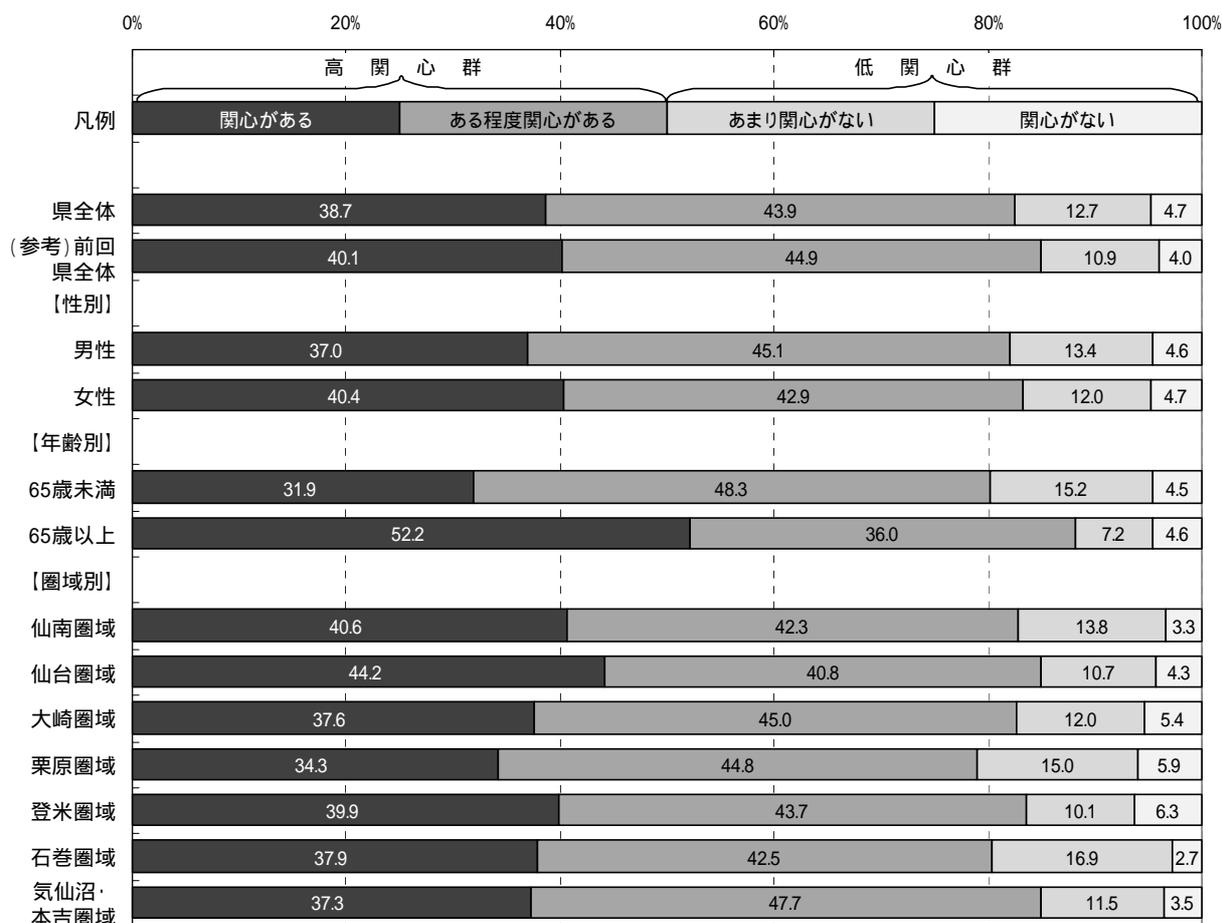
65歳未満の『高関心群』は80.2%で、県全体より2.4ポイント低い。

65歳以上の『高関心群』は88.2%で、県全体より5.6ポイント高い。

圏域別

各圏域の『高関心群』は、県全体との差が全て5.0ポイント以内に収まっている。

図2-2-21-2 取組21 関心度割合(属性別)



取組 2 1 「高齢者が元気に安心して暮らせる
環境づくり」

表 2 - 2 - 2 1 - 2 取組 2 1 関心度集計(属性別)

		有 効				合計	欠 損 値	合 計
		関心がある	ある程度 関心がある	あまり 関心がない	関心がない			
県全体	度数	709	804	233	86	1,832	112	1,944
	パーセント	38.7	43.9	12.7	4.7	100.0		
(参考) 前回 県全体	度数	697	780	190	70	1,737	105	1,842
	パーセント	40.1	44.9	10.9	4.0	100.0		
【性別】								
男性	度数	315	384	114	39	852	42	894
	パーセント	37.0	45.1	13.4	4.6	100.0		
女性	度数	379	402	113	44	938	53	991
	パーセント	40.4	42.9	12.0	4.7	100.0		
【年齢別】								
65歳未満	度数	374	566	178	53	1,171	43	1,214
	パーセント	31.9	48.3	15.2	4.5	100.0		
65歳以上	度数	318	219	44	28	609	55	664
	パーセント	52.2	36.0	7.2	4.6	100.0		
【圏域別】								
仙南圏域	度数	97	101	33	8	239	9	248
	パーセント	40.6	42.3	13.8	3.3	100.0		
仙台圏域	度数	103	95	25	10	233	16	249
	パーセント	44.2	40.8	10.7	4.3	100.0		
大崎圏域	度数	91	109	29	13	242	12	254
	パーセント	37.6	45.0	12.0	5.4	100.0		
栗原圏域	度数	98	128	43	17	286	19	305
	パーセント	34.3	44.8	15.0	5.9	100.0		
登米圏域	度数	107	117	27	17	268	11	279
	パーセント	39.9	43.7	10.1	6.3	100.0		
石巻圏域	度数	83	93	37	6	219	10	229
	パーセント	37.9	42.5	16.9	2.7	100.0		
気仙沼・本吉 圏域	度数	97	124	30	9	260	14	274
	パーセント	37.3	47.7	11.5	3.5	100.0		

【重視度】（県がこの取組を今後行っていくことが、どのくらい重要と考えるか）

< 概要 >

県全体

「重要」「やや重要」を合わせた『高重視群』は83.1%、「あまり重要ではない」「重要ではない」を合わせた『低重視群』は7.4%である。

なお、回答全体から「わからない」を除き集計した場合、『高重視群』が91.8%、『低重視群』は8.2%となる。

性別

男性の『高重視群』は82.0%で、県全体より1.1ポイント低い。

女性の『高重視群』は84.5%で、県全体より1.4ポイント高い。

年齢別

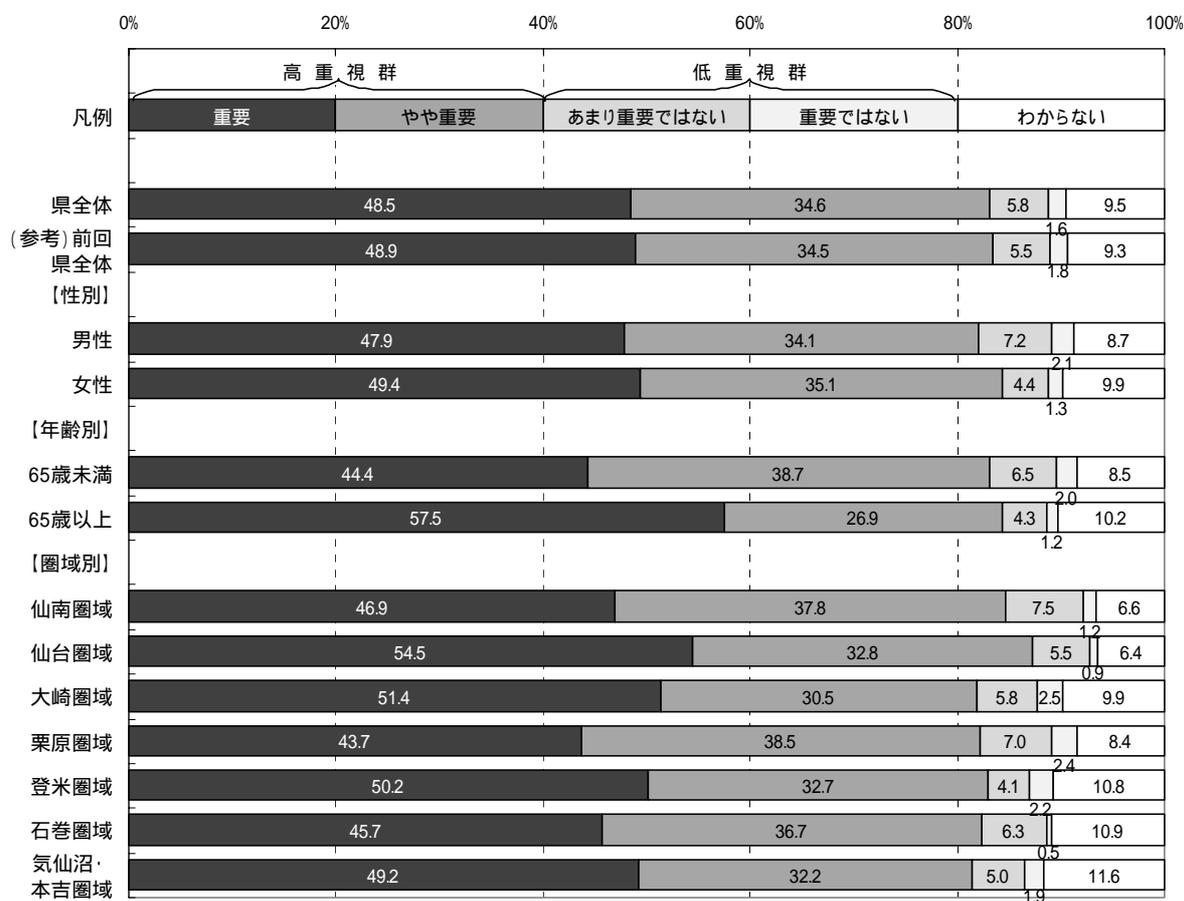
65歳未満の『高重視群』は83.1%で、県全体と同率である。

65歳以上の『高重視群』は84.4%で、県全体より1.3ポイント高い。

圏域別

各圏域の『高重視群』は、県全体との差が全て5.0ポイント以内に収まっている。

図2-2-21-3 取組21 重視度割合(属性別)



取組 2 1 「高齢者が元気に安心して暮らせる
環境づくり」

表 2 - 2 - 2 1 - 3 取組 2 1 重視度集計(属性別)

		有 効						欠 損 値	合 計
		重要	やや重要	あまり重要 ではない	重要では ない	わからない	合計		
県全体	度数	891	637	106	30	175	1,839	105	1,944
	パーセント	48.5	34.6	5.8	1.6	9.5	100.0		
	「わからない」を 除くパーセント	53.5	38.3	6.4	1.8		100.0		
(参考) 前回 県全体	度数	853	602	96	31	163	1,745	97	1,842
	パーセント	48.9	34.5	5.5	1.8	9.3	100.0		
【性別】									
男性	度数	407	290	61	18	74	850	44	894
	パーセント	47.9	34.1	7.2	2.1	8.7	100.0		
女性	度数	466	331	42	12	93	944	47	991
	パーセント	49.4	35.1	4.4	1.3	9.9	100.0		
【年齢別】									
65歳未満	度数	523	456	76	23	100	1,178	36	1,214
	パーセント	44.4	38.7	6.5	2.0	8.5	100.0		
65歳以上	度数	349	163	26	7	62	607	57	664
	パーセント	57.5	26.9	4.3	1.2	10.2	100.0		
【圏域別】									
仙南圏域	度数	113	91	18	3	16	241	7	248
	パーセント	46.9	37.8	7.5	1.2	6.6	100.0		
仙台圏域	度数	128	77	13	2	15	235	14	249
	パーセント	54.5	32.8	5.5	0.9	6.4	100.0		
大崎圏域	度数	125	74	14	6	24	243	11	254
	パーセント	51.4	30.5	5.8	2.5	9.9	100.0		
栗原圏域	度数	125	110	20	7	24	286	19	305
	パーセント	43.7	38.5	7.0	2.4	8.4	100.0		
登米圏域	度数	135	88	11	6	29	269	10	279
	パーセント	50.2	32.7	4.1	2.2	10.8	100.0		
石巻圏域	度数	101	81	14	1	24	221	8	229
	パーセント	45.7	36.7	6.3	0.5	10.9	100.0		
気仙沼・本吉 圏域	度数	127	83	13	5	30	258	16	274
	パーセント	49.2	32.2	5.0	1.9	11.6	100.0		

【満足度】（県が行ってきたこの取組について、どのくらい満足しているか）

< 概要 >

県全体

「満足」「やや満足」を合わせた『満足群』は38.6%、「やや不満」「不満」を合わせた『不満群』は33.0%である。

なお、回答全体から「わからない」を除き集計した場合、『満足群』が53.9%、『不満群』は46.1%となる。

また、前回の『満足群』は43.1%で、今回は前回より4.5ポイント低い。

性別

男性の『満足群』は37.0%で、県全体より1.6ポイント低い。

女性の『満足群』は39.9%で、県全体より1.3ポイント高い。

年齢別

65歳未満の『満足群』は33.6%で、県全体より5.0ポイント低い。

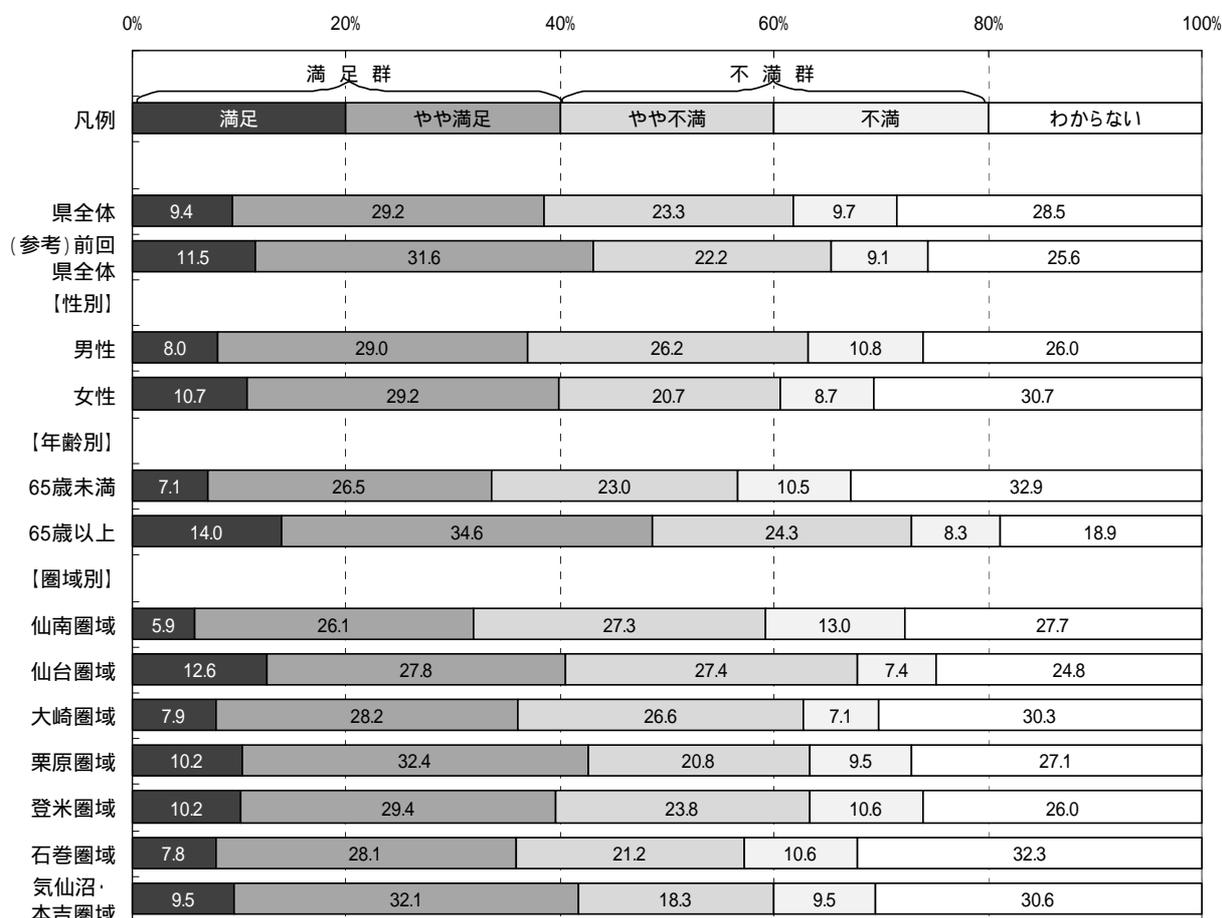
65歳以上の『満足群』は48.6%で、県全体より10.0ポイント高い。

圏域別

仙南圏域の『満足群』は32.0%で、県全体より6.6ポイント低い。

その他の圏域の『満足群』は、県全体との差が5.0ポイント以内に収まっている。

図2-2-21-4 取組21 満足度割合(属性別)



取組 2 1 「高齢者が元気に安心して暮らせる
環境づくり」

表 2 - 2 - 2 1 - 4 取組 2 1 満足度集計(属性別)

		有 効						欠 損 値	合 計
		満足	やや満足	やや不満	不満	わからない	合計		
県全体	度数	170	528	422	175	515	1,810	134	1,944
	パーセント	9.4	29.2	23.3	9.7	28.5	100.0		
	「わからない」を 除くパーセント	13.1	40.8	32.6	13.5		100.0		
(参考) 前回 県全体	度数	199	548	384	158	444	1,733	109	1,842
	パーセント	11.5	31.6	22.2	9.1	25.6	100.0		
【性別】									
男性	度数	67	244	221	91	219	842	52	894
	パーセント	8.0	29.0	26.2	10.8	26.0	100.0		
女性	度数	99	270	192	81	284	926	65	991
	パーセント	10.7	29.2	20.7	8.7	30.7	100.0		
【年齢別】									
65歳未満	度数	83	309	268	122	383	1,165	49	1,214
	パーセント	7.1	26.5	23.0	10.5	32.9	100.0		
65歳以上	度数	83	205	144	49	112	593	71	664
	パーセント	14.0	34.6	24.3	8.3	18.9	100.0		
【圏域別】									
仙南圏域	度数	14	62	65	31	66	238	10	248
	パーセント	5.9	26.1	27.3	13.0	27.7	100.0		
仙台圏域	度数	29	64	63	17	57	230	19	249
	パーセント	12.6	27.8	27.4	7.4	24.8	100.0		
大崎圏域	度数	19	68	64	17	73	241	13	254
	パーセント	7.9	28.2	26.6	7.1	30.3	100.0		
栗原圏域	度数	29	92	59	27	77	284	21	305
	パーセント	10.2	32.4	20.8	9.5	27.1	100.0		
登米圏域	度数	27	78	63	28	69	265	14	279
	パーセント	10.2	29.4	23.8	10.6	26.0	100.0		
石巻圏域	度数	17	61	46	23	70	217	12	229
	パーセント	7.8	28.1	21.2	10.6	32.3	100.0		
気仙沼・本吉 圏域	度数	24	81	46	24	77	252	22	274
	パーセント	9.5	32.1	18.3	9.5	30.6	100.0		

【特に優先すべきと思う項目】

取組 2 1 に関し、目標とする宮城の姿を目指して、県が下記の項目の中で今後特に優先すべきと思う項目について調査した。（複数回答可）

- ア 高齢者の知識や経験を生かした地域活動への参加促進と、地域活動で中心となって活躍する人材の養成・確保
- イ 仙台市との共催で行う「ねんりんピック(全国健康福祉祭)」
- ウ 介護が必要になっても、住み慣れた地域で安心した生活を送るための基盤づくりや地域で共に助け合い支え合う仕組みづくり
- エ 専門的知識を持ちながら、介護サービス利用者の立場に立ったサービスを提供できる質の高い人材の養成・確保
- オ 介護予防サービスの提供や、自立した生活を送るための介護予防ケアマネジメント体制づくり
- カ 高齢者などの権利を守るための体制づくりと県民意識の啓発
- キ 認知症への正しい理解の促進や、かかりつけ医等による認知症の早期発見・早期対応の体制づくりなど、認知症高齢者やその介護家族を支える総合的な支援

（参考：目標とする宮城の姿）

高齢者の知識・能力・経験が生かされる地域社会づくりが進み、さまざまな分野で社会生活の重要な一員としての役割を持っていきいきと活動しています。

介護が必要になっても、地域の支えや介護サービスを受けながら、住み慣れた地域で安心して暮らしています。

高齢者などの人権が尊重されるとともに、権利が守られています。

< 概要 >

県全体及び属性別（性別・年齢別・圏域別）の優先順位第 1 位から第 3 位までは以下のとおり。

	県全体	性別		年齢別	
		男性	女性	65歳未満	65歳以上
第1位：	ウ(ウ)	ウ	ウ	ウ	ウ
第2位：	キ(キ)	キ	キ	キ	キ
第3位：	ア(ア)	ア	ア	ア	ア

	圏域別						
	仙南	仙台	大崎	栗原	登米	石巻	気仙沼・本吉
第1位：	ウ	ウ	ウ	ウ	ウ	キ	ウ
第2位：	キ	キ	キ	キ	キ	ウ	キ
第3位：	ア	ア	ア	ア	ア	ア	ア

属性別の優先順位が県全体と異なる場合、項目記号を網掛けしている。

() 内は、前回の優先順位

取組21「高齢者が元気に安心して暮らせる環境づくり」

図2-2-21-5 取組21 特に優先すべきと思う項目回答数(県全体)

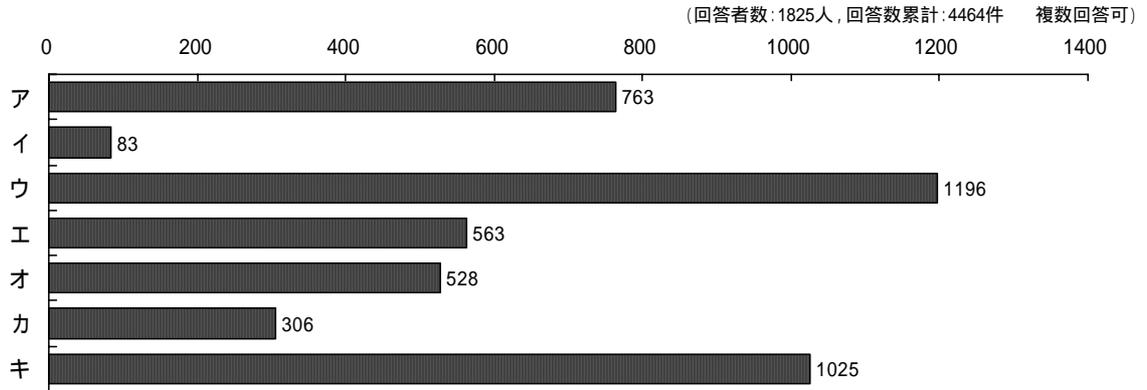
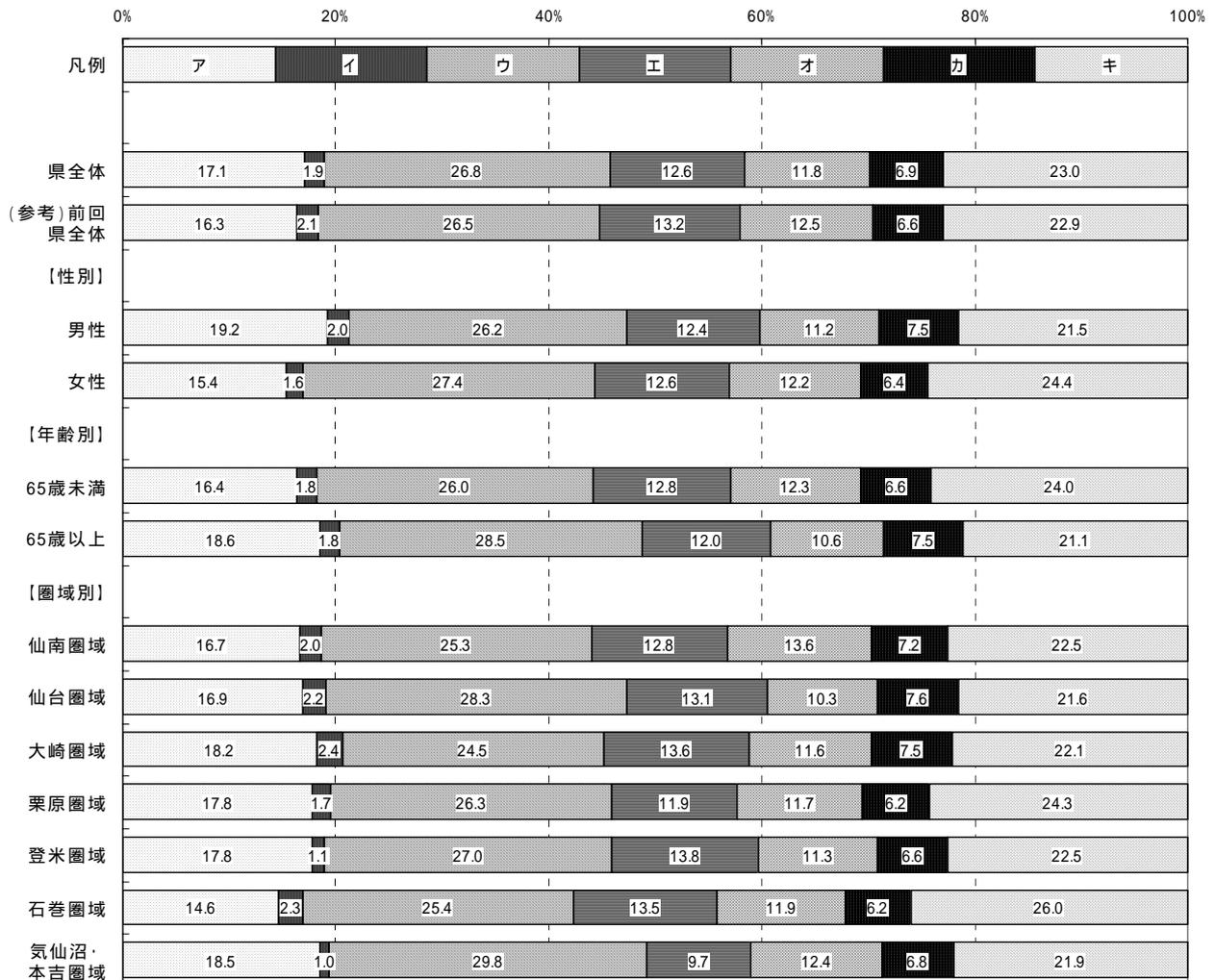


図2-2-21-6 取組21 特に優先すべきと思う項目割合(属性別)



本図は、回答数累計に占める各項目の回答数の割合を属性別に示したものです。

取組2 1「高齢者が元気に安心して暮らせる
環境づくり」

取組 2 2 障害があっても安心して生活できる地域社会の実現



取組概要

障害のある人が地域で生活するために、障害のある本人、その家族、そしてこうした方々を取り巻く人々すべてが、いつでも安心して暮らせる社会を目指します。

平成 2 0 年度の主な取組

障害者の職業的自立に向け、働く場の確保から職場定着、それに伴う日常生活を支援するため、障害者就業・生活支援センターを設置・運営しています。

福祉のまちづくり条例の基準に適合した公共施設等に適合証を交付したり、小学生向けの読本を配布するなど、バリアフリー社会実現のためのハード・ソフト両面の取組を進めています。

脳の損傷によって記憶障害などの症状がある高次脳機能障害者に対する専門的な相談支援や関係職員研修会を開催するほか、関係機関同士のネットワークの充実を図っています。

発達障害児(者)に対して、乳幼児期から成人期まで、相談支援、発達支援及び就労支援を総合的に行うため、発達障害者支援センター(えくぼ)を設置・運営しています。

難病患者に医療費等の助成を行うとともに、在宅療養生活を支援するため、難病相談支援センターや神経難病医療連絡協議会を設置・運営しています。

【認知度】 (県がこの取組を行っていたことについて、どのくらい知っているか)

< 概要 >

県全体

「知っている」「ある程度知っている」を合わせた『高認知群』は37.8%、
「あまり知らない」「知らない」を合わせた『低認知群』は62.2%である。

性別

男性の『高認知群』は37.4%で、県全体より0.4ポイント低い。

女性の『高認知群』は38.1%で、県全体より0.3ポイント高い。

年齢別

65歳未満の『高認知群』は32.6%で、県全体より5.2ポイント低い。

65歳以上の『高認知群』は48.4%で、県全体より10.6ポイント高い。

圏域別

石巻圏域の『高認知群』は32.2%で、県全体より5.6ポイント低い。

その他の圏域の『高認知群』は、県全体との差が5.0ポイント以内に収まっている。

図2-2-22-1 取組22 認知度割合(属性別)

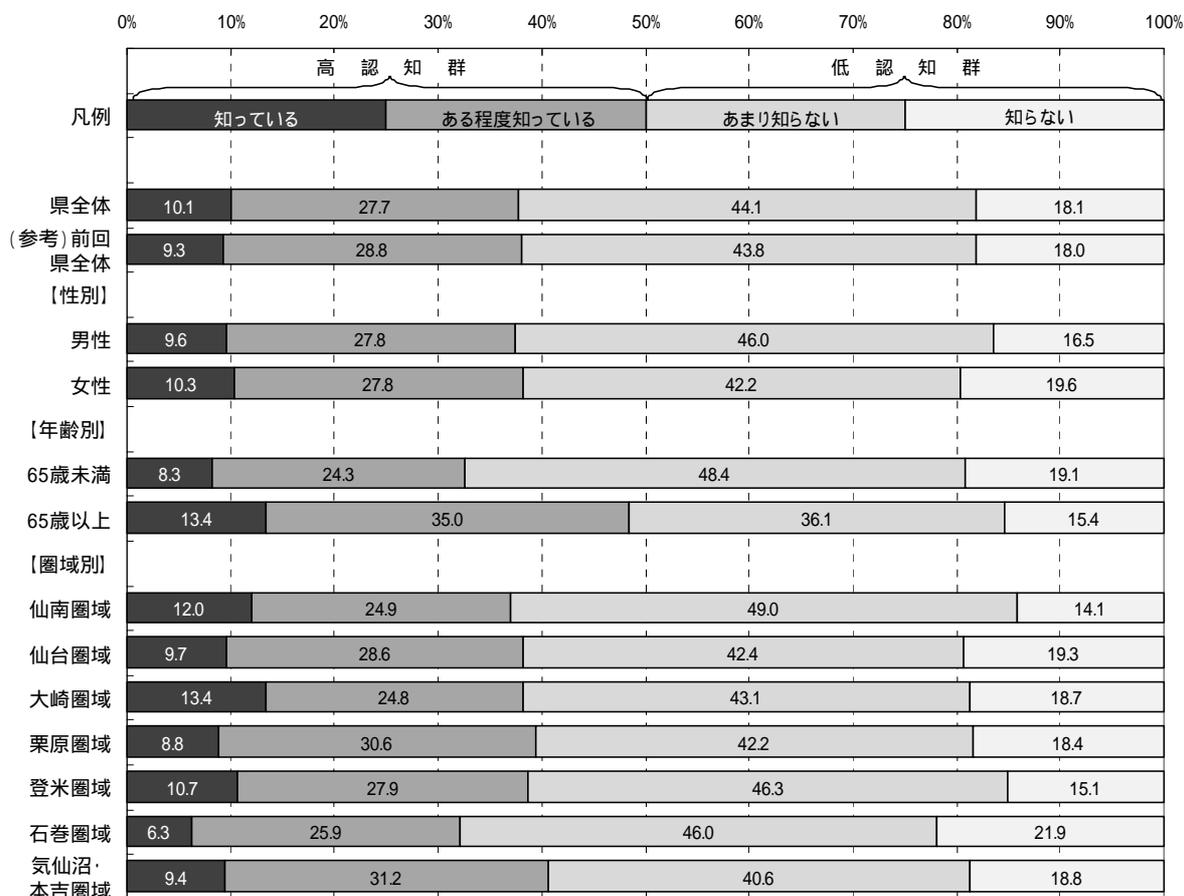


表 2 - 2 - 2 2 - 1 取組 2 2 認知度集計(属性別)

		有 効				合計	欠 損 値	合 計
		知っている	ある程度 知っている	あまり 知らない	知らない			
県全体	度数	188	518	824	338	1,868	76	1,944
	パーセント	10.1	27.7	44.1	18.1	100.0		
(参考) 前回 県全体	度数	164	508	773	318	1,763	79	1,842
	パーセント	9.3	28.8	43.8	18.0	100.0		
【性別】								
男性	度数	84	243	402	144	873	21	894
	パーセント	9.6	27.8	46.0	16.5	100.0		
女性	度数	98	265	402	187	952	39	991
	パーセント	10.3	27.8	42.2	19.6	100.0		
【年齢別】								
65歳未満	度数	98	288	574	227	1,187	27	1,214
	パーセント	8.3	24.3	48.4	19.1	100.0		
65歳以上	度数	84	220	227	97	628	36	664
	パーセント	13.4	35.0	36.1	15.4	100.0		
【圏域別】								
仙南圏域	度数	29	60	118	34	241	7	248
	パーセント	12.0	24.9	49.0	14.1	100.0		
仙台圏域	度数	23	68	101	46	238	11	249
	パーセント	9.7	28.6	42.4	19.3	100.0		
大崎圏域	度数	33	61	106	46	246	8	254
	パーセント	13.4	24.8	43.1	18.7	100.0		
栗原圏域	度数	26	90	124	54	294	11	305
	パーセント	8.8	30.6	42.2	18.4	100.0		
登米圏域	度数	29	76	126	41	272	7	279
	パーセント	10.7	27.9	46.3	15.1	100.0		
石巻圏域	度数	14	58	103	49	224	5	229
	パーセント	6.3	25.9	46.0	21.9	100.0		
気仙沼・本吉 圏域	度数	25	83	108	50	266	8	274
	パーセント	9.4	31.2	40.6	18.8	100.0		

【関心度】（県が行ってきたこの取組の内容について、どのくらい関心があるか）

< 概要 >

県全体

「関心がある」「ある程度関心がある」を合わせた『高関心群』は79.8%，
「あまり関心がない」「関心がない」を合わせた『低関心群』は20.3%である。

性別

男性の『高関心群』は78.8%で、県全体より1.0ポイント低い。

女性の『高関心群』は81.4%で、県全体より1.6ポイント高い。

年齢別

65歳未満の『高関心群』は79.5%で、県全体より0.3ポイント低い。

65歳以上の『高関心群』は81.9%で、県全体より2.1ポイント高い。

圏域別

各圏域の『高関心群』は、県全体との差が全て5.0ポイント以内に収まっている。

図2-2-22-2 取組22 関心度割合(属性別)

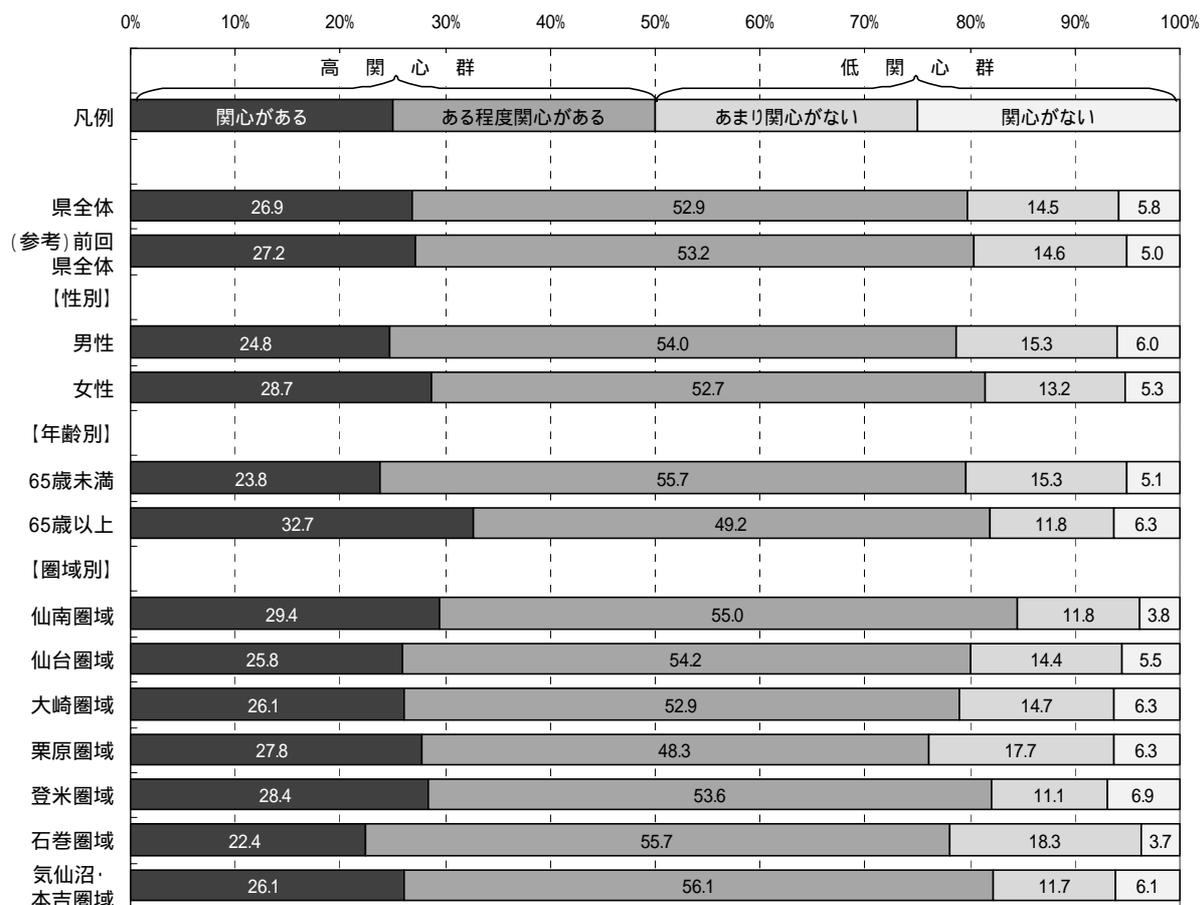


表 2 - 2 - 2 2 - 2 取組 2 2 関心度集計(属性別)

		有 効				合計	欠 損 値	合 計
		関心がある	ある程度 関心がある	あまり 関心がない	関心がない			
県全体	度数	491	965	264	105	1,825	119	1,944
	パーセント	26.9	52.9	14.5	5.8	100.0		
(参考) 前回 県全体	度数	469	917	252	87	1,725	117	1,842
	パーセント	27.2	53.2	14.6	5.0	100.0		
【性別】								
男性	度数	212	462	131	51	856	38	894
	パーセント	24.8	54.0	15.3	6.0	100.0		
女性	度数	267	490	123	49	929	62	991
	パーセント	28.7	52.7	13.2	5.3	100.0		
【年齢別】								
65歳未満	度数	280	655	180	60	1,175	39	1,214
	パーセント	23.8	55.7	15.3	5.1	100.0		
65歳以上	度数	197	296	71	38	602	62	664
	パーセント	32.7	49.2	11.8	6.3	100.0		
【圏域別】								
仙南圏域	度数	70	131	28	9	238	10	248
	パーセント	29.4	55.0	11.8	3.8	100.0		
仙台圏域	度数	61	128	34	13	236	13	249
	パーセント	25.8	54.2	14.4	5.5	100.0		
大崎圏域	度数	62	126	35	15	238	16	254
	パーセント	26.1	52.9	14.7	6.3	100.0		
栗原圏域	度数	80	139	51	18	288	17	305
	パーセント	27.8	48.3	17.7	6.3	100.0		
登米圏域	度数	74	140	29	18	261	18	279
	パーセント	28.4	53.6	11.1	6.9	100.0		
石巻圏域	度数	49	122	40	8	219	10	229
	パーセント	22.4	55.7	18.3	3.7	100.0		
気仙沼・本吉 圏域	度数	69	148	31	16	264	10	274
	パーセント	26.1	56.1	11.7	6.1	100.0		

【重視度】（県がこの取組を今後行っていくことが、どのくらい重要と考えるか）

< 概要 >

県全体

「重要」「やや重要」を合わせた『高重視群』は79.3%、「あまり重要ではない」「重要ではない」を合わせた『低重視群』は7.8%である。

なお、回答全体から「わからない」を除き集計した場合、『高重視群』が91.0%、『低重視群』は9.0%となる。

性別

男性の『高重視群』は79.6%で、県全体より0.3ポイント高い。

女性の『高重視群』は79.4%で、県全体より0.1ポイント高い。

年齢別

65歳未満の『高重視群』は80.2%で、県全体より0.9ポイント高い。

65歳以上の『高重視群』は78.4%で、県全体より0.9ポイント低い。

圏域別

各圏域の『高重視群』は、県全体との差が全て5.0ポイント以内に収まっている。

図2-2-22-3 取組22 重視度割合(属性別)

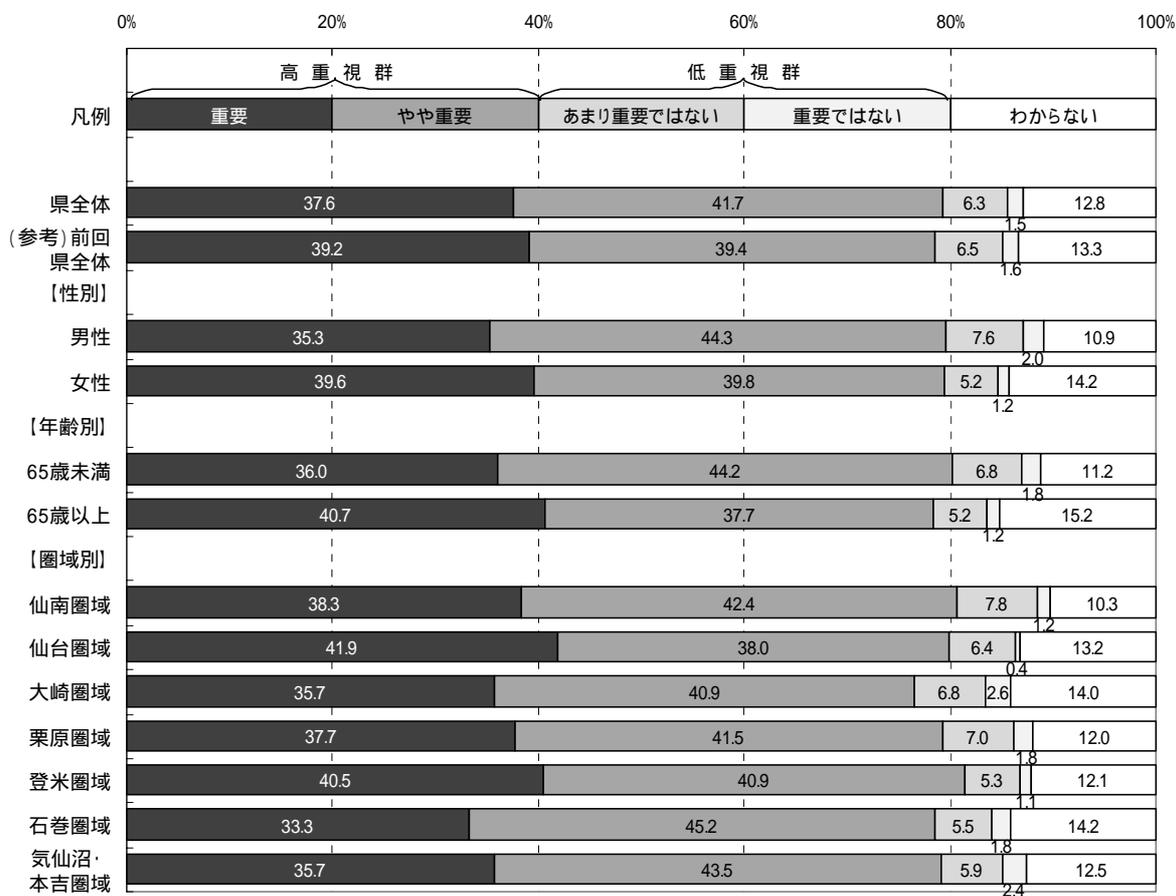


表 2 - 2 - 2 2 - 3 取組 2 2 重視度集計(属性別)

		有 効					合計	欠 損 値	合 計
		重要	やや重要	あまり重要 ではない	重要では ない	わからない			
県全体	度数	683	758	114	28	233	1,816	128	1,944
	パーセント	37.6	41.7	6.3	1.5	12.8	100.0		
	「わからない」を 除くパーセント	43.1	47.9	7.2	1.8		100.0		
(参考) 前回 県全体	度数	679	683	112	28	231	1,733	109	1,842
	パーセント	39.2	39.4	6.5	1.6	13.3	100.0		
【性別】									
男性	度数	298	374	64	17	92	845	49	894
	パーセント	35.3	44.3	7.6	2.0	10.9	100.0		
女性	度数	368	370	48	11	132	929	62	991
	パーセント	39.6	39.8	5.2	1.2	14.2	100.0		
【年齢別】									
65歳未満	度数	422	518	80	21	131	1,172	42	1,214
	パーセント	36.0	44.2	6.8	1.8	11.2	100.0		
65歳以上	度数	241	223	31	7	90	592	72	664
	パーセント	40.7	37.7	5.2	1.2	15.2	100.0		
【圏域別】									
仙南圏域	度数	93	103	19	3	25	243	5	248
	パーセント	38.3	42.4	7.8	1.2	10.3	100.0		
仙台圏域	度数	98	89	15	1	31	234	15	249
	パーセント	41.9	38.0	6.4	0.4	13.2	100.0		
大崎圏域	度数	84	96	16	6	33	235	19	254
	パーセント	35.7	40.9	6.8	2.6	14.0	100.0		
栗原圏域	度数	107	118	20	5	34	284	21	305
	パーセント	37.7	41.5	7.0	1.8	12.0	100.0		
登米圏域	度数	107	108	14	3	32	264	15	279
	パーセント	40.5	40.9	5.3	1.1	12.1	100.0		
石巻圏域	度数	73	99	12	4	31	219	10	229
	パーセント	33.3	45.2	5.5	1.8	14.2	100.0		
気仙沼・本吉 圏域	度数	91	111	15	6	32	255	19	274
	パーセント	35.7	43.5	5.9	2.4	12.5	100.0		

【満足度】 (県が行ってきたこの取組について、どのくらい満足しているか)

< 概要 >

県全体

「満足」「やや満足」を合わせた『満足群』は35.2%、「やや不満」「不満」を合わせた『不満群』は27.9%である。

なお、回答全体から「わからない」を除き集計した場合、『満足群』が55.9%、『不満群』は44.2%となる。

性別

男性の『満足群』は34.8%で、県全体より0.4ポイント低い。

女性の『満足群』は35.7%で、県全体より0.5ポイント高い。

年齢別

65歳未満の『満足群』は31.5%で、県全体より3.7ポイント低い。

65歳以上の『満足群』は43.3%で、県全体より8.1ポイント高い。

圏域別

各圏域の『満足群』は、県全体との差が全て5.0ポイント以内に収まっている。

図2-2-22-4 取組22 満足度割合(属性別)

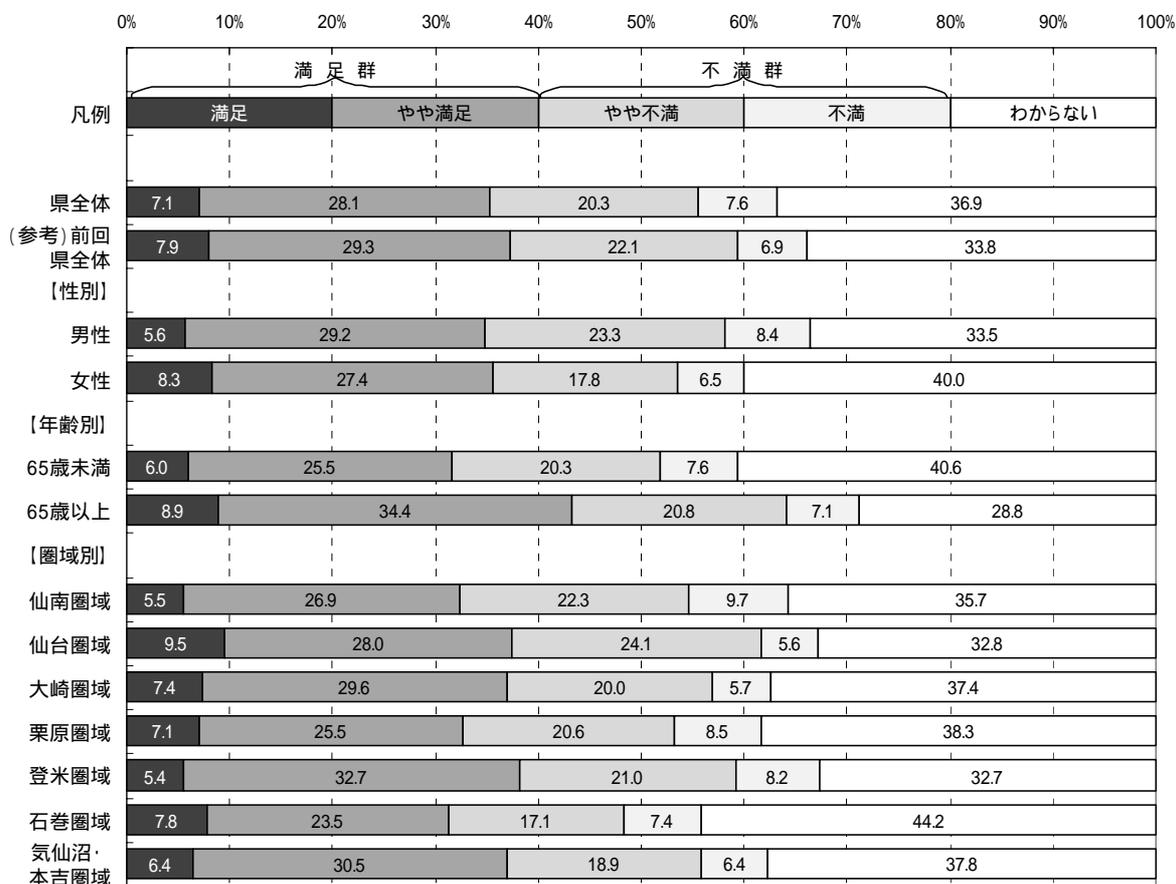


表 2 - 2 - 2 2 - 4 取組 2 2 満足度集計(属性別)

		有 効						欠 損 値	合 計
		満足	やや満足	やや不満	不満	わからない	合計		
県全体	度数	127	503	363	135	659	1,787	157	1,944
	パーセント	7.1	28.1	20.3	7.6	36.9	100.0		
	「わからない」を除くパーセント	11.3	44.6	32.2	12.0		100.0		
(参考) 前回 県全体	度数	135	500	376	117	577	1,705	137	1,842
	パーセント	7.9	29.3	22.1	6.9	33.8	100.0		
【性別】									
男性	度数	47	245	195	70	281	838	56	894
	パーセント	5.6	29.2	23.3	8.4	33.5	100.0		
女性	度数	75	249	162	59	364	909	82	991
	パーセント	8.3	27.4	17.8	6.5	40.0	100.0		
【年齢別】									
65歳未満	度数	70	296	235	88	471	1,160	54	1,214
	パーセント	6.0	25.5	20.3	7.6	40.6	100.0		
65歳以上	度数	51	198	120	41	166	576	88	664
	パーセント	8.9	34.4	20.8	7.1	28.8	100.0		
【圏域別】									
仙南圏域	度数	13	64	53	23	85	238	10	248
	パーセント	5.5	26.9	22.3	9.7	35.7	100.0		
仙台圏域	度数	22	65	56	13	76	232	17	249
	パーセント	9.5	28.0	24.1	5.6	32.8	100.0		
大崎圏域	度数	17	68	46	13	86	230	24	254
	パーセント	7.4	29.6	20.0	5.7	37.4	100.0		
栗原圏域	度数	20	72	58	24	108	282	23	305
	パーセント	7.1	25.5	20.6	8.5	38.3	100.0		
登米圏域	度数	14	84	54	21	84	257	22	279
	パーセント	5.4	32.7	21.0	8.2	32.7	100.0		
石巻圏域	度数	17	51	37	16	96	217	12	229
	パーセント	7.8	23.5	17.1	7.4	44.2	100.0		
気仙沼・本吉 圏域	度数	16	76	47	16	94	249	25	274
	パーセント	6.4	30.5	18.9	6.4	37.8	100.0		

【特に優先すべきと思う項目】

取組2 2 に関し、目標とする宮城の姿を目指して、県が下記の項目の中で今後特に優先すべきと思う項目について調査した。（複数回答可）

- ア バリアフリー・ユニバーサルデザインの考え方の普及や、それに配慮した施設づくり
- イ 働く意欲のある障害者等の就職活動を支える能力開発の場の確保や相談・指導体制の充実
- ウ 障害者の地域生活を支える相談支援体制づくり
- エ 障害の有無や年齢にとらわれない、利用者の要望に応じた福祉サービスの提供や地域での支え合いへの支援
- オ グループホームなど、身近な地域での住まいや日中活動の場などの生活基盤づくり
- カ 難病患者やその家族に対する日常生活における相談支援体制の整備や地域交流活動の促進など、難病患者が在宅で安心して療養生活を送ることができる環境の整備

（参考：目標とする宮城の姿）

障害のあるなしに関係なく、だれもが自由に移動し社会活動に参加できるまちづくりが進められています。
企業などで、障害者の安定的な雇用が進むなど、働く意欲と能力のある障害者の働き場所が増えています。
重い障害があっても、障害者本人の意思が尊重されています。また、自分が住みたい地域で自立して生活しています。
保健・医療・福祉それぞれの関係機関の連携によるさまざまな支援を通じ、難病患者が在宅で安心した療養生活を送っています。

< 概要 >

県全体及び属性別（性別・年齢別・圏域別）の優先順位第1位から第3位までは以下のとおり。

	県全体	性別		年齢別	
		男性	女性	65歳未満	65歳以上
第1位：	イ(イ)	イ	イ	イ	イ
第2位：	カ(カ)	カ	カ	カ	カ
第3位：	エ(エ)	エ	エ	エ	エ

	圏域別						
	仙南	仙台	大崎	栗原	登米	石巻	気仙沼・本吉
第1位：	イ	イ	イ	イ	イ	カ	イ
第2位：	カ	イ,カ	カ	カ	カ	イ	カ
第3位：	エ	-	エ	エ	エ	ウ,エ	エ

イ,カ同率

ウ,エ同率

属性別の優先順位が県全体と異なる場合、項目記号を網掛けしている。

()内は、前回の優先順位

取組22 「障害があっても安心して生活できる
地域社会の実現」

図2-2-22-5 取組22 特に優先すべきと思う項目回答数(県全体)

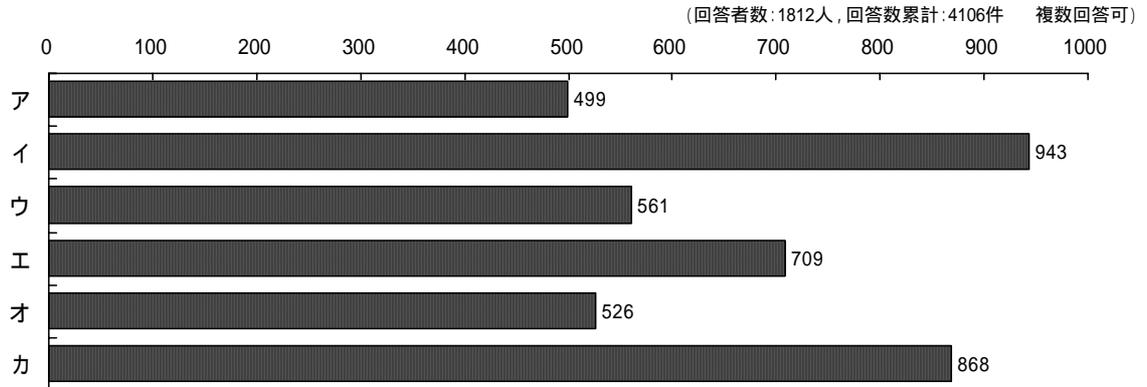
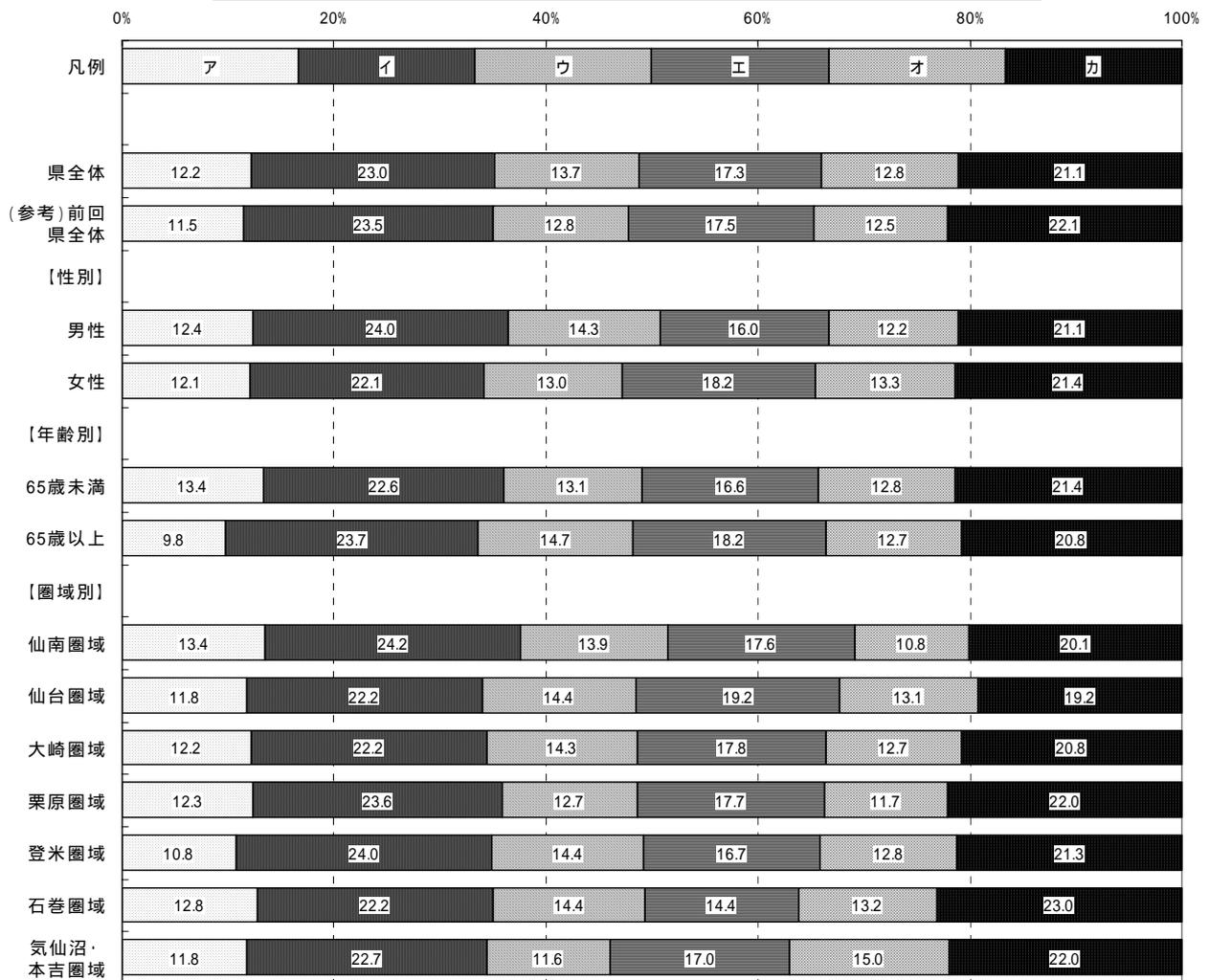


図2-2-22-6 取組22 特に優先すべきと思う項目割合(属性別)



本図は、回答数累計に占める各項目の回答数の割合を属性別に示したものです。

取組 2 2 「障害があっても安心して生活できる
地域社会の実現」

取組 2 3 生涯学習社会の確立とスポーツ・文化芸術の振興



取組概要

県民の学習活動への支援など、生涯学習社会の確立に向けて取り組むほか、生涯スポーツ社会の実現や競技スポーツの競技力向上に向けた環境の充実を目指します。また、文化芸術活動の振興のため、文化財の保存・活用、文化芸術活動を生かした地域づくりや交流の活性化を目指します。

平成 2 0 年度の主な取組

県民の多様な学習ニーズに応えるため、学校や社会教育施設等と連携して行う各種開放講座と、生涯学習を推進する人材を育成するための支援者養成講座を行っています。

県民が十分な図書館サービスを受けられるよう、市町村図書館職員の研修を行ったり、図書の相互貸借や蔵書検索を可能にする図書館情報ネットワークシステムを運用しています。

競技団体・高体連・中体連・ジュニア選手の育成強化に努めています。

総合型地域スポーツクラブの創設や育成支援を行っています。

県芸術選奨受賞者作品展や本県ゆかりの文学者を紹介するパネル展、朗読劇の開催のほか、美術・舞台ワークショップ、音楽アウトリーチ(普段芸術に触れる機会の少ない人々への芸術普及活動)など、少人数による体験型・地域密着型のプログラムに力を入れています。

芸術文化の鑑賞機会の少ない地域や児童、生徒への文化・芸術鑑賞の機会を作るとともに、県民の積極的な文化・芸術の活動を支援しています。

【認知度】 (県がこの取組を行っていたことについて、どのくらい知っているか)

< 概要 >

県全体

「知っている」「ある程度知っている」を合わせた『高認知群』は32.8%、
「あまり知らない」「知らない」を合わせた『低認知群』は67.3%である。

性別

男性の『高認知群』は35.2%で、県全体より2.4ポイント高い。

女性の『高認知群』は30.7%で、県全体より2.1ポイント低い。

年齢別

65歳未満の『高認知群』は30.4%で、県全体より2.4ポイント低い。

65歳以上の『高認知群』は38.1%で、県全体より5.3ポイント高い。

圏域別

登米圏域の『高認知群』は38.2%で、県全体より5.4ポイント高い。

その他の圏域の『高認知群』は、県全体との差が5.0ポイント以内に収まっている。

図 2 - 2 - 23 - 1 取組 2 3 認知度割合(属性別)

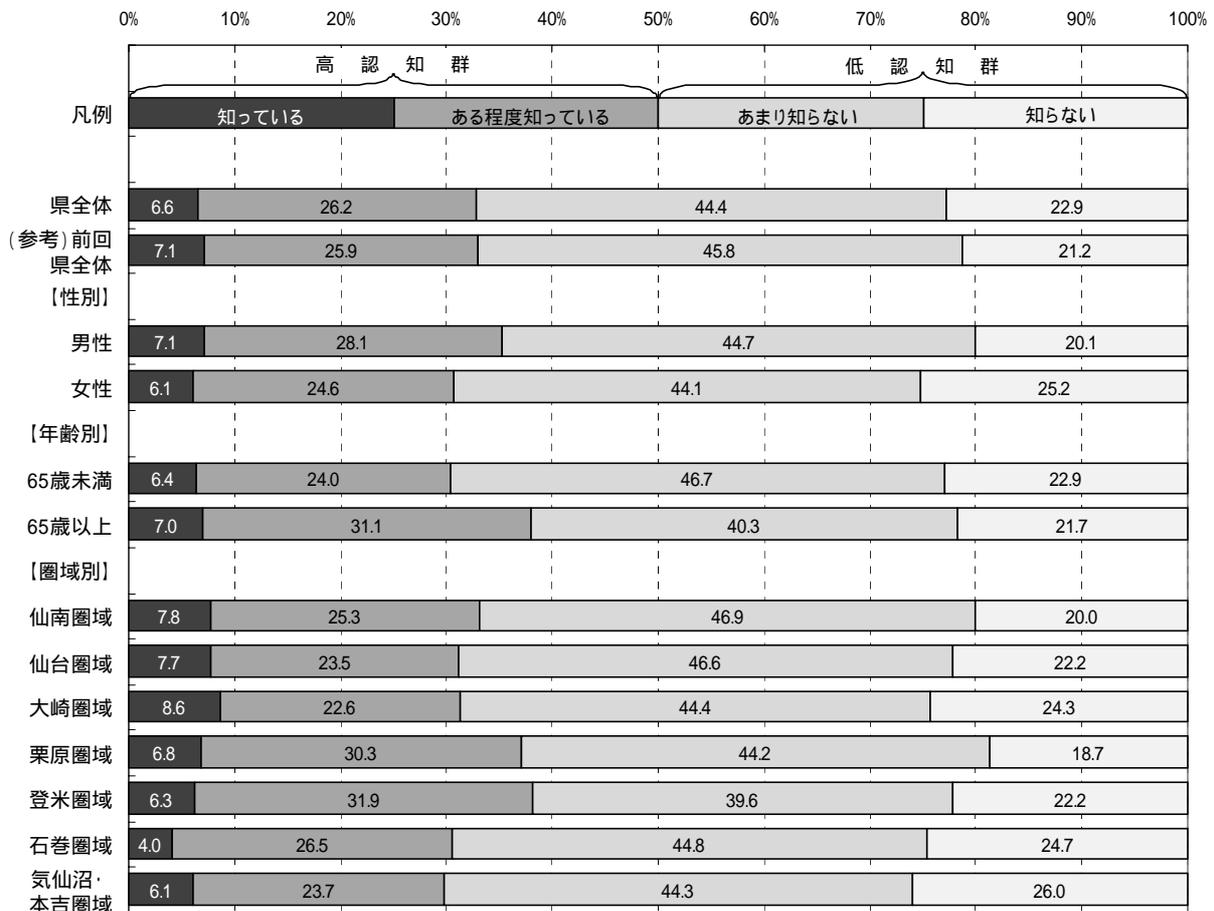


表2-2-23-1 取組23 認知度集計(属性別)

		有 効					欠 損 値	合 計
		知っている	ある程度知っている	あまり知らない	知らない	合計		
県全体	度数	122	487	825	425	1,859	85	1,944
	パーセント	6.6	26.2	44.4	22.9	100.0		
(参考)前回 県全体	度数	125	453	802	372	1,752	90	1,842
	パーセント	7.1	25.9	45.8	21.2	100.0		
【性別】								
男性	度数	62	245	389	175	871	23	894
	パーセント	7.1	28.1	44.7	20.1	100.0		
女性	度数	58	232	417	238	945	46	991
	パーセント	6.1	24.6	44.1	25.2	100.0		
【年齢別】								
65歳未満	度数	76	285	555	272	1,188	26	1,214
	パーセント	6.4	24.0	46.7	22.9	100.0		
65歳以上	度数	43	192	249	134	618	46	664
	パーセント	7.0	31.1	40.3	21.7	100.0		
【圏域別】								
仙南圏域	度数	19	62	115	49	245	3	248
	パーセント	7.8	25.3	46.9	20.0	100.0		
仙台圏域	度数	18	55	109	52	234	15	249
	パーセント	7.7	23.5	46.6	22.2	100.0		
大崎圏域	度数	21	55	108	59	243	11	254
	パーセント	8.6	22.6	44.4	24.3	100.0		
栗原圏域	度数	20	89	130	55	294	11	305
	パーセント	6.8	30.3	44.2	18.7	100.0		
登米圏域	度数	17	86	107	60	270	9	279
	パーセント	6.3	31.9	39.6	22.2	100.0		
石巻圏域	度数	9	59	100	55	223	6	229
	パーセント	4.0	26.5	44.8	24.7	100.0		
気仙沼・本吉 圏域	度数	16	62	116	68	262	12	274
	パーセント	6.1	23.7	44.3	26.0	100.0		

【関心度】（県が行ってきたこの取組の内容について、どのくらい関心があるか）

< 概要 >

県全体

「関心がある」「ある程度関心がある」を合わせた『高関心群』は55.6%、
「あまり関心がない」「関心がない」を合わせた『低関心群』は44.4%である。

性別

男性の『高関心群』は58.1%で、県全体より2.5ポイント高い。

女性の『高関心群』は53.8%で、県全体より1.8ポイント低い。

年齢別

65歳未満の『高関心群』は55.9%で、県全体より0.3ポイント高い。

65歳以上の『高関心群』は56.2%で、県全体より0.6ポイント高い。

圏域別

仙南圏域の『高関心群』は64.0%で、県全体より8.4ポイント高い。

その他の圏域の『高関心群』は、県全体との差が5.0ポイント以内に収まっている。

図 2 - 2 - 23 - 2 取組 2 3 関心度割合(属性別)

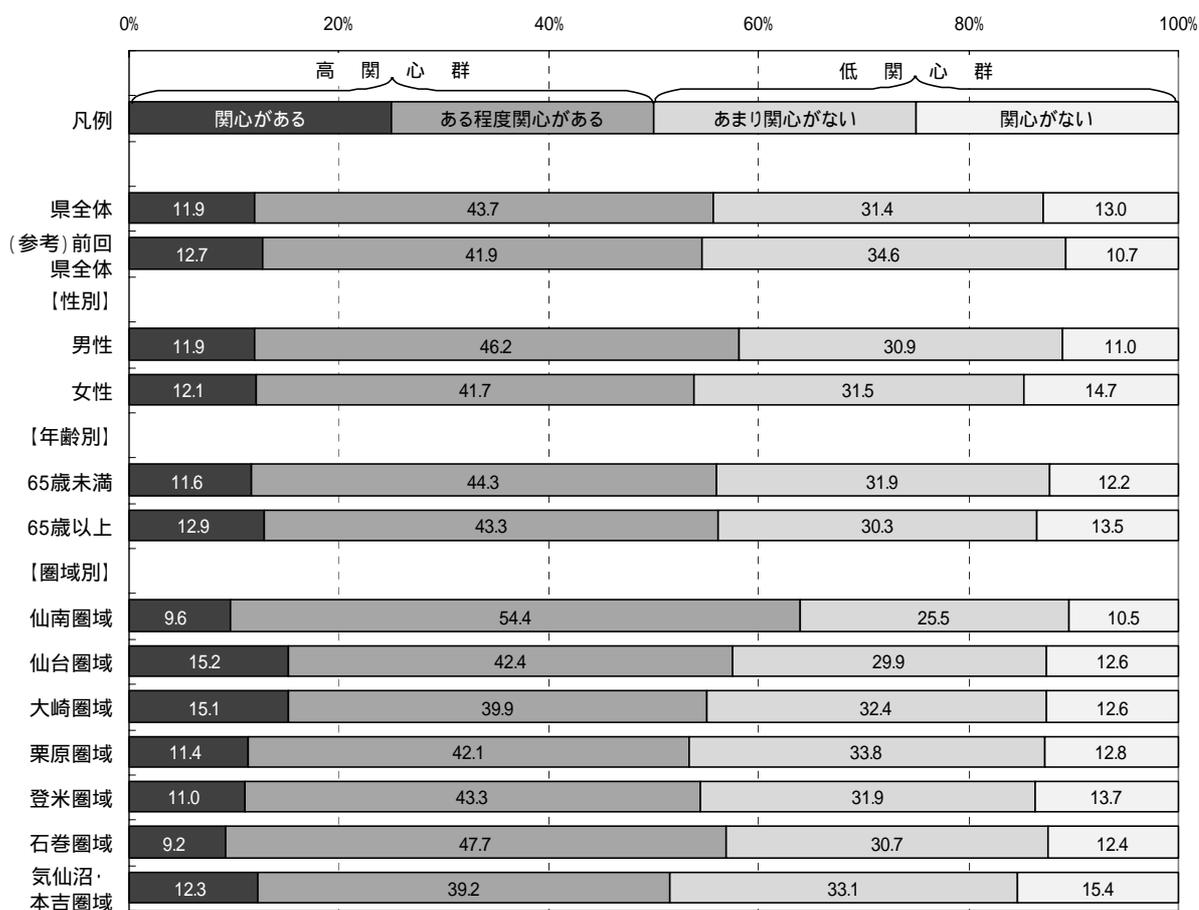


表2-2-23-2 取組23 関心度集計(属性別)

		有 効				合計	欠 損 値	合 計
		関心がある	ある程度 関心がある	あまり 関心がない	関心がない			
県全体	度数	217	796	572	236	1,821	123	1,944
	パーセント	11.9	43.7	31.4	13.0	100.0		
(参考)前回 県全体	度数	218	717	593	184	1,712	130	1,842
	パーセント	12.7	41.9	34.6	10.7	100.0		
【性別】								
男性	度数	102	395	264	94	855	39	894
	パーセント	11.9	46.2	30.9	11.0	100.0		
女性	度数	112	385	291	136	924	67	991
	パーセント	12.1	41.7	31.5	14.7	100.0		
【年齢別】								
65歳未満	度数	136	519	373	143	1,171	43	1,214
	パーセント	11.6	44.3	31.9	12.2	100.0		
65歳以上	度数	77	259	181	81	598	66	664
	パーセント	12.9	43.3	30.3	13.5	100.0		
【圏域別】								
仙南圏域	度数	23	130	61	25	239	9	248
	パーセント	9.6	54.4	25.5	10.5	100.0		
仙台圏域	度数	35	98	69	29	231	18	249
	パーセント	15.2	42.4	29.9	12.6	100.0		
大崎圏域	度数	36	95	77	30	238	16	254
	パーセント	15.1	39.9	32.4	12.6	100.0		
栗原圏域	度数	33	122	98	37	290	15	305
	パーセント	11.4	42.1	33.8	12.8	100.0		
登米圏域	度数	29	114	84	36	263	16	279
	パーセント	11.0	43.3	31.9	13.7	100.0		
石巻圏域	度数	20	104	67	27	218	11	229
	パーセント	9.2	47.7	30.7	12.4	100.0		
気仙沼・本吉 圏域	度数	32	102	86	40	260	14	274
	パーセント	12.3	39.2	33.1	15.4	100.0		

【重視度】（県がこの取組を今後行っていくことが、どのくらい重要と考えるか）

< 概要 >

県全体

「重要」「やや重要」を合わせた『高重視群』は52.5%、「あまり重要ではない」「重要ではない」を合わせた『低重視群』は25.8%である。

なお、回答全体から「わからない」を除き集計した場合、『高重視群』が67.0%、『低重視群』は33.0%となる。

性別

男性の『高重視群』は53.3%で、県全体より0.8ポイント高い。

女性の『高重視群』は52.3%で、県全体より0.2ポイント低い。

年齢別

65歳未満の『高重視群』は51.4%で、県全体より1.1ポイント低い。

65歳以上の『高重視群』は55.7%で、県全体より3.2ポイント高い。

圏域別

各圏域の『高重視群』は、県全体との差が全て5.0ポイント以内に収まっている。

図2-2-23-3 取組23 重視度割合(属性別)

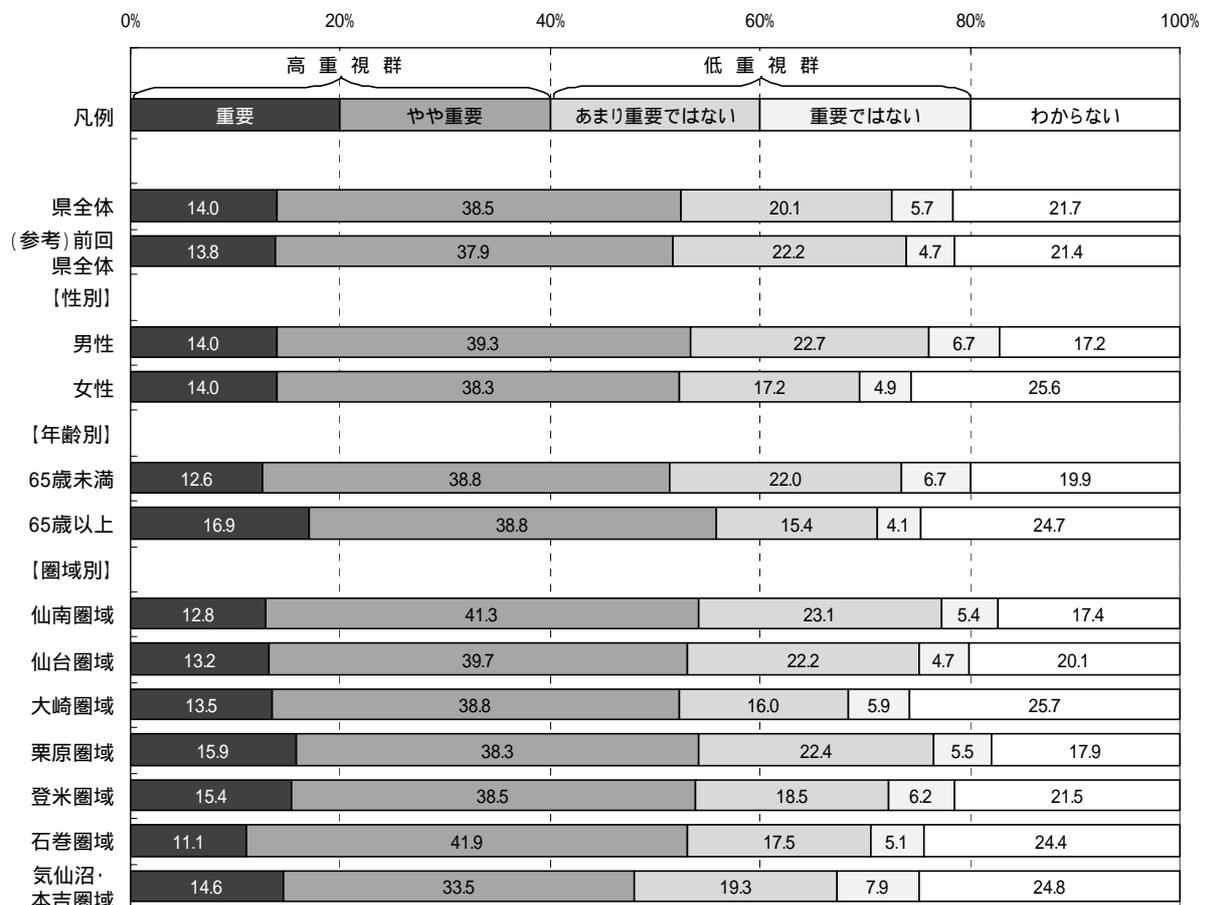


表2-2-23-3 取組23 重視度集計(属性別)

		有 効						欠 損 値	合 計
		重要	やや重要	あまり重要ではない	重要ではない	わからない	合計		
県全体	度数	253	698	365	104	393	1,813	131	1,944
	パーセント	14.0	38.5	20.1	5.7	21.7	100.0		
	「わからない」を除くパーセント	17.8	49.2	25.7	7.3		100.0		
(参考) 前回 県全体	度数	235	644	378	80	364	1,701	141	1,842
	パーセント	13.8	37.9	22.2	4.7	21.4	100.0		
【性別】									
男性	度数	119	334	193	57	146	849	45	894
	パーセント	14.0	39.3	22.7	6.7	17.2	100.0		
女性	度数	129	353	159	45	236	922	69	991
	パーセント	14.0	38.3	17.2	4.9	25.6	100.0		
【年齢別】									
65歳未満	度数	148	455	258	78	233	1,172	42	1,214
	パーセント	12.6	38.8	22.0	6.7	19.9	100.0		
65歳以上	度数	100	229	91	24	146	590	74	664
	パーセント	16.9	38.8	15.4	4.1	24.7	100.0		
【圏域別】									
仙南圏域	度数	31	100	56	13	42	242	6	248
	パーセント	12.8	41.3	23.1	5.4	17.4	100.0		
仙台圏域	度数	31	93	52	11	47	234	15	249
	パーセント	13.2	39.7	22.2	4.7	20.1	100.0		
大崎圏域	度数	32	92	38	14	61	237	17	254
	パーセント	13.5	38.8	16.0	5.9	25.7	100.0		
栗原圏域	度数	46	111	65	16	52	290	15	305
	パーセント	15.9	38.3	22.4	5.5	17.9	100.0		
登米圏域	度数	40	100	48	16	56	260	19	279
	パーセント	15.4	38.5	18.5	6.2	21.5	100.0		
石巻圏域	度数	24	91	38	11	53	217	12	229
	パーセント	11.1	41.9	17.5	5.1	24.4	100.0		
気仙沼・本吉 圏域	度数	37	85	49	20	63	254	20	274
	パーセント	14.6	33.5	19.3	7.9	24.8	100.0		

【満足度】（県が行ってきたこの取組について、どのくらい満足しているか）

< 概要 >

県全体

「満足」「やや満足」を合わせた『満足群』は32.0%、「やや不満」「不満」を合わせた『不満群』は23.3%である。

なお、回答全体から「わからない」を除き集計した場合、『満足群』が57.9%、『不満群』は42.2%となる。

性別

男性の『満足群』は33.5%で、県全体より1.5ポイント高い。

女性の『満足群』は30.5%で、県全体より1.5ポイント低い。

年齢別

65歳未満の『満足群』は27.0%で、県全体より5.0ポイント低い。

65歳以上の『満足群』は41.9%で、県全体より9.9ポイント高い。

圏域別

各圏域の『満足群』は、県全体との差が全て5.0ポイント以内に収まっている。

図2-2-23-4 取組23 満足度割合(属性別)

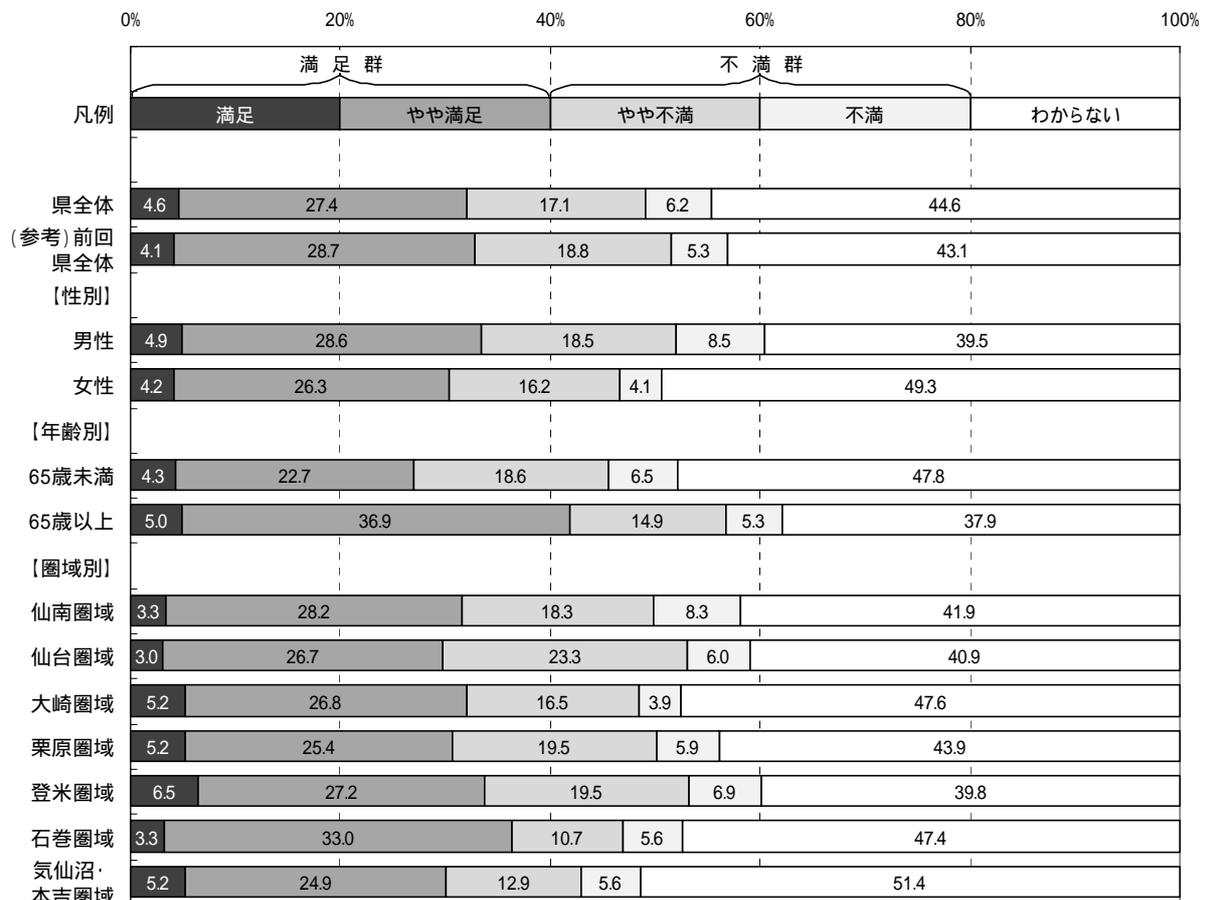


表2-2-23-4 取組23 満足度集計(属性別)

		有 効						欠 損 値	合 計
		満足	やや満足	やや不満	不満	わからない	合計		
県全体	度数	83	492	307	112	801	1,795	149	1,944
	パーセント	4.6	27.4	17.1	6.2	44.6	100.0		
	「わからない」を除くパーセント	8.4	49.5	30.9	11.3		100.0		
(参考) 前回 県全体	度数	69	484	317	90	726	1,686	156	1,842
	パーセント	4.1	28.7	18.8	5.3	43.1	100.0		
【性別】									
男性	度数	41	242	156	72	334	845	49	894
	パーセント	4.9	28.6	18.5	8.5	39.5	100.0		
女性	度数	38	239	147	37	449	910	81	991
	パーセント	4.2	26.3	16.2	4.1	49.3	100.0		
【年齢別】									
65歳未満	度数	50	264	216	76	556	1,162	52	1,214
	パーセント	4.3	22.7	18.6	6.5	47.8	100.0		
65歳以上	度数	29	215	87	31	221	583	81	664
	パーセント	5.0	36.9	14.9	5.3	37.9	100.0		
【圏域別】									
仙南圏域	度数	8	68	44	20	101	241	7	248
	パーセント	3.3	28.2	18.3	8.3	41.9	100.0		
仙台圏域	度数	7	62	54	14	95	232	17	249
	パーセント	3.0	26.7	23.3	6.0	40.9	100.0		
大崎圏域	度数	12	62	38	9	110	231	23	254
	パーセント	5.2	26.8	16.5	3.9	47.6	100.0		
栗原圏域	度数	15	73	56	17	126	287	18	305
	パーセント	5.2	25.4	19.5	5.9	43.9	100.0		
登米圏域	度数	17	71	51	18	104	261	18	279
	パーセント	6.5	27.2	19.5	6.9	39.8	100.0		
石巻圏域	度数	7	71	23	12	102	215	14	229
	パーセント	3.3	33.0	10.7	5.6	47.4	100.0		
気仙沼・本吉 圏域	度数	13	62	32	14	128	249	25	274
	パーセント	5.2	24.9	12.9	5.6	51.4	100.0		

【特に優先すべきと思う項目】

取組 2 3 に関し、目標とする宮城の姿を目指して、県が下記の項目の中で今後特に優先すべきと思う項目について調査した。(複数回答可)

- ア より充実した生涯学習の環境づくりと、学習機関同士の結び付きなどによる県民の自主的な学習活動の支援
- イ みやぎ県民大学の実施など、社会的に求められている学習機会の確保や、地域のさまざまな生涯学習活動を支援する指導者の育成
- ウ 地域に根ざした自主運営型・複合型スポーツクラブの育成・支援など、生涯を通じてスポーツに親しめる環境づくり
- エ 選手強化のための、生徒から学生、社会人までの一貫指導体制づくり、指導者育成対策、競技力向上などの環境の充実
- オ 県民が文化芸術に触れる機会の充実など、文化芸術活動の振興
- カ 地域文化の継承・振興のための取組支援と文化財の保存・活用
- キ 県民の文化芸術活動を生かした地域づくりや交流の推進
- ク 宮城県図書館・美術館・東北歴史博物館等の拠点の充実と、関係機関との組織づくり

(参考:目標とする宮城の姿)

だれもが意欲や興味に応じて学び交流する環境ができ、学ぶことが個人の生きがいや地域づくりに結びついています。
 県民のだれもが、年齢や興味に応じてスポーツに親しんでいます。競技スポーツでは、全国や世界で活躍する選手が生まれています。
 郷土の伝統的な文化芸術が保存され受け継がれています。
 子どものころから創造性をはぐくむような環境ができ、積極的な文化活動への参加や文化芸術を通じた地域づくりを行う県民が増えています。

< 概要 >

県全体及び属性別(性別・年齢別・圏域別)の優先順位第1位から第3位までは以下のとおり。

	県全体	性別		年齢別	
		男性	女性	65歳未満	65歳以上
第1位:	ウ(ウ)	ウ	ウ	ウ	ウ
第2位:	ア(ア)	ア	ア	ア	ア
第3位:	カ(カ)	カ	オ	カ	イ

	圏域別						
	仙南	仙台	大崎	栗原	登米	石巻	気仙沼・本吉
第1位:	ウ	ウ	ウ	ウ	ウ	ウ	ウ
第2位:	ア	ア	ア	ア	ア	カ	ア
第3位:	オ	オ	オ	カ	カ	オ	カ

属性別の優先順位が県全体と異なる場合、項目記号を網掛けしている。
 ()内は、前回の優先順位

図 2 - 2 - 23 - 5 取組 2 3 特に優先すべきと思う項目回答数(県全体)

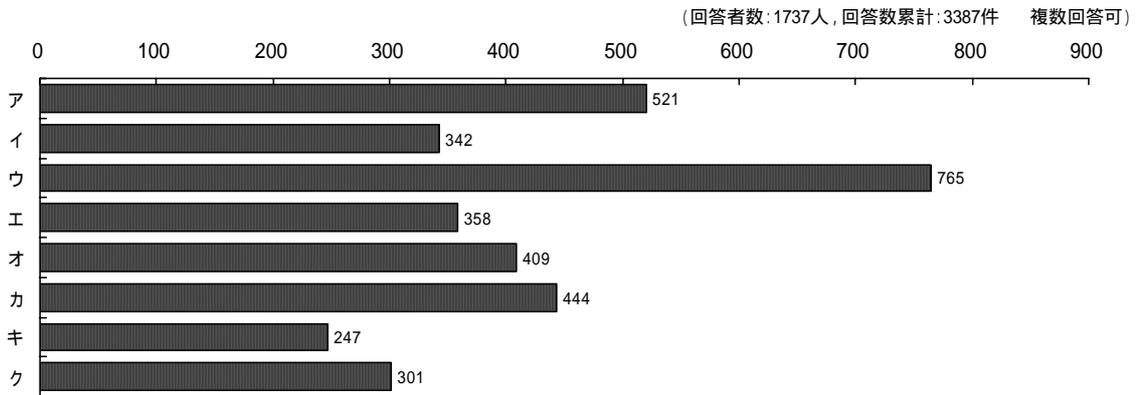
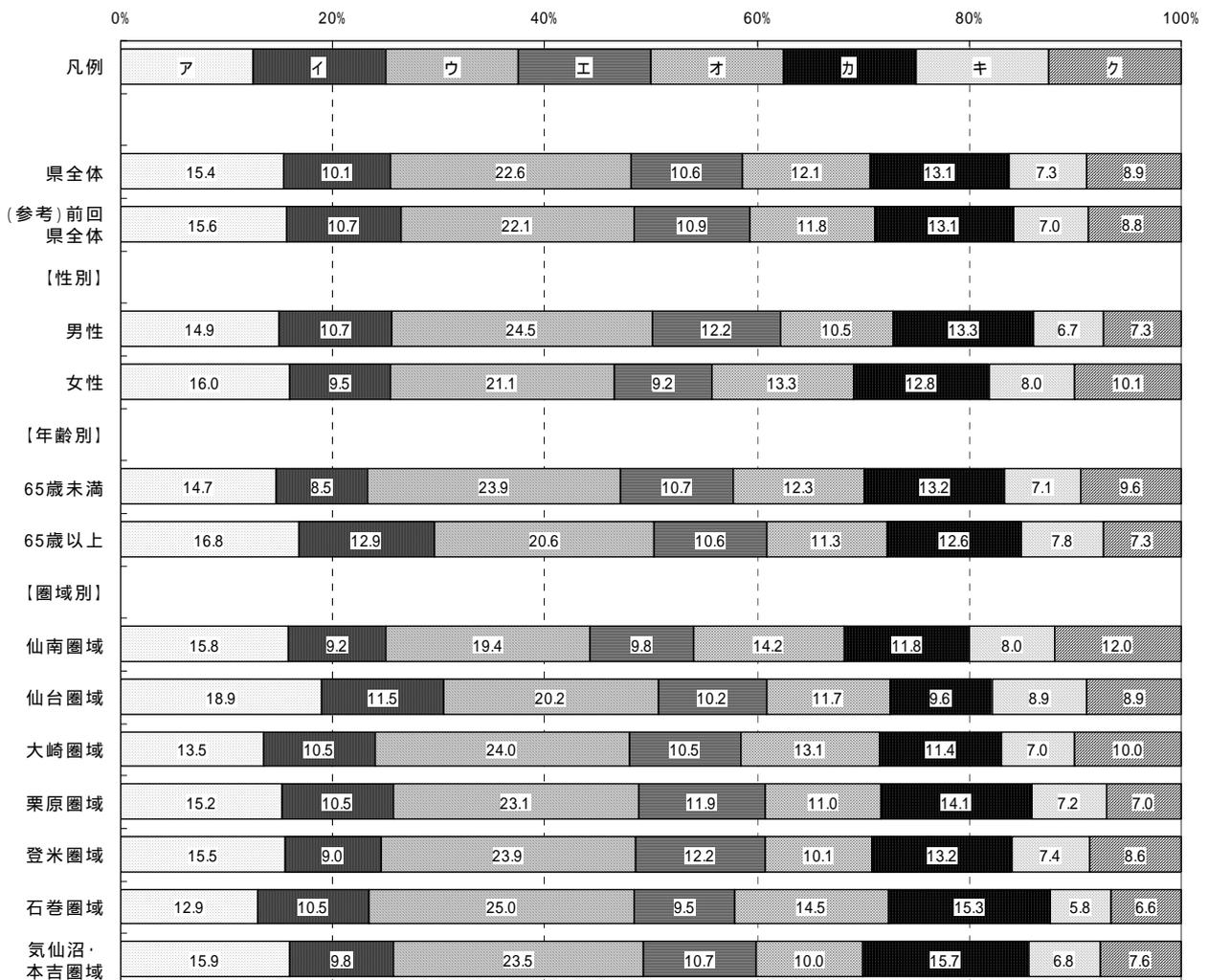


図 2 - 2 - 23 - 6 取組 2 3 特に優先すべきと思う項目割合(属性別)



本図は、回答数累計に占める各項目の回答数の割合を属性別に示したものです。

取組 2.3 「生涯学習社会の確立とスポーツ・
文化芸術の振興」

取組 2 4 コンパクトで機能的なまちづくりと地域生活の充実



取組概要

都市計画により，市街地における適切な土地利用の誘導，公共公益施設の配置，バリアフリーなどに配慮した施設整備を目指します。また，医療・教育・交通・情報通信基盤など，生活に必要なサービスの確保に取り組むとともに，各地域の特性を生かした産業振興を行うなど，活力に満ちた地域社会の実現を目指します。

平成 2 0 年度の主な取組

中心市街地活性化基本計画の作成に取り組む市町村への支援や，中心市街地活性化協議会の構成員である商工会や商工会議所等が取り組むソフト事業への支援をしています。

市街地の土地の合理的な高度利用と都市機能の更新のため，敷地の統合や不燃化された共同建築物への建て替えと併せて，道路や公園等の公共施設の整備を行う事業者に，市町村と連携して補助金を交付しています。

県内どこの地域で暮らす人も適切な医療が受けられるよう，全国から医師を募集して自治体病院・診療所に派遣したり，医療資源の重点化・集約化や医療機関の機能分担・連携強化などを進めています。

県民の多様な学習ニーズにこたえるため，学校や社会教育施設等と連携して行う各種開放講座と，生涯学習を推進する人材を育成するための支援者養成講座を行っています。

県民の日常生活を支える公共交通を維持するため，第三セクター鉄道，バス会社や市町村などが運行する地方生活路線バス，離島航路の運営などを支援しています。

【認知度】（県がこの取組を行っていたことについて、どのくらい知っているか）

< 概要 >

県全体

「知っている」「ある程度知っている」を合わせた『高認知群』は33.3%、
「あまり知らない」「知らない」を合わせた『低認知群』は66.7%である。

性別

男性の『高認知群』は35.2%で、県全体より1.9ポイント高い。

女性の『高認知群』は31.3%で、県全体より2.0ポイント低い。

年齢別

65歳未満の『高認知群』は30.2%で、県全体より3.1ポイント低い。

65歳以上の『高認知群』は39.5%で、県全体より6.2ポイント高い。

圏域別

仙南圏域の『高認知群』は27.8%で、県全体より5.5ポイント低い。

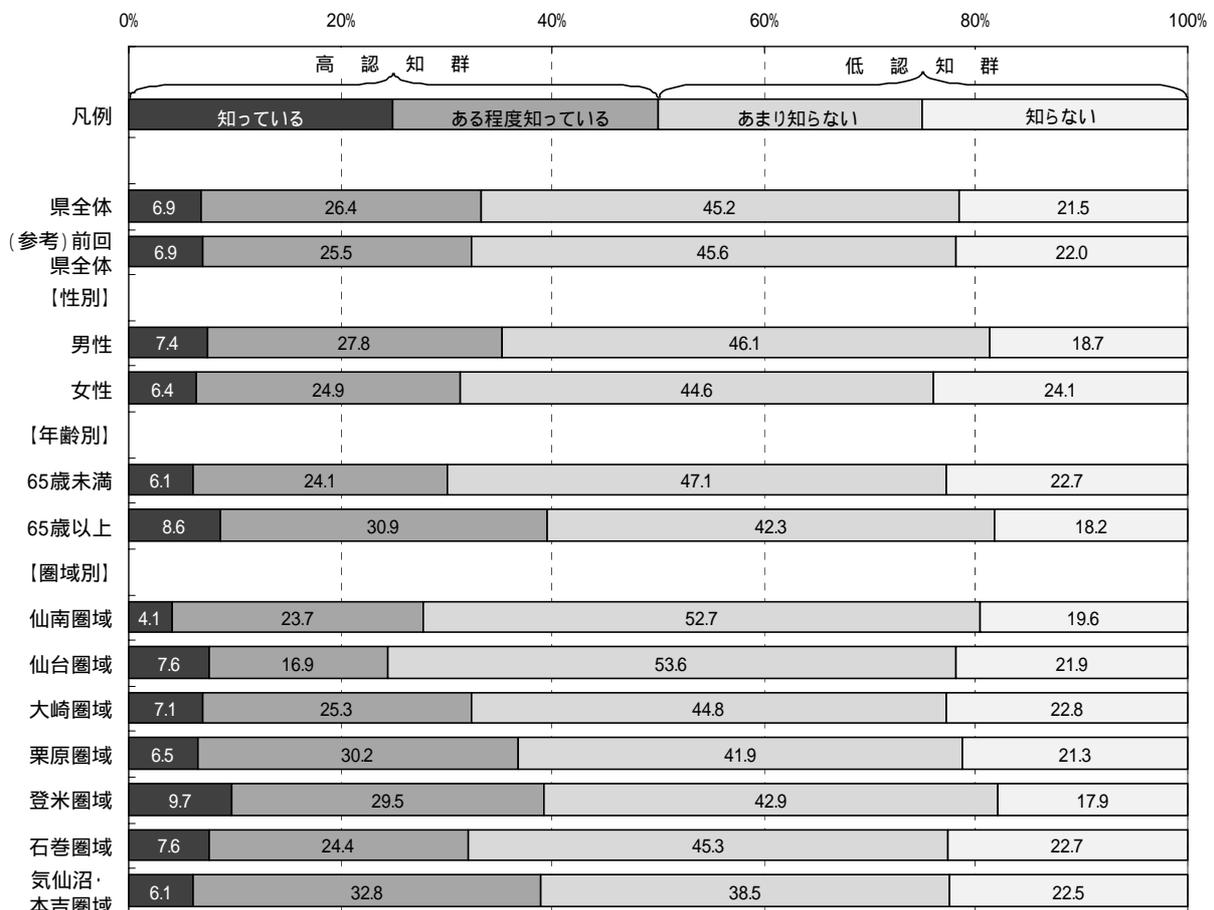
仙台圏域の『高認知群』は24.5%で、県全体より8.8ポイント低い。

登米圏域の『高認知群』は39.2%で、県全体より5.9ポイント高い。

気仙沼・本吉圏域の『高認知群』は38.9%で、県全体より5.6ポイント高い。

その他の圏域の『高認知群』は、県全体との差が5.0ポイント以内に収まっている。

図 2 - 2 - 2 4 - 1 取組 2 4 認知度割合(属性別)



取組24「コンパクトで機能的なまちづくりと
地域生活の充実」

表2-2-24-1 取組24 認知度集計(属性別)

		有 効				合計	欠 損 値	合 計
		知っている	ある程度 知っている	あまり 知らない	知らない			
県全体	度数	128	490	838	399	1,855	89	1,944
	パーセント	6.9	26.4	45.2	21.5	100.0		
(参考) 前回 県全体	度数	121	446	798	384	1,749	93	1,842
	パーセント	6.9	25.5	45.6	22.0	100.0		
【性別】								
男性	度数	64	241	399	162	866	28	894
	パーセント	7.4	27.8	46.1	18.7	100.0		
女性	度数	61	236	422	228	947	44	991
	パーセント	6.4	24.9	44.6	24.1	100.0		
【年齢別】								
65歳未満	度数	72	286	560	270	1,188	26	1,214
	パーセント	6.1	24.1	47.1	22.7	100.0		
65歳以上	度数	53	190	260	112	615	49	664
	パーセント	8.6	30.9	42.3	18.2	100.0		
【圏域別】								
仙南圏域	度数	10	58	129	48	245	3	248
	パーセント	4.1	23.7	52.7	19.6	100.0		
仙台圏域	度数	18	40	127	52	237	12	249
	パーセント	7.6	16.9	53.6	21.9	100.0		
大崎圏域	度数	17	61	108	55	241	13	254
	パーセント	7.1	25.3	44.8	22.8	100.0		
栗原圏域	度数	19	88	122	62	291	14	305
	パーセント	6.5	30.2	41.9	21.3	100.0		
登米圏域	度数	26	79	115	48	268	11	279
	パーセント	9.7	29.5	42.9	17.9	100.0		
石巻圏域	度数	17	55	102	51	225	4	229
	パーセント	7.6	24.4	45.3	22.7	100.0		
気仙沼・本吉 圏域	度数	16	86	101	59	262	12	274
	パーセント	6.1	32.8	38.5	22.5	100.0		

【関心度】（県が行ってきたこの取組の内容について、どのくらい関心があるか）

< 概要 >

県全体

「関心がある」「ある程度関心がある」を合わせた『高関心群』は64.5%、
「あまり関心がない」「関心がない」を合わせた『低関心群』は35.5%である。
また、前回の『高関心群』は60.1%で、今回は前回より4.4ポイント高い。

性別

男性の『高関心群』は66.1%で、県全体より1.6ポイント高い。

女性の『高関心群』は62.9%で、県全体より1.6ポイント低い。

年齢別

65歳未満の『高関心群』は64.2%で、県全体より0.3ポイント低い。

65歳以上の『高関心群』は65.0%で、県全体より0.5ポイント高い。

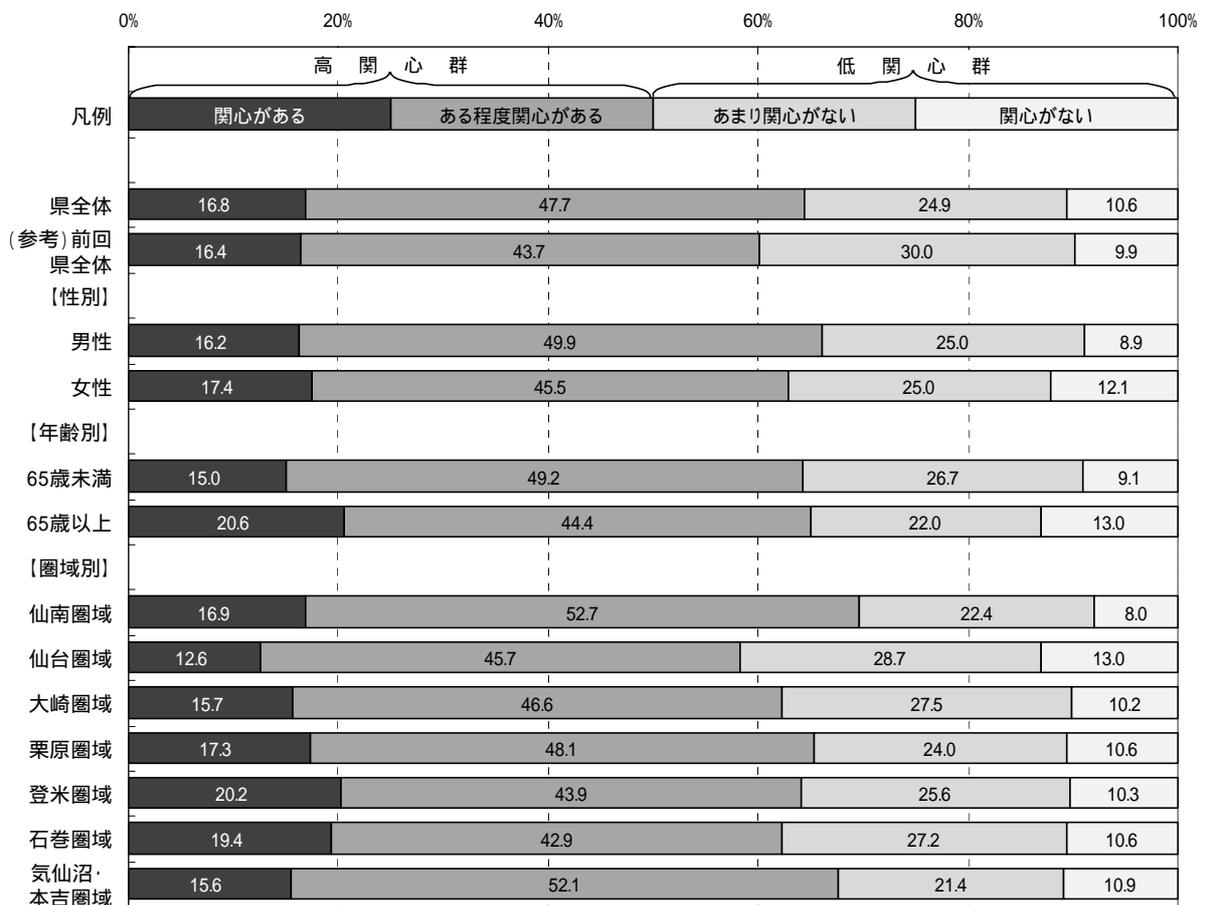
圏域別

仙南圏域の『高関心群』は69.6%で、県全体より5.1ポイント高い。

仙台圏域の『高関心群』は58.3%で、県全体より6.2ポイント低い。

その他の圏域の『高関心群』は、県全体との差が5.0ポイント以内に収まっている。

図 2 - 2 - 2 4 - 2 取組 2 4 関心度割合(属性別)



取組 2 4 「コンパクトで機能的なまちづくりと
地域生活の充実」

表 2 - 2 - 2 4 - 2 取組 2 4 関心度集計(属性別)

		有 効				合計	欠 損 値	合 計
		関心がある	ある程度 関心がある	あまり 関心がない	関心がない			
県全体	度数	303	860	449	192	1,804	140	1,944
	パーセント	16.8	47.7	24.9	10.6	100.0		
(参考) 前回 県全体	度数	281	749	515	169	1,714	128	1,842
	パーセント	16.4	43.7	30.0	9.9	100.0		
【性別】								
男性	度数	137	421	211	75	844	50	894
	パーセント	16.2	49.9	25.0	8.9	100.0		
女性	度数	160	418	230	111	919	72	991
	パーセント	17.4	45.5	25.0	12.1	100.0		
【年齢別】								
65歳未満	度数	176	576	312	106	1,170	44	1,214
	パーセント	15.0	49.2	26.7	9.1	100.0		
65歳以上	度数	120	259	128	76	583	81	664
	パーセント	20.6	44.4	22.0	13.0	100.0		
【圏域別】								
仙南圏域	度数	40	125	53	19	237	11	248
	パーセント	16.9	52.7	22.4	8.0	100.0		
仙台圏域	度数	29	105	66	30	230	19	249
	パーセント	12.6	45.7	28.7	13.0	100.0		
大崎圏域	度数	37	110	65	24	236	18	254
	パーセント	15.7	46.6	27.5	10.2	100.0		
栗原圏域	度数	49	136	68	30	283	22	305
	パーセント	17.3	48.1	24.0	10.6	100.0		
登米圏域	度数	53	115	67	27	262	17	279
	パーセント	20.2	43.9	25.6	10.3	100.0		
石巻圏域	度数	42	93	59	23	217	12	229
	パーセント	19.4	42.9	27.2	10.6	100.0		
気仙沼・本吉 圏域	度数	40	134	55	28	257	17	274
	パーセント	15.6	52.1	21.4	10.9	100.0		

【重視度】（県がこの取組を今後行っていくことが、どのくらい重要と考えるか）

< 概要 >

県全体

「重要」「やや重要」を合わせた『高重視群』は65.4%、「あまり重要ではない」「重要ではない」を合わせた『低重視群』は14.4%である。

なお、回答全体から「わからない」を除き集計した場合、『高重視群』が81.9%、『低重視群』は18.0%となる。

性別

男性の『高重視群』は68.4%で、県全体より3.0ポイント高い。

女性の『高重視群』は62.6%で、県全体より2.8ポイント低い。

年齢別

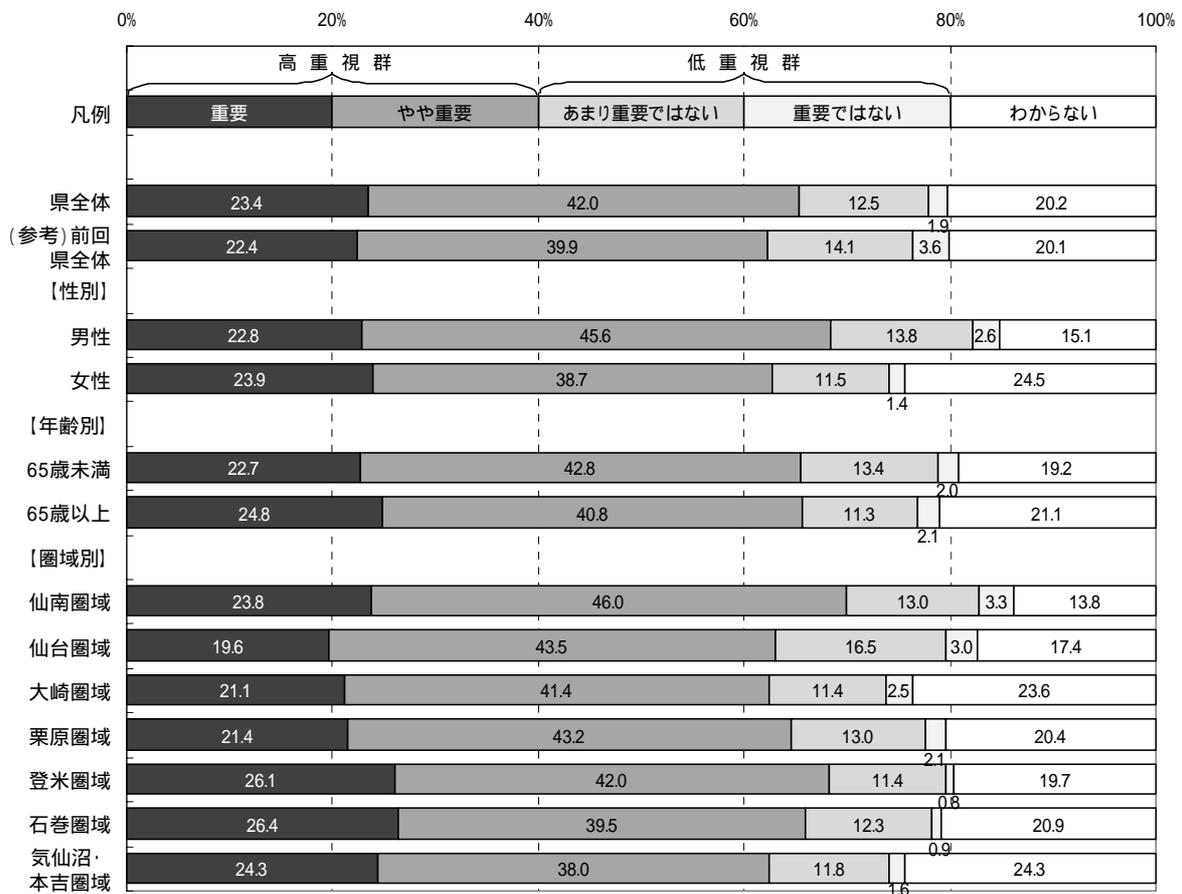
65歳未満の『高重視群』は65.5%で、県全体より0.1ポイント高い。

65歳以上の『高重視群』は65.6%で、県全体より0.2ポイント高い。

圏域別

各圏域の『高重視群』は、県全体との差が全て5.0ポイント以内に収まっている。

図 2 - 2 - 24 - 3 取組 2.4 重視度割合(属性別)



取組24「コンパクトで機能的なまちづくりと
地域生活の充実」

表2-2-24-3 取組24 重視度集計(属性別)

		有 効					合計	欠 損 値	合 計
		重要	やや重要	あまり重要 ではない	重要では ない	わからない			
県全体	度数	424	760	226	35	366	1,811	133	1,944
	パーセント	23.4	42.0	12.5	1.9	20.2	100.0		
	「わからない」を 除くパーセント	29.3	52.6	15.6	2.4		100.0		
(参考) 前回 県全体	度数	382	680	240	61	342	1,705	137	1,842
	パーセント	22.4	39.9	14.1	3.6	20.1	100.0		
【性別】									
男性	度数	193	386	117	22	128	846	48	894
	パーセント	22.8	45.6	13.8	2.6	15.1	100.0		
女性	度数	221	358	106	13	226	924	67	991
	パーセント	23.9	38.7	11.5	1.4	24.5	100.0		
【年齢別】									
65歳未満	度数	267	503	157	23	226	1,176	38	1,214
	パーセント	22.7	42.8	13.4	2.0	19.2	100.0		
65歳以上	度数	145	238	66	12	123	584	80	664
	パーセント	24.8	40.8	11.3	2.1	21.1	100.0		
【圏域別】									
仙南圏域	度数	57	110	31	8	33	239	9	248
	パーセント	23.8	46.0	13.0	3.3	13.8	100.0		
仙台圏域	度数	45	100	38	7	40	230	19	249
	パーセント	19.6	43.5	16.5	3.0	17.4	100.0		
大崎圏域	度数	50	98	27	6	56	237	17	254
	パーセント	21.1	41.4	11.4	2.5	23.6	100.0		
栗原圏域	度数	61	123	37	6	58	285	20	305
	パーセント	21.4	43.2	13.0	2.1	20.4	100.0		
登米圏域	度数	69	111	30	2	52	264	15	279
	パーセント	26.1	42.0	11.4	0.8	19.7	100.0		
石巻圏域	度数	58	87	27	2	46	220	9	229
	パーセント	26.4	39.5	12.3	0.9	20.9	100.0		
気仙沼・本吉 圏域	度数	62	97	30	4	62	255	19	274
	パーセント	24.3	38.0	11.8	1.6	24.3	100.0		

【満足度】（県が行ってきたこの取組について、どのくらい満足しているか）

< 概要 >

県全体

「満足」「やや満足」を合わせた『満足群』は30.4%、「やや不満」「不満」を合わせた『不満群』は31.5%である。

なお、回答全体から「わからない」を除き集計した場合、『満足群』が49.1%、『不満群』は50.9%となる。

性別

男性の『満足群』は31.5%で、県全体より1.1ポイント高い。

女性の『満足群』は29.9%で、県全体より0.5ポイント低い。

年齢別

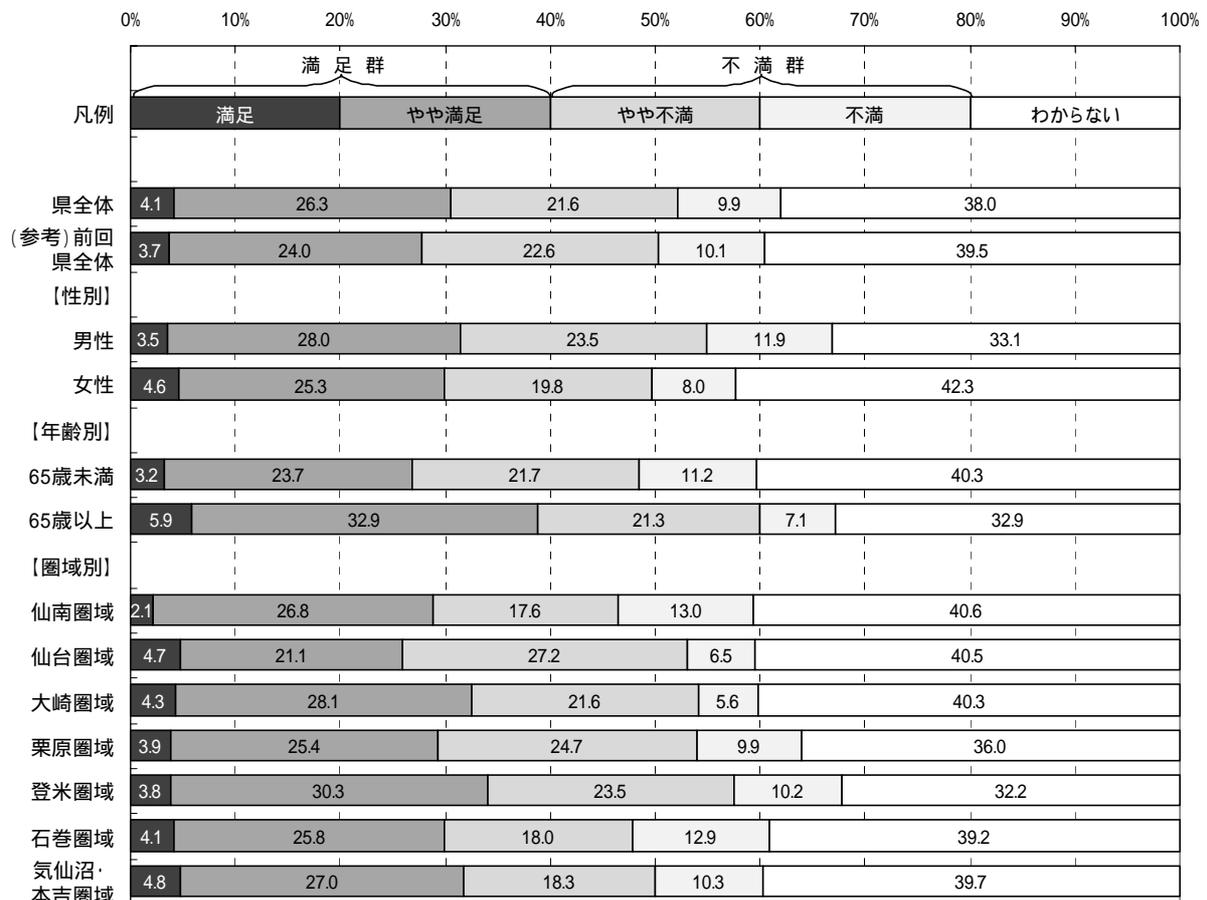
65歳未満の『満足群』は26.9%で、県全体より3.5ポイント低い。

65歳以上の『満足群』は38.8%で、県全体より8.4ポイント高い。

圏域別

各圏域の『満足群』は、県全体との差が全て5.0ポイント以内に収まっている。

図2-2-24-4 取組2-4 満足度割合(属性別)



取組 2 4 「コンパクトで機能的なまちづくりと
地域生活の充実」

表 2 - 2 - 2 4 - 4 取組 2 4 満足度集計(属性別)

		有 効						欠 損 値	合 計
		満足	やや満足	やや不満	不満	わからない	合計		
県全体	度数	74	474	389	179	683	1,799	145	1,944
	パーセント	4.1	26.3	21.6	9.9	38.0	100.0		
	「わからない」を 除くパーセント	6.6	42.5	34.9	16.0		100.0		
(参考) 前回 県全体	度数	63	405	381	171	667	1,687	155	1,842
	パーセント	3.7	24.0	22.6	10.1	39.5	100.0		
【性別】									
男性	度数	29	235	197	100	278	839	55	894
	パーセント	3.5	28.0	23.5	11.9	33.1	100.0		
女性	度数	42	233	182	74	390	921	70	991
	パーセント	4.6	25.3	19.8	8.0	42.3	100.0		
【年齢別】									
65歳未満	度数	37	277	254	131	472	1,171	43	1,214
	パーセント	3.2	23.7	21.7	11.2	40.3	100.0		
65歳以上	度数	34	190	123	41	190	578	86	664
	パーセント	5.9	32.9	21.3	7.1	32.9	100.0		
【圏域別】									
仙南圏域	度数	5	64	42	31	97	239	9	248
	パーセント	2.1	26.8	17.6	13.0	40.6	100.0		
仙台圏域	度数	11	49	63	15	94	232	17	249
	パーセント	4.7	21.1	27.2	6.5	40.5	100.0		
大崎圏域	度数	10	65	50	13	93	231	23	254
	パーセント	4.3	28.1	21.6	5.6	40.3	100.0		
栗原圏域	度数	11	72	70	28	102	283	22	305
	パーセント	3.9	25.4	24.7	9.9	36.0	100.0		
登米圏域	度数	10	80	62	27	85	264	15	279
	パーセント	3.8	30.3	23.5	10.2	32.2	100.0		
石巻圏域	度数	9	56	39	28	85	217	12	229
	パーセント	4.1	25.8	18.0	12.9	39.2	100.0		
気仙沼・本吉 圏域	度数	12	68	46	26	100	252	22	274
	パーセント	4.8	27.0	18.3	10.3	39.7	100.0		

【特に優先すべきと思う項目】

取組 2 4 に関し、目標とする宮城の姿を目指して、県が下記の項目の中で今後特に優先すべきと思う項目について調査した。（複数回答可）

- ア 施設の配置場所、市街地開発など、都市計画の方針を明らかにする都市計画区域マスタープランに基づく良好な市街地づくり
- イ 都市計画を定めることによる適切な土地利用の誘導や公共公益施設の適切な配置
- ウ 鉄道沿線などの市街地整備や既存市街地の再開発
- エ バリアフリー・ユニバーサルデザインの考え方の普及や、それに配慮した施設づくり
- オ 地域住民や公共サービスと連携した地域商業の活性化支援
- カ 豊かな自然環境や独自の伝統文化などを生かした集客交流や産業振興
- キ 全国から県内の自治体病院での勤務を希望する医師を募集・配置するなど、地域医療を充実させるための医師確保
- ク それぞれの地域での教育に関連した取組への支援や生涯学習の促進
- ケ 地域の日常生活を支えるバス路線など、公共交通の維持支援
- コ 住む場所の違いにより、手に入る情報に差が生じないような情報通信の基盤づくり

（参考：目標とする宮城の姿）

地域の中心部にさまざまな公共施設をまとめて配置するなど、機能的なまちづくりが進められています。

消費者にとって魅力ある商店街づくりや、地域資源を生かした独自性のあるまちづくりが進められています。

県内の各圏域に、圏域内のそれぞれの地域が医療、教育、交通などの機能を集中・分担するなどして、生活に欠かせない基礎的なサービスがきちんと受けられる環境が整っています。

< 概要 >

県全体及び属性別（性別・年齢別・圏域別）の優先順位第 1 位から第 3 位までは以下のとおり。

	県全体	性別		年齢別	
		男性	女性	65歳未満	65歳以上
第1位:	キ(キ)	キ	キ	キ	キ
第2位:	ケ(ケ)	ケ	ケ	ケ	ケ
第3位:	コ(コ)	コ	コ	コ	コ

	圏域別						
	仙南	仙台	大崎	栗原	登米	石巻	気仙沼・本吉
第1位:	キ	キ	キ	キ	キ	キ	キ
第2位:	ケ	ケ	ケ	ケ	ケ	ケ	ケ
第3位:	コ	コ	コ	コ	コ	コ	コ

属性別の優先順位が県全体と異なる場合、項目記号を網掛けしている。

() 内は、前回の優先順位

取組 2 4 「コンパクトで機能的なまちづくりと
地域生活の充実」

図 2 - 2 - 2 4 - 5 取組 2 4 特に優先すべきと思う項目回答数(県全体)

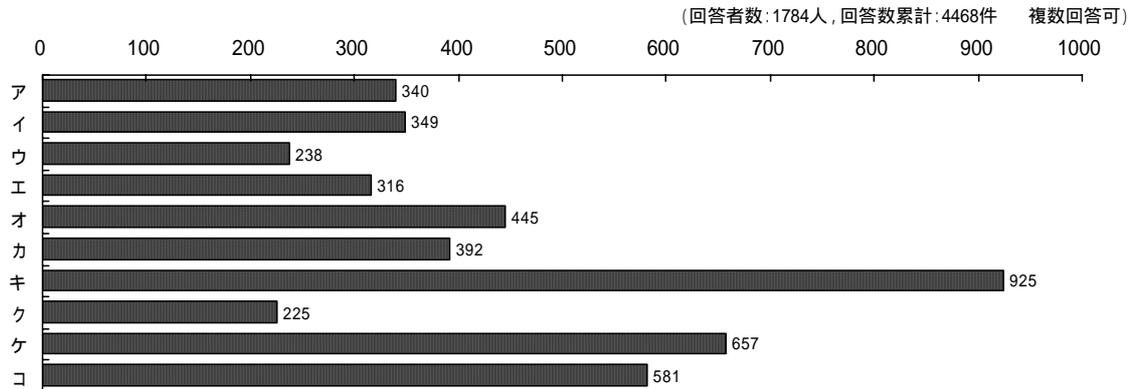
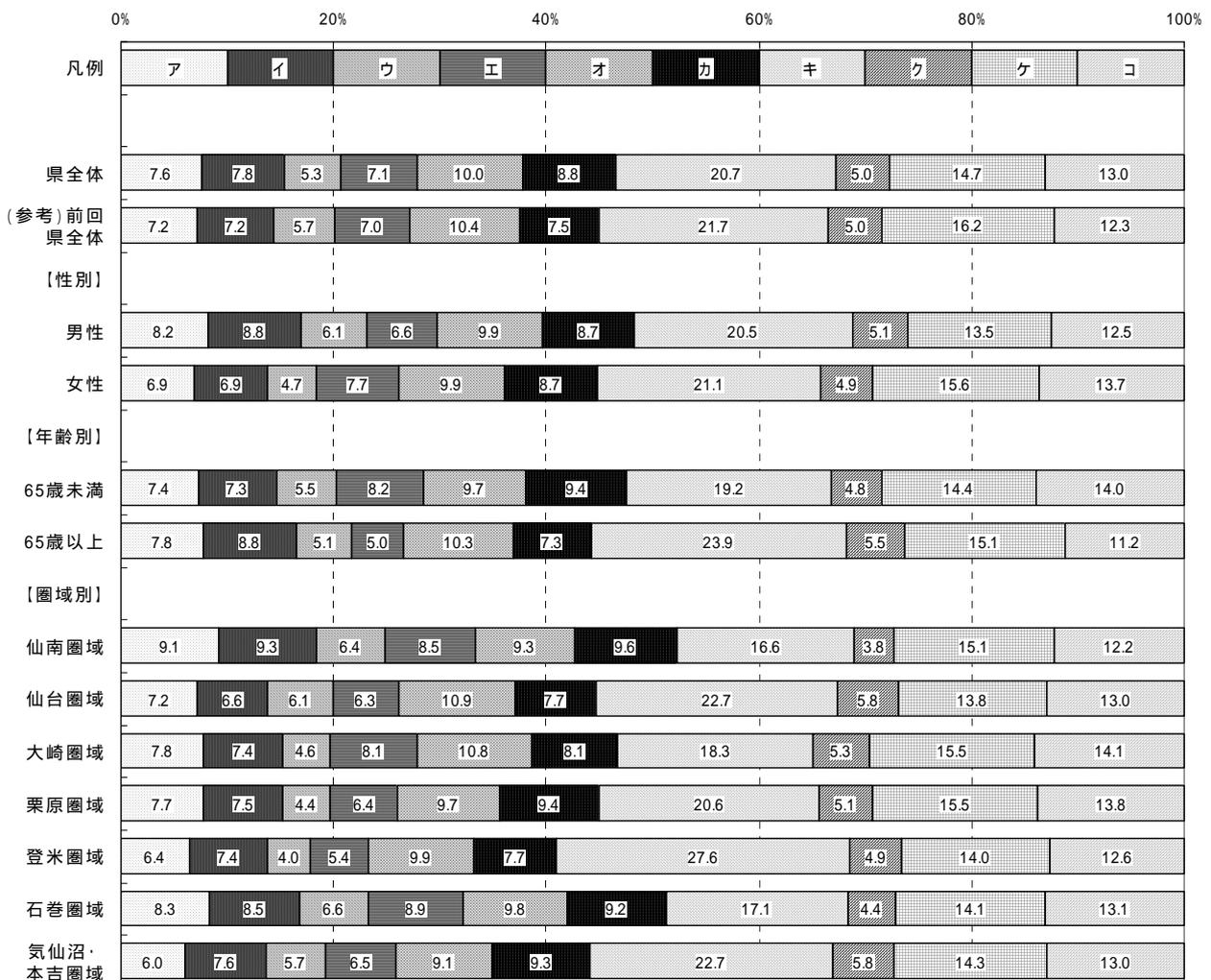


図 2 - 2 - 2 4 - 6 取組 2 4 特に優先すべきと思う項目割合(属性別)



本図は、回答数累計に占める各項目の回答数の割合を属性別に示したものです。

取組 2.4 「コンパクトで機能的なまちづくりと
地域生活の充実」

取組 2 5 安全で安心なまちづくり



取組概要

豊かで潤いのある生活を営むことができる社会の実現は県民共通の願いであることから、だれもが安心して安全に暮らせる社会の実現を目指します。

平成 2 0 年度の主な取組

安全・安心まちづくりを県民運動として推進するための県民大会やリーダー養成のための講座を開催しています。また、地域ネットワークづくりを促進しています。

消費生活講座やパネル展示を実施したほか、ホームページやリーフレットによる情報提供や啓発に努めています。また、近年深刻化している多重債務問題にも取り組み、県・市町村等の相談窓口の機能充実を図っています。

学校や通学路での子どもたちの安全確保のため、警察 OB 等を「スクールガード・リーダー」として配置し、県内すべての小学校や子どもたちを見守るボランティアに指導・助言を行っています。

「スクールサポーター」を配置し、少年の非行防止や立直り支援、小中学校における児童・生徒の犯罪被害防止教育の支援や安全を確保するための活動を行っています。

「交番相談員」を増員し、事件等で交番の警察官が不在となっても来庁者に対応できる体制に強化しています。また、「警察安全相談員」を増員し、県民からの相談に対応できる体制に強化しています。

【認知度】 (県がこの取組を行っていたことについて、どのくらい知っているか)

< 概要 >

県全体

「知っている」「ある程度知っている」を合わせた『高認知群』は41.0%、
「あまり知らない」「知らない」を合わせた『低認知群』は59.0%である。
また、前回の『高認知群』は34.1%で、今回は前回より6.9ポイント高い。

性別

男性の『高認知群』は42.4%で、県全体より1.4ポイント高い。
女性の『高認知群』は39.4%で、県全体より1.6ポイント低い。

年齢別

65歳未満の『高認知群』は36.0%で、県全体より5.0ポイント低い。
65歳以上の『高認知群』は50.8%で、県全体より9.8ポイント高い。

圏域別

登米圏域の『高認知群』は47.0%で、県全体より6.0ポイント高い。
その他の圏域の『高認知群』は県全体との差が5.0ポイント以内に収まっている。

図 2 - 2 - 25 - 1 取組 25 認知度割合(属性別)

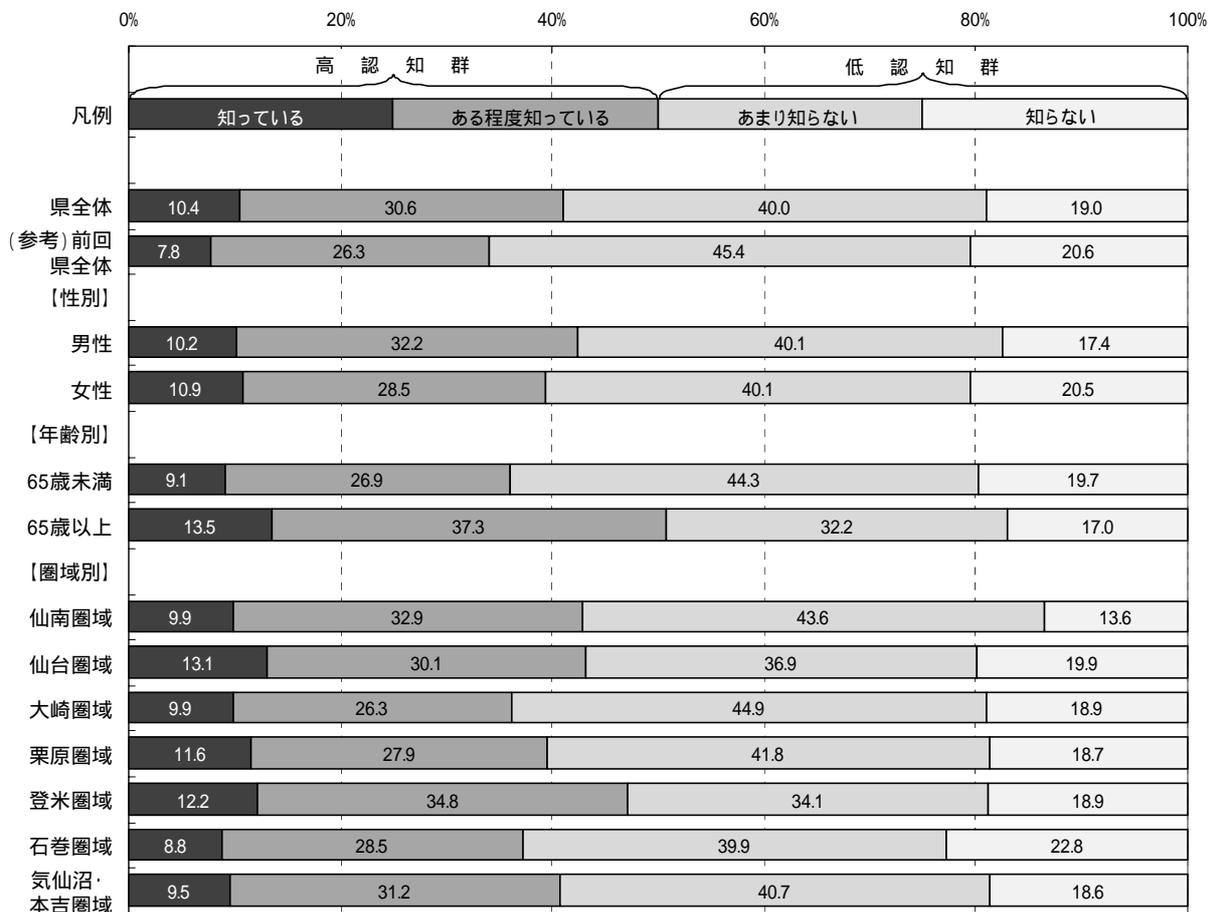


表2-2-25-1 取組25 認知度集計(属性別)

		有 効					欠 損 値	合 計
		知っている	ある程度 知っている	あまり 知らない	知らない	合計		
県全体	度数	194	569	745	354	1,862	82	1,944
	パーセント	10.4	30.6	40.0	19.0	100.0		
(参考)前回 県全体	度数	137	464	801	363	1,765	77	1,842
	パーセント	7.8	26.3	45.4	20.6	100.0		
【性別】								
男性	度数	89	281	350	152	872	22	894
	パーセント	10.2	32.2	40.1	17.4	100.0		
女性	度数	103	270	381	195	949	42	991
	パーセント	10.9	28.5	40.1	20.5	100.0		
【年齢別】								
65歳未満	度数	108	320	527	235	1,190	24	1,214
	パーセント	9.1	26.9	44.3	19.7	100.0		
65歳以上	度数	84	232	200	106	622	42	664
	パーセント	13.5	37.3	32.2	17.0	100.0		
【圏域別】								
仙南圏域	度数	24	80	106	33	243	5	248
	パーセント	9.9	32.9	43.6	13.6	100.0		
仙台圏域	度数	31	71	87	47	236	13	249
	パーセント	13.1	30.1	36.9	19.9	100.0		
大崎圏域	度数	24	64	109	46	243	11	254
	パーセント	9.9	26.3	44.9	18.9	100.0		
栗原圏域	度数	34	82	123	55	294	11	305
	パーセント	11.6	27.9	41.8	18.7	100.0		
登米圏域	度数	33	94	92	51	270	9	279
	パーセント	12.2	34.8	34.1	18.9	100.0		
石巻圏域	度数	20	65	91	52	228	1	229
	パーセント	8.8	28.5	39.9	22.8	100.0		
気仙沼・本吉 圏域	度数	25	82	107	49	263	11	274
	パーセント	9.5	31.2	40.7	18.6	100.0		

【関心度】 (県が行ってきたこの取組の内容について、どのくらい関心があるか)

< 概要 >

県全体

「関心がある」「ある程度関心がある」を合わせた『高関心群』は74.6%、
「あまり関心がない」「関心がない」を合わせた『低関心群』は25.4%である。

性別

男性の『高関心群』は76.5%で、県全体より1.9ポイント高い。

女性の『高関心群』は72.9%で、県全体より1.7ポイント低い。

年齢別

65歳未満の『高関心群』は73.7%で、県全体より0.9ポイント低い。

65歳以上の『高関心群』は76.5%で、県全体より1.9ポイント高い。

圏域別

仙南圏域の『高関心群』は80.7%で、県全体より6.1ポイント高い。

その他の圏域の『高関心群』は、県全体との差が全て5.0ポイント以内に収まっている。

図 2 - 2 - 25 - 2 取組 2 5 関心度割合(属性別)

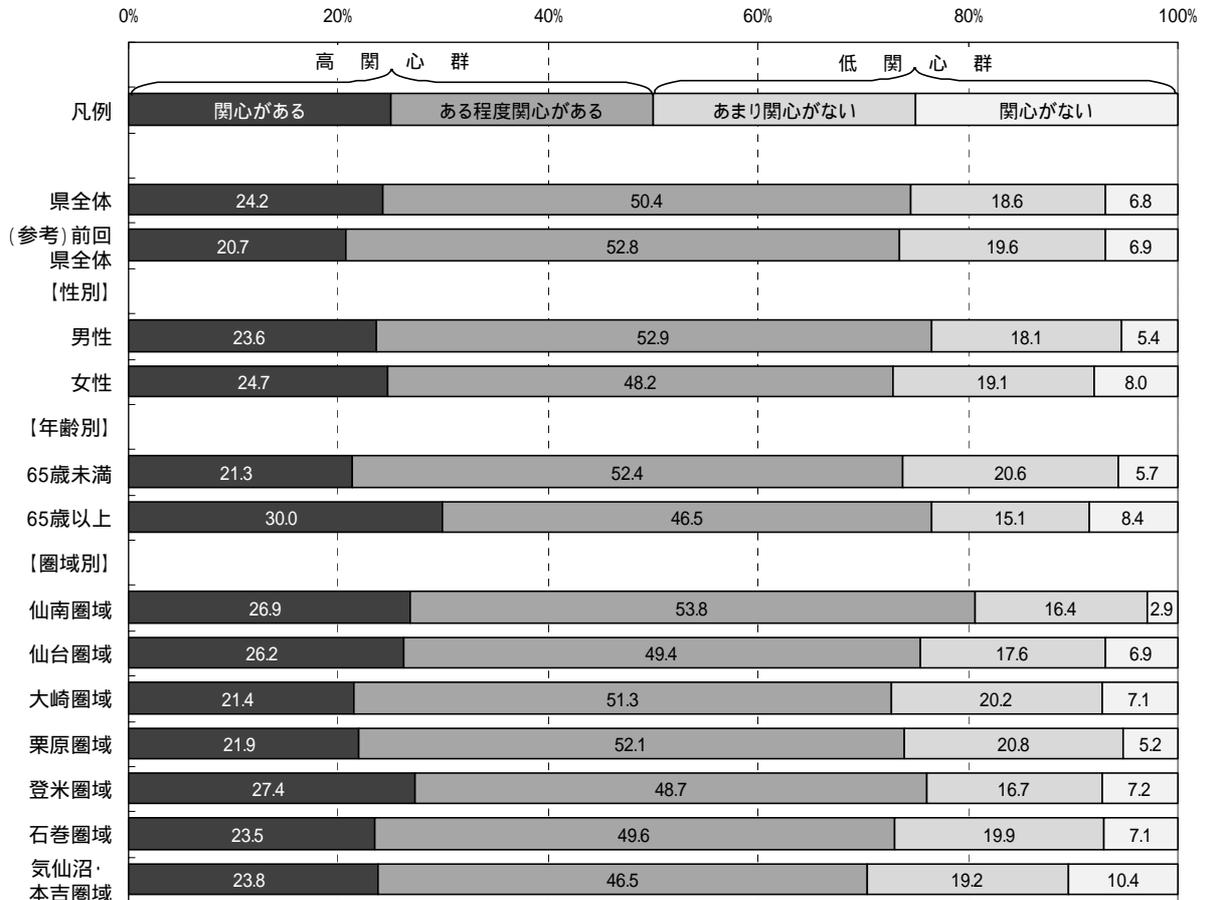


表2-2-25-2 取組25 関心度集計(属性別)

		有 効				合計	欠 損 値	合 計
		関心がある	ある程度 関心がある	あまり 関心がない	関心がない			
県全体	度数	442	921	339	125	1,827	117	1,944
	パーセント	24.2	50.4	18.6	6.8	100.0		
(参考) 前回 県全体	度数	356	909	338	119	1,722	120	1,842
	パーセント	20.7	52.8	19.6	6.9	100.0		
【性別】								
男性	度数	202	452	155	46	855	39	894
	パーセント	23.6	52.9	18.1	5.4	100.0		
女性	度数	231	450	178	75	934	57	991
	パーセント	24.7	48.2	19.1	8.0	100.0		
【年齢別】								
65歳未満	度数	251	617	242	67	1,177	37	1,214
	パーセント	21.3	52.4	20.6	5.7	100.0		
65歳以上	度数	181	281	91	51	604	60	664
	パーセント	30.0	46.5	15.1	8.4	100.0		
【圏域別】								
仙南圏域	度数	64	128	39	7	238	10	248
	パーセント	26.9	53.8	16.4	2.9	100.0		
仙台圏域	度数	61	115	41	16	233	16	249
	パーセント	26.2	49.4	17.6	6.9	100.0		
大崎圏域	度数	51	122	48	17	238	16	254
	パーセント	21.4	51.3	20.2	7.1	100.0		
栗原圏域	度数	63	150	60	15	288	17	305
	パーセント	21.9	52.1	20.8	5.2	100.0		
登米圏域	度数	72	128	44	19	263	16	279
	パーセント	27.4	48.7	16.7	7.2	100.0		
石巻圏域	度数	53	112	45	16	226	3	229
	パーセント	23.5	49.6	19.9	7.1	100.0		
気仙沼・本吉 圏域	度数	62	121	50	27	260	14	274
	パーセント	23.8	46.5	19.2	10.4	100.0		

【重視度】 (県がこの取組を今後行っていくことが、どのくらい重要と考えるか)

< 概要 >

県全体

「重要」「やや重要」を合わせた『高重視群』は75.6%、「あまり重要ではない」「重要ではない」を合わせた『低重視群』は10.2%である。

なお、回答全体から「わからない」を除き集計した場合、『高重視群』が88.2%、『低重視群』は11.8%となる。

性別

男性の『高重視群』は76.6%で、県全体より1.0ポイント高い。

女性の『高重視群』は74.6%で、県全体より1.0ポイント低い。

年齢別

65歳未満の『高重視群』は75.5%で、県全体より0.1ポイント低い。

65歳以上の『高重視群』は76.2%で、県全体より0.6ポイント高い。

圏域別

気仙沼・本吉圏域の『高重視群』は69.0%で、県全体より6.6ポイント低い。

その他の圏域の『高重視群』は、県全体との差が5.0ポイント以内に収まっている。

図 2 - 2 - 25 - 3 取組 25 重視度割合(属性別)

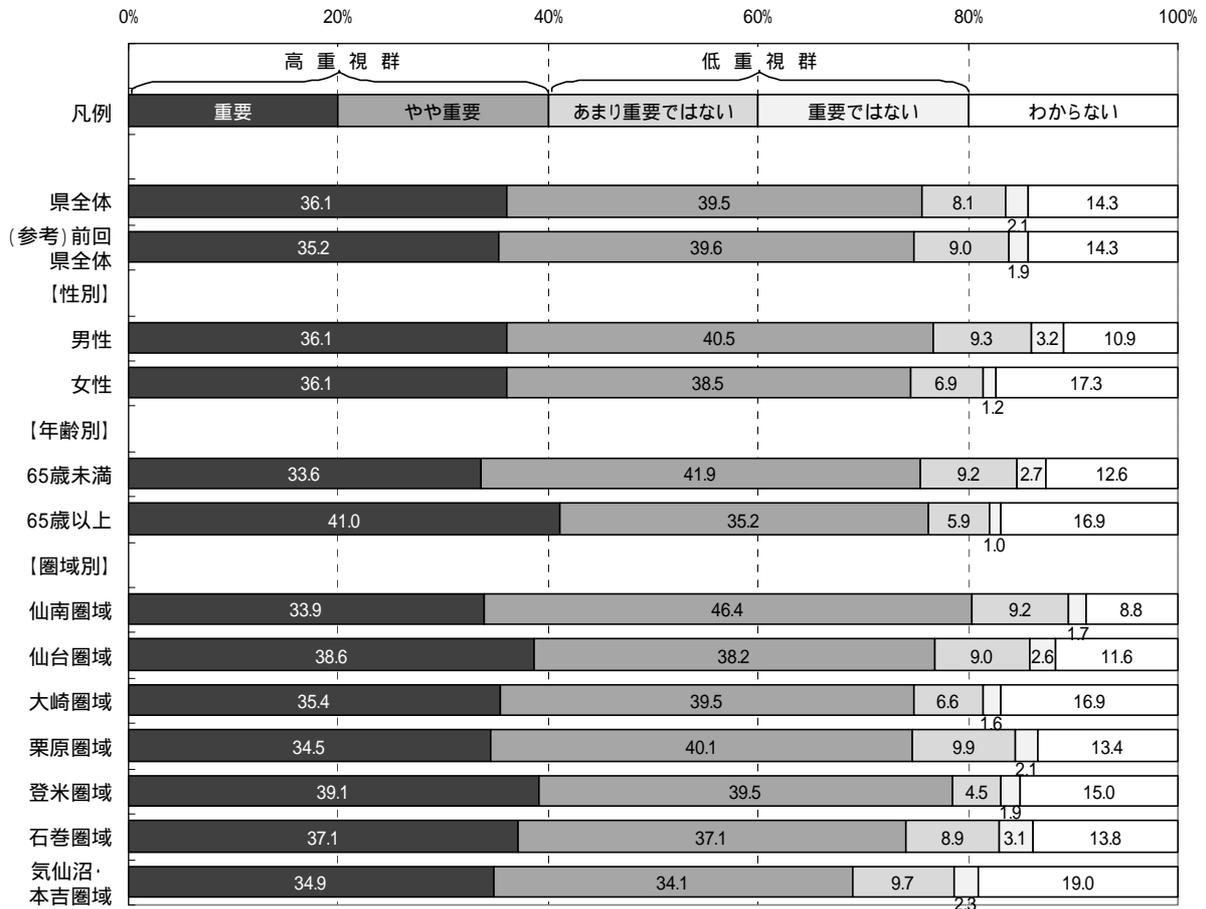


表2-2-25-3 取組25 重視度集計(属性別)

		有 効					合計	欠 損 値	合 計
		重要	やや重要	あまり重要 ではない	重要では ない	わからない			
県全体	度数	658	720	147	38	261	1,824	120	1,944
	パーセント	36.1	39.5	8.1	2.1	14.3	100.0		
	「わからない」を 除くパーセント	42.1	46.1	9.4	2.4		100.0		
(参考) 前回 県全体	度数	608	684	155	32	247	1,726	116	1,842
	パーセント	35.2	39.6	9.0	1.9	14.3	100.0		
【性別】									
男性	度数	309	347	80	27	93	856	38	894
	パーセント	36.1	40.5	9.3	3.2	10.9	100.0		
女性	度数	335	358	64	11	161	929	62	991
	パーセント	36.1	38.5	6.9	1.2	17.3	100.0		
【年齢別】									
65歳未満	度数	397	494	108	32	149	1,180	34	1,214
	パーセント	33.6	41.9	9.2	2.7	12.6	100.0		
65歳以上	度数	245	210	35	6	101	597	67	664
	パーセント	41.0	35.2	5.9	1.0	16.9	100.0		
【圏域別】									
仙南圏域	度数	81	111	22	4	21	239	9	248
	パーセント	33.9	46.4	9.2	1.7	8.8	100.0		
仙台圏域	度数	90	89	21	6	27	233	16	249
	パーセント	38.6	38.2	9.0	2.6	11.6	100.0		
大崎圏域	度数	86	96	16	4	41	243	11	254
	パーセント	35.4	39.5	6.6	1.6	16.9	100.0		
栗原圏域	度数	98	114	28	6	38	284	21	305
	パーセント	34.5	40.1	9.9	2.1	13.4	100.0		
登米圏域	度数	104	105	12	5	40	266	13	279
	パーセント	39.1	39.5	4.5	1.9	15.0	100.0		
石巻圏域	度数	83	83	20	7	31	224	5	229
	パーセント	37.1	37.1	8.9	3.1	13.8	100.0		
気仙沼・本吉 圏域	度数	90	88	25	6	49	258	16	274
	パーセント	34.9	34.1	9.7	2.3	19.0	100.0		

【満足度】（県が行ってきたこの取組について、どのくらい満足しているか）

< 概要 >

県全体

「満足」「やや満足」を合わせた『満足群』は41.1%、「やや不満」「不満」を合わせた『不満群』は26.5%である。

なお、回答全体から「わからない」を除き集計した場合、『満足群』が60.9%、『不満群』は39.1%となる。

性別

男性の『満足群』は41.9%で、県全体より0.8ポイント高い。

女性の『満足群』は40.1%で、県全体より1.0ポイント低い。

年齢別

65歳未満の『満足群』は37.4%で、県全体より3.7ポイント低い。

65歳以上の『満足群』は48.6%で、県全体より7.5ポイント高い。

圏域別

仙台圏域の『満足群』は47.6%で、県全体より6.5ポイント高い。

その他の圏域の『満足群』は、県全体との差が5.0ポイント以内に収まっている。

図2-2-25-4 取組25 満足度割合(属性別)

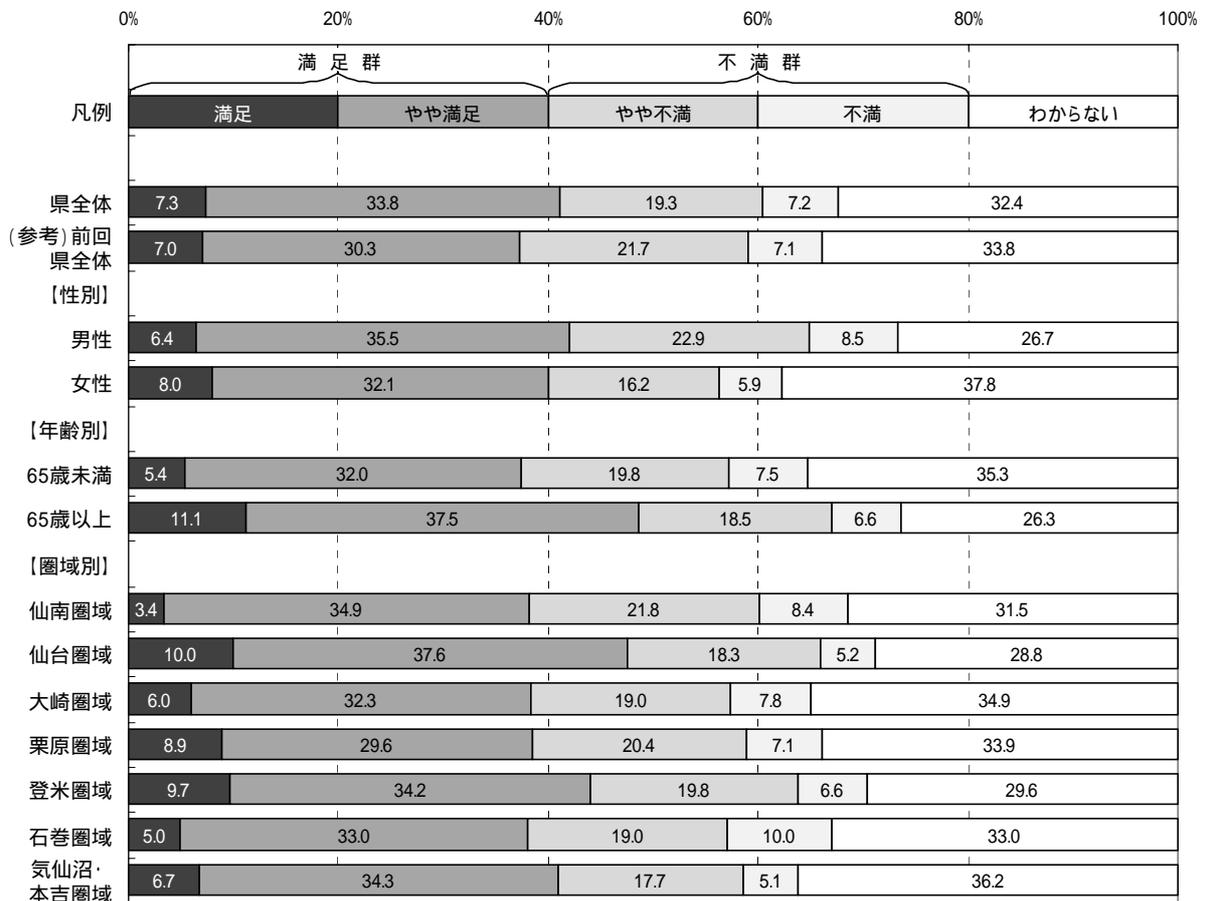


表2-2-25-4 取組25 満足度集計(属性別)

		有 効					合計	欠 損 値	合 計
		満足	やや満足	やや不満	不満	わからない			
県全体	度数	131	603	344	128	579	1,785	159	1,944
	パーセント	7.3	33.8	19.3	7.2	32.4	100.0		
	「わからない」を除くパーセント	10.9	50.0	28.5	10.6		100.0		
(参考) 前回 県全体	度数	120	517	371	121	577	1,706	136	1,842
	パーセント	7.0	30.3	21.7	7.1	33.8	100.0		
【性別】									
男性	度数	54	298	192	71	224	839	55	894
	パーセント	6.4	35.5	22.9	8.5	26.7	100.0		
女性	度数	73	292	148	54	344	911	80	991
	パーセント	8.0	32.1	16.2	5.9	37.8	100.0		
【年齢別】									
65歳未満	度数	63	374	231	87	412	1,167	47	1,214
	パーセント	5.4	32.0	19.8	7.5	35.3	100.0		
65歳以上	度数	64	215	106	38	151	574	90	664
	パーセント	11.1	37.5	18.5	6.6	26.3	100.0		
【圏域別】									
仙南圏域	度数	8	83	52	20	75	238	10	248
	パーセント	3.4	34.9	21.8	8.4	31.5	100.0		
仙台圏域	度数	23	86	42	12	66	229	20	249
	パーセント	10.0	37.6	18.3	5.2	28.8	100.0		
大崎圏域	度数	14	75	44	18	81	232	22	254
	パーセント	6.0	32.3	19.0	7.8	34.9	100.0		
栗原圏域	度数	25	83	57	20	95	280	25	305
	パーセント	8.9	29.6	20.4	7.1	33.9	100.0		
登米圏域	度数	25	88	51	17	76	257	22	279
	パーセント	9.7	34.2	19.8	6.6	29.6	100.0		
石巻圏域	度数	11	73	42	22	73	221	8	229
	パーセント	5.0	33.0	19.0	10.0	33.0	100.0		
気仙沼・本吉 圏域	度数	17	87	45	13	92	254	20	274
	パーセント	6.7	34.3	17.7	5.1	36.2	100.0		

【特に優先すべきと思う項目】

取組 2 5 に関し、目標とする宮城の姿を目指して、県が下記の項目の中で今後特に優先すべきと思う項目について調査した。(複数回答可)

- ア 「犯罪のない安全・安心まちづくり」のために行政、地域、事業者等が連携して行う県民運動
- イ 住民による自主的な防犯活動を活発にするための啓発活動
- ウ 学校、通学路等の安全対策を行うなど、子どもを犯罪から守るための環境づくりと安全教育の充実
- エ 子どもや女性、高齢者、障害者、外国人など、防犯の面で特に配慮が必要な人々に対する安全対策の充実
- オ 犯罪の起こしにくい、発生しにくい安全な道路、公園、駐車場などの普及
- カ 飲酒運転撲滅に向けた県民運動など、官民が連携して行う交通事故防止対策
- キ 消費者被害を未然に防ぐための情報提供や啓発活動の充実など、消費生活の安全性の確保

(参考:目標とする宮城の姿)

「自らの安全は自らが守る、地域の安全は地域が守る。」という県民の意識が高まり、地域での犯罪が起きにくくなっています。
 地域の連帯感や助け合いの意識が高まり、子どもや女性、高齢者、障害者などが安心して暮らしています。
 犯罪が減り、飲酒運転や交通事故も減少しています。これにより、暮らしの安全、地域の治安が守られていると感じる県民が増えています。
 悪質商法などによる被害が減っています。また、県民も被害に遭わないよう積極的に情報を収集するなど心掛けています。

< 概要 >

県全体及び属性別(性別・年齢別・圏域別)の優先順位第1位から第3位までは以下のとおり。

	県全体	性別		年齢別	
		男性	女性	65歳未満	65歳以上
第1位:	ア(ウ)	ア	ウ	ウ	ア
第2位:	ウ(ア)	ウ	ア	ア	ウ
第3位:	オ(エ)	エ	オ	オ	エ

	圏域別						
	仙南	仙台	大崎	栗原	登米	石巻	気仙沼・本吉
第1位:	ア	ア	ア	ア	ウ	ウ	ウ
第2位:	オ	ウ	ウ	ウ	ア	ア	ア
第3位:	ウ	オ	エ	エ	オ	オ	エ

属性別の優先順位が県全体と異なる場合、項目記号を網掛けしている。
 ()内は、前回の優先順位

図2-2-25-5 取組25 特に優先すべきと思う項目回答数(県全体)

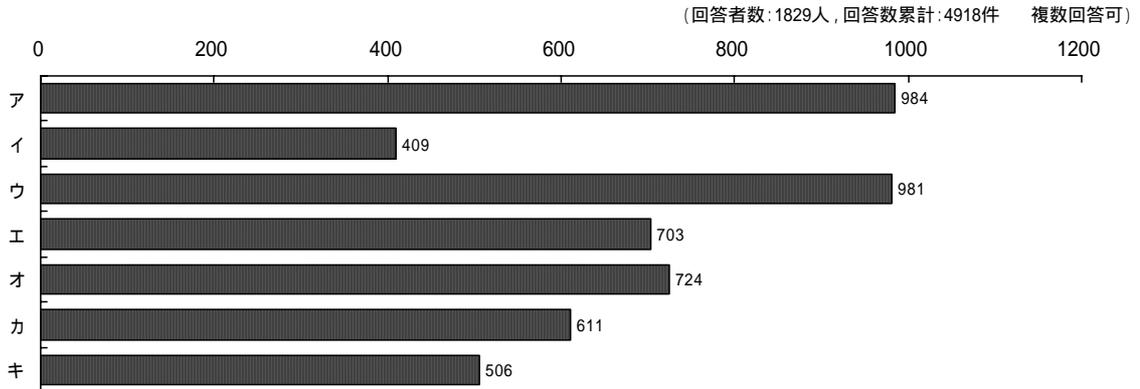
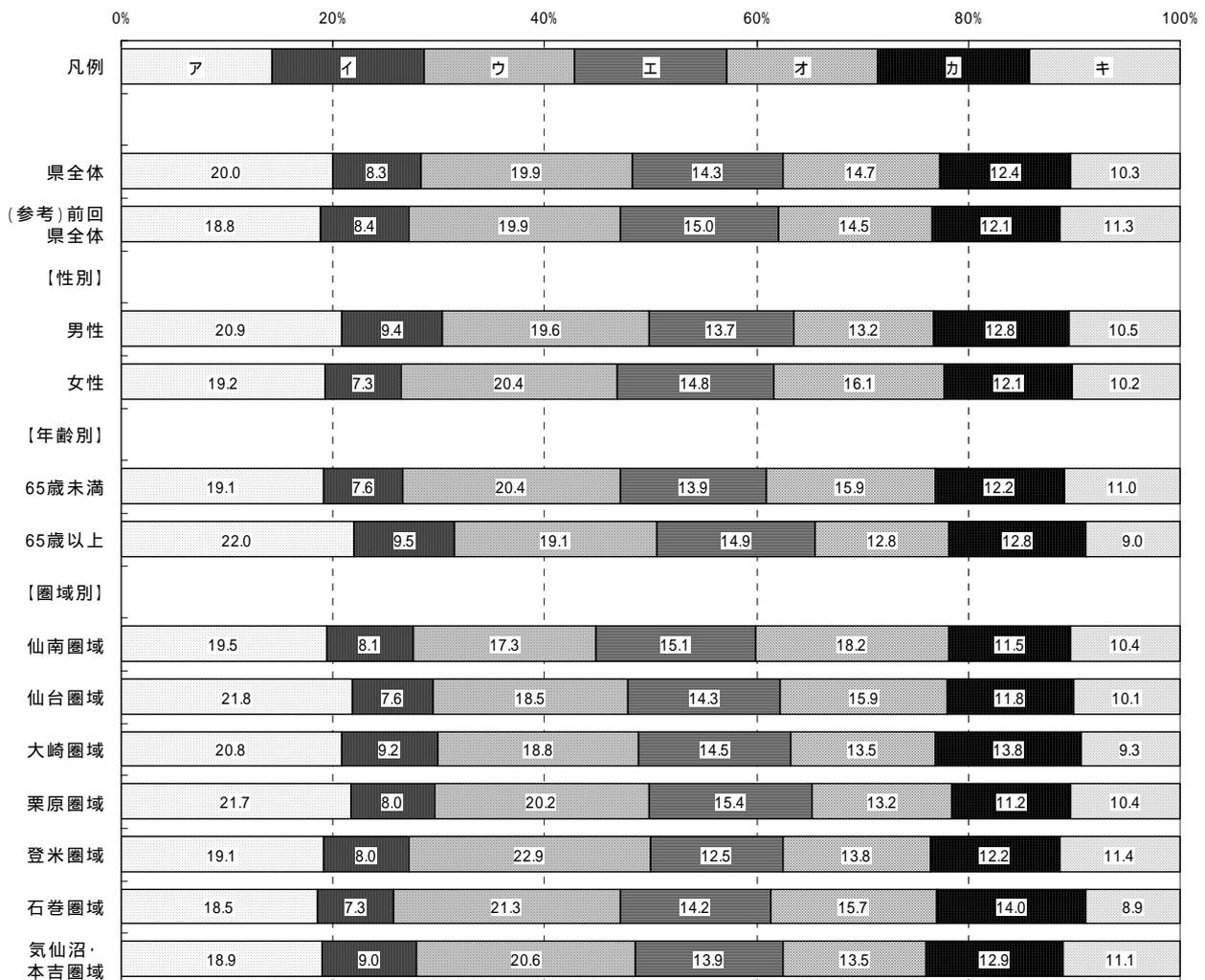


図2-2-25-6 取組25 特に優先すべきと思う項目割合(属性別)



本図は、回答数累計に占める各項目の回答数の割合を属性別に示したものです。

取組 2 6 外国人も活躍できる地域づくり



取組概要

多言語による相談体制や情報提供体制を整備するとともに、今後の取組を総合的、計画的に行うための計画を作成し、外国人県民も地域の一員として共に安心して生活できる社会の構築を目指します。また、さまざまな分野の国際交流を促進・支援するとともに、留学生などが卒業後も県内で活躍できる環境整備を目指します。

平成 2 0 年度の主な取組

県内で生活する外国人の困り事に母国語で対応するため、多言語(英語、中国語、韓国・朝鮮語及びポルトガル語)でアドバイスを行うことが可能な相談センターを設置しています。

災害時に日本語がわからない外国人を言語面から支援するため、通訳ボランティアの募集・登録を行っています。また、災害時を想定した外国人への実践的な救護練習などの研修を行っています。

気象警報や地震、津波情報を日本語がわからない外国人に迅速に伝達するため、自動的に多言語(英語、中国語、韓国・朝鮮語及びポルトガル語)に翻訳し、メールで送信及びホームページに掲載する情報提供システムを運用しています。

国籍や民族等の違いにかかわらず人権が尊重され、社会参画が図られる「多文化共生」の理念を普及するため、シンポジウムや研修会を開催しています。また、多文化共生社会の形成を推進する取組を総合的かつ計画的に実施するため、その基本となる「多文化共生社会推進計画」を作成しました。

県民の国際理解を高めるため、友好姉妹省州県(中国吉林省、米国デラウェア州及び伊国ローマ県)と経済分野での交流に向けた取組も含めさまざまな分野の交流事業を行っています。

【認知度】 (県がこの取組を行っていたことについて、どのくらい知っているか)

< 概要 >

県全体

「知っている」「ある程度知っている」を合わせた『高認知群』は18.8%、
「あまり知らない」「知らない」を合わせた『低認知群』は81.2%である。

性別

男性の『高認知群』は20.2%で、県全体より1.4ポイント高い。

女性の『高認知群』は17.3%で、県全体より1.5ポイント低い。

年齢別

65歳未満の『高認知群』は15.7%で、県全体より3.1ポイント低い。

65歳以上の『高認知群』は24.4%で、県全体より5.6ポイント高い。

圏域別

各圏域の『高認知群』は、県全体との差が全て5.0ポイント以内に収まっている。

図2-2-26-1 取組26 認知度割合(属性別)

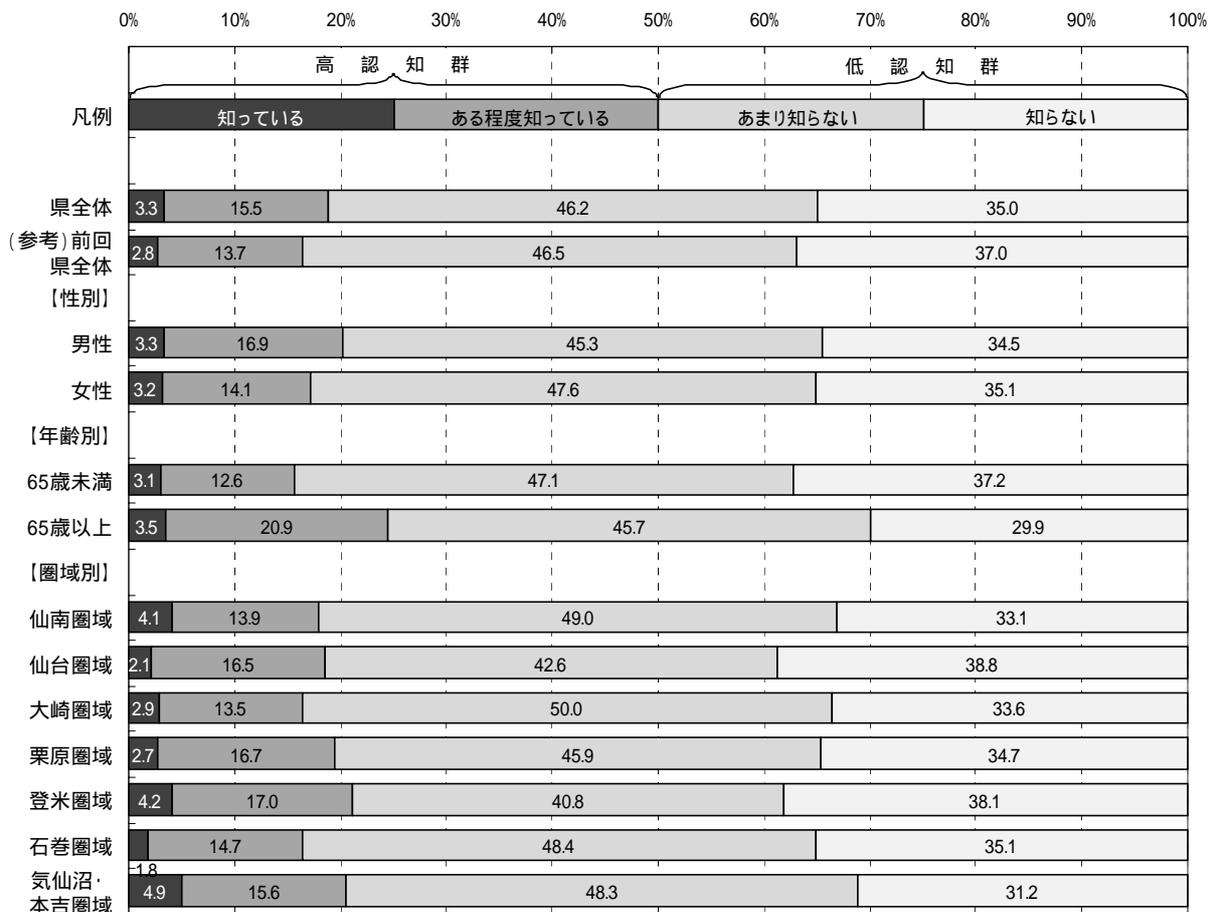


表2-2-26-1 取組26 認知度集計(属性別)

		有 効					欠 損 値	合 計
		知っている	ある程度 知っている	あまり 知らない	知らない	合計		
県全体	度数	61	289	860	652	1,862	82	1,944
	パーセント	3.3	15.5	46.2	35.0	100.0		
(参考) 前回 県全体	度数	49	243	824	655	1,771	71	1,842
	パーセント	2.8	13.7	46.5	37.0	100.0		
【性別】								
男性	度数	29	148	396	302	875	19	894
	パーセント	3.3	16.9	45.3	34.5	100.0		
女性	度数	30	133	450	332	945	46	991
	パーセント	3.2	14.1	47.6	35.1	100.0		
【年齢別】								
65歳未満	度数	37	150	560	442	1,189	25	1,214
	パーセント	3.1	12.6	47.1	37.2	100.0		
65歳以上	度数	22	130	284	186	622	42	664
	パーセント	3.5	20.9	45.7	29.9	100.0		
【圏域別】								
仙南圏域	度数	10	34	120	81	245	3	248
	パーセント	4.1	13.9	49.0	33.1	100.0		
仙台圏域	度数	5	39	101	92	237	12	249
	パーセント	2.1	16.5	42.6	38.8	100.0		
大崎圏域	度数	7	33	122	82	244	10	254
	パーセント	2.9	13.5	50.0	33.6	100.0		
栗原圏域	度数	8	49	135	102	294	11	305
	パーセント	2.7	16.7	45.9	34.7	100.0		
登米圏域	度数	11	45	108	101	265	14	279
	パーセント	4.2	17.0	40.8	38.1	100.0		
石巻圏域	度数	4	33	109	79	225	4	229
	パーセント	1.8	14.7	48.4	35.1	100.0		
気仙沼・本吉 圏域	度数	13	41	127	82	263	11	274
	パーセント	4.9	15.6	48.3	31.2	100.0		

【関心度】 (県が行ってきたこの取組の内容について、どのくらい関心があるか)

< 概要 >

県全体

「関心がある」「ある程度関心がある」を合わせた『高関心群』は41.4%、
「あまり関心がない」「関心がない」を合わせた『低関心群』は58.5%である。

性別

男性の『高関心群』は44.6%で、県全体より3.2ポイント高い。

女性の『高関心群』は38.9%で、県全体より2.5ポイント低い。

年齢別

65歳未満の『高関心群』は39.6%で、県全体より1.8ポイント低い。

65歳以上の『高関心群』は46.3%で、県全体より4.9ポイント高い。

圏域別

仙南圏域の『高関心群』は49.2%で、県全体より7.8ポイント高い。

その他の圏域の『高関心群』は、県全体との差が5.0ポイント以内に収まっている。

図2-2-26-2 取組26 関心度割合(属性別)

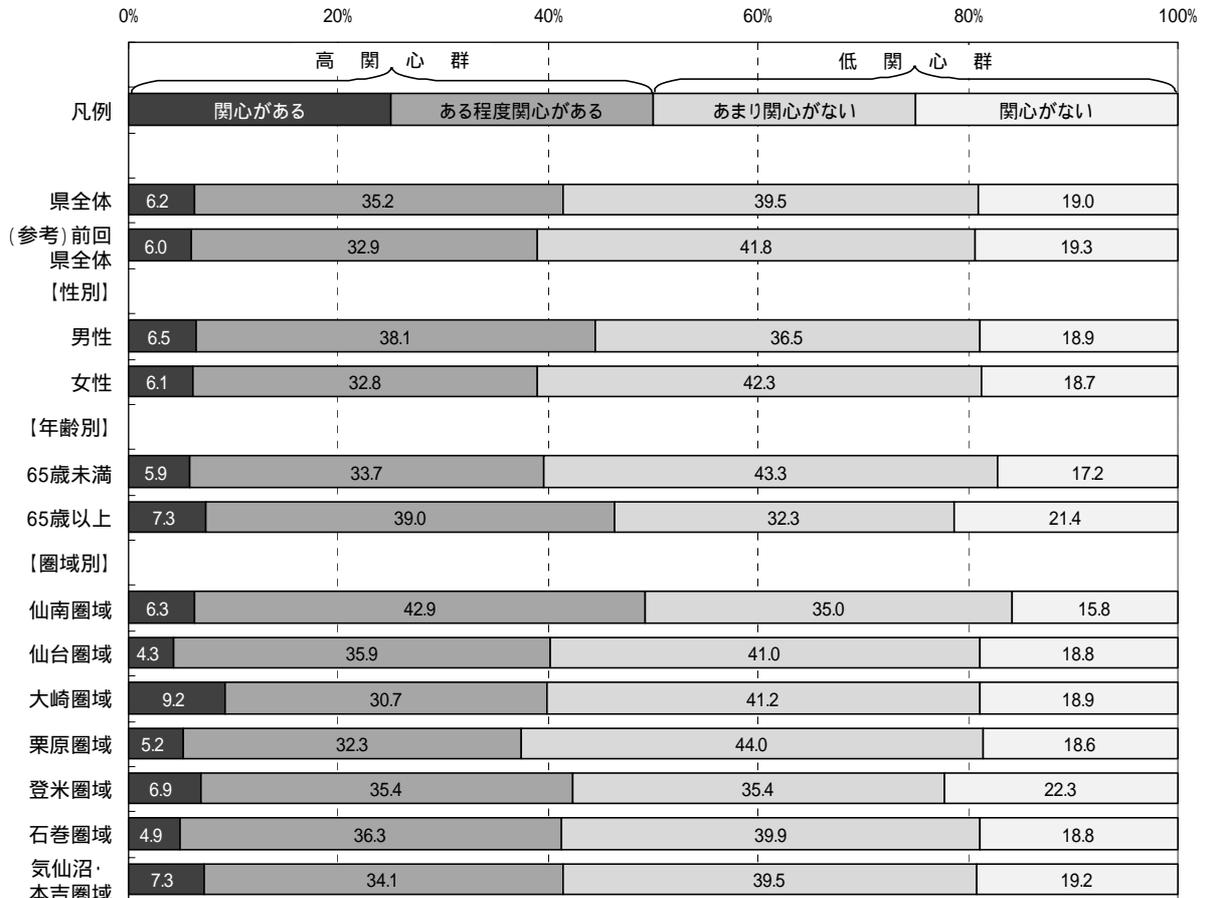


表2-2-26-2 取組26 関心度集計(属性別)

		有 効					欠 損 値	合 計
		関心がある	ある程度 関心がある	あまり 関心がない	関心がない	合計		
県全体	度数	114	645	724	348	1,831	113	1,944
	パーセント	6.2	35.2	39.5	19.0	100.0		
(参考) 前回 県全体	度数	104	569	722	334	1,729	113	1,842
	パーセント	6.0	32.9	41.8	19.3	100.0		
【性別】								
男性	度数	56	328	315	163	862	32	894
	パーセント	6.5	38.1	36.5	18.9	100.0		
女性	度数	57	305	393	174	929	62	991
	パーセント	6.1	32.8	42.3	18.7	100.0		
【年齢別】								
65歳未満	度数	69	397	510	203	1,179	35	1,214
	パーセント	5.9	33.7	43.3	17.2	100.0		
65歳以上	度数	44	235	195	129	603	61	664
	パーセント	7.3	39.0	32.3	21.4	100.0		
【圏域別】								
仙南圏域	度数	15	103	84	38	240	8	248
	パーセント	6.3	42.9	35.0	15.8	100.0		
仙台圏域	度数	10	84	96	44	234	15	249
	パーセント	4.3	35.9	41.0	18.8	100.0		
大崎圏域	度数	22	73	98	45	238	16	254
	パーセント	9.2	30.7	41.2	18.9	100.0		
栗原圏域	度数	15	94	128	54	291	14	305
	パーセント	5.2	32.3	44.0	18.6	100.0		
登米圏域	度数	18	92	92	58	260	19	279
	パーセント	6.9	35.4	35.4	22.3	100.0		
石巻圏域	度数	11	81	89	42	223	6	229
	パーセント	4.9	36.3	39.9	18.8	100.0		
気仙沼・本吉 圏域	度数	19	89	103	50	261	13	274
	パーセント	7.3	34.1	39.5	19.2	100.0		

【重視度】（県がこの取組を今後行っていくことが、どのくらい重要と考えるか）

< 概要 >

県全体

「重要」「やや重要」を合わせた『高重視群』は45.6%、「あまり重要ではない」「重要ではない」を合わせた『低重視群』は28.1%である。

なお、回答全体から「わからない」を除き集計した場合、『高重視群』が61.8%、『低重視群』は38.2%となる。

性別

男性の『高重視群』は47.2%で、県全体より1.6ポイント高い。

女性の『高重視群』は44.6%で、県全体より1.0ポイント低い。

年齢別

65歳未満の『高重視群』は45.1%で、県全体より0.5ポイント低い。

65歳以上の『高重視群』は47.8%で、県全体より2.2ポイント高い。

圏域別

各圏域の『高重視群』は、県全体との差が全て5.0ポイント以内に収まっている。

図 2 - 2 - 26 - 3 取組 26 重視度割合(属性別)

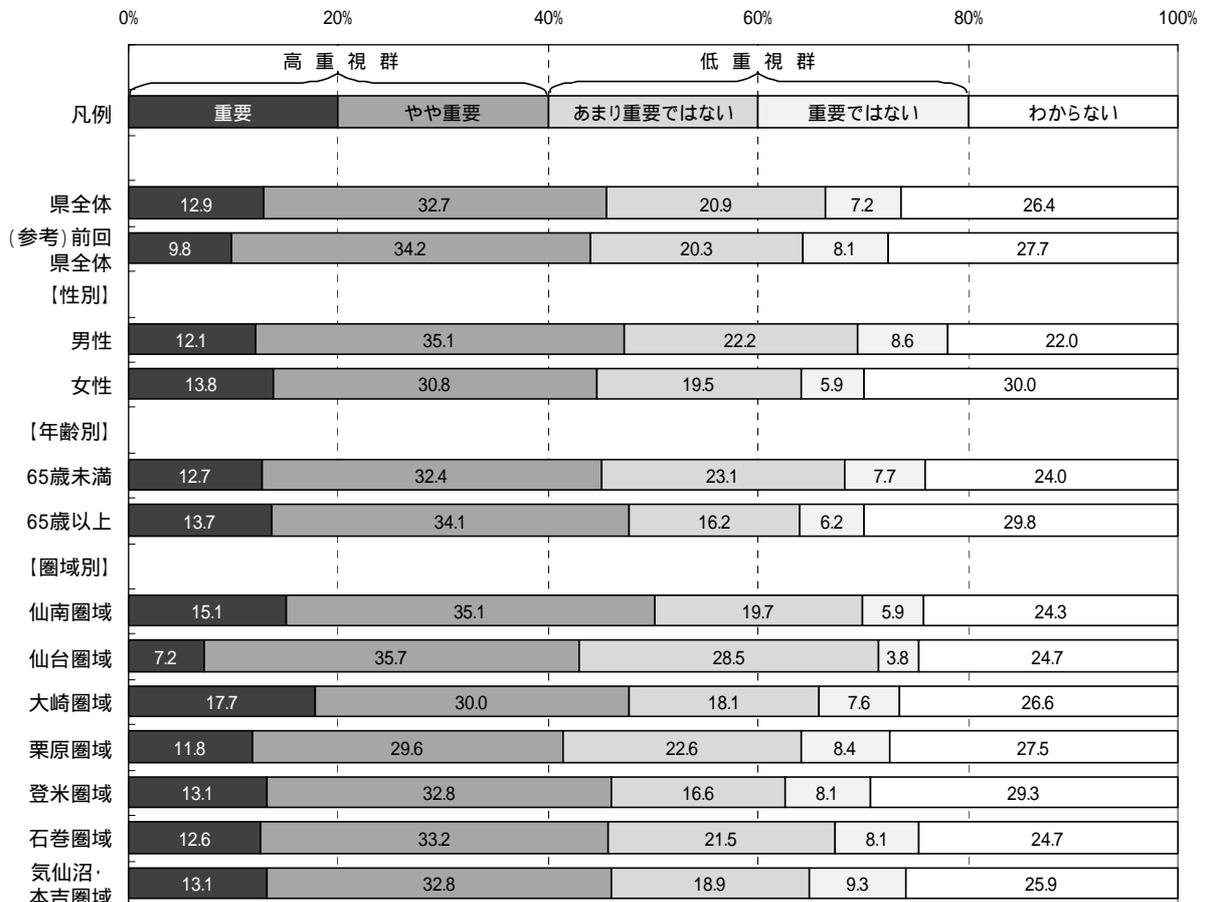


表2-2-26-3 取組26 重視度集計(属性別)

		有 効					合計	欠 損 値	合 計
		重要	やや重要	あまり重要 ではない	重要では ない	わからない			
県全体	度数	234	595	381	131	480	1,821	123	1,944
	パーセント	12.9	32.7	20.9	7.2	26.4	100.0		
	「わからない」を 除くパーセント	17.4	44.4	28.4	9.8		100.0		
(参考) 前回 県全体	度数	168	588	349	139	476	1,720	122	1,842
	パーセント	9.8	34.2	20.3	8.1	27.7	100.0		
【性別】									
男性	度数	103	299	189	73	187	851	43	894
	パーセント	12.1	35.1	22.2	8.6	22.0	100.0		
女性	度数	128	286	181	55	278	928	63	991
	パーセント	13.8	30.8	19.5	5.9	30.0	100.0		
【年齢別】									
65歳未満	度数	150	382	272	91	283	1,178	36	1,214
	パーセント	12.7	32.4	23.1	7.7	24.0	100.0		
65歳以上	度数	81	202	96	37	177	593	71	664
	パーセント	13.7	34.1	16.2	6.2	29.8	100.0		
【圏域別】									
仙南圏域	度数	36	84	47	14	58	239	9	248
	パーセント	15.1	35.1	19.7	5.9	24.3	100.0		
仙台圏域	度数	17	84	67	9	58	235	14	249
	パーセント	7.2	35.7	28.5	3.8	24.7	100.0		
大崎圏域	度数	42	71	43	18	63	237	17	254
	パーセント	17.7	30.0	18.1	7.6	26.6	100.0		
栗原圏域	度数	34	85	65	24	79	287	18	305
	パーセント	11.8	29.6	22.6	8.4	27.5	100.0		
登米圏域	度数	34	85	43	21	76	259	20	279
	パーセント	13.1	32.8	16.6	8.1	29.3	100.0		
石巻圏域	度数	28	74	48	18	55	223	6	229
	パーセント	12.6	33.2	21.5	8.1	24.7	100.0		
気仙沼・本吉 圏域	度数	34	85	49	24	67	259	15	274
	パーセント	13.1	32.8	18.9	9.3	25.9	100.0		

【満足度】（県が行ってきたこの取組について、どのくらい満足しているか）

< 概要 >

県全体

「満足」「やや満足」を合わせた『満足群』は26.1%、「やや不満」「不満」を合わせた『不満群』は20.0%である。

なお、回答全体から「わからない」を除き集計した場合、『満足群』が56.5%、『不満群』は43.4%となる。

性別

男性の『満足群』は27.7%で、県全体より1.6ポイント高い。

女性の『満足群』は24.9%で、県全体より1.2ポイント低い。

年齢別

65歳未満の『満足群』は23.8%で、県全体より2.3ポイント低い。

65歳以上の『満足群』は31.5%で、県全体より5.5ポイント高い。

圏域別

各圏域の『満足群』は、県全体との差が全て5.0ポイント以内に収まっている。

図2-2-26-4 取組26 満足度割合(属性別)

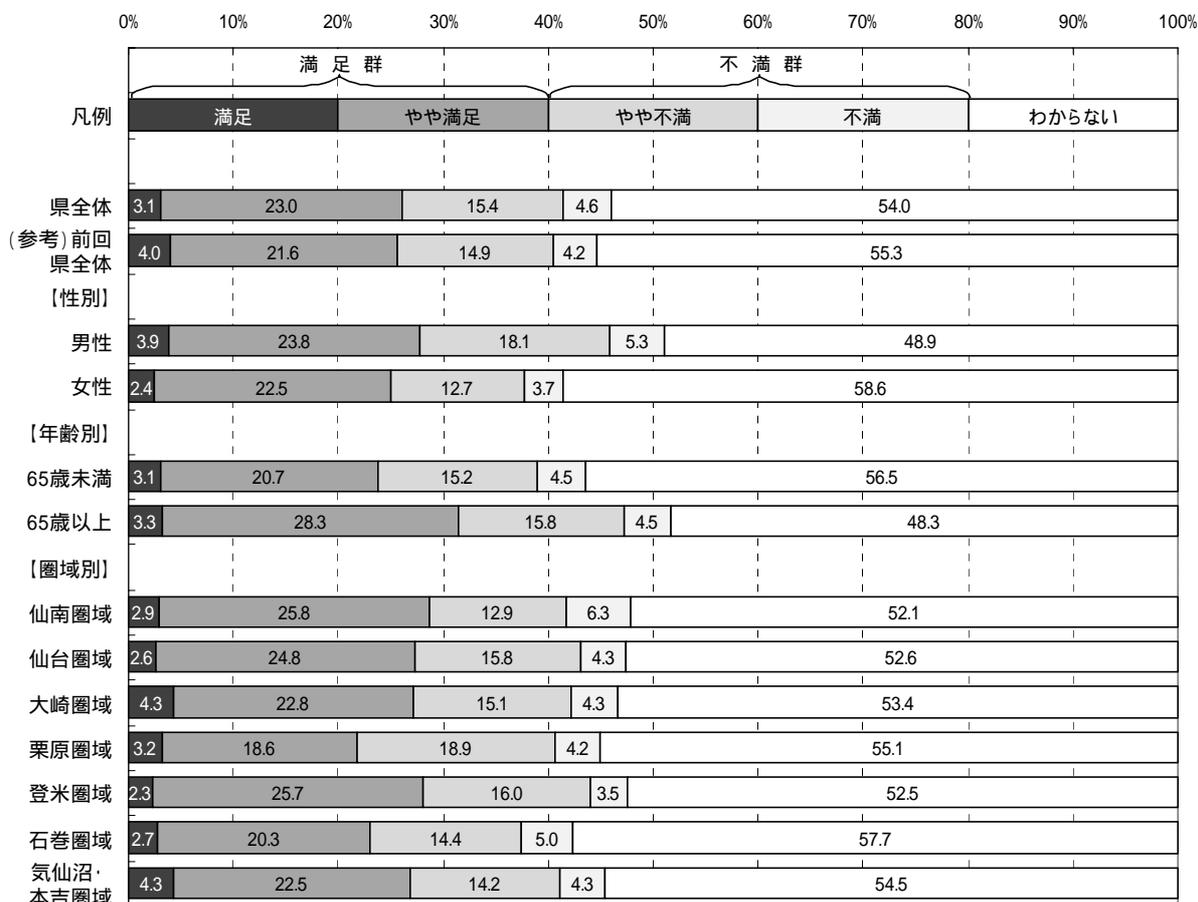


表2-2-26-4 取組26 満足度集計(属性別)

		有 効						欠 損 値	合 計
		満足	やや満足	やや不満	不満	わからない	合計		
県全体	度数	55	414	278	82	973	1,802	142	1,944
	パーセント	3.1	23.0	15.4	4.6	54.0	100.0		
	「わからない」を除くパーセント	6.6	49.9	33.5	9.9		100.0		
(参考) 前回 県全体	度数	68	368	253	71	940	1,700	142	1,842
	パーセント	4.0	21.6	14.9	4.2	55.3	100.0		
【性別】									
男性	度数	33	201	153	45	413	845	49	894
	パーセント	3.9	23.8	18.1	5.3	48.9	100.0		
女性	度数	22	207	117	34	538	918	73	991
	パーセント	2.4	22.5	12.7	3.7	58.6	100.0		
【年齢別】									
65歳未満	度数	36	242	178	53	661	1,170	44	1,214
	パーセント	3.1	20.7	15.2	4.5	56.5	100.0		
65歳以上	度数	19	165	92	26	282	584	80	664
	パーセント	3.3	28.3	15.8	4.5	48.3	100.0		
【圏域別】									
仙南圏域	度数	7	62	31	15	125	240	8	248
	パーセント	2.9	25.8	12.9	6.3	52.1	100.0		
仙台圏域	度数	6	58	37	10	123	234	15	249
	パーセント	2.6	24.8	15.8	4.3	52.6	100.0		
大崎圏域	度数	10	53	35	10	124	232	22	254
	パーセント	4.3	22.8	15.1	4.3	53.4	100.0		
栗原圏域	度数	9	53	54	12	157	285	20	305
	パーセント	3.2	18.6	18.9	4.2	55.1	100.0		
登米圏域	度数	6	66	41	9	135	257	22	279
	パーセント	2.3	25.7	16.0	3.5	52.5	100.0		
石巻圏域	度数	6	45	32	11	128	222	7	229
	パーセント	2.7	20.3	14.4	5.0	57.7	100.0		
気仙沼・本吉 圏域	度数	11	57	36	11	138	253	21	274
	パーセント	4.3	22.5	14.2	4.3	54.5	100.0		

【特に優先すべきと思う項目】

取組 26 に関し、目標とする宮城の姿を目指して、県が下記の項目の中で今後特に優先すべきと思う項目について調査した。(複数回答可)

- ア 多文化共生を進めるための条例・推進プランづくりや、国際交流協会など関係団体と連携した推進体制づくり
- イ 情報を多言語で発信したり日本語学習を支援するなど、外国人が地域の中でコミュニケーションを取りやすくするための支援
- ウ 保健・医療・福祉、防災、労働環境、教育、居住など、外国人の基本的な生活面への支援
- エ 地域社会への意識啓発や外国人の社会参画など、多文化共生の地域づくりへの支援
- オ イタリア・ローマといった友好地域との交流など、県民・民間が主体となった国際交流の促進・支援
- カ 県内でJETプログラムや海外技術研修などを経験し、母国へ戻った外国人を通じた、国際化を進めるためのネットワークづくり
- キ 県内大学への留学生をはじめとする、高度な専門知識や技術力を持つ外国人の卒業後の県内企業や研究機関への就業促進

(参考: 目標とする宮城の姿)

日本人と外国人が民族や文化の違いを認め合いながら、共に安心して暮らせる地域づくり、いわゆる「多文化共生社会」の形成が進んでいます。

県内で暮らす外国人への多言語による情報提供や日本語教室の拡充などの支援や、保健・医療・福祉、教育、労働など生活に欠かせない基礎的なサービスを提供する仕組みが整っています。

県内で暮らす外国人が地域との交流や地域づくりに積極的に参加しています。

芸術や教育、文化、経済など、さまざまな分野での国際交流活動が、県民や民間団体により行われています。

高度な知識・技術を持つ海外の人材が県内の企業や研究機関で活躍しています。

< 概要 >

県全体及び属性別(性別・年齢別・圏域別)の優先順位第1位から第3位までは以下のとおり。

	県全体	性別		年齢別	
		男性	女性	65歳未満	65歳以上
第1位:	ウ(ウ)	ウ	ウ	ウ	ウ
第2位:	イ(イ)	イ	イ	イ	イ
第3位:	ア(ア)	ア	ア	ア	ア

	圏域別						
	仙南	仙台	大崎	栗原	登米	石巻	気仙沼・本吉
第1位:	ウ	ウ	ウ	ウ	ウ	ウ	ウ
第2位:	イ	イ	イ	イ	イ	イ	イ
第3位:	キ	ア	ア	ア	ア	キ	ア

属性別の優先順位が県全体と異なる場合、項目記号を網掛けしている。

()内は、前回の優先順位

図2-2-26-5 取組26 特に優先すべきと思う項目回答数(県全体)

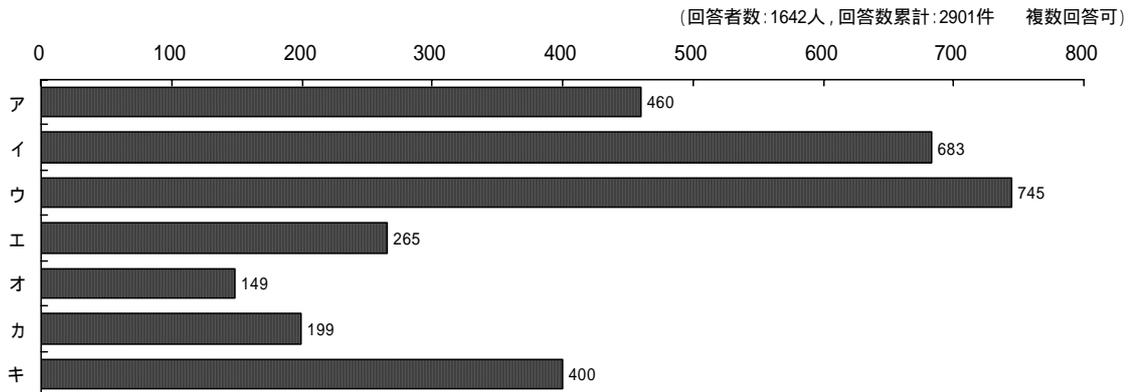
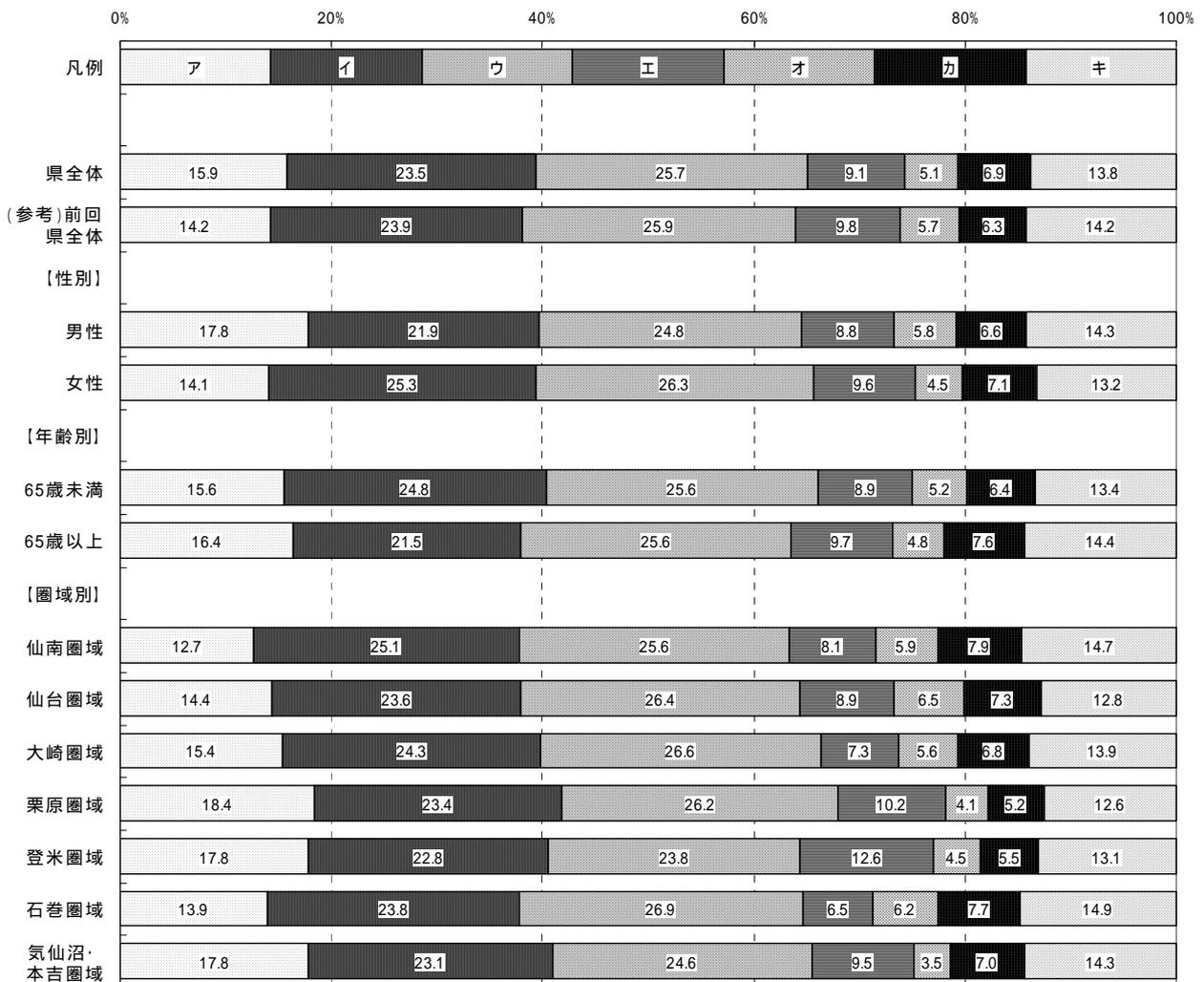


図2-2-26-6 取組26 特に優先すべきと思う項目割合(属性別)



本図は、回答数累計に占める各項目の回答数の割合を属性別に示したものです。

